

令和6年度版（令和5年度実績）

大牟田の教育

～ 教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行状況についての点検及び評価 ～

大牟田市教育委員会
大 牟 田 市

目 次

はじめに	1
点検及び評価の概要	1
教育委員会の活動状況	
教育委員会の概要	3
教育委員会の主な活動実績	4
活動の評価	6
教育施策の推進状況	
(教育委員会関係分)	
令和5年度大牟田市学校教育振興事業計画	
趣旨	8
令和5年度の教育委員会の方針	9
成果指標の令和5年度実績値	10
基本方針に係る成果指標の令和5年度達成状況	11
令和5年度重点事業	13
基本施策Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開	
主要施策1 ESDの推進	25
主要施策2 郷土を愛する心の育成	27
主要施策3 英語教育の充実	29
主要施策4 各学校における特色ある教育活動の推進	31
基本施策Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる	
主要施策1 確かな学力の育成	34
主要施策2 豊かな心の育成	38
主要施策3 健やかな体の育成	41
主要施策4 特別支援教育の推進	44
基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実	
主要施策1 学校再編整備の推進	47
主要施策2 安全で快適な学校施設の整備	49
基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり	
主要施策1 安心して学べる学校づくり	53
主要施策2 学校・家庭・地域の連携	59
基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進	
主要施策1 人権・同和教育の推進	62

(市長部局関係分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より	6 6
成果指標の令和 5 年度実績値	6 7
令和 5 年度重点事業	6 8
第 1 編第 4 章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち	
視点 1 次世代を担う子どもをはぐくむ	7 1
視点 2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり	8 2
視点 3 学習環境の整備・充実	8 5
視点 4 青少年の問題行動や悩みへの対応	8 9
その他 社会教育委員の会議	9 2
第 1 編第 5 章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち	
視点 1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり	9 5
視点 2 スポーツ活動を支える仕組みづくり	9 9
視点 3 スポーツがしやすい環境づくり	1 0 4
第 1 編第 6 章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち	
視点 1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ	1 0 7
視点 2 文化芸術事業の充実	1 1 1
視点 3 文化芸術の環境づくり	1 1 6

学識経験者意見	1 1 9
---------	-------

資 料 編

歴代教育委員等	1 2 6
機構と職員数	1 2 8
教育財政	
令和 5 年度当初予算	1 3 0
令和 5 年度決算	1 3 1
教育費の当初予算・決算推移	1 3 2
各種委員会等	1 3 3
市立学校一覧	1 3 6
市立学校の通学区域	1 3 7
学校別児童生徒・教職員数	1 4 0
児童生徒数の推移	1 4 2
卒業後の状況	1 4 2
学校施設一覧	1 4 3
教育施設一覧	1 4 4

社会教育施設等の状況

地区公民館	1 4 5
多目的活動施設リフレスおおむた	1 6 8
大牟田文化会館	1 7 1
三池カルタ・歴史資料館	1 7 5
図書館	1 7 8
スポーツ施設	1 8 8
指定・登録文化財一覧	1 9 0

はじめに

このたび、大牟田市教育委員会と大牟田市（市長の関係事務部局）は、令和５年度の本市教育行政の実績を報告書「大牟田の教育」にまとめ、この中で教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。

この点検及び評価は、令和５年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」について実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価の結果を今後の教育委員会の活動や教育施策の推進に生かすとともに、本市の教育行政が、市民の皆様の御理解のもとで効果的に推進できるよう、取組の充実を目指していきます。

点検及び評価の概要

１ 点検及び評価の対象並びに実施方法

（１）「教育委員会の活動状況」の評価は、教育委員会会議の実施状況や、学校訪問、各種行事、研修会等への参加状況などの教育委員会の活動とその情報発信について実施しました。

（２）「教育施策の推進状況」の評価は、以下の方法で実施しました。

① 教育委員会関係分

ア 「令和５年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる基本方針について、「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

イ 「令和５年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる各主要施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

② 市長部局関係分

大牟田市総合計画「まちづくり総合プラン」に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

なお、市長部局関係分のうち、点検及び評価の対象となるのは、スポーツ及び文化芸術に関する事務などの市長が管理・執行する事務を除いた部分です。具体的には、６６～８８ページ、９２～９４ページ、１０４ページ（学校体育施設開

放事業のみ) 及び 107～110 ページが対象となります。

③ 教育委員会関係分・市長部局関係分共通

令和5年度に重点的に取り組んだ事業については、個票を作成し、内容の充実を図りました。

2 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

点検及び評価の客観性の確保の観点から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項が規定する「教育に関して学識経験を有する者の知見の活用」については、教育学を専門とする大学教授に外部評価を依頼し、意見書を作成していただきました。

2〔教育委員会の活動状況〕

1 教育委員会の概要

(1) 教育委員会の位置付け

大牟田市教育委員会は、地方自治法に基づく行政委員会であり、市長から独立した執行機関として設置されています。市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の委員で構成され、本市の教育行政における重要事項や基本方針について審議決定を行っています。

(2) 教育委員会の所管事務

大牟田市教育委員会は、学校教育、社会教育、人権・同和教育等に関する事務を所管しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきH24年12月に制定した大牟田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例により、次の事務については、H25年4月から、市長が管理し、及び執行しています。

- ・スポーツに関すること（学校における体育に関することを除きます。）
- ・文化に関すること（文化財の保護に関することを除きます。）

また、大牟田市教育委員会補助執行規程（H25年3月制定）に基づき、次の事務については、H25年4月から、市長の事務部局の職員が補助執行しています。

- ・文化財の保護及び活用に関すること
- ・社会教育の振興に関すること
- ・地区公民館、リフレスおおむた、図書館、三池カルタ・歴史資料館に関すること など

(3) 教育長の職務

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどるとともに、事務を統括し、事務局の指揮監督を行います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（H27年4月1日施行。以下「法改正」といいます。）により、従前の教育委員会を代表する委員長と事務局を統括する教育長が一本化された新たな教育長を置くこととなり、本市では、法改正を踏まえ、H27年4月1日から新たな教育長が任命されています。

(4) 委員の職務

委員は、教育委員会会議に出席し教育行政に関する重要事項等についての審議を行っています。また、教育現場の視察、意見・要望等の聴取を行うほか、教育関係の各種行事に出席しています。このような活動を通して、教育における政治的中立性及び継続性・安定性を確保するとともに、広く市民の意向を反映した責任ある教育行政の実現を図っています。

(5) 令和5年度における教育委員会の構成（歴代委員等は『資料編』に掲載）

大牟田市教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成しています。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です（再任可）。教育長職務代理者は、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、その職務を行います。

氏名（職名）	任期
谷本 理佐（教育長）	R3年4月1日～R6年3月31日
嶋田 桂子（委員・教育長職務代理者）	R3年6月1日～R7年5月31日
山本 和夫（委員）	R5年3月13日～R9年3月12日
東 秀樹（委員）	R2年3月22日～R6年3月21日 R6年3月22日～R10年3月21日
木場 真帆（委員）	R4年6月1日～R8年5月31日

2 教育委員会の主な活動実績

(1) 教育委員会会議の実施

原則として、定例会は毎月1回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適切に審議しました。

R5年度は、定例会を12回、臨時会を3回開催しました。なお、傍聴者は4人でした。

開催日	会議	議案番号	議案名等
4月12日	4月定例	—	報告事項9件（令和4年度末教職員異動状況について 等）
5月15日	5月定例	1	大牟田市就学支援委員会委員の任命について
		2	大牟田市立学校結核対策委員会委員の任命について
		—	報告事項4件（令和5年度児童生徒数及び学級数について 等）
6月2日	6月定例	3	大牟田市社会教育委員の委嘱について
		—	報告事項2件（令和4年度大牟田市一般会計予算繰越明許費に係る繰越しについて 等） 協議事項3件（令和5年度大牟田市一般会計補正予算（案）について 等）
7月14日	7月定例	—	報告事項7件（令和5年度教育講座について 等） 協議事項1件（令和5年度全国学力・学習状況調査の市町村別結果の公表に対する同意について）
8月7日	8月定例	4	令和4年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（令和5年度版「大牟田の教育」）について
		5	令和6年度使用小学校教科用図書の採択について
		—	報告事項1件（令和5年度大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会「対市陳情」について）
8月24日	第1回臨時	6	大牟田市中学校給食センター給食調理業務委託者選定委員会の委員の任命について
		—	報告事項3件（大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について 等） 協議事項1件（令和5年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
9月28日	9月定例	—	報告事項2件（令和5年度（後期）大牟田市就学支援委員会報告書について 等） 協議事項1件（「教育委員会だより」第25号の紙面について）
10月13日	第2回臨時	7	大牟田市立夜間中学設置基本方針の策定について
10月26日	10月定例	8	大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会の委員の任命について
		9	令和6年度大牟田市事務局等職員及び教職員人事異動方針等について
		—	報告事項1件（第75回はたちの集いについて）
11月17日	第3回臨時	10	大牟田市立夜間中学の分校の名称案について

開催日	会議	議案 番号	議案名等
11 月 28 日	11 月定例	11	大牟田市立中学校設置条例の一部を改正する条例を制定する議案の作成について
		—	報告事項 4 件（令和 6 年度児童生徒数及び学級数（推計）について 等） 協議事項 1 件（令和 5 年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
12 月 25 日	12 月定例	12	令和 6 年度教職員の人事について
		13	令和 6 年度市職員の人事について
		14	大牟田市立橘中学校及び大牟田市立田隈中学校並びに大牟田市立甘木中学校の再編後の新しい学校の学校名案について
		15	大牟田市立歴木中学校及び大牟田市立田隈中学校並びに大牟田市立白光中学校の再編後の新しい学校の学校名案について
		—	報告事項 1 件（学校給食週間の実施について）
R6 年 1 月 17 日	1 月定例	—	報告事項 3 件（令和 5 年度全国学力・学習状況調査結果の報告について 等）
R6 年 2 月 13 日	2 月定例	16	大牟田市立中学校設置条例の一部を改正する条例を制定する議案の作成について
		—	報告事項 3 件（令和 5 年度大牟田市立小・中・特別支援学校 P T A 連合会「対市陳情」に対する回答案について 等） 協議事項 6 件（大牟田市学校教育振興プラン 2 0 2 4 ～ 2 0 2 8（案）について 等）
R6 年 3 月 22 日	3 月定例	17	大牟田市立学校管理規則の一部改正について
		18	大牟田市立小中学校等の通学区域を定める規則の一部改正について
		19	大牟田市社会教育振興プラン 2 0 2 4 ～ 2 0 2 8 の策定について
		20	大牟田市学校教育振興プラン 2 0 2 4 ～ 2 0 2 8 の策定について
		21	令和 6 年度大牟田市学校教育振興事業計画の策定について
		22	大牟田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
		23	令和 6 年度市職員の人事について
		—	報告事項 1 件（令和 5 年度学校給食週間学校給食アンケート調査結果報告について）

（２）総合教育会議への出席

前記 1（３）に述べた法改正を受けて、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本市の教育課題や目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、市長及び教育委員会で構成される大牟田市総合教育会議が H 2 7 年度に設置されました。

R 5 年度の会議は 1 0 月 1 3 日に開催され、令和 6 年度以降の大牟田市教育の振興に関する大綱について協議や意見交換等が行われました。

（３）学校訪問への出席

学校訪問は、市立学校の学校経営、教育活動及び施設・設備等の現状を視察し、教育施策の改善に資することを目的とするもので、授業参観や学校関係者との協議等を通して、学校

の教育活動全般について指導・助言を行っています。R 5 年度は、小学校 2 校・中学校 3 校で実施した学校訪問に出席しました。また、本市や福岡県による研究指定の発表会等（小学校 2 校・中学校 2 校）に出席しました。

（４）各種行事への出席

R 5 年度は、中学校卒業式、教育研究所研究報告会、給食試食会、成人式（本市では「はたちの集い」として実施）、スポーツ関連行事等の 17 の行事に出席しました。

（５）会議、研修会等への出席

R 5 年度は、南筑後地区教育委員会連絡協議会総会等の会議に出席したほか、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、南筑後地区教育委員会連絡協議会等が主催する 5 つの研修会に出席しました。

（６）勉強会の開催

教育委員会会議の円滑な運営と議論の活性化に資するよう、本市の教育の主要な課題等について、必要に応じ勉強会を開催しています。R 5 年度は、夜間中学、学校再編整備、教育振興基本計画等の様々なテーマを設定し、延べ 16 回開催しました。

3 活動の評価

（１）教育委員会会議について

大牟田市教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月 1 回、臨時会を必要に応じ開催しました。事前に送付された会議資料により理解を深めた上で会議に臨み、常に市民の視点に立って議論を行うよう留意し、教育施策の議論等においては、改善点や要望等を示しました。また、必要に応じ勉強会を開催し、事務局に説明を求め、内容の理解に努めました。

今後も、教育委員会として一層責任ある意思決定を行うため、教育施策等の重要な議題について積極的に情報収集を行うとともに、本市の教育の主要な課題について継続的に勉強会を開催していきます。

（２）教育委員会会議以外の活動について

学校訪問や各種行事に出席し、関係者との協議や意見交換、情報交換等を行うことを通して、教育現場の状況の把握を行いました。

今後も、市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するため、教育現場の実態把握や関係機関から積極的に情報収集を行うとともに、研修会への出席等を通じた資質の向上に努めていきます。

（３）教育委員会活動の情報発信について

教育委員会会議の開催情報については、大牟田市教育委員会会議規則に基づき、開会の日前 3 日までに市庁舎掲示場に告示するとともに、教育委員会のウェブサイト上にも掲載し周知に努めました。会議は原則として公開しており、会議資料は市情報公開センターでも閲覧できるようにしています。また、ウェブサイト上で会議録を公開しています。

H 27 年度からは、教育委員会活動が市民により一層理解され、関心を持ってもらうため、「教育委員会だより」を発行しています。R 5 年度は 7 月・11 月・3 月の 3 回発行し、情報発信の充実を図りました。

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(教 育 委 員 会 関 係 分)

令和 5 年度 大牟田市学校教育振興事業計画

趣 旨

- 1 本計画は、本市における令和 2 年度から 5 年度までの教育の振興に関する基本的な計画である「大牟田市学校教育振興プラン 2020～2023」に基づく令和 5 年度の事業計画として、予算等との整合を図り策定するものです。
- 2 本計画は、令和 5 年度の教育委員会の方針、成果指標の令和 5 年度目標値、令和 5 年度に特に重点的に取り組む事業（以下「重点事業」といいます。）の内容等について掲載しています。

令和 5 年度の教育委員会の方針

1 基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの育成を目指します。

2 基本方針（令和 5 年度の実施方針）

持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成するとともに、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成します。

令和 5 年度は、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進するとともに、本市の特色ある S D G s（持続可能な開発目標）／E S D（持続可能な開発のための教育）のさらなる深化を図るため、各学校の特色を活かしながら、地域、関係機関、団体等との連携を強化し、取組みを充実します。

また、義務教育 9 年間を見通した教育を推進するため、小中一貫教育制度を宮原中学校区に本格導入するとともに、宅峰中学校区と松原中学校区に試行的に導入します。

次に、児童生徒の確かな学力を育成するため、小・中学校にスタディサポーターや学力向上アドバイザーを派遣するほか、日々の授業づくりや学力向上プラン等の充実を図るための支援を行います。

さらには、児童生徒の不登校を未然に防止するため、スクールソーシャルワーカーを活用した相談対応を行うとともに、教職員研修会の開催、子どもの自己肯定感や自尊感情を高める授業づくり等の支援を行います。

学校再編整備については、歴木中学校・田隈中学校・白光中学校・橘中学校・甘木中学校の再編に向けた学校再編協議会の設置や、再編後の新校となる歴木中学校と橘中学校の施設整備等を進めます。

人権・同和問題に対する市民の理解と認識を深めるため、講演会や学習会の開催等の啓発活動を行います。

目指す児童生徒の姿 「おおむたっ子」

- | | |
|-----------|----------------------|
| おお | 大きな夢を抱き未来を創る児童生徒 |
| む | 難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒 |
| た | たくましい心と体を備えた児童生徒 |

重点事業

- ・ 未来を創る E S D 推進事業
- ・ 小中一貫教育推進事業
- ・ 「学びに向かう力」育成推進事業
- ・ スクールソーシャルワーカー活用事業
- ・ 学校再編整備推進事業
- ・ 人権・同和問題啓発事業

成果指標の令和5年度実績値

1 基本方針に係る成果指標

指標名	指標の概要	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	実績値 (R5年度)	達成度 (R5年度)
将来に向けて意欲をもって取り組もうとする中学3年生の割合	将来の夢や目標を持って努力していこうという生徒の割合(中学3年生へのアンケート)	78.6%	80.0% (毎年度維持)	84.5%	105.6%

2 主要施策の成果指標

基本施策	主要施策	指標名	指標の概要	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	実績値 (R5年度)	達成度 (R5年度)
Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開	1 ESDの推進	ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	地域や世界のために頑張りたいという児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.7%	90.0% (毎年度維持)	92.1%	102.3%
	2 郷土を愛する心の育成	郷土大牟田に対する興味・関心	郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.0%	90.0% (毎年度維持)	90.5%	100.6%
	3 英語教育の充実	英語の授業の理解度	外国語科(英語科)の授業はよく分かると答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	84.2%	85.0% (毎年度維持)	85.8%	100.9%
	4 各学校における特色ある教育活動の推進	小中連携・小中一貫教育の取組実績	全小中学校において小中連携・小中一貫教育に関する事業を実施した回数の合計	62回	80回	85回	106.3%
Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる	1 確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査の標準化得点(小・中)	全国学力・学習状況調査における小・中それぞれの標準化得点(全国平均を100とする)	小:95.3 中:92.8 (R3年度)	100以上	小:95.9 中:89.1	—
	2 豊かな心の育成	児童生徒の規範意識	人の気持ちがわかる人間になりたいと答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	95.6%	95.0% (毎年度維持)	95.9%	100.9%
	3 健やかな体の育成	体力向上のための授業以外での取組実績	児童生徒の体力向上のため、授業以外での取組を実施した学校の割合	100%	100% (毎年度維持)	100%	100%
	4 特別支援教育の推進	特別支援教育支援員の配置効果	保護者・学校へのアンケートで、特別支援教育支援員の配置効果を認める割合	100%	100% (毎年度維持)	100%	100%
Ⅲ 学校教育環境の充実	1 学校再編整備の推進	学校再編に対する地域の理解と協力(学校再編協議会の設置数)	歴木中・白光中・田隈中・橘中・甘木中の5校を3校に再編することを目指し、R5年度に2つの学校再編協議会を設置	—	2	2	100%
	2 安全で快適な学校施設の整備	校舎トイレの洋式化率	市立学校の校舎トイレを洋式に改修した割合	61.5%	78.0%	78.9%	101.2%
Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり	1 安心して学べる学校づくり	児童生徒の学校生活への満足度	学校に行くのは楽しいと答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.3%	90.0% (毎年度維持)	92.2%	102.4%
	2 学校・家庭・地域の連携	学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	各学校の教育活動に対し、ゲストティーチャーとして支援をいただいた保護者や地域の方の延べ人数	1,898人 (H28～30年度平均)	1,900人	1,783人	93.8%
Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進	1 人権・同和教育の推進	人権尊重意識の醸成度	人権・同和教育推進のための諸事業後の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と答えた人の割合	96.5%	100% (毎年度維持)	92.6%	92.6%

基本方針に係る成果指標の令和５年度達成状況

成果指標の達成状況

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来に向けて意欲を持って取り組もうとする中学３年生の割合	目標値（％）	80.0	80.0	80.0	80.0	現状値を踏まえ80％以上を目指します。 〔現状値：78.6％（H30年度実績）〕
	実績値（％）	82.6	82.8	83.1	84.5	
	達成度（％）	103.3	103.5	103.9	105.6	

指標達成度に対する要因分析

- ・本施策の成果指標のR５年度の実績値は84.5％となり、目標を達成することができました。その要因として、次のようなことが考えられます。
- ・本市では、「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、「確かな学力（知）」「豊かな心（徳）」「健やかな体（体）」のバランスのとれた教育を進めており、児童生徒一人ひとりの興味・関心等に応じた教育活動を展開し個性や能力を伸ばしてきました。R５年度には、新型コロナウイルス感染症の位置付けも２類相当から５類になり、社会も徐々にアフターコロナへとシフトしていきました。このような中で、学校の教育活動は、コロナ禍以前の姿に全てが戻るわけではなく、ニューノーマル（新しい日常）の対応が求められ、状況に応じて、実態をふまえた新しい学校像を創造していきました。その過程において、児童生徒が、バーチャル体験ではなく、リアルな体験をふまえて自分の将来を考えることは有意義なことであり、ここ数年、実現できなかった地域の方々と連携した「職業講話」「上級学校調べ」「オープンキャンパスへの参加」等の啓発的体験を行い、児童生徒が自己実現のための意欲を持つことができたと考えられます。
- ・Society5.0という新たな社会の実現に向けて、SDGs未来都市である本市は、ESD（持続可能な開発のための教育）の充実・深化を図ってきました。その中で、山積する社会の課題に対して、グローバルな視点を持ちつつ自ら考えて行動していく学習を大切にして進めてきたところです。教育委員会は、各学校の教育活動を支援するとともに、学校と地域との新たな協働体制の構築を推進してきました。その結果、児童生徒は、学校の仲間と協働して学ぶことを通して非認知能力を高め、目標に向けて頑張ったことによる達成感を味わうことができたと考えられます。
- ・各学校では、児童生徒の発達段階に応じた系統的なキャリア教育に取り組んでいます。児童生徒が未知の体験や社会に関心を持ち、地域の方々と仲間と協働して学ぶことを通して、様々なことにチャレンジする勇氣と価値を体得し、生涯にわたって学び続ける意欲を維持する基盤を作ることができたと考えられます。

今後の方向性

- ・社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難になる中、これからの学校には、一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切

り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。

- ・ **Society5.0** 時代を迎えた今、生成 A I 等が飛躍的な進化を遂げている現代社会において、変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにすることや、従前以上に「人間らしさ」が求められています。R 5 年 6 月に国が策定した「第 4 期教育振興基本計画」にも、「持続可能な社会の創り手」・「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられ、本市もこの趣旨に沿って、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成するために、各学校が特色ある教育活動を展開することによって、児童生徒一人ひとりが自己のよさを発揮し、夢や目標に向かって意欲的かつ主体的に学ぶことができるよう支援します。
- ・ また、本市がこれまで継続的に取り組んできた結果が R 5 年度目標の達成につながったと考えられることから、今後も、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進することにより、児童生徒が社会において自立的に生きるための基盤となる資質や能力を培うことができるようにします。その上で、達成感を味わい、将来のまちづくりの主権者としての意欲を持つことができるようにします。
- ・ そのために、第 7 次大牟田市総合計画や第 3 期大牟田市教育振興基本計画等をふまえ、現代社会に求められているグローバル人材の育成、デジタル人材の育成に努めるとともに、児童生徒の発達段階に応じて、系統的なキャリア教育に取り組みます。

令和5年度重点事業

施策体系		事業名	ページ
基本施策	主要施策		
I	1	未来を創るE S D推進事業	1 4
I	4	小中一貫教育推進事業	1 6
II	1	「学びに向かう力」育成推進事業	1 8
III	1	学校再編整備推進事業	2 0
IV	1	スクールソーシャルワーカー活用事業	2 2
V	1	人権・同和問題啓発事業	2 4

令和5年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	未来を創るESD推進事業（25ページを参照）				
	基本施策：I 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開				
	主要施策：1 ESDの推進				

目的

本市の特色あるSDGs（持続可能な開発目標）／ESD（持続可能な開発のための教育）の取組をさらに発展・拡充させ、持続可能な社会の創り手としての児童生徒の育成を目指します。また、ESDの先進都市・交流拠点都市として、SDGs／ESDを市全体に広めるとともに、「SDGs／ESDのまち・おおむた」を全国や世界に発信します。

事業内容

- 「大牟田市ユネスコスクールの日」（1月17日）の制定と「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた宣言」を記念する「SDGs／ESD子どもサミット」を開催し、児童生徒による学習成果の発表や他地域の学校との交流を行います。また、「大牟田市ユネスコスクール週間」の期間中に各学校が行うESDの学習発表会等を支援します。
- 各学校のSDGs／ESDの充実を図るため、次のことに取り組みます。
 - 各学校が行う世界遺産学習、環境学習、福祉学習、防災・減災学習等の教育活動や、全国・世界のユネスコスクールとの交流活動の充実を支援します。
 - 市立学校の児童生徒を対象に、自然体験などのESD体験講座を開催し、体験を通して主体的に考え行動する態度を育成します。
- 地域、関係機関、団体等との意見交換等の機会として、「ユネスコスクール・SDGs／ESD交流会」を開催します。この交流会を通して、各学校の特色を活かしながら、地域、関係機関、団体等との連携を強化し、SDGs／ESDのさらなる深化を図ります。
- SDGs／ESDに取り組んでいる地域と交流します。
 - 国内（特に、災害からの復興に取り組んでいる地域）の教育委員会や学校と交流します。
 - 国際連合大学が認定・推進する地域のESDの拠点「RCE」（Regional Centre of Expertise on ESD）として、国内及び世界のRCEと交流します。
- 市民を対象とする講座、展示会等を開催し、SDGs／ESDに対する理解を促進します。

指標名	目標値等	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	地域や世界のために頑張りたいと答えた小学5年生と中学2年生の割合（H30年度実績・89.7％）を、毎年度90％以上を維持することを目標とします。
	実績値（％）	91.0	91.7	91.2	92.1	
	達成度（％）	101.1	101.9	101.3	102.3	

取組実績

- 4月の定例校長会で「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」におけるESDの取組発表について周知し、R6年1月27日（土）に大牟田文化会館で開催したサミットで、中友小学校、銀水小学校、手鎌小学校及び歴木中学校が発表しました。
天領小学校児童と本市出身のタレント「まこパーティー」さんが、SDGsオリジナル楽曲「未来へ繋ぐストーリー～SDGsで変わる大牟田の未来」を披露しました。
大牟田大使でJAXA宇宙教育センター長（当時）の北川智子さんが「みんなで学ぼう！宇宙のこと、地球のこと」と題して講演しました。
なお、R5年度からは、広く市民に児童生徒の取組を周知するため、大牟田地域教育力向上推進大会の第2部としてサミットを開催することとしました。
- 各学校のSDGs／ESDの充実を図るため、次のことに取り組みました。
 - 各学校のESDに関する特色ある教育活動を支援するため、校内研修に指導主事を派遣し、理論や実践のポイント等について指導助言を行いました。
 - 5月27日（土）と10月28日（土）にESD体験講座（環境学習）「おおむたネイチャースクール」を開催し、それぞれ17人と18人の児童生徒が参加しました。R5年度は、会場を玉川小学校周辺とし、ネイチャーガイドの柿川和機さんを講師としてお招きしました。
 - 各学校では、これまでの歩みや校区の特徴をふまえ、様々なESDに関する実践を行いました。これらの取組については、各学校のホームページにおいて情報発信を行うとともに、担当課で「令和5年度版ESD実践事例集」を作成し、広く周知しました。また、R6年1月27日（土）に開催した大牟田地域教育力向上推進大会において、大ホールホワイエに各学校の実践を紹介するパネルを掲示したり、動画を流したりして、来場者へのアピールを行いました。
 - 各学校のESDの取組の共通理解を図るため、「ユネスコスクールだより」を発行しました。これはR4年度から電子配信としており、実践の共有やESDに関する情報提供、研修の紹介などを行いました。また、ホームページにも掲載し、広く市民に公開しました。

- (5) R5年度に市立学校の教職員として新規採用された者及び他市町村から転入した教職員を対象に、「ESD 講座」を開催し、ESD に関する基本的な研修を行うとともに、ユネスコスクールとしての市立学校10年間の歩みについて共通理解を図りました。
- 3 7月28日(金)に「ユネスコスクール・SDGs/ESD 交流会」を開催しました。学校関係者、市内企業・各種団体、市職員、学生など131人の参加があり、「未来の大牟田について語り合い、学び合い、つながろう!」のテーマのもと、課題解決に向けた意見交換を行いました。会の最後に、福岡教育大学の石丸哲史副学長により全体総括が行われました。
- 4 SDGs/ESDに取り組んでいる学校や地域との交流を進めました。
- (1) 世界遺産学習の一環として、駛馬小学校と荒尾市立万田小学校・北九州市立花尾小学校・中間市立中間東小学校が、環境学習の一環として吉野小学校と気仙沼市立鹿折小学校が、作品交流として、大牟田特別支援学校と新潟県見附市立見附特別支援学校が学校間交流を行いました。また、みなと小学校・天領小学校・天の原小学校と佐賀県玄海町立玄海みらい学園が「宝の海プロジェクト」に関する交流を行いました。なお、同プロジェクトでは、台湾の小学校とオンライン交流を行いました。学習している内容について、お互いに発表し合い、意見の交流等を行いました。
- (2) 「RCE 大牟田」として、R6年2月に横浜市内で開催された会議に出席し、国内及び世界の RCE と交流しました。
- 5 本市の SDGs/ESD に対する理解促進のため講座やイベント等を行いました。
- (1) 5月19日(金)に生涯学習支援センターにおいて、市民協働部の社会教育関係職員を対象に研修会を開催し、15人が参加しました。また、7月27日(木)に中央地区公民館において、9月30日(土)に生涯学習支援センターにおいて、市民を対象とする講座を開催し、それぞれ15人と6人が参加しました。
- (2) 市内の商業施設「イオンモール大牟田」において、ESD に関する展示を常時行いました。10月7日(土)に同施設で開催されたイベントでは、天領小学校児童が ESD の取組を発表するとともに、同小児童と「まこパーティー」さんが、SDGs オリジナル楽曲「未来へ繋ぐストーリー〜SDGs で変わる大牟田の未来」が披露しました。
- (3) 5月11日(木)に帝京大学福岡医療技術学部からの、11月23日(木・祝)に九州産業大学からの要請に応じて、本市の SDGs/ESD の取組に関する講義を行いました。それぞれ、304人と24人の学生が出席しました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	1,765 千円 千円)				1,765

問題点及び課題

各学校の地域や児童生徒の実態をふまえ、市民団体や地元企業、団体等とさらに連携し、各学校が目指す SDGs の達成に向けて、ESD の充実を図る必要があります。また、小中一貫教育を見通した SDGs/ESD を推進するため、中学校区内の学校間で教育課程についての協議を進める必要があります。その上で、各学校の ESD をマネジメントする教員を今後も養成する必要があります。

今後の方向性（具体策）

広く市民や企業、団体等を巻き込みながら、官民連携、学社連携を推進し、その取組を「ユネスコスクール・SDGs/ESD 交流会」や「ユネスコスクール・SDGs/ESD 子どもサミット」で共有し、学習の充実を図ります。

各校区の特色を生かして、地域人材を巻き込んだ実践を進めるとともに、グローバルな視点からの教育活動を展開していきます。

評 価

新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類相当から5類になり、体験活動も徐々に再開され、ウィズコロナの下で、取組が展開することができるようになりました。教育委員会が学校と様々な団体とをつなぐ取組を進め、少しずつ成果も上がっています。今後も、各学校の主体性を大切にして、学校や地域の特色を踏まえた ESD の充実を図るとともに、地域に根付いた SDGs/ESD の取組を進めていきます。

令和5年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課)

事業名	小中一貫教育推進事業（31ページを参照）				
	基本施策：I 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開				
	主要施策：4 各学校における特色ある教育活動の推進				

目的
市立の小学校と中学校に、順次、小中一貫教育制度（原則として併設型）の導入を進め、義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある指導により、児童生徒の学力向上や心身の健全な育成、「中1ギャップ」や不登校の解消を目指します。また、校区の小・中学校がより密接な関係を築き、教育内容・活動の充実を図ることで、教職員の指導力の向上を図ります。さらには、学校・家庭・地域の「つながり」を深め、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を推進します。

事業内容
1 宮原中学校区内の小・中学校（宮原中学校・駿馬小学校・天の原小学校・玉川小学校）に小中一貫教育制度を本格導入するとともに、導入効果の検証等を行います。 2 宅峰中学校区内の小・中学校（宅峰中学校・大牟田中央小学校・みなと小学校・天領小学校）と松原中学校区内の小・中学校（松原中学校・大正小学校・中友小学校）において、R7年度の本格導入に向けて、義務教育9年間を見通した教育課程に基づき制度の試行等を行います。 （1）教育課程の検証と見直しを行うための検討会を開催します。 （2）外部講師を招へいし、小中一貫教育における学習内容についての拡大校内研修会を開催します。 （3）「地域とともにある学校」の実現のため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置するとともに、地域学校協働活動推進員を配置します。 （4）生徒指導面の課題への対応や家庭への支援のため、中学校区に専任のスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置します。 （5）制度導入に対する理解が得られるよう、保護者等を対象とする説明会を開催するとともに、資料を作成し配布します。 3 全小中学校において、小・中学校相互の授業公開や小中学校合同による教職員研修等の小中連携・小中一貫教育の取組を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
小中連携・小中一貫教育の取組実績	目標値(回)	63	63	64	80	小・中学校相互の授業公開や中学校が実施する小学校との合同研修の回数（H30年度実績値・62回）
	実績値(回)	74	77	80	85	
	達成度(%)	117.5	122.2	125.0	106.3	

取組実績
1 宮原中学校区内の小・中学校では、教育目標と目指す児童生徒像を共有し、9年間を見通した教育課程や校務分掌の編成を行い、魅力ある学校づくりに取り組みました。 （1）R4年度から配置している専任の地域学校協働活動推進員を活用し、学校と家庭・地域が協働して学校運営に取り組む体制を整えました。また、学校運営協議会において、学校運営や学校支援活動等に関する協議（第1回：5月26日（金）、第2回：11月7日（火）、第3回：2月19日（月））を行いました。 （2）学校と家庭・地域との連携として、駿馬小学校・天の原小学校・玉川小学校において、地域学校協働活動推進員が調整等を行い、地域住民や保護者等が中心となって、第三水曜日を除く毎週水曜日の午後に子どもたちを預かり、家庭学習や体験活動を行う「放課後子ども塾」等がR5年度から開設されました。 （3）児童生徒の交流として、中学1年生が母校の小学6年生に学校生活を直接説明する「ようこそ先輩」を5月2日（火）に実施し、小・中学校の円滑な接続を図っています。また、10月12日（木）に開催された宮原中学校の体育祭の競技に宮原中学校区の各小学校6年生が参加して交流を深めました。さらには、宮原中学校区の全児童生徒が保護者や地域の方々と一緒に小学校区の清掃活動を11月30日（木）に行いました。 （4）教職員の連携として、宮原中学校区内の小・中学校の代表者による「M-HAT会議」を月に1回程度開催し、9年間を見通した教育課程の編成及び実施のための具体的な取組に関して協議しました。また、学期に1回程度、小・中学校の授業を互いに参観し、中学校の教員が小学校の授業にティームティーチングのT2（全体の授業を進める役割を担う教員（T1）を補助したり、特定の子どもへの支援などを行ったりする教員）として関わるなどの、相互の乗り入れ授業等の内容について協議しました。

- (5) R4年度から配置している専任のSSWを活用し、支援が必要な児童生徒や家庭に対して各学校が連携し継続的な支援を行いました。
- 2 宅峰中学校区内の小・中学校（宅峰中学校・大牟田中央小学校・みなと小学校・天領小学校）と松原中学校区内の小・中学校（松原中学校・大正小学校・中友小学校）において、R7年度の本格導入に向けて、義務教育9年間を見通した教育課程に基づき制度の試行等を行いました。
- (1) 定期的（毎月1回程度）に教職員の研修会（教育課程編成、学力向上、不登校対策等）を実施しました。
- (2) 夏季休業期間中（8月23日（水））に宅峰中学校区・松原中学校区において、地域学校協働活動推進員を講師として小中一貫教育に関する研修会を実施しました。
- (3) 宅峰中学校区・松原中学校区に専任の地域学校協働活動推進員を配置し、9年間を見通した教育課程編成や各小・中学校区における地域と学校の協働体制の仕組みづくりを行いました。
- (4) 宅峰中学校区・松原中学校区に専任のSSWを配置し、支援が必要な児童生徒や家庭に対し、各学校が連携して、小学校段階から中学校段階までの継続的な支援を行うことができました。
- (5) 宮原中学校区・宅峰中学校区・松原中学校区の小中一貫教育の取組を周知する啓発資料を作成し、関係学校等に配布しました。
- 3 全中学校区において、定期的に、教職員の研修会（学力向上部会、生徒指導部会等）、合同授業研究会や児童生徒の連携による取組の交流等を実施しました。

決 算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額	25,105 千円		641		112	24,352
（次年度への繰越	千円）					

問題点及び課題

小・中学校における各教科の系統的な教科指導の充実を図る乗り入れ授業の内容や方法の検討、中学校進学後の「中1ギャップ」の解消、生徒が自己肯定感を高めることができるような取組などを進める必要があります。

今後の方向性（具体策）

R5年度から制度を本格導入した宮原中学校区において、引き続き「M-HAT会議」や授業参観後の研修会において具体的な取組についての協議を進めます。また、R5年度から試行的に小中一貫教育制度を導入した宅峰中学校区と松原中学校区において、専任の地域学校協働活動推進員及びスクールソーシャルワーカーの活用により、学校と家庭・地域をつなぎ、協働体制の仕組みづくりを引き続き推進します。さらに、R6年度から、歴木中学校区と橘中学校区において、試行的に小中一貫教育制度を導入します。

評 価

R5年度に制度を本格導入した宮原中学校区において、学校運営協議会の設置、専任の地域学校協働活動推進員及びスクールソーシャルワーカーの活用などにより一定の成果が得られました。その成果を参考に、当初の計画どおりR5年度から、宅峰中学校区と松原中学校区において試行的に制度を導入することができました。

今後も、中学校区単位での教育活動の充実を図るとともに、学校と家庭・地域のつながりを深める取組を推進します。

令和5年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	「学びに向かう力」育成推進事業（35ページを参照）					
	基本施策：Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる					
	主要施策：1 確かな学力の育成					

目的 本市のこれまでの学力向上の取組の成果と児童生徒の学習状況等を踏まえて、児童生徒一人一人の学力の実態に応じた指導体制の充実強化を図り、基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度などの確かな学力を育成します。						
事業内容 1 小・中学校が実施する補充学習や強化学習に「スタディサポーター」を派遣し、個に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。 2 小・中学校が実施する学力向上に関する校内研修等に「学力向上アドバイザー」を派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行います。 3 各学校や小・中連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。 4 各学校が日々の授業づくりや学力向上プランの充実を図り、学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」を実践できるようにするため、教職員を対象とする学力向上実践報告会を開催します。						
指標名	目標値等	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
全国学力・学習状況調査の標準化得点	目標値	—	—	前回調査を上回る	100 以上	小学6年生と中学3年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査の標準化得点（全国平均を100とする）を全国平均以上にすることを目標とします。
	実績値	—	小：95.3 中：92.8	小の算数のみ達成	小：95.9 中：89.1	
	達成度（%）	—	—	—	—	

取組実績 1 各小・中学校が実施している個に応じたきめ細かな補充学習や強化学習等を支援するため、学校からの要請に応じて、「スタディサポーター」を合計48人、3,229時間派遣しました（いずれも延べ数）。この派遣は通年実施しました。派遣先は全ての小・中学校で、学校ごとの派遣人数は、学校の状況に応じて1人又は2人でした。 2 小・中学校が実施する学力向上に関する校内研修等に「学力向上アドバイザー」を派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行いました。延べ24人のアドバイザーにより、主として若年教師の授業力向上を目指した取組を行いました。 学力向上に関する校内研修等を行う小・中・特別支援学校に指導主事を派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行いました。また、学力向上に向けた指導主事訪問等を全学校に対し実施しました。 校長会や教頭会、教務担当者会、校内研究担当者会において、毎回、学力向上に関する資料を提供したり、講話を行ったりして、市全体として学力向上を目指す機運を高めました。さらに、中学校の教科部会では、大牟田市の学力に関する資料をもとに、各教科担任が授業改善に向けた協議を行いました。 3 大牟田地域教育力向上推進協議会の取組として、毎月11日を「家庭学習の日」と定め、各中学校区単位で小学校と中学校が連携して、家庭学習強化週間を設定するなどの家庭学習習慣の定着の取組を支援しました。 4 学力向上実践報告会をR6年2月22日（木）に開催しました。報告会では、白光中学校の数学担当教諭による実践発表や協議などを通して、各学校が学力向上に向けて取り組んできたことを市全体で共有し、更なる学力向上に資することができるようにしました。また、小中一貫教育を見据えて、各中学校区での学力向上に向けた協議を校区ごとに行い、これらの発表や協議等を踏まえ、福岡県教育庁南筑後教育事務所主幹指導主事による講評と指導助言をいただきました。						
決 算	国	県	起債	その他	一般財源	
決算額 (次年度への繰越)	3,315 千円 千円)		255			3,060
問題点及び課題 国、県、市の学力調査等の結果によれば、国語・算数・数学の記述式問題や活用問題において課題が見られます。 全国学力・学習状況調査の結果によれば、ネット動画の視聴時間やゲームをする時間が全国平均より長く、かつ、家庭学習の時間が短く、学力向上に向けて改善すべき要素となっているだけでなく、基本的な生活習慣の定着の上でも課題となっています。						

今後の方向性（具体策）

児童生徒の「個別最適な学び」を進めるため、AI を搭載したタブレット端末で利用できるドリル教材や学習支援アプリを導入し、授業や家庭学習で活用します。

小・中学校が実施する補充学習や強化学習に「スタディサポーター」を派遣し、個に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。

「主体的・対話的で深い学び」を各学校が実践できるよう、教職員研修を実施するとともに、指導主事を全ての学校に派遣し、更なる授業改善を進めます。また、教育研究所における若手教員のグループによる授業の進め方に関する研究など、教員間のネットワーク構築に資する取組を行います。

各学校や小・中学校の連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。

学力調査で測定できる学力の向上とともに、全ての教育活動を通して非認知能力の向上にも取り組みます。

学力調査における平均点の向上とともに、前年度より学力を向上させた「個の人数」の増加に取り組みます。

評 価

指標である全国学力・学習状況調査の標準化得点を全国平均（100）以上とすることはできませんでした。今後、授業改善はもとより、非認知能力の向上や家庭学習習慣の定着等に向けた取組などを進め、学力向上を図ります。

令和5年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校再編推進室、学校教育課、学務課)

事業名	学校再編整備推進事業（47ページを参照）				
	基本施策：Ⅲ 学校教育環境の充実				
	主要施策：1 学校再編整備の推進				

目的
市立学校においては、児童生徒数の減少により複式学級編制への対応や学習活動への特別な工夫を要する小規模校が増加するなど、解決すべき課題が生じています。 長期的展望に立ち、責任ある教育行政の確保の観点から学校の小規模化に対応した学校再編整備を行うことにより、各学校におけるクラス替えの実施、中学校の教科指導体制の充実、部活動の活性化など、児童生徒の教育環境の向上を目指します。

事業内容
1 市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画（計画期間はR3～9年度。以下「第2期実施計画」といいます。）の推進 (1) 第2期実施計画の周知 - 第2期実施計画を保護者、地域組織等に周知します。 (2) 歴木中学校・田隈中学校（羽山台小学校区・三池小学校区）・白光中学校（白川小学校区）の再編 - R7年4月の新校開校に向けた取組を進めます。 - 歴木・田隈・白光中学校再編協議会を設置し、新校の校名案、通学路の安全対策等、開校に必要な事項を協議します。 (3) 橘中学校・田隈中学校（銀水小学校区）・甘木中学校（倉永小学校区）の再編 - R7年4月の新校開校に向けた取組を進めます。 - 橘・田隈・甘木中学校再編協議会を設置し、新校の校名案、通学路の安全対策等、開校に必要な事項を協議します。 (4) 再編後の新校となる歴木中学校及び橘中学校の校舎等の施設整備を行います。 (5) 第2期実施計画における進捗整理及び今後の学校再編整備についての検討 - 中友小学校と明治小学校の再編、白川小学校と平原小学校の再編、義務教育学校及び夜間中学について「大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会」へ諮問を行います。 2 上内小学校及び玉川小学校における小規模特認校制度の運営 (1) 小規模特認校制度を運営し、複式学級編制の解消など、課題への対応を行います。

指標名	目標値等	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
学校再編に対する地域の理解と協力（学校再編協議会の設置数）	目標値	—	—	—	2	歴木中学校・白光中学校・田隈中学校・橘中学校・甘木中学校の5校を3校に再編することを目指し、R5年度に2つの学校再編協議会を設置
	実績値	—	—	—	2	
	達成度（%）	—	—	—	100	

取組実績
1 市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画（計画期間はR3～9年度。以下「第2期実施計画」といいます。）の推進 (1) 第2期実施計画の周知 第2期実施計画の周知を図るため、小・中・特別支援学校の児童生徒や幼稚園・保育園児の全保護者に計画概要版を配布しました。また、再編に関係する14小学校区のまちづくり協議会等の町内公民館や自治会などに、計画概要版の回覧の依頼を行うとともに、関係機関等に計画の説明等の周知を行いました。 (2) 歴木中学校・田隈中学校（羽山台小学校区・三池小学校区）・白光中学校（白川小学校区）の再編 歴木・田隈・白光中学校再編協議会を6月に設置し、8回の会議を開催しました。再編協議会では、新校の校名案の選考、通学路の安全対策の協議及び現地視察、学校施設整備の要望等を行い、概ね計画通り準備を進めています。 (3) 橘中学校・田隈中学校（銀水小学校区）・甘木中学校（倉永小学校区）の再編 橘・田隈・甘木中学校再編協議会を6月に設置し、8回の会議を開催しました。再編協議会では、新校の校名案の選考、通学路の安全対策の協議及び現地視察、学校施設整備の要望等を行い、概ね計画通り準備を進めています。また、再編に伴う橘中学校の施設整備について、地域への説明を行いながら関係部局等との協議を行い、課題等の整理に取り組みました。 (4) 再編後の新校となる歴木中学校及び橘中学校の校舎等の施設整備を行います。 歴木中学校は、既存校舎の管理棟及び教室棟の内外部の改修工事を行い、予定していた工事が終了しました。また、R6年度発注予定の体育館改修工事等の実施設計が完了したところです。

橘中学校は、既存校舎の教室棟の内外部改修が完成し、R5年度から6年度にかけて実施する校舎増築工事に着手しました。

(5) 第2期実施計画における進捗整理及び今後の学校再編整備についての検討

第2期実施計画を実施するに当たり、同計画における進捗整理及び今後の学校再編整備について、R5年6月に「大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会」に諮問を行い、8月に答申を受けました。

教育委員会としては、中友小学校・明治小学校再編の計画見直し、白川小学校・平原小学校再編の次期計画での検討、松原中学校区の義務教育学校設置の検討、及び松原中学校区内に夜間中学のR6年4月開校を目指すとともに、2月に「学びの多様化学校」の指定を受けました。

2 上内小学校及び玉川小学校における小規模特認校制度の運営

上内小学校においては、H24年度から小規模特認校制度を導入したことにより、H24・25年度に生じた複式学級編制は、H26年度以降は解消しました。その後、R3・4年度は2・3年生が複式学級編制の対象となりましたが、複式解消加配の教員配置により、実際に複式学級編制となることはありませんでした。R5年度は4・5年生が複式学級編制となりましたが、小規模特認校制度を継続することで今後は解消するよう努めました。

玉川小学校においては、R4年度に2・3年生が複式学級編制の対象となりましたが、複式解消加配の教員配置により、実際に複式学級編制となることはありませんでした。R5年度から小規模特認校制度を導入し、複式学級編制の回避に努めました。

また、小規模特認校制度の市民への周知を図るとともに、「広報おおむた」等で入学児童の募集を行いました。

決 算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額	1,011,658 千円	208,791		751,100	20,000	31,767
(次年度への繰越)	40,918 千円)					

問題点及び課題

学校再編の実施に当たっては、保護者や地域等の理解・協力を得ることが重要であるため、丁寧な説明を行い定期的に周知を行う必要があります。

また、再編後の白銀・御木中学校のアンケート調査等により、再編の効果の検証が必要です。

今後の方向性（具体策）

市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画について、引き続き保護者や地域等に実施計画の内容の周知を行うとともに、R7年4月の新校開校に向け、R5年度から「橘・田隈・甘木中学校再編協議会」及び「歴木・田隈・白光中学校再編協議会」を設置・運営し、新校の開校に必要な事項の協議を行っています。

R6年度は、協議会で校歌、校章等の決定のほかPTA組織の再編等について協議を行い、教育委員会では、協議会の運営と合わせ橘中学校、田隈中学校及び歴木中学校の開校式並びに、白銀中学校及び御木中学校の開校式の準備を行います。

施設整備について、歴木中学校は、R6年度に校舎の第3期工事及び体育館の改修工事を実施します。橘中学校は、R6年度に校舎増築及び擁壁築造工事を行います。併せて、多目的棟や外構等の基本・実施設計を進め、体育館の新築工事や校舎の第2期工事を発注する予定です。白光中学校は、R6年度に校舎改修工事（第1期・第2期）及び体育館改修工事等に係る実施設計に着手します。

また、上内小学校及び玉川小学校については、小規模特認校制度の運用による複式学級を解消するため、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、今後も引き続き小規模特認校制度を継続していきます。上内小学校では、3・4年生で複式学級が発生しましたが、R7年度には解消する予定です。同制度を運用しても、なお複式学級の解消が困難である場合は、学校再編について改めて協議に入ることとします。

評 価

市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画に基づき、橘・田隈・甘木中学校再編、歴木・田隈・白光中学校再編に向けた準備を進めています。R7年4月の新校開校に向けて引き続き取り組んでいきます。

令和5年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業（54・55ページを参照）				
	基本施策：Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり				
	主要施策：1 安心して学べる学校づくり				

目的

スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）が有する社会福祉の専門的知識・技術を活用して、不登校児童生徒とその保護者等への支援をはじめ、教育相談の充実を図ります。また、教師の対人援助力の向上、子どもの自己肯定感や自尊感情を高める取組等を行い、学校の相談体制を支援することで、不登校を生まない、児童生徒が安心して登校できる学校づくりを目指します。

事業内容

- 1 教育相談室にＳＳＷを配置し、関係機関とのネットワークを活用した支援や、学校、家庭等への訪問を行うなどにより、不登校等の事案の解決や改善を図ります。また、特に複雑で深刻な事案については、大学等の高度な専門機関と連携し、その知見を活用しながら、解決や改善を目指します。
- 2 学校の相談体制の支援のため、事業の推進校に指定した橘中学校において、ＳＳＷの専門的知識・技術を活用し、次のことに取り組みます（Ｒ４年度に引き続き２年目）。
 - (1) 教師の対人援助力の向上や不登校の早期発見・早期対応の具体的な手立てに関する研修会を開催します。
 - (2) 教師とＳＳＷの協働による、子どもの自己肯定感や自尊感情を高める授業づくりを行います。
 - (3) 個々の不登校等の事案に係る相談対応の実施や関係機関とのケース会議等を開催します。
 - (4) 児童相談所や福祉事務所等の関係機関との連携を強めるためのネットワークの構築を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
ＳＳＷが関わることで解決又は好転した事案の割合	目標値（％）	78.0	78.0	78.0	78.0	複雑かつ深刻な内容の相談や問題行動が増加する中であっても、その解決や改善に向けて取り組んでいく必要があります（H30年度実績値：78.1％）。
	実績値（％）	78.2	78.6	78.6	82.1	
	達成度（％）	100.3	100.8	100.8	105.3	

取組実績

- 1 教育相談室にＳＳＷを配置し、学校からの要請に基づいて、児童相談所や医療機関などの関係機関とのネットワークを活用した支援や、学校、家庭等への訪問を行うなどにより、問題行動等の事案の解決や改善を図りました。特に複雑で深刻な事案については、大学などの高度な専門機関と連携し、その知見を活用しながら、解決や改善を目指しました。この連携に係る研修会を6月9日（金）、9月8日（金）、12月8日（金）に実施し、それぞれ、ＳＳＷや教育相談室相談員が参加しました。Ｒ５年度は、講師として福岡県立大学准教授の奥村賢一氏を招へいしました。
- 2 学校相談体制の支援のため、事業の推進校に指定した橘中学校において、次のことに取り組みしました。
 - (1) ＳＳＷが講師となり、教師の対人援助力の向上や不登校の早期発見・早期対応の具体的な手立てに関する研修会を４回開催し、各回約２０人の橘中学校職員が参加しました。この研修会の成果を生かして、教師が「子どもとの対話」を重視した生徒との関わり方の工夫改善に取り組みしました。
 - (2) 教師とＳＳＷの協働による、子どもの自己肯定感や自尊感情を高める体験型ワークショップを取り入れた授業づくりを２０回行いました。その結果、Ｒ４年度に続いて社会参加型のプロジェクトが生まれ、子どもの思いや考えを具現化することを学ぶとともに、自ら考え決定する力を育むことができました。Ｒ５年度は、対話活動を重視して、「地域の居場所づくり」について生徒たちが協議を重ねてきました。ゲストティーチャーとして、デザイナーや建築家、地域の方々にも参加していただき、子どもの社会的自立に向けた取組を行いました。
 - (3) 個々の不登校等の事案について相談対応を実施するとともに、関係機関とのケース会議等を適宜開催しました。その結果、橘中学校の不登校生徒のうち、専門的な機関による支援が必要な生徒を、児童相談所、医療機関、相談機関などにつなぐことができました。
 - (4) 全国的な傾向と同様に、本市の不登校生徒数は年々増加しています。また、その背景は複雑化・多様化しており、個に応じた最適な支援を行うためには、それぞれの生徒がどのような環境に置かれていて、どのような支援が必要かの「見立て」が重要なポイントとなります。ＳＳＷは、市役所関係部局、児童相談所や福祉事務所等の関係機関との連携を強めるためのネットワークの構築を進め、「見立て」を踏まえた最適な支援に取り組みしました。子ども支援ネットワークにも参加し、教育委員会と他部局、他機関との情報連携や行動連携も行いました。

決 算			国	県	起債	その他	一般財源
決算額	13,764	千円		1,866		20	11,878
(次年度への繰越							
千円)							
問題点及び課題							
相談内容は、年々、多様化・複雑化しており、教育委員会だけではなく様々な関係機関等と連携して、個々のケースによりきめ細かな対応ができるよう、相談体制の充実を図る必要があります。 S S Wが、その専門性を生かして、児童生徒を取り巻く様々な課題の解決を行うためには、小学校と中学校の垣根を越えた様々な対応が必要となります。							
今後の方向性（具体策）							
児童生徒一人一人の状況に応じたきめ細かな対応ができるよう、相談体制を充実させるとともに、S S Wと関係機関との更なる連携を図ります。R 6 年度からは、小中一貫教育推進事業におけるS S W配置の部分を本事業に統合し、教育相談充実事業として、S S Wの所管を一元化します。その上で、これまでの宅峰中学校区、宮原中学校区及び松原中学校区に加え、白光中学校区、橘中学校区、甘木中学校区にも専任のS S Wを配置し、中学校区内の小学校と中学校に対する支援が一層円滑にできるようにするとともに、小学校と中学校が一体的な対応をとりやすい体制を構築し、関係諸機関との更なる連携を進めます。加えて、宅峰中学校ほしぞら分校（夜間中学）と大牟田特別支援学校にもS S Wを配置します。							
評 価							
小中一貫教育推進事業で配置したS S Wと合わせた配置拡充により、支援が必要な児童生徒や家庭を関係諸機関につなぐことができるケースが増え、個に応じた対応がとりやすくなりました。中学校区にS S Wが常駐していることで、様々な課題を発見しやすくなるとともに、早い段階で介入したことにより、重い課題になる前に対応することができました。特に中1ギャップの軽減には有効でした。また、引きこもりの傾向があった児童生徒にS S Wが対応したことで、引きこもりが改善し、教育支援センターに通えるようになるなど、不登校状態から学びの場に復帰する児童生徒の割合が向上するようになってきました。さらには、S S Wの配置を年々拡充させてきたことも、解決や好転した事案が増えた要因であると考えられます。 今後も、スクールソーシャルワーカースーパーバイザーを中心として、S S W自身の専門的知識・技術の研さんを図るとともに、児童生徒や家庭の課題や特性に応じた支援の充実を図っていきます。							

令和5年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：人権・同和教育課)

事業名	人権・同和問題啓発事業（62・63ページを参照）				
	基本施策：V 人権に関する教育・啓発の推進				
	主要施策：1 人権・同和教育の推進				

目的						
学校、家庭、地域、職場など日常生活のあらゆる場を通して、市民一人ひとりが人権・同和問題を自らの課題として捉え、人権・同和問題に対する理解と認識を深めながら、「差別をしない」から「差別をなくす」取組を進めていくことにより、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指します。						
事業内容						
「第2次大牟田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、市民の人権・同和問題に対する理解と認識を深めるための学習・啓発事業を実施します。						
1 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）の趣旨を踏まえて、「人権・同和教育講演会」を開催します。						
2 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）及び人権週間（12月4日～10日）の期間中に市内商業施設等において、市・県関係者、人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施します。						
3 人権意識の向上のため、地区公民館において「人権学習会」を開催します（4回を予定）。						
4 職場で行われる研修会等に講師を派遣するほか、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための啓発資料（DVDや図書等）の案内を行うとともに、「広報おおむた」や「愛情ねっと」等に啓発記事や啓発事業の案内を掲載するなど、情報提供の充実を図ります。						
指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値(%)	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。 (H30年度に実施した諸事業の参加者アンケートでの回答割合96.5%を踏まえて設定。)
	実績値(%)	93.4	93.1	91.0	92.6	
	達成度(%)	93.4	93.1	91.0	92.6	

取組実績						
1 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）にあわせて、部落解放同盟筑後地区協議会執行委員長の岩本豊さんを講師に招き、「全筑後水平社100周年から考える」と題して、人権・同和教育講演会を7月1日（土）に労働福祉会館で開催する予定でしたが、豪雨による悪天候が予報されていたことから、来場者の安全を考慮した結果、開催を延期することとしました。このため、改めて R6年2月24日（土）に大牟田文化会館で開催したところ、74人の参加があり、人権尊重意識の醸成度は87.3%でした。 2 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）直前の6月29日（木）及び人権週間期間（12月4日～10日）の12月8日（金）に、ゆめタウン大牟田において、市長・議長・教育長をはじめ市・県関係者及び人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施しました。 3 人権・同和問題に対する正しい認識と理解を深めるため、6月2日（金）、9月29日（金）、11月17日（金）及びR6年2月2日（金）に地区公民館において、「炭坑と人権～与論島から来て大牟田の礎を築いた人たち～」と題して、大牟田市人権・同和教育研究協議会の研究員を講師に人権学習会を開催したところ、107人の参加があり、人権尊重意識の醸成度は96.8%でした。 4 啓発用DVDについては貸出しを49件行い、企業の職場等における自主研修に活用されました。また、企業の職場等における研修会には、講演依頼等に基づき35回の講師派遣を行い1,514人の参加がありました。						
決 算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越	337 千円 千円)		161			176
問題点及び課題						
人権や同和問題等に対する理解と認識を深めるためには、初めて参加する人の割合を増やすことが重要となってきます。講演会等のアンケート結果において、初めて参加した人の割合は、人権・同和教育講演会は9.1%、人権連続講座では13.0%となっており、参加者が固定化している状況が見られます。						
今後の方向性（具体策）						
諸事業を開催するには、その趣旨を踏まえ、深く掘り下げた内容とする一方、誰もが気軽に参加でき、分かりやすく身近な問題をテーマとして、広く市民を対象として開催することも重要となってきます。そのためには、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページのほか、愛情ねっと、公式 LINE 等を活用し、民生委員・児童委員協議会等の各種団体に直接働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。						
評 価						
参加者アンケートによる醸成度は、人権・同和教育講演会では約9割、また、人権連続講座では9割を超えており、講演会等の内容は参加者に伝わったものと思われます。						
今後も、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して取り組んでいきます。						

基本施策Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開

持続可能な社会の創り手をはぐくむ教育であるE S Dをさらに推進するほか、英語教育の充実、世界遺産学習や海洋教育の推進、I C Tの活用、義務教育9年間を見通した小中一貫教育の一層の充実、学び直す教育の機会の確保などの特色ある学校教育を展開します。

主要施策1 E S Dの推進

持続可能な社会の創り手として、自分にできることについて考え、実践できる児童生徒を育成するため、ユネスコスクールである全ての市立学校において、世界遺産学習や、環境、国際理解、福祉などのE S Dを推進するとともに、市内外へのE S Dの普及・啓発に取り組みます。

【主な事業】

●未来を創るE S D推進事業〔指導室〕（14・15ページを参照）

○人と未来と世界をつなぐ海洋教育推進事業〔指導室〕

（1）海洋教育推進校が行うカリキュラム開発等の研究の支援

本市の海洋教育推進校（以下「推進校」）の公開授業やカリキュラム開発のために指導主事を派遣したり、学習交流会に講師を招いたりする等の支援を行いました。

（2）推進校が行う公開授業や研究成果の発信、研究紀要の作成の支援

推進校の公開授業や研究成果の発信・交流の支援や、推進校と佐賀県の海洋教育推進拠点の学校の児童、台湾の児童との学習成果の発表と交流を行いました。

（3）推進校と関係機関との連携の支援

推進校が行う校外学習にゲストティーチャーを紹介する等、関係機関との連携を支援しました。

○ユネスコスクール支援センターを活用したE S Dの推進

「ユネスコスクール支援センター」に専属職員1名を配置し、関係機関等との連携、E S Dに関する資料収集を行うとともに、各学校へユネスコスクールの情報を発信しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
E S Dを通じた地域や世界への貢献の意識	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90％以上を目指します。 〔現状値：89.7％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	91.0	91.7	91.2	92.1	
	達成度（％）	101.1	101.9	101.3	102.3	

【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、自校の教育目標の達成を目指し、地域の特色や児童生徒の発達段階をふまえて、E S Dの取組を推進しました。R 5年度は、地域素材の教材化に重点を置き、中学校区ごとに小中連携のもと、地域の「ひと」「もの」「こと」を共有し、地域のステークホルダーを巻き込んだ実践を多く実施しました。そのプロセスで、「自分たちが地域のためにできること」を児童生徒一人一人が考え、その実現のためには何をどのようにすればよいのかについて、具体的な対話を通して交流を深めていきました。その結果、地域が抱えている課題を「自分ごと」と

してとらえることができ、地域への貢献の意識が高まったと考えられます。

一方で、様々なゲストティーチャーを活用して、小学校高学年や中学校では、国際的な課題をふまえた学びが広がっていきました。R 5年度は、ウクライナ紛争やガザ侵攻など児童生徒の目に国際問題が触れることが多くあり、また、マスメディア等でSDG sが取り上げられることが多かったことから、海外支援や平和に対する意識が高まったと考えられます。

このような各学校の実践を掲載した「SDG s日めくりカレンダー」を作成して各学校に配布するとともに、「SDG sおおむたマップ」を改訂し、児童生徒や保護者、市民への啓発を行いました。また、R 5年度は、従前から実施している大牟田地域教育力向上推進大会とESDの学習成果の発表の場である「ユネスコスクール・SDG s／ESD子どもサミット」を同日開催とし、学習内容についてステージで発表するとともに、各学校がR 5年度に実践したことをパネルにまとめて展示し、広く青少年健全育成に関わる方々にも児童生徒の学習成果を見ていただきました。

さらに、各学校が実施した「大牟田市ユネスコスクール週間」の学習発表会等において、児童生徒は、自分たちの取組の意義やよさを実感することができました。

加えて、7月に実施した「ユネスコスクール・SDG s／ESD交流会」では、学校関係者、市内企業・各種団体、市職員、学生などが131人参加し、「未来の大牟田について語り合い、学び合い、つながろう！」をテーマとして意見交換を行いました。学校、市役所関係者、企業、各種団体等が、未来の大牟田について語り合うとともに、目指す未来に向けた取組について協議し、SDG sの達成を目指したESDの充実について学び合い、その成果が各学校での実践に生かされました。

これらの取組を通して、児童生徒は、自分たちの取組が地域の人々やこれからの大牟田のまちづくりに役立っていることを実感でき、目標の達成に至ることができたと考えます。また、前述のように、このような地域の課題や国際的な課題を「自分ごと」としてとらえ、自己の生き方を考えていく礎となっています。

【今後の方向性】

R 5年度のESDの取組においては、学校だけではなく、広く市民や企業、団体等を巻き込みながら、官民連携、学社連携を推進した取組が多く見られるようになりました。毎年、各学校においては、地域や児童生徒の実態をふまえたカリキュラムの見直しが図られ、カリキュラムの最適化を進めています。

また、小・中学校では、小中一貫教育が徐々に浸透し、小学校と中学校が同じ教育目標のもとで指導に当たっており、ESDについても発達段階をふまえた取組の系統化が進められています。今後は、その目標の達成に向けて、重点を絞りながら、目指すSDG s／ESDの取組を進めていきます。

主要施策 2 郷土を愛する心の育成

大牟田の歴史や世界遺産をはじめとする文化遺産、地域の伝統や自然についての主体的・協働的な学習を通して、児童生徒に、郷土を愛する心や自ら課題を発見し主体的に解決する力をはぐくむとともに、社会の形成に主体的に関わろうとする心情を醸成していきます。

【主な事業】

○おおむた郷土愛育成事業〔指導室〕

（１）子ども大牟田検定（入門編・基礎編・上級編）の実施

郷土大牟田のよさを児童生徒が知ることができるよう、大牟田の自然や文化、伝統などの「大牟田の宝もの」に関する子ども大牟田検定を２回実施しました。

なお、Ｒ４年度の２回目（通算２４回目）からは、二次元コードやタブレット端末を活用し、オンラインで実施するとともに、端末にスタディログ（学習履歴）が残るようにしています。

学校種、学年等		検定の種類	受検者数（人）	
			１回目（通算２５回目） ８月３１日（木）	２回目（通算２６回目） Ｒ６年１月１２日（金）
小学校	１・２年生	入門編	—	1,478
	３～６年生	基礎編	2,682	2,584
	５・６年生の希望する者*	上級編	515	595
	小 計		3,197	4,657
中学校	全学年（基礎編・上級編の どちらかを選択）	基礎編	1,123	967
		上級編	974	1,053
	小 計		2,097	2,020
合 計			5,294	6,677

※小学校５・６年生は、基礎編・上級編のどちらか１つだけ受検できる。

※児童生徒のほか、３３０人の市民（高校生を含む）も受検した。

○小中学生伝統文化等体験事業〔指導室〕

（１）児童生徒の伝統文化体験の支援

生涯学習課と連携し、音楽や総合的な学習の時間における伝統文化の学習において、学校へボランティア講師を派遣し、児童生徒の体験学習を支援しました。農林水産省が推進している日本茶に親しむ教育「茶育」に取り組んでいる学校もありました。

（２）各学校の読書活動における郷土出身作家作品の紹介・奨励

各学校が実施する読み聞かせ活動や読書週間等の中で、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏の作品を取り上げ、紹介する等の取組を行うよう周知を図りました。本市出身の詩人である道山れいん氏の作品を取り上げ、群読等を行った学校もありました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
郷土大牟田に対する興味・関心	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90％以上を目指します。 〔現状値：89.0％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	92.8	90.8	91.4	90.5	
	達成度（％）	103.1	100.9	101.6	100.6	

【指標達成度に対する要因分析】

各学校では、児童生徒の発達段階を踏まえ、地域の特色に応じた郷土学習を実施しました。その中で、子ども大牟田検定の実施に向けて、「子ども大牟田検定ガイドブック」を授業や家庭学習でも取り上げたり、検定の過去の問題に取り組んだりするなどして、郷土学習の充実を図りました。

その結果、児童生徒は、郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う気持ちが高まり、目標値の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

今後も、地域素材を教材化して、発達段階に応じた郷土学習の実施を進めていきます。また、伝統文化や本市出身の作家等の作品に触れる機会の提供などを通して、さらに、郷土を愛し誇りに思う児童生徒の育成を図ります。

主要施策 3 英語教育の充実

全国に先駆けて取り組んできた本市の英語活動・外国語活動の成果を踏まえ、グローバル化の進展に対応できる人材の育成に向けて、英語教育のさらなる充実を図るとともに、市内外へ本市の取組を発信します。

【主な事業】

○英語教育のまち・OMUT A推進事業〔指導室〕

(1) 小学校での「英語検定チャレンジスクール」の開催

英検に関心がある小学生を対象に「英語検定チャレンジスクール」を開催し、37人が参加しました。

(2) 小学校の外国語科の授業の支援

英語指導のサポートを行う「イングリッシュ・アドバイザー」を小学校に派遣し、外国語科の授業を支援しました。

(3) 英語教育実践資料の学校間での共有

教育委員会と各学校とをつなぐイントラネット内に共有フォルダを作成し、英語教育に関する実践資料の学校間での共有化を進めました。

(4) 英語教育重点推進校による英語教育の研究と実践

英語教育推進重点校に指定した明治小学校及び松原中学校において、ICTを活用した授業を実施し、授業公開を行いました。

(5) 大牟田市動物園との協働による特色ある英語教育の実践

明治小学校及び大牟田中央小学校と大牟田市動物園の協働による児童の興味関心を活かした英語教育を支援しました（11月）。

(6) 英検検定料の一部補助

小学5・6年生の英検5級受験者108人と中学2・3年生の同3級受験者83人に検定料の一部を補助しました。

○外国語活動推進事業〔指導室〕

(1) 小学校へのALT・LGT、中学校へのALTの派遣

小学校にALT（外国語指導助手）やLGT（外国語講師）を、中学校にALTを派遣し、授業や教職員研修の支援を行いました。また、英語教育担当者を中心に、小学校で教科化された英語教育への対応や、小学校から中学校の英語教育への小中連携についての教職員対象の各種研修会等を開催しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
英語の授業の理解度	目標値（％）	85.0	85.0	85.0	85.0	現状値を踏まえ 85％以上を目指します。 〔現状値：84.2％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	88.0	85.3	86.1	85.8	
	達成度（％）	103.5	100.4	101.3	100.9	

【指標達成度に対する要因分析】

英語教育のまち・OMUT A推進事業では、全小学校へのイングリッシュ・アドバイザーの派遣や「英語教育推進重点校」に指定した明治小学校と松原中学校においてICTを活用した授業を実施しました。また、小中合同の授業参観や研修会等により、小・中学校が連携した英語教育の充実が図られました。また、英語検定チャレンジスクールの開催、英検検定料の一部

補助を行ったことで、児童生徒の英語学習に係る目的意識を高めることができました。

小・中学校の英語教育担当者を中心に、小中連携の各種研修会により担当者の指導力の向上が図られるとともに、小・中学校へのALTやLGTの派遣により児童生徒の英語を使う目的意識を高めることができました。

その結果、児童生徒は、英語を学習する目的意識を持つとともに、英語教育担当者の指導力の向上により授業の充実が図られ、目標値の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

本市は、20年以上前から、「聞く」「話す」を中心とする英語に慣れ親しむ教育を小学校低学年から実施してきました。現行学習指導要領の全面実施により、R2年度からの小学校高学年における英語教育の教科化（外国語（英語）科）以後は、それまでの「聞く」「話す」に加え、「読む」「書く」の学習についても充実を図っています。R6年度は、児童生徒全員分のデジタル教科書を整備し、効果的に活用することで、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の総合的な向上を図ります。

また、文部科学省が中学校卒業段階でCEFR※のA1レベル（例：英検3級）相当以上を達成した生徒の割合を5割以上とすることを目指していることを踏まえ、中学生に対する英検受検の推奨を行います。

さらには、英語教育に関する実践資料の学校間での共有化の充実を図るとともに、小中一貫教育を踏まえた英語教育を推進します。

※CEFR：欧州評議会（Council of Europe）が示す、外国語の学習や教授等のためのヨーロッパ共通参照枠。

主要施策 4 各学校における特色ある教育活動の推進

児童生徒の実態や地域の実情に応じ、小学校と中学校の9年間を見通した教育活動の推進や、幼稚園・保育園と小学校、中学校と高等学校の連携、ICTの活用などを通じた学ぶ力の育成など、各学校における特色ある教育活動の推進を図ります。

【主な事業】

●小中一貫教育推進事業〔学校教育課〕（16・17ページを参照）

○公立中学校夜間学級推進事業〔学校教育課〕

（1）公立中学校夜間学級（夜間中学）の設置について

大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会からの学校再編整備に関する答申（8月）の中で、「（夜間中学については）アンケート調査等からも設置する時期にきているのではないかと考えます。なお、設置場所については、第2期実施計画のとおり、松原中学校に設置する方向で進めることが妥当であると考えます。また、『誰一人取り残さない』学びの保障の観点から、昼間の中学校で不登校となっている学齢生徒を夜間中学に受け入れる不登校特例校についても、併せて検討が必要であると判断しました。」との考え方が示されました。このことを踏まえ、松原中学校内に公立中学校夜間学級のR6年4月開校を目指すとともに、文部科学省による「学びの多様化学校」（従前の「不登校特例校」）の指定に向けた手続を進めました。

（2）夜間中学設置に向けた取組

- ・「大牟田市立夜間中学設置基本方針」の策定：10月13日（金）開催の教育委員会第2回臨時会において審議決定
- ・夜間中学校名募集：10月13日（金）～10月31日（火）
- ・大牟田市立中学校設置条例の一部を改正する条例（夜間中学の校名を大牟田市立宅峰中学校ほしぞら分校とする等）：市議会12月定例会において可決
- ・夜間中学入学説明会（3回実施）：12月3日（日）10時からと14時からの2回
12月7日（木）18時30分から
- ・「学びの多様化学校」の指定：R6年2月21日（水）
- ・夜間中学施設見学会：R6年3月2日（土）
- ・夜間中学「ほしぞら分校」名称考案の表彰式と校銘板披露：R6年3月16日（土）

○幼保・小連携の推進〔指導室〕

（1）合同研修会、学校見学、体験授業、出前授業等の実施

小学校の授業を、関係する幼稚園・保育園の職員が参観したり、園児が小学校の授業や行事等に参加したりしました。

3学期に小学校に対して、幼稚園・保育園と小学校の情報の共有についての助言等を行いました。

○中学校の部活動の活性化〔指導室〕

（1）中学校連合音楽会の開催

10月4日（水）に大牟田文化会館において、各中学校が吹奏楽演奏を行いました。

○学校ICT活用推進事業〔指導室〕

（1）大牟田GIGAスクール推進校によるICTの効果的な活用に関する研究と実践

大牟田GIGAスクール推進校に指定した銀水小学校及び田隈中学校において、ICT

の効果的な活用に関する先進的な研究を行い、その成果と課題を各学校で共有し、授業改善に努めました。田隈中学校では、10月31日（火）に研究発表会を行いました。

（２）学習者用デジタル教科書の活用

デジタル教科書（小学校全学年の国語・算数及び中学校全学年の英語）を導入し、その特性を生かした授業を展開しました。

（３）教職員研修会の開催

各教科等の指導における１人１台端末環境を生かしたＩＣＴの効果的な活用等について研修会や授業公開を行い、「主体的・対話的で深い学び」の推進に努めました。

○学校ＩＣＴ活用運営支援事業〔学校教育課〕

- （１）各学校でのＩＣＴの活用が円滑に進むよう、業者委託により、タブレット端末等の操作支援や障害発生時の対応等（ヘルプデスク業務）を行うとともに、タブレット端末等の操作研修を実施しました。

○防災・減災教育推進事業〔指導室〕

（１）教職員研修会の開催

防災・減災教育推進校に指定したみなと小学校において、5月22日（月）、11月21日（火）に、全市立学校の管理職及び安全担当者を対象に防災・減災教職員研修会を開催しました。豪雨時や地震の際の対応について、市の防災危機管理室から講師を招き、研鑽を図りました。児童生徒が自ら考え、行動するための知識・技能等を身に付けたり、教職員全体で学校の安全に取り組む組織づくりや安全で安心な大牟田のまちづくりについて体験的に学ぶ機会となりました。

防災・減災教育推進校がリーフレットを作成して各学校へ配布し、研修の成果を広く共有しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
小中連携・小中一貫教育の取組実績	目標値（回）	63	63	64	80	小・中学校相互の授業公開や中学校が実施する小学校との合同研修の回数（H30 年度実績値・62 回）
	実績値（回）	74	77	80	85	
	達成度（％）	117.5	122.2	125.0	106.3	

【指標達成度に対する要因分析】

中学校区ごとに、年間計画に基づき小中連携による全員参加の研修会や担当者による研修会が行われました。その結果、教育委員会が主催する小中合同の実践交流会において、小学校と中学校が活発に意見交換を行い、研修会が充実しました。

また、宮原中学校区、宅峰中学校区、松原中学校区に配置した常勤の地域学校協働活動推進員が、中学校区内の小学校と中学校を、また、小学校同士を結び付け、地域の人材と学校をつなぐ役割を果たしました。特に宮原中学校区に設置した学校運営協議会においては、年に３回の会議を開いて校区として育てたい児童生徒像を話し合い、小中学校４校の共通した学校教育目標を設定し、日々の教育活動を展開することができました。このような会議に向けた取組も多く開催されました。

【今後の方向性】

今後も、中学校校区ごとの研修会の定期的な実施と内容の充実を図るとともに、教育委員会が主催する各教科担当者会や教育講座等において、小中連携の視点を取り入れていきます。

また、R 5 年度に小中一貫教育制度を本格的に導入した宮原中学校区、試行的に導入した宅峰中学校区、松原中学校区においては、9 年間を見通した教育課程を実施していきます。

宮原中学校区に続き、宅峰中学校区と松原中学校区においても、学校運営協議会の設置に向けた準備を加速させます。また、小中一貫教育制度を本格的に導入した宮原中学校区の成果と課題を整理して、松原中学校区、宅峰中学校区への導入に生かすとともに、歴木中学校区や橘中学校区にも地域学校協働活動推進員を前倒しして配置し、学校運営協議会設置に向けた準備を進め、9 年間を見通して児童生徒を育てる仕組みづくりを行います。

I C T の活用については、銀水小学校と田隈中学校を推進校に指定しており、引き続き実践を進めながら拡大校内研修会等を実施し、情報交換等の機会を設け、研修の充実を図ります。また、必要に応じてヘルプデスクの人材を各学校へ派遣し、授業での活用等について教職員を支援します。

基本施策Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる

「確かな学力（知）」、「豊かな心（徳）」、「健やかな体（体）」を児童生徒にバランスよくはぐくむとともに、その個性や能力を伸ばし、可能性を広げます。また、障害のある児童生徒一人ひとりの状態に応じ、具体的できめ細かな支援や指導の充実に努めます。

主要施策１ 確かな学力の育成

児童生徒が意欲をもって主体的に学び、基礎的・基本的な知識及び技能とそれらを活用する力を確実に身に付けることができるよう、一人ひとりの学力の状況に応じたきめ細かな指導の充実に努めます。

【主な事業】

○教育研究事業〔指導室〕

（１）国、県、市の指定研究

県、市等の研究指定校で学習指導要領の趣旨に沿った指導内容・方法に関する実践的な研究に取り組み、その結果を各学校に広げました。

市研究指定校（研究指定は３年間）

学 校 名	研 究 主 題	教科・領域等
吉野小学校 （３年次）	持続可能な社会について自分の考えを持ち行動する児童の育成 ～３つの対話を位置づけた課題解決活動の工夫を通して～	E S D、総合的な学習の時間
田隈中学校 （３年次）	自ら考え表現できる生徒を育成する学習指導 ～I C Tを効果的に位置づけた授業づくりを通して～	I C T
白川小学校 （２年次）	目的に応じて自分の考えを明確に表現する力を高める学習指導 ～考えを可視化し、再構成する活動を通して～	学校経営
橘中学校 （２年次）	生徒一人一人の自己肯定感を高める学習活動の展開 ～ソーシャルスキルに基づいた居場所づくりを通して～	生徒指導
高取小学校 （１年次）	未来に向けて生きる力を育む特別活動の創造 ～学級・学校・自分づくりに参画するA A Rサイクルを通して～	特別活動
松原中学校 （１年次）	成長期における望ましい生活（食）習慣を身につけた生徒の育成 ～家庭と連携した早寝・早起き・朝ご飯の取組を通して～	食育

（２）教育調査（標準学力検査等）

基礎基本の確実な定着を図る教育課程の編成と実施のため、教育調査を行いました。

①全国学力・学習状況調査

（調査対象 小６：国語・算数・理科、中３：国語・数学・英語）

②全国体力・運動能力、運動習慣等調査（調査対象 小５、中２）※本市は全学年で実施

③福岡県学力調査（調査対象 小５：国語・算数、中１・２：国語・数学）

④大牟田市学力調査

（調査対象 小３：国語・算数、中１・２：国語・社会・数学・理科・英語）

（３）教職員研修会の開催

①市教科研究委員会等の研修として、１０月に授業研究会（教育講座）を開催しました。

②市内小・中・特別支援学校の校内研修会に指導主事を派遣して、新学習指導要領に基づく学習指導について指導・助言を行いました。

③市教育研究所の教育講座は、管理職・教員を対象に以下の研修会を実施しました。

- 研究構想の基本的な構成 6月15日(木)
- 「わかる」「おもしろい」授業って何だろう? 6月26日(月)
- タブレット端末を学習用具として活用しよう! 7月11日(火)
- 研究の検証について 7月27日(木)
- E S D (持続可能な開発のための教育)の基本的な考え 7月31日(月)
- 検証授業をふまえた研究構想の改善 8月 3日(木)
- 検証授業の具体的な進め方 8月17日(木)・9月 7日(木)
- 授業力アップ講座 9月～11月
- 教えて先輩!～魅力ある学級づくりのポイントは? 9月19日(火)
- 配慮を要する子どもへの接し方、見取り方 9月25日(月)
- プレゼンテーションの基本的な構成 10月 5日(木)
- 身につけよう応対マナー 11月20日(月)

④教育研究所研究員による研究について、6月に研究構想報告会、11月に中間報告会、2月に研究報告会を開催し、その成果を各学校へ広めました。

(4) 教育論文の募集と表彰

大牟田市主催教育論文及び福岡県教育論文(教育論文、教育実践)を募集し、個人または共同研究の充実に努めています。

県論文には2件の応募があり、市論文には11件の応募がありました。R6年2月16日(金)に表彰式を行いました。

(5) 実践事例集・研究紀要の作成

学校経営、学校指導等の充実に資するため、研究成果をまとめ、以下の教育資料を作成しました。

①教育研究所研究紀要 ②E S D実践事例集

(6) 科学技術教育振興事業

有明工業高等専門学校との連携事業に取り組み、科学技術教育の振興を図りました。

- ①小中学校対象事業(出前授業) 9講座実施
- ②教職員対象研修事業 1講座実施
- ③その他の連携 12件実施

○少人数学級編制・少人数授業推進事業〔学校教育課〕

(1) 小学校全学年の35人以下学級編制

小学校では、R5年度は県からの加配教員7人を学級担任として活用することで、5校7学年を35人以下学級編制とし、全校全学年で35人以下学級編制を行いました。

(2) 中学校の学校実態に応じた弾力的な35人以下学級編制

中学校では、学校の実態に応じ、弾力的に35人以下学級編制を行っており、R5年度は35人以下学級編制を行った学校はありませんでした。

(3) 少人数授業推進のための非常勤講師の派遣

習熟度別や課題別学習などの少人数授業を実施する場合や、学校が特に学力向上が必要と判断した教科がある場合に、非常勤講師を派遣(小学校9校に10人、中学校3校に3人)することで、個に応じた学習指導を充実させ、学力の向上を図りました。

●「学びに向かう力」育成推進事業〔指導室〕(18・19ページを参照)

○学力向上推進事業〔指導室〕

(1) 各学校の学力向上プランの促進

各学校は、自校の各種調査結果を分析し学力向上プランを作成しました。各学校へ指導主事を派遣するなどして、学力向上プランの効果的な実施に向け、指導内容・指導方法・指導体制等の在り方について指導助言を行いました。

(2) 小・中学校における「授業づくりガイドブック」の活用

小学校、中学校用に「授業づくりガイドブック」を作成し、授業改善に努めました。

(3) 研修会の実施等

県の「ふくおか学力向上推進事業」を活用し、南筑後教育事務所と連携し、学力向上に係る理論研修や授業研修において指導助言を行い、教員の学習指導力の向上を図りました。

○学習指導員等配置事業〔学校教育課〕（新型コロナウイルス感染症対策）

(1) 学習指導員の各学校への配置

児童生徒の「学びの保障」のため、学習指導員を各学校に1人ずつ（合計28人）配置し、補習授業の実施等、教育活動の支援を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
全国学力・学習状況調査の標準化得点	目標値	—	—	前回調査を上回る	100以上	小学6年生と中学3年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査の標準化得点（全国平均を100とする）を全国平均以上にすることを目標とします。（R3年度実績値：小95.3、中92.8）。
	実績値	—	小：95.3 中：92.8	小の算数のみ達成	小：95.9 中：89.1	
	達成度（%）	—	—	—	—	

【指標達成度に対する要因分析】

指標である全国学力・学習状況調査の標準化得点を全国平均（100）以上とすることはできませんでした。ただし、R4年度と比較すれば、小学校の国語・算数、中学校の国語は向上しました。

国、県、市の学力調査等の結果によれば、国語・算数・数学の記述式問題や活用問題において課題が見られます。また、全国学力・学習状況調査の結果によれば、スマートフォン等で動画を視聴したりゲームをしたりする時間が全国平均よりも長く、学力向上に向けてネガティブな要素となっているだけでなく、基本的な生活習慣の定着の上でも課題となっています。

【今後の方向性】

児童生徒の「個別最適な学び」を進めるため、タブレット端末で利用できるドリル教材（小学校…国語・算数・理科、中学校…数学・英語・理科）をR6年度から導入し、授業や家庭学習で活用します。また、タブレット端末を活用した授業を進める際に不可欠な学習支援ソフトを整備します。今後、これらの活用も踏まえて、教育DXを推進します。

小・中学校が実施する補充学習や強化学習に「スタディサポーター」を派遣し、個に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。

「主体的・対話的で深い学び」を各学校が実践できるよう、教職員研修を実施するとともに、指導主事を全ての学校に派遣し、更なる授業改善を進めます。また、教育研究所における若手教員のグループによる授業の進め方に関する研究など、教員間のネットワーク構築に資する取組を行います。

各学校や小・中学校の連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。

県の学力向上強化市町村の取組とも関連させ、学力調査で測定できる学力の向上とともに、全ての教育活動を通して非認知能力の向上にも努めます。

このような取組を通して、学力調査における平均点の向上とともに、学力を向上させた「個の人数」の増加を目指します。

主要施策 2 豊かな心の育成

規範意識や他人を思いやる心情、自然や文化を大切に思う心情や豊かな情操をはぐくむため、道徳教育をはじめ、読書活動や各種体験活動などの充実に取り組みます。

【主な事業・取組】

○道徳教育の充実〔指導室〕

各学校では、道徳教育は、各学校の年間指導計画に基づき、全教育活動を通して行っています。その際、副読本や福岡県の人権教育指導資料「かがやき」、「あおぞら」の活用等の工夫をしながら実施することを指導しました。

○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕

（１）児童会・生徒会リーダーミーティングでの各学校の取組の交流等

７月から８月にかけて、中学校区単位で１回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」を開催し、児童会・生徒会の代表児童生徒が、挨拶運動やメルシーアーチに係る取組の交流や「思いやり・親切」についての意見交換を行いました。２回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」も中学校区単位で１２月から１月上旬に開催し、各学校の８月以降の児童生徒主体の「思いやり・親切」に係る取組の交流と１月以降の取組についての話し合いを行いました。

（２）各学校独自の取組や全校共通の取組

各学校では、友だちを大切にする標語とポスターを作成しました。

（３）児童会・生徒会が中心となって取り組む広報啓発活動

各学校では、１月から２月にかけて、児童会・生徒会による自校の「思いやり・親切」取組を紹介するチラシやポスターを作成し配布しました。

○読書活動推進事業〔指導室・学務課〕

（１）読書感想文コンクールの実施〔指導室〕

児童生徒の読書活動を推進する取組の一つとして、読書感想文コンクールを行いました。自由図書部門と併せ、Ｈ２９年度から引き続き、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏にちなんで「内田麟太郎部門」を設けました。Ｒ５年度の応募の状況は、自由図書部門と内田麟太郎部門を合わせて、小学校４，１３７点、中学校１，４２６点、合計５，５６３点でした。３月に読書感想文の優秀作品を冊子にまとめ、各学校や入選した児童生徒等に配布しました。

（２）学校図書館への司書配置の充実〔学務課〕

読書活動の推進をはじめとする学校図書館機能の更なる充実を図るため、専ら学校図書館の職務に従事する職員として、司書の資格又は司書教諭の資格を有する者を配置しています。

○児童生徒の作品展〔指導室〕

（１）理科展

夏休みの自由研究として小・中・特別支援学校から昆虫植物採集・理科作品研究物等の中から優れた作品が出品され、９月１日（金）～６日（水）にエコサルクセンターにおいて理科展を開催しました。小学校３１０点、中・特別支援学校１１１点、合計４２１点の出品がありました。

（２）小・中・特別支援学校合同作品展

各小・中学校から絵画・版画・彫塑・工作・デザイン・工芸等の作品が、特別支援学校

から児童生徒が日常の学習で制作した作品や日常生活の写真などが出品され、R 6 年 2 月 1 6 日（金）～1 9 日（月）に大牟田文化会館において作品展を実施しました。

○自然体験・社会体験授業の充実〔指導室〕

（１）野外活動宿泊体験、職場体験等の実施

小学校全校において、7月から8月にかけて野外活動宿泊体験学習を実施しました。また、特別支援学校は、高等部で野外活動宿泊体験学習を実施しました。

中学校における職場体験学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所等での職場体験は行わず、学校に来ていただいて講話等を実施しました。

○非行防止教室推進事業〔指導室〕

（１）万引き防止、薬物乱用防止教室等の全校での実施

規範意識の醸成のため、各学校において外部指導者を活用し、非行防止教室として、万引き防止教室、シンナー薬物乱用防止教室、情報モラル学習等に取り組むよう指導助言を行いました。

（２）スマートフォンやSNSに関する指導の実施

4月と7月の校長会で、H 2 7 年 1 1 月に策定された大牟田市「児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」について再周知し、学校を通して保護者等への啓発を図りました。

1 1 月に携帯電話やスマートフォンの使用に関する啓発資料を学校へ配布し、児童生徒並びに保護者等への啓発を行いました。

○早期教育相談事業〔指導室〕

（１）早期教育相談連絡協議会の開催等

4月に早期教育相談の啓発チラシを作成・配布し、幼稚園や児童福祉施設等の関係機関・団体を通して保護者への啓発を行いました。

学識経験者や関係機関・団体で構成する早期教育相談連絡協議会について、5月29日（月）にR 5 年度 1 回目の会議を開催し、情報の共有を行いネットワークの強化を図りました。R 6 年 2 月 1 9 日（月）に2回目の会議を開催し、R 5 年度 of 取組の振り返りと次年度の計画について協議を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の規範意識	目標値（％）	95.0	95.0	95.0	95.0	現状値を踏まえ 95％以上を目指します。 〔現状値：95.6％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	95.5	95.2	96.8	95.9	
	達成度（％）	100.5	100.2	101.9	100.9	

【指標達成度に対する要因分析】

規範意識を育むためには、道徳の授業はもとより、全教育活動を通して、適宜、教師による指導や児童生徒の主体的な対話活動を取り入れていく必要があります。「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業を通して、児童生徒が児童会・生徒会を中心に、主体的に楽しい学校・いじめのない学校づくりのための取組を考え、行動する姿が見られるようになりました。また、学校行事や地域と連携した様々な体験活動など、豊かな心を育む教育活動を進めた結果、教師と児童生徒、児童生徒相互の共感的理解が進みました。これらの事業を通して、学校生活

における支持的風土が高まり、その結果、今まで以上に周りの友達やよりよい学校づくりのために何が大切かを考え、人の気持ちが分かる人になりたいと思う児童生徒の割合の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、様々な教育活動において、児童生徒の主体的な対話活動を促進し、「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業の一つである児童会・生徒会リーダーミーティングの推進・充実を進めるとともに、各中学校区単位で、「思いやり・親切」に関するキャンペーンや「友だち応援隊」に係る取組の継続を図ります。また、読書活動や各種体験活動の充実、児童生徒の作品展等の開催、非行防止教室等の実施を通して、児童生徒の規範意識を高める取組の更なる充実を進めていきます。

主要施策 3 健やかな体の育成

基本的生活習慣が身に付いた心身ともにたくましい児童生徒を育成するため、学校での教育活動全体を通じて運動習慣の定着化を図るなど、体力向上に向けた取組を進めるとともに、食育、学校給食、学校保健などの取組の充実や家庭との連携を進めます。

【主な事業】

○体力向上推進事業〔指導室〕

（１）体力向上プランの促進

各学校は自校の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の実態を分析し体力向上プランを作成しました。校長会や担当者会等を通して各学校の体力向上プランの取組が組織的・効率的に実施できるよう指導助言を行いました。

（２）小学校地区競技会

① ５月にリレー大会を各学校で開催し、４・５・６年生が参加しました。

② １０月に地区ごとのソフトバレーボール大会を開催し、４・５・６年生が参加しました。

（３）中学校体育連盟の競技会

① ７月１日（金）～４日（月）に中体連夏季市内大会を市内の各会場で開催しました。

② ９月３０日（金）～１０月２日（日）に新人大会を市内の各会場で開催しました。

③ １０月１９日（水）に駅伝の市内大会を諏訪公園で開催しました。

④ １２月１４日（水）に中学校体育連盟による市内駅伝新人大会を開催しました。

○子ども大牟田体力検定推進事業〔指導室〕

（１）体力向上チャレンジカード等の活用

５月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布し、日常的に運動に取り組めるようにしました。

（２）子ども大牟田体力検定の実施

全ての学校において、年間２回（１回目：６月から１２月、２回目：１月から２月）の子ども大牟田体力検定を実施し、児童生徒の到達度合いに応じ、体力認定証を配布しました。

（３）小・中学校体育科研究会との連携

小・中学校体育科研究会と連携して、８月に全小・中学校の児童生徒の体力テストの結果（各学校５月から７月に実施）を分析し、必要に応じて９月以降の体力検定の行い方や内容を見直すとともに、２月に次年度の体力検定の行い方や種目等の検討を行いました。

○健康教育推進事業〔指導室〕

（１）生活習慣病予防・喫煙防止・薬物乱用防止教育等の実施指導

各学校において、生活習慣病予防・喫煙防止・薬物乱用防止等を教育課程に位置付けて実施するよう指導しました。

○食育推進事業〔学務課、指導室〕

（１）食育推進校に係る取組〔指導室〕

R５年度は玉川小学校を推進校に指定し、食育に関する理論研究や実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、「食を守る環境づくりを通して、持続可能な食への実践力を育てる食育指導」を目標に掲げ、家庭・地域と連携した農業体験と食文化体験を通して、教科・領域と関連させた食育を推進するとともに、環境と食の関連を探り、持続可能な食や環境を守る学びへと

発展させる取組を実践しました。R 6 年 1 月 2 3 日（火）に食育推進校発表会（拡大校内研修会）を開催し、公開授業を行うとともに、食に関する指導の研究協議を行いました。また、食に関する取組の啓発用リーフレット等を作成し、R 6 年 3 月に市内の各学校に配布しました。

（2）早寝早起き朝ごはん運動推進校に係る取組〔指導室〕

R 5 年度は松原中学校を推進校に指定し、早寝早起き朝ごはん運動に関する実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、生徒を対象とした食育教室、P T A 研修会、生徒会による給食残食ゼロ運動、特別活動や教科における指導に取り組みました。3 月には 1 年間の取組の成果をリーフレットにまとめ、市内の各学校に配布しました。

（3）学校給食への地場産物の使用促進と食育の啓発推進〔学務課〕

地場産物の使用促進を図るため、福岡県産や大牟田産、南関産の青果物を積極的に取り入れました。食育の啓発については、小学校の保護者に対し「もぐもぐ通信（食育通信）」と「給食だより」を交互に年 1 1 回、中学校では「食育通信」を年 1 1 回発行し、朝食の重要性や食生活に関すること、学校給食と S D G s の関わり、給食レシピの紹介などを行いました。

（4）学校給食週間等の開催〔学務課〕

学校給食週間（R 6 年 1 月 2 0 日（土）～1 月 2 8 日（日））では、ゆめタウン大牟田において児童生徒のポスター・標語作品展を開催し、各小学校や中学校給食センターにおいて地域の方々等を招いた給食試食会を行いました。また、R 4 年度から引き続き、農林水産課と連携し、児童生徒を対象とした学校給食レシピコンテスト（大牟田産の農作物を使ったおかず部門、高菜部門）を実施し、入賞作品は市内の協力店において販売されました。

（5）中学校給食センターを活用した食育の啓発〔学務課〕

中学校給食センターにおいて、学校給食を通した食育の啓発を推進するため、R 5 年度は小中学校の P T A を対象に施設見学と栄養教諭による講話を含めた給食試食会を実施しました。

○中学校給食事業〔学務課〕

（1）中学校給食センターの管理運営

学校給食法に基づき、生徒の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、中学校給食センターの管理運営を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

○小学校給食事業〔学務課〕

（1）直営拠点校・民間委託校併用方式の推進

学校給食法に基づき、小学校において、児童の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、直営拠点校と民間委託校による併用方式の推進を図りました。

（2）小学校給食の管理運営

各小学校の給食調理や給食室・調理機器等の管理を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

○学校給食費負担軽減事業〔学務課〕（新型コロナウイルス感染症対策）

物価高騰に伴う保護者負担を増やすことなく、学校給食を円滑に実施するため、食材料費の増額分を負担するとともに、9 月から給食費の一部（1 人月額 1,0 0 0 円）を支援しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
体力向上のための授業 以外での取組実績	目標値 (%)	100	100	100	100	児童生徒の体力向上のための 授業以外での取組を全ての学 校で実施します。
	実績値 (%)	100	100	100	100	
	達成度 (%)	100	100	100	100	

【指標達成度に対する要因分析】

児童生徒の体力の向上に向けて、各学校においては、「1校1取組」を位置付けた体力向上プランを作成し、学校の実態や児童生徒の発達段階に応じた様々な取組が実施されました。各小学校では、県が実施している「スポコン広場チャレンジランキング」に参加したり、子ども大牟田体力検定推進事業の体力検定（年2回）を実施したりしました。体力テストの際には、地域のスポーツ推進員の支援を得て実施をしています。また、中学校においては、各学校の実態に応じて、生徒会の委員会活動の一環として、休み時間に外遊びを推奨する取組を行うなど、生徒の目的意識が高まる取組がなされました。

その結果、各学校において、児童生徒が自己の体力の向上に係る目標意識を持って主体的に取り組むことができ、体力向上の取組実績の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、体力向上に向けて、授業での取組はもとより、授業以外での取組も児童生徒の発達段階や学校の実態に応じて進めていきます。そのために、各学校の体力プランの充実について指導助言を行うとともに、各取組の啓発と各競技会への支援を行います。また、健康教育や食育の充実を図ることを通して、体力向上の基盤づくりに努めていきます。さらに、児童生徒の発達段階に応じて、体力や健康の大切さ、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の意義などを理解させ、自主的な取組が図られ、体力の向上が図られるようにしていきます。

主要施策 4 特別支援教育の推進

障害のある児童生徒の個別の指導計画・支援計画や指導方法などの改善・充実を図るほか、特別支援教育センターとしての特別支援学校の相談機能の充実を図ります。また、特別支援教育支援員の配置など、一人ひとりの障害の状態に応じた具体的な支援を行います。

【主な事業】

○特別支援教育支援員活用事業〔学校教育課〕

（１）要支援と判断された児童生徒への支援員の配置

就学支援委員会等により要支援と判断された全ての児童生徒 258 人に対し、小学校 19 校に 65 人、中学校 8 校に 25 人、計 90 人の特別支援教育支援員を派遣しました。きめ細かな支援を受けることで、対象児童生徒本人の精神的な安定が図られ、周囲の児童生徒の理解も進み、学級全体が落ち着き、集中して学習に取り組むことができました。また、保護者の介助等の軽減も図られました。

（２）校内支援体制及び支援内容の充実

全支援員を対象に、支援員の業務内容や具体的な支援の在り方などの研修会を 2 回（4 月・11 月）実施し、支援員による児童生徒の発達障害等への理解促進と個に応じた具体的な支援内容の充実に努めました。

○特別支援学校医療的ケア事業〔学校教育課〕

（１）医療的ケアを行う看護師の配置

大牟田特別支援学校の対象児童生徒 5 人に対し、3 人の看護師を配置しました。校長を中心とした医療的ケア運営委員会を毎学期 2 回開催し、主治医・指導医の指導のもと、保護者の理解も得ながら医療的ケアを行うことで、児童生徒の症状は安定し、保護者の負担も軽減されました。また、対象児童生徒の年度途中の増加に対しても対応できるよう、看護師の一定の増員も可能としました。

○教育相談事業〔指導室〕

（１）教育相談員による児童生徒の障害に関する相談への対応

教育相談室に寄せられる電話や面接での相談の中から、保護者や児童生徒の問題行動等の背景に障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関との連携を図り、教育的ニーズに対応しました。

（２）特別支援教育巡回指導員による巡回相談

不登校や引きこもりになっている児童生徒の背景に、障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関、保護者等との連携を図り、家庭訪問を実施するなど不登校等の解消に向けて対応しました。

巡回件数 374 件

相談件数 795 件

（３）就学支援委員会の開催

在学中の児童生徒及び令和 4 年度入学児を対象に、就学支援委員会を 6 月と 9 月の 2 回開催し、医学・心理・教育の面から就学支援における教育相談を行いました。

教育相談者数

小学校	中学校	特別支援学校	入学予定児	合 計
13 人	2 人	0 人	21 人	36 人

○通級指導教室運営事業〔指導室〕

（１）専門の教職員及び通級指導教室指導員による指導・支援

生涯学習支援センターに設置している通級指導教室で、言葉や情緒等に課題がある児童生徒に対して、個別や集団での指導を行いました。

「あじさい教室１組」への通級者	１３人（小学校：情緒）
「あじさい教室２組」への通級者	１３人（小学校：LD ^{※１} （学習障害）、 ADHD ^{※２} （注意欠陥／多動性障害））
「こすもす教室」への通級者	１０人（中学校：ADHD）
「ことばの教室」への通級者	１１人（小学校：言語）

※１：LDとは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

※２：ADHDとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの。

（※１、※２とも、文部科学省の資料から抜粋）

（２）保護者相談

教育相談室に寄せられる相談の中から、通級指導に関する相談について、通級指導教室担当教員が保護者からの相談に対応しました。

○交流教育推進事業〔指導室〕

（１）学校間交流

特別支援学校と小・中学校間の交流、小・中学校の特別支援学級間の交流など、様々な交流を行いました。

（２）市民交流「ふれあい共室」

中央地区公民館等で「ふれあい共室」を年８回開催し、障害のある子どもと障害のない子ども及びボランティア団体、福祉関係団体等の市民との交流を行いました（詳細については、生涯学習課所管「子ども交流体験事業」の「（２）交流教育地域推進事業ふれあい共室」（７１ページ）を参照）。

（３）交流教育の啓発

６月に「ふれあい共室」の参加募集を市内の全学校に配布するとともに、１月に合同作品展の広報を行いました（合同作品展はＲ６年２月１６日（金）～１９日（月）に大牟田文化会館において実施）。

○合同運動会・合同作品展の実施〔指導室〕

（１）特別支援学級・特別支援学校合同運動会

合同運動会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

（２）小・中・特別支援学校合同作品展（再掲）

（３８ページの「児童生徒の作品展」の（２）を参照）。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
特別支援教育支援員の配置効果	目標値 (%)	100	100	100	100	全ての対象児童生徒について状態の改善が図られることを目指します。 [現状値:100%(H30 年度実績)]
	実績値 (%)	100	100	100	100	
	達成度 (%)	100	100	100	100	

【指標達成度に対する要因分析】

特別支援教育支援員活用事業については、支援員の配置によって、対象児童生徒が情緒的に安定し、落ち着いた学習態度や行動へとつながり、学習効果の向上が図られたほか、学校生活での安全性の確保においても効果をあげています。また、児童生徒の人間関係作りにおいて、互いを理解し合うことができるような支援により、周囲の児童生徒も落ち着きます。さらに、担任教師も学級全体に目が行き届くようになることで、学級が落ち着き、そのような児童生徒の姿が保護者に安心感をもたらしたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、障害のある児童生徒の自立や社会参画に向けた取組を支援する視点に立ち、特別な支援を要する児童生徒の個別の指導計画・支援計画の作成、特別支援学校における相談活動、特別支援教育コーディネーターの育成など、学校と連携した取組を進めていきます。また、関係機関相互や専門家と連携を図り、相談体制等の充実を進めるとともに、特別支援教育に関する研修会等を開催し、各学校における児童生徒の教育的ニーズに応じた具体的な支援の実践へつないでいきます。さらに、R 5 年度から配置した特別支援教育巡回指導員やR 6 年度から配置する巡回通級指導員などと併せて、よりきめ細やかな支援を進めていきます。

基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実

本市の実情に応じた活力ある学校づくりの実現のため、適正規模化と適正配置による学校再編整備を推進するとともに、多様な学習活動に対応でき、児童生徒等が安全で快適に過ごすことができるよう施設整備を図るなど、学校教育環境を充実させます。

主要施策 1 学校再編整備の推進

適正規模（適切な学級数）と適正配置（適切な通学距離・時間等）による学校再編整備（大牟田市立学校適正規模・適正配置計画）を進め、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨（せっさたくま）することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことができるよう教育環境を整備します。

【主な事業】

●学校再編整備推進事業（20・21ページを参照）〔学校再編推進室、学校教育課、学務課〕

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
学校再編に対する地域の理解と協力	目標値	—	—	—	2	適正規模・適正配置計画に基づく学校再編協議会の設置数
	実績値	—	—	—	2	
	達成度(%)	—	—	—	100	

【指標達成度に対する要因分析】

学校再編に対する地域の理解と協力の指標については、新校の開校準備のため、保護者、地域及び学校で組織された学校再編協議会の設置数は2組織で、目標値2に対し達成度100%でした。保護者、地域と情報共有、協調しながら計画的に推進できました。

【今後の方向性】

市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画について、引き続き保護者や地域等を実施計画の内容の周知を行うとともに、R7年4月の新校開校に向け、R5年度から「橘・田隈・甘木中学校再編協議会」及び「歴木・田隈・白光中学校再編協議会」を設置・運営し、新校の開校に必要な事項の協議を行っています。

R6年度は、協議会で校歌、校章等の決定のほかPTA組織の再編等について協議を行い、教育委員会では、協議会の運営と合わせ橘中学校、田隈中学校及び歴木中学校の閉校式並びに白銀中学校及び御木中学校の開校式の準備を行います。

施設整備について、歴木中学校は、R6年度に校舎改修の第3期工事及び体育館の改修工事を実施します。橘中学校は、R6年度に校舎増築及び擁壁築造工事を行います。併せて、多目的棟や外構等の基本・実施設計を進め、体育館の新築工事や校舎改修の第2期工事を発注する予定です。白光中学校は、R6年度に校舎改修工事（第1期・第2期）及び体育館改修工事等に係る実施設計に着手します。

また、上内小学校及び玉川小学校については、小規模特認校制度の運用による複式学級を解消するため、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、引き続き小規模特認校制度を継続します。上内小学校では、3・4年生で複式学級が発生しましたが、R7年度には解消する予定で

す。小規模特認校制度を運用しても、なお複式学級の解消が困難である場合は、学校再編について改めて協議に入ることとします。

主要施策 2 安全で快適な学校施設の整備

老朽化した学校施設の長寿命化改修を行うとともに、校舎トイレの洋式化、施設のバリアフリー化などの改修を進めることにより、安全で快適な学校施設の整備を行います。

【主な事業】

○学校施設長寿命化改修事業〔学務課〕

大牟田市学校施設長寿命化改修計画に基づき、学校施設実態評価により改修が必要な施設の課題整理を行いながら長寿命化改修を行っています。

R 5 年度は、大牟田特別支援学校の校舎（鉄筋コンクリート造 3 階）、給食棟、その他外構等の改修工事及び銀水小学校の実施設計を行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
長寿命化改修事業（特別支援学校）	189,380
長寿命化改修事業（銀水小学校）	5,276

○空調設備設置事業〔学務課〕

各小・中・特別支援学校の特別教室の空調設備については、R 元年度に各学校 1 室に設置しましたが、児童生徒の健康管理と教育環境の向上の観点から、R 4 年度に中学校及び特別支援学校の未設置の特別教室に空調設備を設置しました。

R 5 年度は、大牟田特別支援学校の体育館（アリーナ）に空調設備を設置しました。また、R 4 年度から予算を繰り越した小学校 9 校の空調設備設置工事については、必要な資材の確保が困難となり、R 5 年度内に完成しなかったため、R 6 年度へ予算の繰越しを行って設置することとしました。

（単位：千円）

内容	事業費
小学校 9 校特別教室空調設備設置工事（R 4 年度からの予算繰越し）	11,581
小学校 9 校特別教室空調設備設置工事（R 6 年度へ予算繰越し）	91,018
大牟田特別支援学校体育館空調設備工事	28,335

○民間プール活用事業〔学校教育課〕

（1）橘中学校及び松原中学校における民間プールを活用した水泳指導の実施と効果の検証

橘中学校及び松原中学校において、全学年の体育科の水泳授業で民間プールを活用し、各学級 4 回（合計 8 時間）実施しました。専門のインストラクターとともに効果的かつ効率的な指導を行うことができました。

R 6 年度は、橘中学校及び松原中学校の全学年に加えて、白光中学校の全学年で民間プールを活用することとしており、円滑に実施できるよう、学校と事業者の間に指導方法・内容等の密な連携を図っていきます。

○災害対策事業〔学務課〕

（1）災害対策（小学校）

ハザードマップの冠水想定地区内にある中友小学校、明治小学校、白川小学校及び手鎌小学校の受変電設備のかさ上げ工事と、天領小学校の受変電設備のかさ上げ工事の実施設計について、R 4 年度から予算を繰り越して実施することとしました。このうち、天領小学校分の実施設計については R 5 年度内に完了しましたが、工事については、必要な資材

の確保が困難となり、R 5 年度内に完成しなかったため、R 6 年度へ予算の繰越しを行って実施することとしました。

(単位：千円)

内容	事業費
受変電設備のかさ上げ工事及び設計（小学校） （R 4 年度からの予算繰越し）	6,179
受変電設備のかさ上げ工事（小学校）（R 6 年度へ予算繰越し）	35,521

（２）災害対策（中学校）

標高の高い位置にある宮原中学校において、寒波時の水圧低下等の影響を受けるため、防災機能強化の観点から、高架水槽による間接給水方式から加圧ポンプによる加圧給水方式へ改修を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
災害対策事業（宮原中学校）	22,878

○災害復旧事業〔学務課〕

甘木中学校の体育館西側擁壁の一部が、7月3日の大雨により破損したため、改良復旧のための実施設計を行いました。

なお、甘木中学校の復旧工事はR 6 年度に実施します。

また、同日の大雨により発生した学校施設の雨漏り等の復旧工事を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
擁壁復旧工事（甘木中学校）（R 6 年度へ予算繰越し）	25,582
擁壁復旧設計業務委託（甘木中学校）・小学校及び中学校	11,269

○学校施設・設備改修事業〔学務課〕

（１）学校施設整備（小学校）

R 4 年度から予算を繰り越した駛馬小学校の防球ネット設置工事及び吉野小学校の体育倉庫改築工事を行ったほか、高取小学校の多目的トイレ設置工事や大正小学校の体育館天井改修工事、明治小学校のプールサイド防滑工事、銀水小学校のプール水槽塗装工事などを行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
防球ネット設置工事（駛馬小学校）、体育倉庫の改築工事 （吉野小学校）（R 4 年度からの予算繰越し）	24,615
多目的トイレ設置工事（高取小学校）	6,593
体育館天井改修工事（大正小学校）	7,225
プールサイド防滑工事（明治小学校）	6,926
プール水槽塗装工事（銀水小学校）	4,828
防球ネット設置工事（吉野小学校）	11,591
校舎床改修工事（白川小学校）	1,218
保健室床改修工事（銀水小学校）	1,568
空調設置工事（中友小学校・銀水小学校）	3,512
給食換気フード設置工事（天領小）	1,213

内容	事業費
スロープ設置工事（銀水小）	2,352
太陽光発電設備（パワーコンディショナー）取替工事 （天の原小学校・大牟田中央小学校）	2,640

（２）学校施設整備（中学校）

宮原中学校の図書室の床改修や松原中学校の給水管幹線改修を行いました。

なお、松原中学校の体育館改築基本設計については、義務教育学校の基本構想と一体的に進める必要があるため、Ｒ６年度へ繰越しを行いました。

また、旧船津中学校については、所有権移転登記の手続を進めました。

（単位：千円）

内容	事業費
図書室床改修（宮原中学校）	1,892
給水管幹線改修（松原中学校）	971
体育館改築基本設計委託（松原中学校）（Ｒ６年度へ予算繰越し）	6,000
所有権移転登記手続関係費（旧船津中学校）	1,269

（３）学校施設整備（特別支援学校）

大牟田特別支援学校小・中学部において、Ｒ６年度に教室が不足することが見込まれたため、音楽室を普通教室（２室）に改修しました。

（単位：千円）

内容	事業費
普通教室改修工事（特別支援学校）	12,332

（４）トイレ洋式化の計画的推進

校舎トイレの洋式化は、Ｒ５年度末の洋式化率７８％を目標に、洋式化率の低い学校や特別に要請のある学校において集中的に進めています。

Ｒ５年度は、更なる向上を目標に、有利な財源を活用し、中学校の再編予定校３校を除く学校において、学校単位での洋式化率６０％を目標に、小学校１４校（５８か所）及び中学校３校（１２か所）の合計１７校（７０か所）を改修しました。

この改修と中学校の再編工事に伴う改修により、校舎トイレの洋式化率は、Ｒ４年度の７０．８％から８．１ポイント向上し、７８．９％となりました。また、校舎、体育館、プール等を含めた全体の洋式化率は８０．５％となりました。

（単位：千円）

内容	事業費
小学校トイレ洋式化	13,593
中学校トイレ洋式化	2,711

（５）机、椅子等の更新

学校毎に傷み具合などを判断し、小・中・特別支援学校全校で、児童生徒用の机１９８台、椅子２０４脚を更新しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
校舎トイレの洋式化率	目標値(%)	63.0	64.0	70.0	78.0	洋式化率が 50%に満たない又は特別に要請のある学校を集中的に洋式化します。 [現状値：61.5% (H30 年度実績)]
	実績値(%)	62.9	66.4	70.8	78.9	
	達成度(%)	99.8	103.8	101.1	101.2	

【指標達成度に対する要因分析】

校舎トイレの洋式化を年次計画で行い、洋式化率が 60%に満たない学校や洋式化の要請のあった学校 18 校（74 か所）と学校再編整備と合わせて R3 年度から引き続いて集中的な改修を行いました。これにより、校舎トイレの洋式化率は、78.9%となりました。

【今後の方向性】

学校施設長寿命化改修事業については、学校施設長寿命化改修計画に基づき、総合計画の財政計画との整合を図りながら改修工事を進めていきます。

特別教室の空調設備は、R5 年度に小学校 9 校の設置を行い、R6 年度に残りの小学校 10 校の設置を予定しています。

トイレの洋式化の推進については、R3 年度末に既に当初目標の 66%（R5 年度）を達成したことから、R4 年度の目標を 70%、R5 年度の目標を 78%に改めました。今後は、学校再編整備と整合を図りながら、文部科学省が示す R7 年度末で 95%を目標とします。R6 年度は、洋式化率が 75%に満たない学校の校舎（55 か所）を重点的に進めます。

基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり

いじめ防止対策、不登校へのきめ細かな対応、経済的困難を抱える保護者の支援や、学校・家庭・地域の連携による児童生徒の規範意識の育成、「共に育ち、共に育てる（共育）」と「響き合って、育ち合う（響育）」の風土の醸成など、安心して学べ、地域とともにある学校づくりを進めます。

主要施策 1 安心して学べる学校づくり

「大牟田市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等のための対策を総合的に推進します。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用など、教育相談体制の充実強化を図り、不登校の未然防止や早期発見・早期対応等に取り組みます。さらには、経済的困難を抱える保護者への支援として、就学援助などを実施し、教育費負担の軽減に取り組みます。

【主な事業】

○いじめ防止対策推進事業〔指導室〕

（１）いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会の運営等

大牟田地域教育力向上推進協議会を「いじめ問題対策連絡協議会」として位置付けており、連絡協議会の中に実行委員会を組織して、年３回（６月・１０月・２月）の会議を開催し、本市のいじめの防止等に関する取組を推進しました。

また、教育委員会の附属機関として設置している「大牟田市いじめ防止対策委員会」の会議を年３回（５月・８月・２月）市のいじめ防止に係る教育委員会や学校の取組等について協議を行い、その充実に努めました。

（２）大牟田市いじめ防止基本方針の推進

いじめ防止対策推進法に基づき策定している「大牟田市いじめ防止対策基本方針」について、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ防止対策委員会等の関係機関との連携を図り、いじめ防止に関する取組の総合的な推進に努めました。

いじめの認知件数等※

区 分	R3 年度			R4 年度			R5 年度		
	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中
小学校	93	78	15	114	103	11	131	104	27
中学校	34	31	3	43	35	8	72	56	16

※各学校では、いじめの防止等に関する文部科学省の通知や「いじめ防止基本方針」の改定（H29年３月）等も踏まえ、いじめの積極的な認知に取り組んでいる。

○不登校対策事業〔指導室〕

（１）不登校対応対策会議の開催

教育委員会事務局、少年センター、子ども育成課の職員で構成する不登校対応対策会議を年４回（５月、８月、１２月、R6年２月）開催し、不登校児童生徒の現状や不登校の背景等について情報の共有を図るとともに、不登校の未然防止、早期解消に関する連携の在り方についての協議等を行いました。

不登校等の状況

区 分	R3 年度				R4 年度				R5 年度			
	不登校		学校復帰		不登校		学校復帰		不登校		学校復帰	
	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率
小学校	99	1.95%	45	45.4%	119	2.35%	41	34.5%	144	2.97%	71	49.3%
中学校	230	9.60%	80	34.8%	254	10.54%	107	42.1%	306	12.2%	119	38.9%

※不登校児童生徒の定義（文部科学省）：何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

（２）教育相談員、ひきこもり児童生徒訪問指導員、特別支援教育巡回指導員の配置

生涯学習支援センター内に設置している教育相談室に、教育相談員2人、ひきこもり児童生徒訪問指導員3人を配置しました。スクールソーシャルワーカーを含む3者で随時連携を図り、問題の早期解決に取り組みました。また、R5年度から特別支援教育巡回指導員を配置し、小学校の特別支援教育に関して様々な助言等を行いました。

教育相談の状況

相談の内容	相 談 件 数（延べ）		
	R3 年度	R4 年度	R5 年度
学業等	6	0	23
不登校	1,762	1,785	1,941
いじめ	1	3	1
その他の学校生活	0	2	66
性格・行動	22	58	117
その他	7	17	8
合 計	1,798	1,865	2,156

ひきこもり相談の状況（延件数）

R3 年度	R4 年度	R5 年度
323	271	151

（３）教育支援センター（適応指導教室から名称変更）の運営

心理的または情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰のため、指導員を2名配置し、児童生徒の状況に応じて、適応指導、学習指導、教育相談等を行い、学校復帰に努めました。

教育支援センターの入級及び復帰状況

区 分	R3 年度	R4 年度	R5 年度
教育支援センター入級児童生徒数	6 人	5 人	4 人
学校復帰数	6 人	5 人	4 人
学校復帰率	100%	100%	100%

※復帰数には高校進学者を含む。

○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（再掲）（38ページを参照）

●スクールソーシャルワーカー活用事業〔指導室〕（22・23ページを参照）

スクールソーシャルワーカーによる相談対応状況（実件数）

R3 年度	R4 年度	R5 年度
308	399	547

○学習指導員等配置事業〔学校教育課〕（新型コロナウイルス感染症対策）

（１）スクール・サポート・スタッフの各学校への配置

児童生徒の「学びの保障」のため、スクール・サポート・スタッフを２６校に１人ずつ配置し、学校内の消毒の実施をはじめ、教職員の業務支援を行いました。

○就学援助事業〔学務課〕

学校教育法等の関係法令及び大牟田市就学援助要綱に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助として学用品費、学校給食費、医療費等を支給しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により家計が急変した世帯に対する特例措置については、Ｒ２年度から継続して実施しましたが、Ｒ５年度の支給対象者はいませんでした。

また、心身的な理由により普通教室での就学が困難な児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費補助を支給しました。

さらに、高等学校及び高等専修学校への進学に必要な入学支度金や学費の一部を貸与する「公益財団法人福岡県教育文化奨学財団」の奨学金制度の周知を図り、奨学金申請事務を行いました。

① 就学援助費（単位：人、千円）

区 分		R3 年度	R4 年度	R5 年度
支給者数	小・中学生	1,554	1,467	1,340
	未就学児	132	123	115
支給総額		129,212	131,508	118,500
（うち国庫補助金）		(712)	(620)	(516)
認定率（全児童生徒数に占める支給者の割合）（％）		20.3	19.7	18.2

② Ｒ５年度就学援助費の内訳（単位：人、千円）

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	—	—	831	12,281	509	13,257	1,340	25,538
校外活動費	—	—	(132)	479	(0)	0	(132)	479
新入学児童生徒学用品費等	—	—	(33)	1,784	(32)	1,920	(65)	3,704
修学旅行費	—	—	(188)	3,578	(150)	7,489	(338)	11,067
学校給食費	—	—	(831)	29,482	(509)	21,626	(1,340)	51,108
通学費	—	—	(0)	0	(0)	0	(0)	0
オンライン学習通信費	—	—	(330)	4,321	(382)	5,289	(712)	9,610
医療費	—	—	(93)	533	(27)	101	(120)	634
新入学学用品費（入学前支給）	115	6,217	(161)	10,143	—	—	115 (161)	16,360
合 計	115	6,217	831	62,601	509	49,682	1,340	118,500

※人員の（ ）は内数。

③ R5年度就学援助費特例措置（抜粋）（単位：人、千円）

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
新型コロナウイルスの影響による家計急変	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 特別支援教育就学奨励費（単位：人、千円）

区 分	R3 年度	R4 年度	R5 年度
支給者数	71	76	94
支給総額	2,649	3,003	3,723
（うち国庫補助金）	(1,324)	(1,449)	(1,861)

⑤ R5年度特別支援教育就学奨励費の内訳（単位：人、千円）

区 分	小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	63	397	30	213	93	610
校外活動費	(16)	30	(0)	0	(16)	30
新入学児童生徒学用品費等	(9)	230	(13)	390	(22)	620
修学旅行費	(6)	61	(7)	176	(13)	237
学校給食費	(62)	1,126	(30)	657	(92)	1,783
通学費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
オンライン学習通信費	(43)	287	1 (22)	156	1 (65)	443
医療費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
合 計	63	2,131	31	1,592	94	3,723

※人員の（ ）は内数。

⑥ 奨学金制度の活用状況（単位：人）

区 分	R3 年度	R4 年度	R5 年度
申請者数	119	100	111
内定者数	94	80	88

○学校保健事業〔学務課〕

（１）各種健康診断事業

学校保健安全法等の関係法令に基づき、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、児童生徒及び教職員の健康診断並びに翌年度から就学を予定している幼児を対象に就学時健康診断を実施し、有所見者には、二次検査や治療の勧告を行いました。

各種健康診断受診者数（単位：人）

区 分	R3 年度	R4 年度	R5 年度
児童生徒健康診断	7,622	7,407	7,333
教職員健康診断	345	330	363
就学時健康診断	773	766	784

（２）災害共済給付事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、学校の管理下における児童生徒等

の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）が発生した場合に災害共済給付（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金）を支給するもので、医療機関からの診療報酬請求に基づいて医療費を支給しました。

① 災害共済掛金 (単位：千円)

区 分	R3 年度	R4 年度	R5 年度
個人負担総額	2,615	2,581	2,613
市負担総額	4,581	4,483	4,385
合 計	7,196	7,064	6,998

※ 1人当たり災害共済掛金 935円（個人負担 420円、市負担金 515円）。

② 災害発生件数と給付額 (単位：件、千円)

区 分	R3 年度		R4 年度		R5 年度	
	件 数	給付額	件 数	給付額	件 数	給付額
小学校	321	1,593	327	1,623	312	1,792
中学校	268	2,293	205	1,916	242	1,542
特別支援学校	12	83	3	10	9	170
合 計	601	3,969	535	3,549	563	3,504

○修学旅行等のキャンセル料等発生時の負担軽減〔学校教育課〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校が修学旅行等を中止又は延期し、若しくはその旅行先を変更したことで発生するキャンセル料等の負担を軽減するため、該当する学校に補助を行いました（補助件数 7 件）。

○学校における感染症対策の徹底〔学務課〕（新型コロナウイルス感染症対策）

児童生徒の活動を制限せず教育活動を継続する体制を確保するため、教室等における効果的な換気の実施に必要となる加湿空気清浄機を全校に整備しました。また、感染防止の徹底のため、泡ハンドソープを全校に追加配布しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の学校生活への満足度	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90%以上を目指します。 〔現状値：89.3% (H30 年度実績)〕
	実績値 (%)	90.9	90.7	91.1	92.2	
	達成度 (%)	101.0	100.8	101.2	102.4	

【指標達成度に対する要因分析】

子どもたちが満足した学校生活を送るためには、安心できる生活環境を整えた上で、充実した教育活動を展開することが必要です。「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業における年間 2 回のリーダーミーティングでは、中学校区単位で取組を考えることにより、より身近な実践が行われるようになりました。小中学校の 9 か年を通した取組により、児童生徒の日常生活が、地域の実態をふまえた「楽しい学校・いじめのない学校」づくりとなりました。また、「思いやり・親切」に係る標語やポスターの掲示等により、各学校の支持的風土の醸成が進みました。

その結果、児童生徒は自分たちの取組への満足感や自己有用感を体得することによって、児

児童生徒の良好な人間関係の構築が進み、目標の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

不登校については、要因が複雑化・多様化し、学校だけでは解決困難な相談が増加しており、児童生徒の心理的要因に対応するスクールカウンセラーや家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーの増員や相談員の配置時数の増加や大学等と連携した取組の充実を図ります。

また、校内教育支援センターの設置に向けた環境整備や市民協働部と連携した学校外での「子どもの居場所づくり」にも努めます。

今後も、小中一貫教育を見据えた「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業等における児童生徒主体の取組を推進し、いじめや不登校の早期発見・早期対応を行っていきます。また、SNSやスマートフォン、インターネットに関するいじめが増加する傾向にあるため、大牟田地域教育力向上推進協議会と連携して、「大牟田市児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」の保護者等への啓発を継続して行うとともに、いじめ防止対策推進法に基づくいじめ防止基本方針に係る取組を一層推進していきます。

就学援助事業については、全児童生徒数に占める支給者数の割合は約18.2%となっており、約5人に1人が対象となっている状況です。子どもの貧困対策の推進に関する法律などの関係法令の趣旨を踏まえ、今後も引き続き、援助が必要な児童生徒等の保護者に対し、「広報おおむた」や学校等を通じて就学援助制度の周知を図るとともに、申請手続面の負担軽減も図りながら、必要な援助を適切な時期に実施できるよう努めていきます。また、実態も考慮しながら、よりよい就学援助制度について検討していきます。さらに奨学金についても、公益財団法人福岡県教育文化奨学財団の奨学金制度のほか、家庭の状況に応じた奨学金制度等についても学校との連携のもとに周知を行うことで就学支援の充実を図っていきます。

学校保健事業については、児童生徒及び教職員等を対象とした各種健康診断事業において、有所見者に対し二次検査や精密検査の受診を勧奨することで、早期発見、早期治療を促し、児童生徒等の健康の保持増進に努めるとともに、災害共済給付事業についても、各学校と連携し災害発生時における適正な医療費等の給付に努めていきます。

主要施策 2 学校・家庭・地域の連携

大牟田地域教育力向上推進協議会との連携により、児童生徒の規範意識の育成や「共育」と「響育」の風土の醸成を推進するとともに、保護者や住民の力を学校運営に活かした、地域とともにあるユネスコスクールの体制に関する研究に取り組むなど、学校・家庭・地域の連携を推進します。

【主な事業】

○大牟田地域教育力向上推進協議会との連携〔指導室〕

（１）大牟田地域教育力向上推進協議会への補助金の交付

学校教育・家庭教育・地域教育の向上を目指した取組を行っている大牟田地域教育力向上推進協議会に対し、その運営及び活動を助成するため、９２．３万円の補助金を交付しました。

（２）大牟田地域教育力向上推進大会の共催

大牟田地域教育力向上推進協議会と連携し、Ｒ６年１月２７日（土）に大牟田文化会館において大牟田地域教育力向上推進大会を開催しました。第１部（青少年健全育成発表）では、児童生徒による「ありがたい感謝のことば」の発表や、「思いやり・親切」をテーマにした橘中学校区「児童会・生徒会リーダーミーティング」の取組の発表等がありました。第２部（大牟田市ユネスコスクール・ＳＤＧｓ／ＥＳＤ子どもサミット）では、大牟田大使でＪＡＸＡ宇宙教育センター長（当時）の北川智子さんによる講演等がありました。

（３）教育力向上に関する啓発資料の作成・配布の共同実施

教育力向上に関する啓発資料を作成し、４月に各学校から保護者に配布しました。

また、長期休業中の好ましい生活習慣等についてのチラシを作成し、２学期の終業式の日（１２月２２日（金））に、ゆめタウン大牟田において協議会役員が市民に配布しました。

（４）「ありがたい日」の作文の募集・表彰の共同実施

毎月１０日を「ありがたい日」とし、各学校でのぼり旗を掲げました。７月の校長会において「ありがたい日」の作文について周知し、各学校において取り組みました。

（５）中学校区教育力向上の促進

大牟田地域教育力向上推進協議会の地域部会である大牟田市中中学校区教育力向上連絡協議会が中心となり、各中学校区において、校区の実態に応じて、マナーアップ３運動「挨拶運動・環境美化運動・交通安全運動」に取り組みました。

○学校評価推進事業〔指導室〕

（１）学校の自己評価、結果公表に係る指導助言

各学校に対し、重点目標や教育活動全般に関する学校評価計画を立て、その評価計画に基づいて、学校の自己評価並びに結果の公表を計画的に行うよう指導しました。

各学校の評価結果（学校評価報告書）については、各学校のホームページに掲載して公表しました。

（２）学校関係者評価委員会の開催に係る指導助言

各学校では、学校評議員、地域代表、保護者代表、接続する関係学校代表等によって構成される学校関係者評価委員会を設置し、計画的に学校関係者評価委員会を開催しています。学校関係者評価委員会では、学校の重点目標に係る成果指標や取組指標等の設定の説明や客観的資料に基づき達成状況等の報告を行うよう指導助言を行いました。

各学校では、３学期に自校の教育活動や学校経営について自己評価を行い、学校関係者評価委員会において自己評価の結果について評価が行われました。各学校は、評価結果とそれを踏まえた改善計画を学校評価報告書としてまとめ、教育委員会に報告しました。

○学校評議員制推進事業〔学校教育課〕

（１）学校評議員の委嘱

学校長からの推薦を受け、小・中・特別支援学校に合計８６人の学校評議員に委嘱を行いました。

（２）意見聴取状況の把握

学校長が学校評議員から基本的に年３回の意見聴取を行う中で、専門的な識見からの考え方や地域住民・保護者の意向を学校運営に反映し、学校の課題解決に役立てるとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に関わる地域に開かれた学校づくりを推進しました。

○土曜日授業の推進〔指導室〕

（１）学校・家庭・地域の連携の視点からの土曜日授業の推進

小学校においては年間３回、中学校においては年間２回の土曜日授業を計画的に実施し、保護者や地域への学習公開を行ったり、保護者や地域の人材を活用した多様な体験学習等を実施したりするなどして、教育活動の充実を図りました。

○大牟田版コミュニティ・スクール推進事業〔指導室〕

（１）推進校における学校運営協議会の運営等

大牟田版コミュニティ・スクール推進校に指定した吉野小学校の学校運営協議会において、学校運営に関する協議を行いました。（７月・２月）

吉野小学校に地域学校協働活動推進員を１人配置し、地域住民や保護者等が学校経営に参画する「地域とともにある学校づくり」を推進しました。

○部活動指導員活用事業〔指導室〕

（１）各中学校への部活動指導員の配置

中学校における部活動の指導体制の充実を図るとともに、教職員の長時間勤務の削減や経験のない競技等の指導等の負担の軽減を図るため、部活動の技術的な指導に従事する部活動指導員を９人配置しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	目標値（人）	1,900	1,900	1,900	1,900	現状値を踏まえ1,900人以上を目指します。 〔現状値：1,898人（H28～30年度平均）〕
	実績値（人）	1,092	1,215	1,544	1,783	
	達成度（％）	57.5	63.9	81.3	93.8	

【指標達成度に対する要因分析】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進により、各学校並びに各中学校区の特色をふまえて、学校・家庭・地域が一体となった取組が展開されるとともに、各学校において、自校の教育活動に関する情報の発信や、地域や保護者の意向の学校運営への反映など、地域に開かれた学校づくりが推進され、学校教育における学校・家庭・地域の連携が充実しました。

各学校の特色ある教育活動の展開や学習環境の整備等におけるゲストティーチャーの活用

については、R 4 年度までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校教育活動への参加を控えていただいていたが、R 5 年度は、アフターコロナの状況をふまえ、徐々にゲストティーチャーの数もコロナ前の状況に戻りつつありました。しかし、その一方では、ニューノーマル（新たな日常）の考え方にに基づき、オンラインによるゲストティーチャーの活用など様々な見直しも併せて行っており、今後、コロナ以前の参加数の水準に戻る可能性は低いと思われます。

【今後の方向性】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進による学校・家庭・地域が一体となった取組は、今後も引き続き推進します。また、学校評価推進事業の充実・推進に取り組み、各学校における開かれた学校づくりへの支援・指導を行っていきます。

学校評議員制推進事業については、学校長が、学校評議員から、地域への授業公開の在り方、地域住民の教育活動への参加、学校行事の運営や安全管理の在り方、小中連携の方策など多岐にわたり学校運営を支援する意見をいただいております、これらの意見を参考に検討を進めていきます。

R 3 年度から実施してきた「大牟田版コミュニティ・スクール推進事業」は、R 5 年度をもって終了し、今後は、小中一貫教育推進事業において、中学校区ごとに学校運営協議会を設置するとともに、地域学校学校協働活動推進員を配置し、中学校区の小学校と中学校が共通した学校教育目標のもとで、さらなる学校・地域・家庭の連携を進めていきます。

部活動指導員配置事業については、学校職員を中心に構成してきた部活動検討委員会に、地域のスポーツ団体、文化団体、市の関係部署等の学校外の組織からも委員として加わっていただき、部活動の現状や課題について共有するとともに、人材確保等に関する協議を行います。

基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進

市民一人ひとりが互いの人権を尊重することの重要性を認識し、人権問題に対する正しい理解を深めるため、関係機関と連携しながら人権教育・啓発活動に取り組みます。

主要施策１ 人権・同和教育の推進

学校教育活動全体を通じて、人権尊重の視点を取り入れた教育を推進し、児童生徒に偏見や差別意識をなくす意欲と実践力を涵養し、人権が尊重される社会の基礎づくりを進めます。

また、人権・同和教育研究協議会等と連携しながら、広く市民を対象に、人権についての学習活動や啓発活動を推進し、人権が尊重される社会の形成を進めます。

【主な事業】

○人権・同和教育推進事業〔指導室〕

（１）学校教育活動全体を通じた人権・同和教育の推進

各学校において、人権・同和教育の全体計画を作成し、県教育委員会作成の副読本「かがやき」や教材集「あおぞら」、市人権・同和教育カリキュラムを活用しながら、学校の教育活動全体を通して、児童生徒の実態に応じ人権・同和教育を推進するよう指導しました。

（２）教職員研修の開催

教職員研修については、各学校において、授業による校内研修会を計画的に実施するとともに、大牟田市人権・同和教育研究協議会と連携して実践交流会に参加し、学校の人権・同和教育の充実に努めるよう指導しました。

さらには、福岡県教育庁南筑後教育事務所とも連携して、若年教員を対象とした研修会を実施しました。

（３）各種研究会への参加

県教育委員会、県人権・同和教育研究協議会等が主催する各種研究会への参加の促進を図りました。

●人権・同和教育問題啓発事業〔人権・同和教育課〕（２４ページを参照）

（１）福岡県同和教育問題啓発強調月間（７月）及び人権週間（１２月４日～１０日）の街頭啓発

と き ６月２９日（木）、１２月８日（金）

ところ ゆめタウン大牟田

（２）「人権学習会」の開催

と き ６月２日（金）、９月２９日（金）、１１月１７日（金）、Ｒ６年２月２日（金）

ところ 三川地区公民館、駿馬地区公民館、手鎌地区公民館、三池地区公民館

内 容 学習会「炭坑と人権 ～与論島から来て大牟田の礎を築いた人たち～」

講 師 大牟田市人権・同和教育研究協議会研究員

参加者 １０７人

（３）「人権・同和教育講演会」の開催

と き Ｒ６年２月２４日（土）

ところ 大牟田文化会館第１・２研修室

内 容 講演会「全筑後水平社１００周年から考える」

講 師 岩本 豊（部落解放同盟筑後地区協議会執行委員長）

参加者 ７４人

(4) 講師派遣と啓発情報提供

企業や団体等が開催する研修会に地域活動指導員を講師として派遣し、人権学習を推進しました。また、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための啓発資料の案内を行うとともに、「広報おおむた」に啓発に関する記事や事業の案内を掲載するなど、情報提供を行いました。

○大牟田市人権・同和教育研究協議会との連携〔人権・同和教育課〕

(1) 大牟田市人権・同和教育研究実践交流会の共催

第27回人権・同和教育研究実践交流会

と き 8月23日(水)

ところ 大牟田文化会館等

参加者 502人

全体会 記念講演「人権文化の花咲く学校づくり」

講 師 土田 光子(大阪多様性教育ネットワーク共同代表)

分科会 「部落問題学習①」、「子ども理解①」、「学力・進路保障」など5分科会を開催

(2) 課題別委員会「子ども就学支援」の支援

課題別委員会「子ども就学支援」で、「2023(令和5)年度版 おおむた子ども支援ガイドブック～子どもを、家庭をチームワークで支えるために～」を作成し、学校をはじめとして大牟田市人権・同和教育研究協議会加盟団体に配付するとともに、ホームページに掲載し、情報提供を行いました。

(3) 人権連続講座の共催

①第1回

と き 11月2日(木)

ところ 大牟田市労働福祉会館中ホール

内 容 講演会「不登校の現状とその基本的理解」

講 師 長阿彌 幹生(教育文化研究所代表)

参加者 77人

②第2回

と き 11月10日(金)

ところ 大牟田市労働福祉会館中ホール

内 容 講演会「基礎的な教育をすべての人に」

講 師 添田 祥史(福岡大学人文学部教育・臨床心理学科教授)

参加者 59人

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値(%)	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。 [現状値:96.5%(H30年度実績)]
	実績値(%)	93.4	93.1	91.0	92.6	
	達成度(%)	93.4	93.1	91.0	92.6	

【指標達成度に対する要因分析】

R5年度においては、5月の新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、コロナ禍以前のよ

うな形式で行事を行うことができました。各事業における「人権尊重意識の醸成度」については、目標値には届かなかったものの、ほぼ近い数字となりました。このため、開催テーマや趣旨については、参加者に十分伝わったものと思われます。

【今後の方向性】

諸事業を開催する際には、開催テーマに対する理解や認識を深めてもらうとともに、若年層を含めた幅広い市民の参加が得られるように企画、周知することも必要です。そのためには、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページのほか、愛情ねっと、公式 LINE 等を活用し、住民自治組織や民生委員・児童委員協議会等の各種団体に直接働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(市 長 部 局 関 係 分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第1編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第1編 はぐくみ 未来を拓く人がはぐくまれています

第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち

視点1 次世代を担う子どもをはぐくむ

視点2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

視点3 学習環境の整備・充実

視点4 青少年の問題行動や悩みへの対応

第5章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち

視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり

視点3 スポーツがしやすい環境づくり

第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ

視点2 文化芸術事業の充実

視点3 文化芸術の環境づくり

成果指標の令和5年度実績値

施策	成果指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	実績値 (R5年度)	達成度 (R5年度)
第1編第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち ※点検・評価の対象	将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合(※1)	—	90.0%	94.1%	104.6%
	地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合(※2)	47.5%	50.0%	51.2%	102.4%
同第5章 スポーツを通して生きがいになり、活気にあふれるまち ※点検・評価の対象外	1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率(※3)	41.6%	52.0%	43.0%	82.7%
同第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち ※点検・評価の対象外	1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合(※4)	57.9%	80.0%	47.8%	59.8%

※1:実績値(R5年度)は、事業に参加した高校生等向けのアンケート結果による。

※2～4:実績値(R5年度)は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による(18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、475人が回答)。

令和5年度重点事業

まちづくり総合 プラン第1編		事業名	ページ
章	視点		
4	1	高校生まちづくり体験事業	69
4	2	学校ESD支援事業	70

令和5年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点1) 次世代を担う子どもをはぐくむ 高校生まちづくり体験事業（75ページを参照）
-----	--

目的	高校生等を中心とした概ね18歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、多くの人とひとつのことをやり遂げることで、仲間意識や達成感を得るとともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることを目指します。
----	---

事業内容	高校生等が、事業内容を自ら企画し実践するとともに、地域や青少年団体をはじめとする様々な団体が高校生等の活動を支援・助言することで、高校生等が大人に感謝や憧れを持ち、将来のまちづくりに対する意識が芽生えるような事業とします。また、高校生等の活躍を見た小・中学生が、高校生等に憧れを持つことで、地域における支援が継続していくような事業を実施します。 具体的な事業として、次の2事業を実施します。 ○ふるさと魅力発見ウォーク 小・中学生と共に長距離を歩き抜くことで、チャレンジ精神を育み、実践力と豊かでたくましい青少年の育成を目指します。さらに、コース等について企画する中でふるさとの魅力を発見する機会とします。 ○総合発表会 高校生等が自ら企画・運営を行うことで、達成感や自信とともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けます。また、発表会を活用し、地区公民館等のサークルによる小・中・高等学校等への支援や相互の交流等を促す地域づくりを目的とした事業を行います。
------	--

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
参画した高校の数	目標値(校)	5	6	7	8	R5年度に市内の高校・高等専門学校全校の参画を目指し、年1校ずつ増加
	実績値(校)	6	4	8	8	
	達成度(%)	120.0	66.7	114.3	100	

取組実績	○高校生まちづくり体験事業推進協議会 本事業を支援することを目的として、青少年団体等から組織する協議会を開催しました。 ○高校生まちづくり体験事業 市内の全ての高校等に事業の周知を行い、事業を企画・運営する高校生をポスターやチラシ、HP等を活用して募集し、17人の参加がありました。 ①ふるさと魅力発見ウォーク 6月から企画会議を実施し、参加した高校生等は企画・立案に真剣に取り組み、大牟田の新たな魅力発見にも力を注いでいました。R2年度～R4年度に歩いたコースの青春歩（アオハルウォーク）マップを作成し、地区公民館などの公共施設に配架及びホームページに掲載しました。 ②総合発表会 大牟田市内の高等学校、高等専門学校に協力を呼びかけ、大牟田文化会館を会場に、「絆と夢の青春祭」と称して、R6年2月12日（月・振休）に開催しました。会場では、学校紹介（市内の全ての高校）、部活動発表、体験・展示・試食コーナー等に約1,000人の方（参加していた高校生も含む）が来場され、ギネス世界記録に挑戦ブースでは「折り紙で作った最大の言葉」に挑戦し、記録を達成しました。
------	---

	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	4,080 千円 千円)			2,500	1,580

問題点及び課題	高校生まちづくり体験事業を実施するためには、まずは事業を企画・運営する高校生等の参画が必要です。このためには、高校生等が参画しやすい時期等に事業を実施することが重要です。 また、企画・運営を行う高校生等の意見を活かしつつ、地域の方々や小・中学生等との交流の機会となるよう事業を展開する必要があります。
---------	--

今後の方向性（具体策）	本事業の目的では、高校生等を中心とした概ね18歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることが掲げられています。今後は、高校生が一層の主体性を持つ事業の組み立てを支援し、多様な価値観に触れる居場所の提供、キャリア教育の実施とともに大牟田への郷土愛の醸成を図ります。
-------------	---

評価	「来年度、また同じような企画があったら、参加したいと思いますか？」の問いに対し、事業に参加した高校生等17人全員から「参加したい」（「時間があれば参加したい」等を含む）とのアンケート回答があり、今後とも、より多くの高校生等に事業の体験の機会を提供できるよう取り組みます。
----	--

令和5年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点2) ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり 学校ESD支援事業(83ページを参照)
-----	--

目的
地区公民館が、学校教育のESDに対して必要に応じた協力を行うことで、社会教育におけるESDを推進することができます。また、学校教育におけるESDも効果的に実施できることが考えられます。

事業内容
学校が進めているESDの取組みのうち、地域の支援が必要な取組みについて、地区公民館が地域とのコーディネートを行うもの。地区公民館が学校のニーズを把握し、ニーズに応じた地域との調整や必要な支援を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
支援を行った小・中・特別支援学校の数	目標値(校)	4	6	8	10	R5年度に小学校7校、中学校、特別支援学校3校の支援を目指し、年2校ずつ増加
	実績値(校)	7	7	9	8	
	達成度(%)	175.0	116.7	112.5	80.0	

取組実績
○地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を実施し、子どもたちが描いた絵手紙を校区内の高齢者に届けました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校】
○地域、学校が連携し、種から花を育てることにより、地域の絆を深めました。【銀水小学校】
○地域の史跡や文化財等を知ったり、発表したりすることにより児童の地域への愛着を深めました。【羽山台小学校(学校ESD支援モデル校区)、駿馬小学校】
○小学校の海洋教育及び野外活動として実施されるカヌー乗船体験学習を支援しました。【駿馬小学校、天領小学校】
○漫才を通じて自分たちの考えを表現する力を養い、コミュニケーション力を高めることを目的とするワークショップを開催しました。【宮原中学校】
○地域、学校が連携し、防災・減災について考える事業を行いました。【みなと小学校】
○このほか児童・生徒の学習活動の成果発表の場として、各地区公民館のロビー等を活用した展示発表、文化祭での展示発表などを実施しました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	205 千円 千円)				205

問題点及び課題
地区公民館の機能や役割について、学校への周知が十分ではないため、提供できる支援について周知を図る必要があります。 小学校での実施が中心となっており、中学校・特別支援学校への取組が必要です。 学校のニーズを把握するため、学校が取り組んでいるESDについて理解を深めることが必要です。

今後の方向性(具体策)
学校職員を対象とした事業の説明機会を設け、学校ESDの支援に取り組みます。 学校に提供できる支援を明確にするため、地区公民館ができることをメニューにして提示するなど、わかりやすい仕組みを構築します。

評 価
R5年度は目標を下回る8校(小学校7校、中学校1校)の事業実施となりました。今後は学校・地域との連携をさらに深め、事業を実施していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち
次世代を担う子どもたちを中心に、ともに学び、考え、行動する人がはぐくまれるまちを目指します。 そのため、子どもたちの人間性、社会性、郷土愛などを地域や社会全体ではぐくむとともに、全世代にわたり、社会の課題を身近な問題ととらえ、地域での「つながり」や「関係性」を大切にする人をはぐくみ、持続可能な地域づくりを進めます。	

【視点1】次世代を担う子どもをはぐくむ

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて社会を生き抜く力を身に付けるとともに、郷土愛や将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくむ取組みを行います。

また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が、学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えるとともに、自らも人生100年時代における人づくりへとつながるような取組みを進めます。

【主な事業】

○子ども交流体験事業〔生涯学習課、公民館〕

（1）子ども交流体験活動事業〔公民館〕

地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、子どもたちの体験活動講座を86講座開催しました（2講座は大雨による避難所開設のため中止）。

（各講座の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（2）交流教育地域推進事業ふれあい共室

障害のある子どもと障害のない子どもがボランティアと交流しながら、レクリエーションなどの活動を通して人間性や社会性を育むこと、ボランティアが活動の意義を認識することを目的に実施しました。

①回数

- ・事前研修会 1回
- ・保護者との懇談会 2回
- ・活動 7回（11月の活動は、天候不順のため中止）

②延べ参加者（人）

- ・子ども 181人
- ・ボランティア 93人
- ・保護者（懇談会）29人

（3）子ども未来デッサン事業

小学校中・高学年（4～6年生）が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をしていただき職業体験も実施しました。

H26年度から29年度までの4年間は、生涯学習課で実施しました。H30年度からR2年度までは地区公民館事業として実施し、R3年度から再び生涯学習課で実施しています。R5年度は、中学1～3年生の生徒向けの講座も実施しました。

①講座内容（小学4～6年生対象）

講座名	講 師	と き	と こ ろ	受講者数
パティシエ	末吉 辰隆	7月25日（火）	大牟田市保健センター（らふる）	20人
システムエンジニア	志岐 敏樹	8月17日（木）	aurea（アウレア）	19人
看護師	本多 佑成 後藤 日菜乃 川崎 光央	10月7日（土）	大牟田市立病院	17人
警察官	藤原 貴俊	12月26日（火）	大牟田警察署	12人

②講座内容（中学1～3年生対象）

講座名	講 師	と き	と こ ろ	受講者数
会社経営者になるために ～ITの仕事やお金の役割～	後藤 秀隆	11月23日（木・祝）	aurea（アウレア）	7人
Scratch×AI 物体認識 ～中学生のためのプログラミング 体験～	唐崎 浩誠	11月23日（木・祝）	aurea（アウレア）	6人

（4）通学合宿や子どもの居場所への支援

①通学合宿支援事業

通学合宿は、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取組です。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

ア 新規実施校区を対象とした通学合宿モデル事業

行政と校区の実行委員会が連携して通学合宿を実施することにより、今後地域が自主的な取組で通学合宿を実施するための準備期間とするとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。R5年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

イ 自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する団体に対して補助金の交付を行うものですが、R5年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施する団体はありませんでした。

ウ 通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています（R5年度は実績なし）。

エ 今後の意向調査

各地域の実行委員会に今後の通学合宿実施に向けた意向調査を行いました（7団体）。

②子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課〕

ア 子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

（ア）子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等17団体（定期開設16団体、長期休業期間中開設1団体）に対して運営費の一部を補助しました。

・市補助金交付団体【定期開設】 16 団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月 1 回	19 年目
2	友・遊広場見守り隊	月 2 回	19 年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月 1 回	19 年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月 1 回	19 年目
5	大牟田視聴覚教育クラブ	月 1 回	17 年目
6	みんなの広場羽山台世話人会	月 1 回	14 年目
7	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月 1 回	13 年目
8	高取校区子どもの居場所実行委員会	月 1 回	13 年目
9	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月 4 回	12 年目
10	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月 1 回	11 年目
11	ひまわり広場実行委員会	月 4 回	9 年目
12	大正こどもの居場所実行委員会	月 1 回	6 年目
13	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月 1 回	4 年目
14	みなと子どもの広場実行委員会	月 12 回	3 年目
15	一般社団法人 umau. 大牟田支部じじっか・おおむた	月 4 回	1 年目
16	天領校区子どもの居場所実行委員会	月 4 回	1 年目

・市補助金交付団体【長期休業期間中開設】 1 団体

	交付団体名	開催数
1	夏休みお助け隊フレンドシップ実行委員会	年 6 回

・自主運営等の団体数 6 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駛馬地区アンビシャス広場	週 1 回
2	勝立地区アンビシャス広場	月 1 回
3	カルタンひろば（三池・カルタ歴史資料館）	休館日を除く毎日
4	吉野ぽけっと	月 4 回
5	上官げんきもりもりハウス	月 8 回
6	わくわく広場	月 1 回

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

・不定期開設運営等の団体数 3 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年 1 回
2	上内なかよし広場	年 1 回
3	西浜田わくわく広場	年 2 回

イ 啓発活動

（ア）各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行

（イ）子どもの居場所通信（第 1～3 号）の発行

（ウ）子ども会説明会での居場所啓発（4 月 9 日（日））

ウ 子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

（ア）情報交換の開催（5 月、12 月、3 月）

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年 3 回開催し、延べ 73 人が

参加しました。

(イ) 研修会の開催

と き 9月24日(日)
ところ 駛馬小学校 体育館 参加者 子ども37人 大人37人
テーマ 「第1回折り紙ヒコーキ大会 in おおむた」

(ウ) 体験活動(「わくわく子どもまつり」)の実施

と き R6年3月3日(日)
第一部【午前】 「折り紙ヒコーキ体験会」
第二部【午後】 「体験活動 & バザー」
ところ 手鎌地区公民館及びサンアビリティーズおおむた
参加者 第一部
子ども57人 大人 52人
第二部
子ども290人・保護者 177人
ボランティアスタッフ 139人
高校生ボランティア 44人
内 容 おもちゃ動物園、スカットボール、ハートの手さげ作り、プラ板ストラップ作り、サッカーPK戦、毛糸のかみかざり作り、ぼうしのブローチ作り、プレーパーク、スポーツチャンバラ、リサイクル工作、お菓子のつり、折り紙でコマを作ろう、竹ぼっくりで遊ぼう、お手玉を作ろう、バンブーダンス、冒険パン、リリボン・マーケット、松ぼっくりミニツリー作り、飲食バザー、ほか

(5) 南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム

南筑後地域在住の中学生を対象に、子どもたちが地域に愛着と誇りを持ち、将来を担う次世代のリーダーとしての資質や社会性を身につけるための「南筑後地域未来のリーダー育成プログラム」を実施しました。

①参加自治体

大牟田市、柳川市、八女市、大川市、みやま市、大木町

②日程、会場及び内容

ア 8月1日(火) 日帰り 大川市ふれあいの家 ほか
開講式、オリエンテーション、仁田原建具製作所での組子製作、グループワーク
イ 8月11日(金)～12日(土) 1泊2日 おおむたハイツ ほか
講師による講義、会社見学、グループワーク、グループ発表
※当初は3泊4日の予定だったが、台風の影響により8月9日(水)～10日(木)は中止

③参加対象者及び参加人数

南筑後地域在住の中学1～3年生45人
内訳：大牟田市17人、柳川市10人、八女市9人、大川市3人、
みやま市4人、大木町2人

④講師

南筑後地域に縁のある各界著名人など全国的、国際的に活躍する各界著名人
仁田原 進一 氏(仁田原建具製作所 代表)
北川 智子 氏(歴史学者 宇宙教育)
渡邊 令 氏(株式会社うなぎの寝床プロジェクトマネージャー)

●高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）〔生涯学習課〕（69ページを参照）

（１）ふるさと魅力発見ウォーク・総合発表会

①高校生等企画スタッフ募集

募集方法 ポスター、チラシ、市公式LINE等
募集期間 5月1日（月）～22日（月）
応募者数 17人（三池高等学校3人、三池工業高等学校4人、ありあけ新世高等学校1人、明光学園高等学校3人、大牟田高等学校2人、有明工業高等専門学校3人、大牟田特別支援学校高等部1人）

②企画会議・振り返り等開催

第1回 6月10日（土）企画会議
第2回 7月15日（土）企画会議
第3回 8月 5日（土）企画会議
第4回 9月16日（土）企画会議
第5回 10月14日（土）企画会議
第6回 12月 9日（土）企画会議
第7回 R6年1月13日（土）企画会議
第8回 1月27日（土）ギネス世界記録®挑戦準備
2月 3日（土）ギネス世界記録®挑戦準備
2月 4日（日）ギネス世界記録®挑戦準備
第9回 3月 9日（土）振り返り

③事業実施

ア ふるさと魅力発見ウォーク

R2年度～R4年度に歩いたコースの青春歩（アオハルウォーク）マップを作成
地区公民館などの公共施設に配架及びホームページに掲載

イ 絆と夢の青春祭

市内の中学校・高等学校・工業高等専門学校や大学に通う生徒や学生によるステージ発表や体験コーナー・展示及び地区公民館やまなばんかん登録者の体験コーナー・展示

と き R6年2月12日（月・振休）
参加者 約1,000人（高校生スタッフ等含む）
ところ 大牟田文化会館（大ホール、小ホール、憩いのmori等全館）
内 容 ○発表・体験ブース
大牟田市内の高等学校、高等専門学校の学校紹介、部活動発表、
工作・体験コーナー、展示コーナー等
○大牟田いいところ発信ブース
大牟田いいところフォトコンテスト
○ギネス世界記録®に挑戦ブース
ギネス世界記録®町おこしニッポン（折り紙で作った最大の言葉）
○青春（アオハル）ウォークまとめ展示ブース

④高校生まちづくり体験事業推進協議会

協議会開催 第1回 R6年3月29日（金）

○子どもの読書推進事業〔生涯学習課〕

R5年度は、子ども読書推進に係る広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に

基づき、次のような取組を行いました。

(1) ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が、絵本を通して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組として、絵本と布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット（ブックスタートパック）を全ての新生児に配布するブックスタート事業を実施し、R5年度は536人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせの実演や赤ちゃん絵本を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」実施状況（会場は市立図書館）

と き	参 加 者
7月28日（金）	8組（18人）
7月29日（土）	5組（13人）
8月25日（金）	3組（6人）
8月26日（土）	5組（12人）
10月27日（金）	9組（18人）
10月28日（土）	3組（6人）
12月8日（金）	8組（19人）
12月9日（土）	2組（5人）
R6年3月1日（金）	5組（12人）
3月2日（土）	受講希望者なしのため中止

(2) 子ども読書推進啓発事業

①啓発チラシ作成・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

②子ども読書の日記念イベント2023（指定管理者）

4月23日の子ども読書の日に合わせて、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

（内容等の詳細は、181ページの「社会教育施設等の状況 図書館」の「3 事業の実施状況」の「(1) 必須事業」の「②行事」の「ア イベント的事业」の表を参照）

③ホームページへの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました。（携帯電話用のページも毎月更新）。

④うちどくノートの作成・配布

R4年度から家庭での読書推進のため、読書記録を残すことが出来る「うちどくノート」を作成し、図書館で配布しています。また、学校等での活用の提案を含め、ホームページからもダウンロードし印刷ができるように掲載を行い、広く周知しています。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

(1) 親子運動セミナー

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの恒常性を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実

施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡コーチを講師にボールを使用した運動などを行いました。

期日	内容	場所	参加者数
5月28日(日)	子どもの体力測定、保護者セミナー	明治小学校	86人(36組)
6月11日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	85人(36組)
9月24日(日)	親子で運動遊び	大牟田中央小学校	61人(25組)
10月15日(日)	親子で運動遊び	大牟田中央小学校	59人(25組)
10月22日(日)	子どもの体力測定	明治小学校	55人(23組)

○スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握し、その増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト、交流ドッジボール大会）を実施しました。また、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を発行し、その中で、スポーツ少年団への加入促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12月9日(土)	体力テスト	市民体育館	18	316
R6年2月11日(日・祝)	交流ドッジボール大会	市民体育館	10	181

スポーツ少年団の加入状況

区分 \ 年度	R3年度	R4年度	R5年度
スポーツ少年団数	35	33	32
加入者数	499	455	453

○おおむたっ子ががんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

18歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する場合に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子ががんばれ奨励金」を交付しました。

区 分		R3年度	R4年度	R5年度
スポーツ	全国大会等出場者数	93人	130人	201人
	交付額	279千円	390千円	603千円
文化芸術	全国大会出場者数	15人、2団体	19人、1団体	18人、4団体
	交付額	255千円	157千円	371千円

○各世代に応じた学習活動支援事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕

高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生100年時代に向けた人づくりを進めるため、あらゆる層の市民が参加できる学習機会の提供として73講座を開催しました。（各講座の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(2) 大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びPTA連合会活動等への支援〔生涯学習課〕

①子ども会活動支援事業

ア ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座

を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者数
8月5日(土) ～6日(日)	危険予知訓練・レクリエーション・夕食バーベキュー	リフレスおおむた	7人
11月4日(土) ～5日(日)	防災体験・レクリエーション・夕食調理・テント泊	リフレスおおむた	6人
R6年 1月28日(日)	危険予知訓練・レクリエーション・昼食調理	えるる	7人

イ 親善交流大会（ドッジビー大会、カルタ大会）

（ア）ドッジビー大会

と き 9月18日（月・祝）
 ところ 第二市民体育館
 参加者 6子ども会 6チーム 74人

（イ）新年カルタ大会

と き R6年1月8日（月・祝）
 ところ 手鎌地区公民館
 参加者 2子ども会 4チーム 16人

（ウ）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と き 4月9日（日）
 ところ 労働福祉会館
 参加者 20団体23人
 内 容 子ども会の重要性や育成会の役割等

※資料配布後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、27団体が加入しました。

②PTA活動支援事業

ア 広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

（ア）PTA広報紙コンクールの実施

第38回PTA広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会の共催により実施しました。作品は、R4年度発行の新聞を対象としました。

応募校数28校（小学校19校、中・特別支援学校9校）

表彰 大牟田市長賞：駿馬小学校父母教師会、歴木中学校父母教師会
 大牟田市教育委員会賞：みなと小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会
 大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会賞：
 大正小学校父母教師会、大牟田特別支援学校父母教師会
 優秀賞：大牟田中央小学校父母教師会、中友小学校父母教師会、
 羽山台小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会

（イ）PTA広報紙研修会の開催

内 容 5月31日（水）に生涯学習支援センターにおいて、広報課職員を講師に招いて実施し、企画、レイアウト、記事の書き方等、広報紙づくりの技術を学びました。

（ウ）PTA連合会の研修会の委託

内 容 11月4日（土）に大牟田文化会館において、一般社団法人ワンライフプロジェクト（代表理事 桑野 優子氏）を講師に招き、大牟田市立

小・中・特別支援学校PTA連合会研修会を実施しました。

○家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）家庭教育講座〔公民館〕

家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を８講座開催しました。

（各講座の詳細は、１４５～１６７ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（２）子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

①三池子育てふれあい広場（じゃじゃり子み〜け）・月曜日開設

大人延べ利用者数	２９９人
子ども延べ利用者数	３３９人
延べ利用者数	６３８人
開設日数	２９日

②手鎌子育てふれあい広場（れもんぐらす）・金曜日開設

大人延べ利用者数	３３６人
子ども延べ利用者数	２９７人
延べ利用者数	６３３人
開設日数	３１日

③ボランティア養成講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営を目指し、三池地区公民館はボランティアスタッフの新規養成講座を、手鎌地区公民館はボランティアスタッフのスキルアップ講座を実施しました。また、講座の中で手鎌子育てふれあい広場（れもんぐらす）と三池子育てふれあい広場（じゃじゃり子み〜け）のスタッフ間交流及び意見交換を実施し、広場の活性化を図りました。

（３）子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに、家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年３回（７月・１１月・３月）発行し、発行数は延べ３４，５００部でした。

（４）幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施

①就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育のあり方やしつけについての子育て講座を実施しました。Ｒ３年度から公民館事業として実施しています。Ｒ５年度は１９校区で実施しました。

１９講座（１９小学校区） 参加者数６８３人（入学予定者数の８６．３％）

②幼児期子育て講座〔生涯学習課〕

講座を実施しませんでした。

○わくわくシティ基金事業〔スポーツ推進室、生涯学習課〕

スポーツ・文化の振興を通じた青少年の人材育成、地域活性化を目的とし、スポーツ・文化の振興につながる事業を助成するものです。

スポーツ分野は、R 5 年度に実施した事業はありませんでした。

文化芸術分野は、ダンスによる若者育成事業実行委員会による「ダンスチャレンジおおむた」、大牟田子ども劇場による「子どもと文化が会うまちづくり事業～多様性を認め合える子どもたちに～」、大牟田こども映画学校実行委員会による「大牟田こども映画学校」を下記のとおり開催しました。

「ダンスチャレンジおおむた」

- | | |
|-------|--|
| と き | R 6 年 1 月 2 1 日 (日) |
| と ころ | 大牟田文化会館大ホール |
| 参 加 者 | 約 5 5 1 人 |
| 概 要 | ①日頃ダンス活動に励んでいる市内高校のダンス部やダンスグループがステージで発表。
②明光学園高校ダンス部とありあけ新世高校ダンス部の生徒が振り付けしたダンスを小学生にレッスンするワークショップを12月からR 6 年1月にかけて5回実施し、レッスンの成果をステージで披露。
③市内外の参加者を募り、小学生部門・中高生部門によるダンスコンテストを実施。
④高校生ボランティアによる受付やステージ誘導、楽屋呼び込み・音響操作などのイベント運営。 |

「子どもと文化が会うまちづくり事業～多様性を認め合える子どもたちに～」

- | | |
|-------|--|
| と き | ①コミュニケーションワークショップ：R 6 年 1 月 1 3 日 (土)
②事前座談会：R 6 年 1 月 1 6 日 (火)
③「世界に一羽だけの鳥になって遊ぼう」ワークショップ：
R 6 年 1 月 2 1 日 (日)
④「ヘンテコ鳥とさかいめの3人」舞台鑑賞会：R 6 年 2 月 1 0 日 (土) |
| と ころ | ①三川地区公民館
②中央地区公民館
③駛馬地区公民館
④大牟田文化会館小ホール |
| 参 加 者 | ① 2 5 人 ② 1 8 人 ③ 5 3 人 ④ 1 8 4 人 |
| 概 要 | ①小学校高学年の児童を対象に「ヘンテコ鳥とさかいめの3人」の脚本家・演出家関根信一氏を講師に迎え、コミュニケーションワークショップを実施。
②関根氏による作品に込めた思い等の講話や座談会を実施。
③舞台鑑賞会をより楽しむため、親子で「世界に一羽だけの鳥」になって遊ぶワークショップを実施。様々な材料を使い、鳥になって遊ぶ個性を認め合う体験。
④3つの国のそれぞれ違う価値観を持つ3人の子ども達が出会い関わって、人との違いを認めていくことの大切さを学ぶ演劇鑑賞会。 |

「大牟田こども映画学校」

- | | |
|------|---|
| と き | ①5月3日(水・祝)～5日(金・祝)
②10月21日(土)
③11月4日(土)～5日(日) |
| と ころ | ①大牟田文化会館 展示室、小ホール
②セントラルシネマ大牟田
③aurea (アウレア) |

参 加 者	21人
概 要	①大牟田市にゆかりがある著名な映画監督を招へいし、小中学生3チームで各1本のショートムービーを制作。 ②大牟田映画祭プレステージにおいて、制作した作品を上映。各チームによる上映前の舞台挨拶も実施。 ③大牟田映画祭まちなかステージにおいて制作した作品を上映。子ども達が映画祭の運営も実施。

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点2の113～115ページを参照）

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点3の116ページを参照）

【視点２）ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」・「つながり」をはぐくむといったＥＳＤの視点を持った取組みを展開することで、「人づくり」・「つながりづくり」を進めます。それにより、地域が直面する課題を市民自らが発見し共有し解決していく、持続可能な「地域づくり」へとつなげていきます。

【主な事業】

○生涯学習ボランティア登録派遣事業〔おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

（１）生涯学習ボランティア登録派遣事業

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。Ｒ５年度は新型コロナウイルス感染症の５類感染症への移行などの要因もあり、派遣回数は若干増加し、参加者数も増加しました。

①ボランティア登録・派遣状況

年度	区分	延べ登録件数 (件)	延べ登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣先の 参加者数 (延人数)	ボランティアの 稼働率(%)
R3	個人	91	91	125	2,640	36.2
	団体	116	1,464	191	4,370	
	計	207	1,555	316	7,010	
R4	個人	92	92	127	3,091	46.4
	団体	119	1,509	270	7,279	
	計	211	1,601	397	10,370	
R5	個人	89	89	156	3,775	55.6
	団体	125	1,458	295	13,043	
	計	214	1,547	451	16,818	

②アンケート結果

○ボランティア登録者の意欲の高まり

（学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい）・・・９３．９％

（Ｒ４年度９９．６％）

○依頼者（利用者）の満足度（今後もこの制度を活用したい）・・・１００％

（Ｒ４年度１００％）

③生涯学習ボランティア登録者説明会・交流会

生涯学習ボランティア登録者に対して、事業内容等についての説明と登録者同士の交流を図るため説明会・交流会を開催しました。

ア 説明会内容 事業概要、活動時の心得、ボランティア活動保険、電子申請について

イ 交流会内容 少数の班に分かれて、ボランティア登録者同士の意見交換実施

④新規登録の呼びかけ

地域で活動している人等を対象に、好きなことや得意なこと、学んだ成果を活かして生涯学習ボランティアとして活動してもらうために、地区公民館で実施する「アクティブシニアデビュー塾」・健康づくり課主催の「食育ボランティア講座」における事業の紹介とボランティア登録の呼びかけを行いました。

⑤周知・P R

- ア ボランティア登録者の紹介（「広報おおむた」奇数月巻末掲載）
- イ 「おおむた生涯学習メニューブック（まなばんかん利用案内掲載）」（2,500部）の配布
- ウ You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」でボランティア登録者の活動の様子を紹介
- エ おおむたまちづくり推進協議会のInstagramを開設し、情報を発信

○地域E S D推進事業〔生涯学習課・公民館〕

地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成に向けた取組みなどを校区まちづくり協議会などの関係団体との協議を行い、ニーズをとらえて進める24の事業を実施しました。

●学校E S D支援事業〔生涯学習課・公民館〕（70ページを参照）

○人材育成・地域活動促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- （1）地区公民館で実施する講座等をきっかけにして、自主グループを発足するとともに、学んだ知識をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。

学んだ成果を活かす活動の場や機会を、地区公民館はもとより、校区コミュニティセンターや各学校などの身近な地域で行う事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、サークル等の活動について必要に応じた支援を行う事業など、26事業を実施しました。

○学習成果活用促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- （1）高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（アクティブシニアデビュー塾・ボランティアデビュー編）〔健康づくり課・生涯学習課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を活かしたボランティア活動・地域活動の機会、さらには心と身体健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために健康づくり課および地域包括支援センターと連携し、「アクティブシニアデビュー塾」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティアデビュー編」7講座を開催し、78人が受講しました。

講座終了後、3つの新規ボランティアグループが結成され16人が入会、既存ボランティアグループに18人が加入し活動を続けています。

（各講座の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

- （2）カヌーサポーター養成講座〔公民館〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発や、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合い、世代間交流の促進を図る目的で「カヌーふれあい事業」を実施しています。この事業にボランティア団体「はやめカヌーサポーター会」に支援・協力をお願いしており、「はやめカヌーサポーター会」の人材不足を解消するために、カヌーの知識や技術を学ぶ養成講座を実施して加入促進を図っています。R5年度は7人が受講し、うち3人が「はやめカヌーサポーター会」に加入しました。

- （3）ボランティア団体支援事業〔公民館〕

7地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体

等への支援を行いました。

(各事業の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(4) 地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕(再掲)

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図ることを目指して実施しました。また、子どもサークル体験など、次世代育成の支援も行いました。

(各事業の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

○地域のICTを支援する人づくり事業〔生涯学習課〕

(1) 地域のICT化を推進するボランティアの養成

オンラインを活用した地域学習活動・地域活動を進めていくためには、地域の支え手が必要であることから地域住民を対象とした「VRを活用した地域とつながるプロジェクト」を実施しました。R5年度は、4年度に養成したボランティアのスキルアップや活動の場を提供するとともに、ボランティアを増員するための講座を実施しました。

と き 7月～R6年3月

対 象 一般成人

参加者 13人

概 要 VRゴーグルや360度カメラの使い方を学び、市内風景を撮影し、特別養護老人ホーム延寿苑の入所者等に撮影した映像を見せるボランティア、地区公民館文化祭等のイベントにおける体験を行いました。

(2) 地区公民館職員のICTスキルアップ研修

R6年2月5日(月)の地区公民館職員研修会において、地域や社会のデジタルデバイドの実態に関する学習、先進的なデジタルツール生成AIの活用体験を実施しました。

【視点3】学習環境の整備・充実

さまざまな手法を用いて学習に関する情報や場を提供するとともに、個人の要望に応える学習をきっかけとして、社会の要請に応える学習・活動へつなげる働きかけや工夫を行います。

さらに、市民が身近な地域で学習活動を行えるよう環境整備を図ることにより、生涯学習、ボランティア活動、地域活動を促進します。

【主な事業】

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報誌やリーフレット、インターネット、ラジオなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

- (1) 学習情報誌「まなびのカタログ」の発行（奇数月に年6回発行 2,000部／回）

掲載事案件数85件、メールマガジン登録件数161件

- (2) 「おおむた生涯学習メニューブック」の発行（冊子2,500部）

生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「がんばる地場企業」及び市役所職員出前講座のメニュー表を1冊にまとめて発行しました。

- (3) 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全9回）

- (4) その他（年間随時）

①市ホームページ、SNS、「愛情ねっと」、「FMたんと」、YouTubeを活用した動画配信による情報発信

②学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○多様な学習機会提供事業〔大牟田市生涯学習まちづくり推進会議・おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

- (1) 市役所職員出前講座

市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。R5年度は新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行などの要因もあり、若干増加しました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数（派遣回数）	派遣職員数（市職員）	参加者数（市民）
R3	123	65回	117人	2,175人
R4	118	86回	169人	2,696人
R5	123	97回	175人	2,962人

- (2) 生涯学習ボランティア登録派遣事業

（視点2）「ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（82・83ページを参照）

- (3) 市民大学講座 市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講座名	講師	期日	場所	受講者
方言研究の現在：九州方言の中の大牟田地域のことば	有明工業高等専門学校 一般教育科 助教 山田 高明	11月2日 (木)	えるる	34人
運動を継続させるためのコツ～モチベーションを向上させ、維持させるために～	帝京大学福岡医療技術学部 理学療法学科 講師 上瀧 健二	11月7日 (火)	えるる	29人

有明高専発！サーキットデザイン教育～ぬり絵とゲームで学ぶ半導体～	有明工業高等専門学校 創造工学科 講師 野口 卓朗	11月11日(土)	えるる	13人
糖尿病を早期発見するためには～慢性腎臓病を予防するため～	帝京大学福岡医療技術学部 医療技術学科 教授 佐藤 正広	11月20日(月)	えるる	14人

(4) 企業出前講座「がんばる地場企業」(R6年度から「おおむた知恵袋」に名称変更)

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
R3	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬㈱プランツ、⑭㈱O.A.S、⑮九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、⑯㈱にしけい有明支社、⑰大牟田柳川信用金庫、⑱つきあかり、⑲和装処・坪井、 ⑳(有)美川漢方堂、㉑(有)山田屋茶舗、㉒㈱大幸商事、 ㉓㈱エム・ティ・ネット、㉔磯浜葬祭 天翔苑、 ㉕アトリエ 花むすび、㉖しゅがーりいすぺーす	46	10回	313人
R4	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱ ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬㈱プランツ、⑭㈱O.A.S、⑮九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、⑯大牟田柳川信用金庫、 ⑰つきあかり、⑱(有)美川漢方堂、⑲(有)山田屋茶舗、 ⑳㈱エム・ティ・ネット、㉑磯浜葬祭天翔苑、 ㉒アトリエ花むすび、㉓オンライン学習会 ㉔明治安田生命保険相互会社大牟田北営業部	52	36回	951人
R5	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、③㈱O.A.S、 ④(有)美川漢方堂、⑤明治安田生命保険相互会社、 大牟田北営業部、⑥春日クリニック、 ⑦(合)REIWANO01、⑧㈱四郎國光、⑨(有)山田屋茶舗、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪(有)宮脇商会、⑫九州電力㈱大牟田営業センター、⑬ジブラルタル生命㈱、⑭㈱エム・ティ・ネット、⑮㈱リード、⑯安田生命保険相互会社、 ⑰オンライン学習会、⑱信号電材㈱、⑲㈱マルエ産業、 ⑳三池海上保安部、㉑大牟田柳川信用金庫、㉒いちよし証券㈱大牟田支店、㉓ありあけ不動産ネット協同組合、 ㉔㈱白雲社、㉕磯浜葬祭 天翔苑、 ㉖つきあかり、㉗㈱プランツ、㉘(有)グリーンピース磯浜、 ㉙アトリエ 花むすび	55	30回	698人

○社会教育機能向上事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 公民館職員研修会(公民館)

地区公民館の職員を対象に、ファシリテーション研修や事業企画の方法など職員のスキルアップを図ることを目的に、9回の研修会を開催しました。(避難所開設のため1回中止)

(2) 社会教育関係職員研修会

社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシ

リレーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で2回実施しました。

(3) 新任公民館職員研修会

新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を1回開催しました。

(4) 新任社会教育関係職員研修会

新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ること、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を1回開催しました。

○地区公民館整備事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 各地区公民館の維持補修〔公民館〕

7地区公民館は既に建築から20年以上経過し老朽化も進んでいますが、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

○地域学習機会提供事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 子ども交流体験活動事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「子ども交流体験活動事業」の(1)子ども交流体験活動事業(71～74ページ)を参照
(各講座の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 家庭教育講座〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(1)家庭教育講座(79ページ)を参照
(各講座の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(3) 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(4)幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施の①就学前子育て講座(79ページ)を参照

(4) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「各世代に応じた学習活動支援事業」の(1)各世代に応じた学習活動支援事業(77・78ページ)を参照
(各講座の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(5) 高齢者生きがいきづくり社会参加促進事業(地域デビュー編・健康実践デビュー編)

〔生涯学習課・公民館・健康づくり課〕

興味や関心があることをきっかけに、社会や地域で生きがいを見つける「地域デビュー編」を7講座開催し、85人が受講、学んだ成果を活かし、健康づくりを実践するアクティブシニアを育む「健康実践デビュー編」を7講座開催し、88人が受講しました。

講座終了後、11の新規サークルが結成され89人が入会、既存サークルへ15人が加入し活動を続けています。

(各講座の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(6) 公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

(各館の発行の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(7) 読書推進事業〔公民館〕

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行い、図書貸出の合計は33,025冊でした。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いました。

(各事業の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(8) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(2)子育てふれあい広場の開設(79ページ)を参照

(9) 地区公民館文化祭〔公民館〕

7地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により開催し、交流と連携を深めています。

(7地区公民館の文化祭の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(10) 展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

(展示コーナー活用事業の詳細は、145～167ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

（視点４）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導・相談・環境浄化などの健全育成活動の充実に努め、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、インターネットによるいじめ・依存防止のための適正利用や被害防止の啓発を行うほか、ひきこもりやニートなどの問題に対し、関係機関などと連携強化を図り支援します。

【主な事業】

○青少年健全育成事業〔生活安全推進課〕

（１）街頭指導活動

少年センターの指導員が関係団体と共に「OMUTTA少年よくし隊」として、大型店舗や繁華街、公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取り組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況 (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R3	281回	1,238人
R4	394回	1,561人
R5	348回	1,755人

(※夜の青色パトカーによる街頭活動を含む)

②青色パトカー巡回活動概況（昼間のみ） (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R3	238回	465人
R4	235回	446人
R5	239回	454人

※R3年度以降は、少年センター専任指導員のみの実施

③指導概況（性別、学職別） (単位：人)

年度 \ 区分	男	女	合計	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	合計
R3	50	30	80	0	24	50	0	0	0	6	80
R4	54	38	92	18	22	51	0	0	0	1	92
R5	95	112	207	3	85	119	0	0	0	0	207

④行為別指導実数 (単位：人（上段）・％（下段）)

年度 \ 区分	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
R3	8	23	37	0	10	0	0	0	0	2	80
	10	28.8	46.2	0	12.5	0	0	0	0	2.5	100
R4	0	14	44	0	17	0	0	0	0	17	92
	0	15.2	47.8	0	18.5	0	0	0	0	18.5	100
R5	2	47	131	2	24	0	0	0	0	1	207
	1.0	22.7	63.2	1.0	11.6	0	0	0	0	0.5	100

※少年センターとしての時間の捉え方

夜間外出：～20時 夜遊び：20時～22時 深夜徘徊：22時以降

⑤指導した場所

(単位:人)

区分 年度		ター ゲーム セン	等 カラ オケ 店	大型 店等	コン スビ ニエ	駅	路 上	自 宅 等	寺 院・ 神社	公 園	海 岸・ 河川	そ の 他	合 計	
R3	男子	0	0	16	0	0	9	0	0	25	0	0	50	80
	女子	0	0	21	0	0	1	0	0	8	0	0	30	
R4	男子	3	0	21	0	0	15	0	5	6	3	1	54	92
	女子	0	0	19	0	0	13	0	2	1	0	3	38	
R5	男子	6	0	19	0	0	33	0	2	23	0	12	95	207
	女子	0	0	80	2	0	4	0	2	22	0	2	112	

(2) 有害環境浄化活動

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望書配布・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害環境の浄化活動を行いました。

(3) 相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、メールでの相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

なお、電話相談については、より相談しやすい体制を確保するため、R4年1月から福岡県教育委員会が24時間365日実施する「子どもホットライン24」に一本化し、周知啓発を図っています。

①相談件数

(単位:件)

区 分	年 度	家 族	本 人	その他	合 計
来 所 相 談	R3	1	0	0	1 (1)
	R4	0	0	0	0 (0)
	R5	0	0	0	0 (0)
電 話 相 談 (ヤングテレホン)	R3	0	4	43	47 (6)
	R4	-	-	-	-
	R5	-	-	-	-
メール相談	R3	0	1	0	1 (1)
	R4	3	0	0	3 (1)
	R5	0	0	0	0 (0)

※ () 内は実際に相談された人

②相談内容内訳

(単位:件)

区分 年度	健康	学業	交友 交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
R3	1 (1)	0	2 (2)	0	2 (2)	0	0	0	44 (3)	49 (8)
R4	1	0	1 (1)	0	0	1	0	1	0	4 (1)
R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ () 内は実際に相談された人

※ 1件に複数の相談内容を含む

(4) 関係機関・団体等との連携活動

①啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」にあたる7月と「子ども・若者育成支援強調月間」の11月を中心に次の行事を行いました。

ア 第73回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

市庁舎前で立ち上げ式等を行いました。

と き 7月4日(火)

ところ 市庁舎前

イ 第71回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催しました。

と き 7月5日(水)

ところ 文化会館 小ホール

ウ 児童虐待防止推進キャンペーン

児童虐待事案を認知した際の情報提供を促すための啓発チラシを配布しました。

と き 11月22日(水)

ところ ゆめタウン大牟田店

参加者 大牟田警察署、大牟田市(子ども家庭課、少年センター)、
他関係団体

エ 大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写51点のほか、標語109点を展示しました。

と き 11月2日(木)～9日(木)

ところ えるる 1階 展示コーナー

②若鳩会運営費補助

青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員により組織されている若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

【主な事業】

○社会教育委員の会議〔生涯学習課〕

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

(1) 会議の開催

第1回 【書面開催】※大雨災害による影響のため

7月14日（金）～7月21日（金）

対面による内容説明のうえ資料配付後、意見・回答を集約

配布物 会議資料

- 1 令和4年度社会教育委員の会議等事業実績報告
- 2 令和5年度社会教育委員の会議等事業計画（案）
- 3 大牟田市総合体育館整備の進捗について（報告）
- 4 大牟田市人権問題意識調査の実施について（報告）
- 5 八女地区社会教育委員連絡協議会視察（協議）
- 6 令和4年度社会教育振興プランの進捗（報告）
- 7 令和5年度社会教育・生涯学習事業計画（協議）
- 8 社会教育・生涯学習基礎調査研究（市民意識調査・若者意識調査）（報告）
- 9 次期マスタープランの進捗・方向性について（報告・協議）

その他資料 大牟田文化会館大ホールステージにおけるスプリンクラーの事故について

第2回 と き 11月13日（月）10時～11時45分

ところ 大牟田市生涯学習支援センター 多目的室

議 題 1 社会教育・生涯学習基礎調査研究について

報 告 1 令和5年度福岡県社会教育研究大会について

2 令和5年度南筑後地区社会教育委員交流会について

3 令和5年度筑後地区市町村社会教育委員研修会の開催について

4 大牟田市文化芸術振興プラン（2024～2028）素案について

5 第76回はたちの集いについて

6 第38回人権フェスティバルについて

その他 1 第7次マスタープランの進捗について

2 社会教育・生涯学習基礎調査研究について

第3回 と き R6年1月29日（月）10時～11時50分

ところ 大牟田市生涯学習支援センター 多目的室

議 題 1 令和5年度社会教育・生涯学習事業（案）について

2 大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究について

3 大牟田市社会教育振興プラン（2024～2028）（案）について

4 大牟田市文化芸術振興プラン（2024～2028）（案）について

報 告 1 第76回はたちの集いについて

2 絆と夢の青春祭について

その他 1 筑後地区市町村社会教育委員研修会について

2 大牟田市総合体育館について

3 R5玉川小学校子ども放課後塾スケジュールについて

4 社会教育委員の会議の1年を振り返って（感想）

（2）委員研修

①令和5年度南筑後地区社会教育委員交流会

講義 「現代社会において大切にしていきたい人権感覚」

講師 南筑後教育事務所 人権・同和教育室 社会教育主事補 勝島 夕介

発表 「ちくご創年塾から見えてきたもの」

説明 筑後市社会教育委員の会会長 西坂 ヨシエ

講話 「対話と学び合いを通じて「やりたいこと」「興味があること」から始まる学びの場づくり」

講師 NPO法人ドネルモ 事務局長 宮田 智史

②令和5年度筑後地区市町村社会教育委員研修会

講演 「笑って元気 家族の絆・親子の絆・地域の絆」

講師 口演家・鷹鳥屋神社宮司 矢野 大和

実践発表 演題 「うきは市における社会教育の取り組み」

説明 うきは市社会教育委員

○はたちの集いの開催〔生涯学習課〕

成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第76回はたちの集いの開催

※R4年度から成年年齢が18歳に引き下げられたが、本市ではこれまでと同様に20歳になった青年を対象に記念式典を開催した。

と き R6年1月7日（日）15時～16時

ところ 文化会館

内 容 ウェルカムムービー 上映

- ・シティプロモーション動画
- ・消防団員募集（大牟田PRIDE）

アトラクション（司会：公募による式典対象者1人）

- ・大牟田高等学校吹奏楽部による演奏
- ・ありあけ新世高等学校ダンス部パフォーマンス

式典（司会：公募による式典対象者1人）

- ・国歌独唱（公募による式典対象者1人）
- ・市民憲章唱和（市民憲章推進委員）
- ・誓いの言葉（公募による式典対象者1人）
- ・ボランティア協力団体等（市内高等学校及びガールスカウト福岡県第7団）

区 分	該当者数（人）			出席者（人）	出席率（％）
	男性	女性	合計		
R3 年度	480	421	901	484	53.7
R4 年度	438	436	874	469	53.7
R5 年度	471	439	910	589	64.7

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	事業に参加した高校生等向けアンケートにおいて 90.0%以上を目指す。
	実績値 (%)	77.8	50.0	90.9	94.1	
	達成度 (%)	86.4	55.6	101.0	104.6	
地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	目標値 (%)	50.0	50.0	50.0	50.0	現状値を踏まえ 50.0%以上を目指す。 〔現状値:47.5% (H30 年度実績)〕
	実績値 (%)	46.2	46.8	46.2	51.2	
	達成度 (%)	92.4	93.6	92.4	102.4	

【指標達成度に対する要因分析】

- ・本施策の成果指標である「将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合」については、前年度の 90.9%から 3.2ポイントアップの 94.1%となり、目標達成度は、104.6%となりました。要因としては、青少年の体験活動等の各事業が計画どおりに実施できたことや、組織や団体等の活動も効果的に実施することができたことによるものと考えられます。特に、高校生まちづくり体験事業では、事業に参加した高校生の企画・運営のもと、市内の高校等の協力を得て、「絆と夢の青春祭」を開催することができました。この事業を通して、高校生の他校等との横断的な繋がりが促進され、結束の強化、ひいては大牟田への関心を高める機会となりました。
- ・「地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合」については、前年度の 46.2%から 5.0ポイントアップの 51.2%となり、目標達成度は、102.4%となりました。市民への幅広い学習機会の提供を行うとともに、地域ESD推進事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取り組みを行ったことで、学習活動の必要性や地域づくりに対する意識の醸成を図りました。

【今後の方向性】

- ・本事業の目的では、高校生等を中心とした概ね18歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることが掲げられています。今後は、高校生が一層の主体性を持つ事業の組み立てを支援し、多様な価値観に触れる居場所の提供、キャリア教育の実施とともに大牟田への郷土愛の醸成を図ります。
- ・子どもたちが心身ともに健康で社会を生き抜く力、思いやりの心やふるさとを愛する心を持ち自立した大人へと成長していくことにつながるような支援をします。
- ・地域での学習活動の支援では、課題やニーズを的確に捉えた学習の機会を、地区公民館等の市民に身近な場所で提供するとともに、学校や地域、関係機関との連絡調整を密にしながら、事業の企画運営を行います。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第5章】 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち
誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。 そのため、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しみることができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。	

（視点1）気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

市民の誰もが生涯にわたり、それぞれのライフスタイルや心身の状況に応じて運動やスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう、多様なスポーツ活動の機会をつくり出します。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（1）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、春・秋・新春の年3期に実施しました。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10回）			
ニコニコエアロ体操教室	市民体育館 アリーナ	坂井 加陽子	39
ソフトバレーボール教室	〃 〃	バレーボール協会	10
にこにこ体操教室	〃 〃	(株)M&M	29
卓球教室	〃 〃	卓球協会	21
健美操教室	第二市民体育館 剣道室	古賀 巧	28
秋のスポーツ教室（10回）			
健康体操教室	市民体育館 アリーナ	内田 京子	47
ソフトテニス教室	〃 〃	ソフトテニス連盟	9
親子リズム体操教室	〃 柔道室	ちゃいるどくらぶ	5(組)
バドミントン教室	〃 アリーナ	バドミントン協会	10
健美操教室	第二市民体育館 柔道室	古賀 巧	26
新春スポーツ教室（10回）			
3B体操教室	市民体育館 剣道室	3B体操協会	26
テニス教室	〃 アリーナ	テニス協会	25
太極拳教室	〃 〃	太極拳協会	19
にこにこ体操教室	〃 〃	(株)M&M	23
健美操教室	第二市民体育館 柔道室	古賀 巧	27

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学3～6年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、夏休み期間中にスポーツ教室を実施しました。（1人1種目）。

教室名	会場	指導者	参加者
ミニバスケットボール	市民体育館 アリーナ	バスケットボール協会	110
バドミントン	〃 〃	バドミントン協会	68

教 室 名	会 場	指 導 者	参加者
ソフトバレーボール	〃 〃	バレーボール協会	37
卓球	市民体育館 アリーナ	卓球協会	30
ソフトテニス	〃 〃	ソフトテニス連盟	15
ソフトボール	緑地運動公園ソフトボール場	ソフトボール協会	47
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	44

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者
市民グラウンドゴルフ大会	4 月 16 日（日）	諏訪公園イベント広場	61
市民ソフトバレーボール大会	6 月 11 日（日）	市民体育館	63
市民女子フットベースボール大会	9 月 3 日（日）	緑地運動公園運動広場	165
市民健康マラソン大会	R6 年 1 月 21 日（日）	御大典記念グラウンド	1,110
市民観梅ハイキング	R6 年 3 月 3 日（日）	観光プラザ前～紹運寺	中止

（２）スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しました。

と き 10月9日（月・祝） ※8日（日）は雨天のため中止しました。

ところ 市民体育館、諏訪公園イベント広場・多目的広場

主 管 スポーツ2023市民の祭典実行委員会

期 日	内 容	参加者(人)
10月8日（日）	ア 開会式	中止
	イ むかで競走、長靴とばし、少年団対抗リレー、小・中学生リレー	中止
	ウ 少年団対抗競技・ニュースポーツ	中止
	エ バザー・イベント	中止
10月9日（月・祝）	ア ソフトバレーボール大会	138
	イ グラウンドゴルフ大会	47
	ウ ミニサッカー大会	195

（３）チャレンジデーの支援

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に行われる、人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分以上継続して身体活動（運動）を行った住民の参加率を競うものです。本市では、住民の運動・スポーツに対する意識高揚や住民の連帯意識の醸成等を目的に、スポーツ都市宣言推進協議会、大牟田市体育協会を中心に、市民団体、行政等で実行委員会を組織して取り組んできましたが、R5年度をもって事業終了となりました。

年 度	R3	R4	R5
期 日	10月27日（水）	5月25日（水）	5月31日（水）
参加者数	76,762人	74,871人	72,834人
参 加 率	68.6%	67.9%	67.2%
対戦相手自治体	長崎県大村市 56.1%	京都府福知山市 45.8%	山形県米沢市 28.3%

○地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

(1) 地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング教室

期 日	集合場所	コ ー ス	参加者(人)
R6 年 3 月 17 日(日)	羽山台小学校	羽山台小学校～高田行宮跡～三池陣屋の眼鏡橋～大間城跡～羽山台小学校	中止

②スロージョギング教室

期 日	場 所	内 容	参加者(人)
11 月 5 日(日)	第二市民体育館	①スロージョギングの講義及び実技	20
11 月 26 日(日)	駛馬小学校運動場	②スロージョギングの実技	15

③ニュースポーツ体験教室

期 日	場 所	内 容	参加者(人)
R6 年 3 月 9 日(土)	市民体育館	室内ペタンク	52

(2) スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のため、住民の求めに応じ、実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対するスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では55人（R6年3月31日現在、R4～5年度定数：57人）のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るため、各種研修会を実施しています。

ア 大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、スポーツ推進委員相互の資質向上を図ることを目的に研修会等を実施しました。

期 日	場 所	研 修 内 容
4 月 23 日(日)	生涯学習支援センター、第二市民体育館	・3校区におけるスポーツ推進委員の事例発表 ・小学校体力テストの種目の再確認

イ スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

国・福岡県が主催する研修会等にスポーツ推進委員を派遣しました。

期 日	研 修 名 称	開催地
6 月 25 日(日)	福岡県初任者スポーツ推進委員研修会	福岡市
9 月 3 日(日)	福岡県中堅スポーツ推進委員研修会	福岡市
11 月 16 日(木)・17 日(金)	全国スポーツ推進委員研究協議会	青森市
12 月 10 日(日)	福岡県スポーツ推進委員研修大会	大川市
R6 年 1 月 20 日(土)・21 日(日)	九州地区スポーツ推進委員研究大会	島原市

(3) スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への支援（企画、指導・助言、運

営)を行いました。

地域行事数	参加者(人)	内 容			
		企画	指導・助	運営	その他
86	延べ 8,552	74	51	77	2

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕(再掲)

(第1編第4章・視点1の76・77ページを参照)

【視点２）スポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が主体的かつ計画的に多様なスポーツ活動に取り組むことによって、豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みをつくります。

また、スポーツ都市宣言推進協議会や体育協会をはじめとする各種団体と連携し、各種スポーツ大会の奨励、トップレベルの競技大会の誘致など、スポーツ事業の充実・発展に努めます。

【主な事業・取組】

○地域スポーツクラブ育成・支援事業〔スポーツ推進室〕

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、その活動を支援しました。設置団体：１団体（Ｈ１７年度～ 右京ふれあい健康クラブ）

（右京ふれあい健康クラブ活動実績）

期 日	内 容	場 所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム（卓球、バドミントン）	天領小学校、宅峰中学校	延べ 765
【クラブ活動】	バドミントン部（毎週火・土曜日、天領小学校、宅峰中学校） 大牟田 Jr バレー（毎週水曜日、天領小学校） ヨガ教室（毎週土曜日、天領小学校） 卓球部（毎週土曜日、天領小学校、三川地区公民館） ソフトテニス部（毎週土曜日、緑地運動公園）		

○スポーツ団体等との連携によるスポーツ活動支援事業〔スポーツ推進室〕

（１）体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、Ｈ２年７月、スポーツを通じた「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②市民体育大会委託事業（委託先：大牟田市体育協会）

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図るために、市民軟式野球大会など２０大会を開催しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
市民軟式野球大会	５月 21 日（日）～10 月 22 日（日）	延命球場	300
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6 月 4 日（日）	有明カントリークラブ	98
おおむた弓道選手権大会	7 月 17 日（月・祝）	宅峰中弓道場	72
大牟田市民バドミントン大会	8 月 20 日（日）	市民体育館	114
大牟田市サッカー選手権大会	9 月 3 日（日）	宮原中学校	96
大牟田市長杯ソフトテニス大会	9 月 3 日（日）	緑地運動公園他	200
大牟田市民テニス大会	9 月 23 日（土・祝）・24 日（日）	緑地運動公園他	76
市長杯ソフトボール大会	10 月 1 日（日）～10 月 15 日（日）	緑地運動公園	500
大牟田市 9 人制バレーボール選手権大会	10 月 8 日（日）	市民体育館	100
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10 月 10 日（火）	緑地運動公園	47
おおむたクレール射撃大会	10 月 15 日（日）	玉名クレール射撃場	15
大牟田市剣道選手権大会	10 月 29 日（日）	市民体育館	114

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市長杯争奪ボウリング選手権大会	11月19日(日)	大牟田Jボウル	34
大牟田駅伝競走大会	R6年1月7日(日)	諏訪公園	455
大牟田市民卓球大会	R6年2月4日(日)	市民体育館	120
おおむた市長杯アーチェリー大会	R6年2月4日(日)	サンアビリティーズ おおむた	11
大牟田地区柔道大会	R6年3月3日(日)	大牟田高等学校	111
大牟田市民体育大会バスケットボール総合選手権大会	R6年3月3日(日)・20日(水・祝)	市民体育館	300
太極拳合同発表会	R6年3月22日(金)	まいピア高田	130
大牟田市ゲートボール選手権大会	R6年3月23日(土)	緑地運動公園	30

(2) 中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内 容	対象者数	負担金額(円)
運営負担金	-	350,000
九州・全国大会出場負担金	4	67,750
地区・県大会出場負担金	538	505,405
地区・県新人大会出場負担金	254	416,290

○競技スポーツ振興・支援事業〔スポーツ推進室〕

(1) 全国大会、プロスポーツ大会、広域スポーツ大会等各種大会の支援

① トップレベルの大会の開催支援、選手との交流の促進

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第76回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と き	4月9日(日)
と ころ	御大典記念グラウンド
主 催	九州陸上競技協会、NPO法人大牟田市体育協会
共 催	大牟田市
主 管	福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会
後 援	朝日新聞社
参 加	56郡市 参加者855人
種 目	[男子の部] 100m、200m、400m、800m、1,500m、5,000m、110mH、4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投、三段跳、棒高跳 [女子の部] 100m、200m、400m、800m、3,000m、100mH、4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投 [男女混合の部] 4×400mリレー [オープン] [男子] 100m(中学生・高校生)、3,000m(高校生以上)、3,000m障害(高校生以上) [女子] 100m(中学生・高校生)、1,500m(中学生以上)

区 分	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
総 合	福岡市	大分市	大牟田市	久留米市	佐賀市
男 子	福岡市	大分市	柳川市	上天草市	熊本市
女 子	福岡市	大分市	大牟田市	佐賀市	久留米市

②広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するため、その大会の費用の一部を補助しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5月3日(水・祝)	市民体育館他	400
有明杯アーチェリー大会	5月21日(日)	第二グラウンド	26
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8月5日(土)・6日(日)	諏訪公園他	576
大蛇山卓球大会	8月27日(日)	市民体育館	370
全九州高校秋季県大会	9月10日(日)・16日(土)	緑地運動公園他	900
有明少年野球大会	10月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)・28日(土)	延命球場他	1,000
大牟田秋季記録会(陸上)	11月3日(金・祝)	御大典記念グラウンド	1,000
大牟田市市長杯近県ソフトテニス選手権大会	11月19日(日)	緑地運動公園他	118
大牟田オープン小学生バドミントン大会	12月23日(土)	市民体育館	204
優勝弓争奪近県弓道大会	R6年3月17日(日)	市民体育館	529

③各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援の決定を行いました。 共催 2件 後援 30件

(2) 県民スポーツ大会への選手団派遣

福岡県民スポーツ大会は、例年、夏季大会、秋季大会、冬季大会の3大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しました。

R5年度の夏季大会及び秋季大会は、福岡地区で開催され、夏季大会の総合順位は4位、秋季大会の総合順位は8位でした。

①夏季大会 開催日 8月20日(日)

競 技 名	開 催 地	派遣人数 (選手)	主 な 結 果 (入 賞)
水泳	福岡市立総合 西市民プール	40	2位 (小5・6男子 50m背泳ぎ)
			2位 (小5・6女子 50mバタフライ)
			2位 (高校生女子 50m自由形)
			3位 (小5・6男子 50m自由形)
			3位 (中学生男子 50mバタフライ)
			3位 (40～44歳男子 50mバタフライ)
			3位 (少年の部男子 200mフリーリレー)
			3位 (小学生混合 200mメドレーリレー)
			3位 (中学生混合 200mメドレーリレー)
			4位 (少年の部女子 200mフリーリレー)
			5位 (中学生男子 50m平泳ぎ)
			6位 (小5・6男子 50mバタフライ)
			6位 (小5・6女子 50m背泳ぎ)
			6位 (中学生女子 50m背泳ぎ)
			6位 (65～69歳女子 50m自由形)
			8位 (中学生男子 50m自由形)
			8位 (小4以下女子 50m自由形)

②秋季大会 開催日 9月9日(土)・23日(土・祝)・24日(日)

競技名	開催地	派遣人数 (選手)	主な結果(1位～3位)
陸上競技	福岡市	17	
バスケットボール	福岡市	48	2位 青年女子 3位 一般女子
バレーボール	太宰府市、新宮町、宗像市、大野城市	72	2位 青年女子
ソフトテニス	福岡市	16	
卓球	粕屋町	17	
バドミントン	篠栗町、福津市、春日市	16	
柔道	宇美町	10	2位 青年男子、一般男子
剣道	筑紫野市	10	
弓道	福岡市	8	
ソフトボール	古賀市	17	
テニス	福岡市	7	

③冬季大会(駅伝) 開催日 11月19日(日)

競技名	会場	成績(総合の部)
第10回市町村対抗福岡駅伝	県営筑後広域公園周回コース (9区間 31km)	3位(60市町村中) タイム:1時間39分2秒

○東京2020オリンピック・パラリンピック継承事業〔スポーツ推進室〕

(1) ジョージア

12月2日(土)～3日(日)に東京都(東京体育館)にて「柔道グランドスラム東京2023」が開催されましたが、同大会におけるジョージア柔道選手団とのスケジュールが合わず、合宿の受入れや交流事業の実施はできませんでした。

期 日	場 所	内 容	備 考
9月以降	市内学校等	在日大使等との交流事業	中止
11月～12月	大牟田市内	合宿受入れ(柔道グランドスラム東京2023大会)	中止
		合宿期間中の交流事業(歓迎レセプションほか)	中止
12月2日(土)・3日(日)	東京都、大牟田市内	柔道グランドスラム東京2023大会応援(パブリックビューイング等)	中止

(2) アフガニスタン

医療NGOペシャワール会 PMS支援室 山下隼人氏を銀水小学校に招き、故中村哲医師の活動や思い、アフガニスタンの現状などについての授業を実施しました。

期 日	場 所	内 容	備 考
R6年3月8日(金)	銀水小学校	故中村哲医師の功績に関する授業(講師 山下隼人氏)	6年生 77人

○表彰・奨励事業〔スポーツ推進室〕

(1) スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育、スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著であ

る者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（優秀賞、奨励賞）を授与しました。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

①功労賞

内野 文路	バレーボールの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
風間 千加	体操の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
入江 睦雄	バドミントンの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
藤木 政義	弓道の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
岩村 義男	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
深浦 千代子	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
野田 広行	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
馬場 仁幸	陸上競技の普及、発展並びに競技力の向上に寄与

②記録賞

ア 最優秀賞

三木 望夢	2023 年世界カデ柔道選手権大会	男女混合団体 3 位
-------	-------------------	------------

イ 優秀賞

大牟田高等学校 柔道部	令和 5 年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 第 72 回全国高等学校柔道大会	男子団体 3 位
	令和 5 年度金鷲旗高校柔道大会	男子団体 3 位
谷本 昂士郎	令和 5 年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秩父宮賜杯第 76 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	男子 1500m 1 位

ウ 奨励賞

浦崎 華瑠	第 58 回全国高等専門学校体育大会陸上競技	男子 3000m 障害 1 位
城戸 珊瑚	令和 5 年度国民体育大会第 43 回九州ブロック大会 (柔道競技)	女子団体 優勝

（視点３）スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽に運動やスポーツ活動へ参加ができるよう、多様なスポーツの場の充実を図るとともに、必要に応じて指導を受けることができるよう、指導者の養成、確保、資質向上やきめ細やかなスポーツ情報の提供などに努め、スポーツがしやすい環境をつくります。

また、延命球場など老朽化した施設への対応をはじめ、安全で快適なスポーツ環境の整備・充実に努めます。

【主な事業・取組】

○スポーツ施設整備事業〔スポーツ推進室〕

（１）各種体育施設の整備・改修等

本市は、延命球場、延命プール、御大典記念グラウンド等多くのスポーツ施設を有していますが、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（totoくじ助成）等を活用しながら、補修、改修等工事を随時実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき中・長期的な視点に立ち大規模改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう施設整備に努めています。

（２）学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で小・中学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

区 分	R3 年度	R4 年度	R5 年度
利用団体	196	198	202
利用件数	7,269	10,899	11,570
利用人数(人)	101,741	158,342	169,139

○総合体育館整備事業〔スポーツ推進室〕

旧市民体育館はＳ４９年築で老朽化が進み、バリアフリー化や旧耐震基準である等の問題を抱えていました。このため、Ｒ２年度に基本コンセプトを「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」とする基本設計を、Ｒ３年度には実施設計・施工事業者を選定し、基本設計に基づいた実施設計を取りまとめました。

この実施設計に基づき、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、Ｒ４年度からＲ５年度にかけて総合体育館を建設しました。

○指導者育成事業〔スポーツ推進室〕

（１）指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導及び資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

期 日	場 所	研 修 内 容	参加者(人)
R6 年 3 月 22 日(金)	市民体育館研修室 A、アリーナ	故障しにくい身体づくり ～正しい身体の使い方～	20

②スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを実施するに当たり、スポーツを通じた健康増進の知識を習得し、スポーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を開催しました。

期 日	場 所	研 修 内 容	参加者(人)
R6 年 2 月 14 日(水)	市民体育館研修室 A	運動と認知症のかかわり	58

○スポーツ情報提供事業〔スポーツ推進室〕

(1) スポーツカレンダー等による大会・施設の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など、本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを制作し、市民に配布を行い、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	目標値（％）	50.0	50.0	50.0	52.0	市スポーツ振興計画に掲げる目標値を基に設定（R5年度からは市スポーツ推進計画に掲げる目標値を基に設定）。 〔現状値：46.3％（R元年度実績）〕。
	実績値（％）	38.5	40.2	39.6	43.0	
	達成度（％）	77.0	80.4	79.2	82.7	

【指標達成度に対する要因分析】

- ・R5年3月にR5年度からR14年度までの10年間を計画期間とするスポーツ推進計画を策定しました。
- ・本市のスポーツ推進計画では、「誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり」、「活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり」、「スポーツがしやすい環境づくり」の3つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
- ・事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、コロナが5類に移行した後も、感染防止策を十分に講じた上で各種スポーツ行事を開催するなど、各種スポーツ活動の機会を提供しました。
- ・成果指標については、43.0％と、前年度と比較して3.4ポイント増となりましたが、本市のスポーツ推進計画に掲げる目標値を達成することはできませんでした。
- ・目標値の達成に向けて、引き続き、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチが必要です。

【今後の方向性】

- ・スポーツ・運動を普段していない人に向けて、スポーツ・運動の持つ効果を発信することにより、関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりを行います。
- ・市民の誰もがどこでも、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送るためには、さまざまな市民団体等との連携が必要であり、また、幅広い市民がスポーツに触れることができるよう、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、参加者の増を図ります。
- ・R6年4月開館の総合体育館については、子どもから高齢者まで、また、障害がある人もない人も、誰もが気軽に利用しやすい環境を整えます。また、健康づくり、体力づくりの拠点、さらには災害時の防災拠点としての機能を充実することによって、スポーツや運動を通じて人を健康に、まちを元気にする緑に囲まれた施設を目指します。
- ・R5年度から14年度までを計画期間とする、新たな「大牟田市スポーツ推進計画」に基づき、各施策・事業を展開していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第6章】 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち
郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。 そのため、郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会づくりや、市民が文化芸術に親しみ、参加できる機会づくりを推進します。	

（視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ

世界文化遺産に登録された三池炭鉱関連施設などをはじめ、地域に残されている近代化遺産や有形・無形の文化財の適切な保存や、それらの歴史を「見える化」するなどの活用に向けた取り組みを通して、郷土の歴史や文化に触れ、現在や未来とのつながりを理解する機会を充実します。

【主な事業】

○世界遺産保存・整備事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

適切な施設の維持管理のため、外柵の補修や樹木の伐採、除草清掃を行いました。

②重要文化財「三池炭鉱宮原坑施設」の保存

ア 宮原坑第二堅坑巻揚機室の耐震補強工事（R2～5年度）に着手し、R5年度は修理工事を行い8月末に竣工しました（文化庁補助事業）。

イ 宮原坑巻揚機室・堅坑櫓防災設備整備（R5～6年度）に着手し、R5年度は実施設計を作成しました（文化庁補助事業）。

③大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにH18年度に設置しました。

R5年度は企業1社から100万円の寄付を受けました。

（単位：千円）

R4年度決算に伴う 基金高 ①	R5年度中の増減額		R5年度決算に伴う 基金高①+②-③
	積立額 ②	取崩額 ③	
35,154	1,018	0	36,172

○世界遺産理解促進事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツの啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全6年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数 850人

③環境美化活動の実施

ア 宮原坑駐車場への団体による花の植栽

駿馬校区まちづくり協議会、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会
イ 三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等
NPO法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

④幼稚園・小学校・中学校・高校との協働

世界遺産学習に取り組む、はやめ幼稚園、駿馬小学校、宮原中学校の子どもたちが絵を描いた木製プランター（三池工業高校の土木科生徒が作成したもの）20個を、宮原坑に寄贈を受けました。

（２）世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施

全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開」の一環として、官民協働で「宮原坑フェスタ」を実施しました。

と き 11月3日（金・祝）10時～16時
と ころ 宮原坑
内 容 ステージイベントや飲食ブースなどの催し
参加者数 2,500人

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑は毎週月曜日および年末年始を除き毎日公開し、三池港展望所は毎日公開（ガイドは土日曜、祝日のみ）、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。
大雨により6月30日15時～、7月1日、8・9日に全施設を閉鎖しました。
見学者数 14,114人（宮原坑）、6,756人（三池港展望所）、1,045人（旧長崎税関三池税関支署）

③世界遺産登録8周年事業の実施

世界遺産登録記念給食の実施

学務課の協力により、全市立小中学校と特別支援学校の給食で、炭鉱にちなんだメニュー（小学校：石炭ビーンズ、中学校：鶏肉の黒ごまみそがらめ）を実施しました。
R5年度も三池エリアの構成自治体である大牟田市、熊本県荒尾市、宇城市の3市合同で取り組みました。

7月8日前後に各市の小中学校と特別支援学校において実施しました。

④世界遺産キッズアカデミーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で世界遺産の構成資産がある地域の小学校の児童を対象として、世界遺産の価値や魅力を伝えるオンライン講座を初めて実施しました。講座で学んだことを各小学校が相互にオンラインで発表し、児童同士の交流を深めました（駿馬小学校6年生が参加）。

6月9日、16日に講座、12月1日に発表会

⑤世界遺産ツアーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で「SL人吉」に乗ってJR熊本駅から大牟田市に向かい、世界遺産の構成資産である三池炭鉱宮原坑や石炭産業科学館などで親子参加による世界遺産学習を行いました。

参加者数 38人

⑥宮原坑ライトアップ

ア 日本赤十字社福岡県支部の依頼を受けて、期間限定で宮原坑を赤色にライトアップしました（本市ではR3年度から協力しており、R5年度で3回目）。

と き 5月1日（月）～8日（月）

イ 宮原坑の耐震補強工事完了を記念し、期間限定で宮原坑をライトアップしました。

と き 9月2日（土）～10日（日）

⑦九州佐賀国際空港での世界遺産PR

世界遺産構成資産が所在する大牟田市、佐賀県佐賀市、熊本県荒尾市、宇城市の4市で、来場者がご当地キャラと一緒に世界遺産〇×クイズに挑戦するイベント及びパネル展を行いました。

「明治日本の産業革命遺産」ご当地キャラ大集合 in 九州佐賀国際空港

と き 10月28日(土)

「明治日本の産業革命遺産」パネル展

期 間 10月23日(月)～11月6日(月)

⑧出前講座等の実施

世界遺産の価値を広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 6件 視察対応 2件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 4件

○文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

(1) 指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア 指定文化財地内除草清掃(潜塚古墳、萩ノ尾古墳、早鐘眼鏡橋、上内立花内膳家墓地)、指定文化財定期点検(毎月)、災害時点検を実施しました。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行いました。

ウ 市指定文化財「大間劫月院跡の石造遺物」の覆屋が老朽化していたため、一部柱の取替えと屋根の葺替えを行いました。

(2) 文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査

ア 試掘・確認調査(国・県補助事業)

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが724件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは11件、本調査を行ったのは1件でした。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」発掘調査(国・県補助事業)

R3年度から測量及び史跡指定地外での発掘調査を実施し、R5年度は調査成果をまとめ報告書を刊行しました(国庫補助事業)。

ウ 有明海沿岸道路建設に伴う発掘調査(受託調査事業)

国土交通省九州地方整備局有明海沿岸国道事務所の委託を受け、R4年度に三池炭鉱専用鉄道敷跡(盛土状)一部を発掘調査及び三次元測量調査を実施し、R5年度は調査成果をまとめ報告書を刊行しました。

エ 道路建設(県道南関大牟田北線)に伴う発掘調査(受託調査事業)

福岡県南筑後県土整備事務所の委託を受け、道路工事に先立ち工事区間内に所在する遺跡の発掘調査を実施しました。

②文化財防火デー

ア 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺において、文化財防ぎょ訓練を実施しました。

と き R6年1月26日(金)

イ 文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財(建造物)所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

③文化財保護強調週間

所有者の協力を得て、5月に国登録有形文化財「古賀家住宅主屋」を公開しました。

④ぜんでこ踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「岡天満宮祭礼行事」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑤常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（175～177ページ）を参照）

（3）文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

市指定文化財「大間劫月院跡の石造遺物」の文化財説明板を更新しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 8件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 2件

③三池カルタ・歴史資料館共催事業

ア 古代体験講座「勾玉づくり」

と き 8月23日（水）

と ころ カルタックスおおむた

参加者数 11人

イ 大牟田史跡めぐりウォーク-三池地域編-

と き R6年3月2日（土）

参加者数 20人

④文化財講演会「古墳から見る大牟田とみやま」

講 師 瓜生 建さん（みやま市教育委員会）

と き R6年3月23日（土）

と ころ 中央地区公民館

参加者数 32人

⑤大牟田古墳カードの製作・配布

大牟田古墳カード3種（潜塚古墳・黒崎観世音塚古墳・萩ノ尾古墳）の新たなバージョン各200枚を製作し、各古墳の見学者に配布しました。

配布場所

潜塚古墳カード 駿馬天満宮社務所

黒崎観世音塚古墳カード 三池カルタ・歴史資料館

萩ノ尾古墳カード フードショップヒラヤマ

【視点２）文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、子どもが文化芸術に触れ、豊かな感性を育むとともに、若者が文化芸術に対する関心を高める機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に文化芸術に親しめるよう、市民が参加しやすい事業の充実に努めます。

【主な事業】

○多様な文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

（１）本市の特色を活かした文化芸術事業

①大牟田押し花アートフェスタ

子ども達が押し花に触れる機会を提供するとともに、より多くの人に押し花の魅力を知ってもらう展覧会を開催し、押し花文化の普及や発展につなげました。

と き ア 学童押し花夏休み体験教室 7月25日（火）～8月23日（水）

イ 押し花ワークショップ 7月30日（日）

ウ 展覧会 9月30日（土）、10月1日（日）

ところ ア 市内学童保育所（9か所）

イ ゆめタウン 2階わくわく広場

ウ ゆめタウン 2階わくわく広場

内 容 ア・イ オリジナルコースター・はがきづくり

ウ コースターコンテスト応募者作品、押し花団体会員及び押し花作家・杉野宣雄先生のオリジナル作品等を展示

参加者 ア 300人（うち、コンテスト応募者は370人）

イ 100人（うち、コンテスト応募者は82人）

ウ 673人

②カルタ文化の普及

国内唯一の公立カルタ館を有していることから、カルタ文化の普及啓発事業を実施しました。

（内容等については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（175～177ページ）を参照）。

（２）大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

実施事業数 20件（計画事業数は21件）※1事業延期

入場者数 8,331人

事業名	主管団体名	と き	ところ
第31回ありあけ山野草会	ありあけ山野草会	4月13日（木） ～4月15日（土）	文化会館展示室
二流派合同茶会	大牟田茶道連盟	4月30日（日）	文化会館展示室他
公募事業 クロマティックハーモニカ道 場・一美塾発表会	音楽サロン・チャン ト	5月21日（日）	aurea（アウレア）
大牟田能楽会 素謡・囃子の会	大牟田能楽会	6月25日（日）	文化会館小ホール
第17回スプラウトダンス発表会	大牟田ストリートダ ンス協会	7月16日（日）	文化会館小ホール

事業名	主管団体名	と き	と ころ
深浦バレエスタジオ 第 14 回発表会	大牟田バレエ協会 (深浦バレエスタジオ)	8 月 18 日 (金)	荒尾総合文化センター大ホール
大牟田押花フェスタ 2023	大牟田押花の会	9 月 21 日 (木) ～9 月 24 日 (日)	文化会館展示室
第 70 回青々水彩画公募展	青々水彩画協会	9 月 28 日 (木) ～10 月 4 日 (水)	文化会館展示室他
ふるさと大牟田の歴史と文化講座	三池史談会	10 月 7 日 (土) 10 月 14 日 (土)	文化会館研修室
歌謡フェスティバル 2023	有明歌謡連盟	10 月 7 日 (土)	文化会館小ホール
クラシックギターの集い 大牟田クラシックギター愛好会 第 9 回定期演奏会	大牟田クラシックギター愛好会	10 月 9 日 (月・祝)	文化会館小ホール
三曲(箏・三絃・尺八)演奏会	大牟田三曲協会	10 月 15 日 (日)	文化会館小ホール
俳句大会	大牟田俳句連合会	10 月 21 日 (土)	文化会館研修室
第 72 回大牟田美術展 前期:洋画、彫刻、写真、陶芸 後期:日本画、書道、染色	大牟田美術協会	前期:10 月 24 日(火) ～10 月 29 日(日) 後期:11 月 2 日(木) ～11 月 8 日(水)	文化会館展示室他
各流派合同日本舞踊発表会	大牟田日本舞踊連盟	11 月 12 日 (日)	文化会館小ホール
アロハ 大牟田 フラ フェスティバル	大牟田ハワイアンフラ愛好会	12 月 2 日 (土)	文化会館小ホール
48 周年華道展	大牟田文化華道連盟	12 月 2 日 (土) ～12 月 3 日 (日)	文化会館展示室
ベリーダンス発表会	大牟田ベリーダンス協会	12 月 17 日 (日)	文化会館小ホール
第 40 回大牟田市民音楽フェスティバル 2023 大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会 (大牟田合唱連盟)	R6 年 2 月 4 日 (日)	文化会館大ホール
第 12 回日本舞踊幸若流 チャリティー発表会	大牟田民舞協会	R6 年 3 月 3 日 (日)	文化会館大ホール
第 65 回記念吟剣詩舞道大会	大牟田吟詠連盟	R6 年 11 月～延期	

過去の実績

区 分		R2	R3	R4	R5
実行委員会を構成する団体及びその加盟団体分	事業数	4	14	16	20
	参加者数	1,463	7,068	7,608	8,263
公募採択団体分	事業数	0	1	1	1
	参加者数	－	242	352	68
合 計	事業数	4	15	17	21
	参加者数	1,463	7,310	7,960	8,331

※H20年度から公募採択型の事業を開始。

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕

(1) まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

実施事業数 24件

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
吉野小学校	美術(押し花)	花みずき会	5月30日(火)
中友小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	6月12日(月)
駛馬小学校	美術(書道)	大牟田美術協会 書道部	6月12日(月)
中友小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	6月19日(月)
駛馬小学校	美術(押し花)	花みずき会	6月19日(月)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	9月11日(月)
中友小学校	華道	大牟田文化華道連盟	9月11日(月)
駛馬小学校	華道	大牟田文化華道連盟	9月22日(金)
羽山台小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	10月23日(月)
大牟田特別支援学校	美術(押し花)	花みずき会	10月27日(金)
白川小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11月2日(木)
高取小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11月6日(月)
中友小学校	美術(押し花)	花みずき会	11月6日(月)
平原小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11月7日(火)
中友小学校	音楽(三曲)	大牟田三曲協会	11月21日(火)
みなと小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11月27日(月)
羽山台小学校	華道	大牟田文化華道連盟	11月27日(月)
駛馬小学校	音楽(箏・三絃・尺八)	大牟田三曲協会	12月11日(月)
三池小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12月12日(火)
駛馬小学校	華道	大牟田文化華道連盟	R6年1月22日(月)
銀水小学校	美術(押し花)	花みずき会	R6年2月5日(月)
中友小学校	音楽(三曲)	大牟田三曲協会	R6年2月19日(月)
吉野小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	R6年2月26日(月)
吉野小学校	美術(押し花)	花みずき会	R6年3月27日(水)

過去の実績

分野\年度	R2	R3	R4	R5
押し花	2	2	6	6
書道	1	0	0	1
華道	2	0	1	4
茶道	0	2	4	5
音楽	0	3	4	5
三曲	0	3	2	2
箏・三絃・尺八	0	0	1	1
合計	5	10	18	24

(2) 子どもの文化芸術体験支援事業

大牟田市子どもアートスクールツアー

子どもたちが劇場や美術館等に行って、文化芸術に直接ふれる体験ツアーを実施しました。R5年度は「ディズニー・ワールド・ビート 2024」(ビッグバンド)を鑑賞しました。

と き R6年3月10日(日)

ところ 佐賀市文化会館

参加者 市内在住の小学4～6年生 29人

過去の実績

年度	R2	R3	R4	R5
回数	—	1	1	1
内容	—	ミュージカル観劇	美術館・博物館	ビッグバンド コンサート鑑賞
参加人数	—	小学4～6年生 40人	小学4～6年生 40人	小学4～6年生 29人

(3) 若者の関心に合わせた文化芸術事業

ダンスによる若者育成事業

①ダンスワークショップ

明光学園高校ダンス部とありあけ新世高校ダンス部の生徒が、それぞれ講師となり、小学生に振付け等をレッスンするダンスワークショップを行いました。

	とき	レッスン場所	
		明光学園	ありあけ新世高校
1	12月2日(土)	文化会館リハーサル室	ありあけ新世高校
2	12月10日(日)	文化会館リハーサル室	ありあけ新世高校
3	12月16日(土)	文化会館レッスン室	ありあけ新世高校
4	12月23日(土)	文化会館レッスン室	※学校都合により中止
5	R6年1月14日(日)	文化会館リハーサル室	ありあけ新世高校

参加者 市内在住の小学2～5年生 19人

②ダンスチャレンジおおむた

日頃からダンスに励んでいる市内高校ダンス部やダンスグループのステージ発表、ダンスワークショップに参加した小学生&高校生のスペシャルダンス、市内外からの参加者によるダンスコンテスト(小学生部門、中高生部門)を実施しました。

と き R 6 年 1 月 2 1 日 (日)
 ところ 文化会館大ホール
 参加者 約 5 5 1 人

(4) 音楽を通したおおむた未来応援事業

本市と公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団が締結する推進協定に基づき、日本フィルハーモニー交響楽団大牟田公演において、本市の小・中・特別支援学校の児童生徒の専用席(おおむた未来応援シート)を確保し、次世代を担う子どもたちに対して鑑賞の機会を提供しました。また、アンサンブルコンサートも実施しました。

区 分		おおむた未来応援シートの設置	アンサンブルコンサート
R4	と き	R5 年 2 月 19 日 (日)	R5 年 2 月 20 日 (月)
	と ころ	文化会館	てとてのたまご (菅原病院)
	参加者	149 人	50 人
R5	と き	R6 年 2 月 11 日 (日・祝)	R5 年 12 月 13 日 (水)
	と ころ	文化会館	歴木中学校
	参加者	159 人	300 人

【視点３）文化芸術の環境づくり

文化芸術活動を行う市民団体への支援等により、市民が身近に文化芸術に親しめる環境づくりを進めます。また、文化芸術により生み出される様々な価値を人づくり、まちづくりの面で活かし、まちの魅力を高める取組みを進めます。あわせて、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、これからの文化施設が地域で果たす役割について改めて検討し、機能の充実を図ります。

【主な事業】

○市民（民間）団体等による文化芸術活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）各種共催事業等の実施

各種文化芸術事業への共催等による支援を行いました。

共催・後援件数 ６６件

過去の実績

年度	R2	R3	R4	R5
件数	34	41	59	66

（２）大牟田市民文化のつどい事業における公募

大牟田市民文化のつどい事業において、広く公募を行い、文化のつどいの１事業として実施しました。

公募事業 音楽サロン・チャント「クロマティックハーモニカ道場・一美塾発表会」
と き ５月２１日（日）
と ころ アウレア

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕

平田オリザ氏による演劇的手法を用いたワークショップを中友小学校で行うほか、自ら劇団を主宰し、演出家・脚本家として福岡県内を中心に活躍する中嶋さと氏による演劇ワークショップを倉永小学校で実施しました。

と き ①１０月１０日（火）、Ｒ６年２月２２日（木）
②１１月２８日（火）、１２月５日（火）
内 容 ①中友小学校４年生、６年生を対象とした演劇ワークショップ
講師：平田オリザ氏
②倉永小学校６年生を対象とした演劇ワークショップ
講師：中嶋さと氏
場 所 ①中友小学校
②倉永小学校
参加者 ①４年生２２人・６年生１３人
②６年生２８人

○文化芸術による交流創出事業〔生涯学習課〕

（１）広域連携事業

有明美術展

大牟田市、柳川市、みやま市、大川市、荒尾市の美術団体及び、各市町の連携により、圏域内の美術家の優れた作品を展示しました。

と き ５月３０日（火）～６月４日（日）
ところ 大牟田文化会館 展示室他

○文化施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はＳ６１年（１９８６年）、カルタックスおおむたはＨ３年（１９９１年）にそれぞれ開館しました。これらの施設は老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画に基づき、維持補修に取り組みました。

- ・文化会館 大ホール舞台機構改修、プラネタリウム投影機器等更新、大小ホールホワイエソファ更新、外壁改修工事に伴う設計業務委託など
- ・カルタックス 電灯設備等更新工事、外構等工事など

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	目標値(%)	80.0	80.0	80.0	80.0	文化庁「文化芸術推進基本計画」に掲げる目標値を基に設定(R2年80.0%) [現状値:57.9%(H30年度実績)]
	実績値(%)	44.5	38.2	47.3	47.8	
	達成度(%)	55.6	47.8	59.1	59.8	

【指標達成度に対する要因分析】

- ・文化芸術事業の開催を幅広く周知するため、広報おおむたやホームページ、LINE等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布・掲示し、積極的な広報を行いました。
- ・市民が参加しやすい身近な文化芸術事業として、大牟田市民文化のつどい事業を年間で20事業実施しました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したことに伴い、市民の文化芸術活動も徐々に再開され、R5年度は、本市においても多様な事業を展開することができました。
- ・R4年度に比べ文化芸術に触れる機会は戻りつつありますが、依然としてコロナ禍前のR元年度の実績値57.9%を下回っており、新型コロナウイルス感染症の影響により文化団体等が活動制限を受け、団体の解散や会員の減少、また担い手不足が深刻化するとともに、活動が戻ったR5年度においても組織力の回復には至っていないことなどが指標実績値に影響している可能性があります。
- ・R5年4月に発生した大牟田文化会館大ホールにおけるスプリンクラーの水損事故やR5年9月に発生した展示室の設備の不具合などにより、施設の利用を一時中止する等文化芸術活動にも影響が生じる事態を招きました。
- ・郷土の歴史に対する興味や関心を高めるために、次世代を担う子ども達を対象とした小学生の近代化産業遺産バス見学会や世界遺産学習、文化財に関する出前講座等を継続して実施しました。
- ・また、地域で長年まちづくり活動をされている校区まちづくり協議会や地域の学校等と協力して宮原坑フェスタを実施するなど、世界遺産・宮原坑を通じて地域や郷土への愛着と誇りを育む事業に取り組みしました。

【今後の方向性】

- ・文化芸術に触れる機会を創出し、市民が相互に尊重しながら多様性を認め合う心豊かで持続可能な大牟田の未来を創るため、引き続きさまざまな施策に取り組みます。特に次世代を担う人づくり及び市民の文化芸術活動の支援に力を入れることとし、子ども達の豊かな創造性や感性を育むとともに持続可能な文化芸術を推進していくために、子どもの頃から文化芸術に触れることができる取組みを進めます。また、文化芸術団体の支援や交流、ボランティアの育成など、文化芸術活動を支える取組みを進めます。
- ・大牟田文化会館は、施設や設備の老朽化が進んでいることから、公共施設維持管理計画や舞台設備等改修計画に基づいた確実かつ円滑な改修に向けた取組みを進めます。
- ・世界遺産を含む市内に所在する文化財の保存と活用を行うことで、まちの歴史や文化について、多くの市民が理解と関心を深め、まちへの愛着と誇りを育みます。市内外の来訪者に世界遺産の魅力を現地で直接触れてもらうことで、顕著な普遍的価値を広く理解してもらえるよう取り組みます。

学 識 経 験 者 意 見

大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価についての意見書

福岡教育大学
教授 石丸 哲史

このたび、大牟田市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行った。上記第 26 条第 2 項においては、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とあり、このことにもとづき、本稿では、点検・評価の手法に焦点を置きながらも、この趣旨から逸脱することのない範囲において施策そのものについても言及する。

○教育委員会の活動状況について

定例会・臨時会をはじめ、総合教育会議、学校訪問、各種行事および研修会等への出席、勉強会の開催など、教育委員会のさまざまな活動について詳細に記載されており、市民への広報として適切なものとなっている。

総合教育会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本市の教育課題や目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくための重要な会議である。令和 6 年度以降の大牟田市教育の振興に関する大綱について協議が行われた議事録からは、自由闊達な意見交換がなされ、市長と教育委員とが大牟田市の教育についてビジョンを共有できていることがわかる。このように、総合教育会議の役割に関する記述とともに、市長と教育委員との協議の内容が、議事録の公開によって市民が把握できることは大変有意義なことといえる。

勉強会については、一般的な教育委員向けの研修会では等閑視しがちな内容にまで踏み込み、教育委員の主体性、積極性を感じる。令和 5 年度は、夜間中学、学校再編整備、教育振興基本計画等の様々なテーマを設定し、延べ 16 回開催されているが、レイマンコントロールに委ねられているだけに、この勉強会の意義を痛感する。大牟田市の教育の現状と課題を十分に認識し、保護者という立場も含め、各方面でご活躍の教育委員であるからだろう、自らの見解や意見は説得力や訴求力に富んでいる。

教育委員会活動の情報発信については、積極的な広報姿勢がみられ、会議開催の告知にあたっては市庁舎掲示場とウェブサイトにて、また、会議資料は市情報公開センターでも閲覧できるようにするとともに、ウェブサイト上で会議録を公開している。

また、平成 27 年度からは、教育委員会活動が市民により一層理解され、関心を

持ってもらうため、「教育委員会だより」を発行しており、令和５年度は年３回発行し、情報発信の充実を図っている。今後も、引き続き広報活動にも傾注していただきたい。

○教育委員会および市長部局関係分における重点事業について

◆教育委員会関係分

令和５年度は、令和２年度から５年度までの４年間を計画期間とする総合計画「まちづくり総合プラン」の最終年度となっている。総合計画に基づいて策定した教育振興基本計画「大牟田市学校教育振興プラン２０２０～２０２３」も計画期間の最終年度であるだけに、このたびの「大牟田市学校教育振興事業計画」に関する点検・評価はこのプランの総括といえる。

令和５年度の教育委員会の方針は、児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、ＥＳＤの推進に努めるとともに、この推進にあたっては知育・徳育・体育のバランスをとっていくとしており、そのために地域、関係機関、団体等との連携の必要性を強調している。また、義務教育９年間を見通した教育を推進していく中で、小中一貫の取組、その受け皿となる学校の再編整備を進めながら、人権・同和教育とともに、学力向上にはとりわけ力を入れ多方面からの取組を企てた。

基本方針にかかる達成状況では、「将来に向けて意欲を持って取り組もうとする中学生の割合」が令和２年度から目標値を超えしかも上昇傾向にある。基本方針に基づく事業の成果が着実に上がっていることの証左ともいえる。現状値を踏まえてかつて目標値を８０％としていることから、８５％に近づいている今日ではこの数値の妥当性は失われ、いよいよ目標値を８５％以上にする時期を迎えている。

では、基本方針に基づいた以下の重点事業について、点検・評価の妥当性および事業そのものについて管見を述べる。

Ⅰ-１ 未来を創るＥＳＤ推進事業について

大牟田市においては、ＥＳＤの思想が脈々と受け継がれてきた。新型コロナウイルス感染症の位置付けが緩和されたことによって、かかる活動が活発になったので多くの成果が認められる。さらなる充実に向けては、各学校の地域や児童生徒の実態をふまえ、市民団体や地元企業、団体等とさらに連携する必要があるとしていることから、連携の在り方も検討しながら取組を深めていく必要がある。

一方、ＥＳＤは活動を重視するだけに、ともすれば「活動あって学びなし」となりがちである。学力向上との関係からこのようなことにならないために、「学び」そのものにも照射する必要がある。小中一貫教育を見通したＳＤＧｓ／ＥＳＤを推進するため、中学校区内の学校間で教育課程についての協議を進める必要があるとしており、学びの評価も視野に入れながら引き続き取組を深めていただきたい。

I-4 小中一貫教育推進事業について

児童生徒の学力向上や心身の健全な育成のためには、義務教育9年間の一貫した教育課程が望ましいことは言を俟たない。系統性・連続性のある指導は中1ギャップや不登校の解消にも奏功するからである。妥当な空間的単位である中学校区を基本とする小・中の学びの集合体が期待される。宮原中学校区では小中一貫教育制度を本格導入し、9年間を見通した教育課程が編成され、各小学校の特性を考慮して「放課後子ども塾」が開設され、中学校への円滑な接続にも貢献していることから、今後も着実に進めていく必要がある。その際には、効果の検証と課題を見いだすことは当然であるが、小学校と中学校では発達段階から学習スタイルに差異があることは認めざるを得ない。両者の教師文化を否定するわけではないが、学習者の文脈に沿って授業改善に努めていただきたい。

II-1 「学びに向かう力」育成推進事業について

大牟田市が実践してきたESDは非認知能力の向上に寄与してきたといえる。しかしながら、全国学力・学習状況調査の得点が低ければ、このESDの貢献も歓迎はされにくい。このことを真摯に受け止め、4年度から指標を「全国学力・学習状況調査の標準化得点」に改め、目標値として前回調査を上回るとし、さらに5年度は全国平均以上としたことは、他の市町と同じ手法を採ったものであり、高く評価される。残念ながら、目標値には達することはできなかったが、この点検・評価の姿勢は、今後必ずや学力向上につながるものと確信している。どうすれば標準化得点を上昇させることができるか、精緻な分析を行い、改善へと向かっていただきたい。

また、「学びに向かう力」を育成する事業とはいうものの、「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力等」の二要素も疎かにしてはならない。今後、授業改善はもとより、家庭学習習慣の定着等に向けた取組を進める必要があるとしており、積極的にこれを推進すべきである。その際には、「ティーチングからラーニング」といわれるように、教師が何を教えるではなく、児童生徒が何をどのように学ぶかという点に傾注していただきたい。

III-1 学校再編整備推進事業

我が国の人口動態に鑑みると児童生徒数の減少は避けられず、小規模校のデメリットがメリットを上回るようになってきており、学校の適正規模および適正配置を早急に進めていく必要がある。

施設の整備はもちろんのこと、通学路の安全対策などかかる課題は多岐にわたり、また、学校再編整備にあたっては保護者や地域の理解と協力が欠かせない。丁寧な説明を行い定期的に周知を図り、再編された学校へのアンケート調査による再編効

果の検証の必要があるとしていることから、これを着実に進めていただきたい。

IV-1 スクールソーシャルワーカー活用事業について

中学校区においてスクールソーシャルワーカーが常駐していることで、様々な課題の早期発見、早期介入による課題解決と中1ギャップの軽減、不登校状態の解消など、スクールソーシャルワーカーの役割は大きい。

指標として掲げた「SSWが関わることで解決又は好転した事案の割合」が目標値を超えており、この成果は、小中一貫教育推進事業で配置したスクールソーシャルワーカーと合わせた配置拡充により、支援が必要な児童生徒や家庭を関係諸機関につなぐことができるケースが増え、個に応じた対応がとりやすくなったからだとしており、効果が大きいことがわかる。

ただし、相談対応件数が増加していく状況下では、スクールソーシャルワーカーの業務量は増大するので、効果的な運用が求められる。これまでの実績をふまえ、今後もスクールソーシャルワーカーの専門的知識・技術を活用し、支援の充実を図っていただきたい。

V-1 人権・同和問題啓発事業について

市民ひとりひとりが、「差別をしない」ことに徹し、「差別をなくす」ことに力を尽くさなければ、SDGsの趣旨である「誰一人取り残さない」社会の実現は困難であり、これを実現する教育としてのESDの役割も大きい。参加者の固定化は深刻な問題であり毎年度指摘されているが、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」との参加者の回答割合を人権尊重意識の醸成度として達成指標にすることは妥当とはいえないのではないだろうか。啓発事業としては、新規参加者の増加に全力を傾倒する必要がある。

◆市長部局関係分

市長部局所管である社会教育、文化、スポーツの分野については、「まちづくり総合プラン」に掲げる関係施策に対する点検・評価は、社会教育の振興や文化財の保護などの教育委員会の権限に属する事務について実施されている。

4-1 高校生まちづくり体験事業について

小・中学校において総合的な学習の時間によって培われた資質・能力は、高等学校の総合的な探究の時間によってさらに深化、発展していく。このような段階にある高校生に対して「まちづくり」に関する探究課題を設定することは自己のキャリア形成にも貢献する。また、大牟田市を必ずしも居住地ではなく就学地としてとらえる高校生は、大牟田市に対する新たな認識をもたらすだけでなく、より大人の次元での思考力・判断力・表現力および行動力を発揮できる。

本事業は、このような高校生の参画によって有意義なまちづくり事業の実現に結びつくとともに、なによりも後に続く小・中学生への教育的効果が大きい。地域の方々や小・中学生等との交流の機会となるよう事業を展開する必要があるとすることから、このことを念頭に置きながら着実に進めていただきたい。

4-2 学校E S D支援事業について

教科等の学習に対して市民が協力することは内容面や教科の本質からして相当の困難を伴うが、E S Dに関してはむしろ市民の協力が効果的であることが多い。また、市民参画によって市全体で持続可能な社会づくりをめざすこともできることからE S Dは学校教育と社会教育の垣根を越える。

ただし、どのように学校教育に対して協力していくか、丁寧な説明と手続きを踏まないと学校と市民との間にウインウインの関係は生まれない。地区公民館がこの関係構築の役割を果たすことになるが、必要性和実効性など検討すべきところを明確にしながら事業を展開していく必要がある。

令和5年度は、本市総合計画「まちづくり総合プラン」及びこれに基づいた「大牟田市学校教育振興プラン2020～2023」の最終年度であり、次期振興プラン策定に向けて腐心されたと思う。その際には「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を趣旨とする国の教育振興基本計画を参酌されたであろうが、大牟田市にとってみれば、この両者を受け入れるにあたって骨が折れることはなかったはずである。

それは、継続的に実施されてきたユネスコスクール・SDGs／E S D交流会からも裏付けられる。学校関係者のみならず市役所関係、市内企業・団体各位など、市全体が持続可能な社会構築とその人づくりに関わっている。昨年も申したように「まちづくりはひとづくりから」だけでなく、「ひとづくりはまちづくりから」のストーリーが垣間見えてくるのである。

SDGsのローカライズを趣旨としたSDGs未来都市ではあるが、グローバル目標達成にも努めていかなければならない。大牟田市の場合は、E S Dを浸透させたことによって「グローカル」思考が定着し、地域埋没的、地域完結的な懸念が払拭されている。

持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成をめざす上での課題を共有し、市民全体がこの課題解決に参画することによって、ウェルビーイングに向けた価値共創が実現する大牟田市となることを念じつつ本稿を閉じる。

以上

資 料 編

〔 歴代教育委員等 〕

1 歴代教育委員

氏 名	期 間
黒 田 潔	S27. 10. 5～ 31. 9. 30 31. 10. 1～ 35. 9. 30
藤 津 潔	27. 10. 5～ 31. 9. 30
米 倉 勇 喜	27. 10. 5～ 31. 9. 30 31. 10. 1～ 34. 4. 18
三 島 利 信	27. 10. 5～ 31. 9. 30
古 賀 初 男	27. 10. 5～ 29. 9. 30
堀 弘	29. 10. 1～ 31. 9. 30
湯 村 誠 男	31. 10. 1～ 33. 9. 30 33. 10. 1～ 37. 9. 30
水 町 キ ク	31. 10. 1～ 32. 9. 30 32. 10. 1～ 36. 9. 30 36. 10. 13～ 40. 10. 12
川 畑 昭二路	34. 5. 19～ 35. 9. 30
稲 員 鎌 造	36. 3. 16～ 40. 3. 15
平 木 次 郎	36. 3. 16～ 40. 3. 15 40. 4. 21～ 41. 10. 7
近 藤 広 蔵	37. 10. 3～ 41. 10. 2
古 崎 真 直	40. 4. 21～ 41. 8. 24
松 本 勇	40. 11. 13～ 41. 8. 24
猿 渡 五三郎	41. 8. 25～ 44. 4. 20 44. 5. 1～ 48. 4. 30
藤 田 光 雄	41. 8. 25～ 42. 10. 15 42. 12. 21～ 46. 12. 20
小田原 武 則	41. 10. 14～ 45. 10. 13 45. 10. 14～ 49. 10. 13
坂 口 長一郎	40. 10. 14～ 44. 4. 20 44. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 15～ 52. 5. 14 52. 5. 20～ 56. 5. 19
清 水 龍 哉	46. 12. 24～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 54. 12. 23
相 島 壽	48. 5. 15～ 52. 5. 14 52. 5. 20～ 56. 5. 19 56. 5. 20～ 60. 5. 19
永 田 恒 久	49. 10. 14～ 53. 10. 13 53. 10. 14～ 57. 10. 13
蒲 池 當	56. 5. 20～ 60. 5. 19
大 隅 一 雄	54. 12. 24～ 58. 12. 23 58. 12. 24～ 62. 4. 15
大久保 修 吉	57. 11. 20～ 61. 11. 19
辻 政 義	62. 7. 24～ 62. 12. 23 62. 12. 24～ H3. 12. 23
河 口 政 俊	60. 5. 27～ 元 5. 26 元 5. 27～ 5. 5. 26
長 島 政 勝	60. 5. 27～ 元 5. 26 元 5. 27～ 5. 5. 26
圓 佛 洋 右	62. 3. 12～H 3. 3. 11 3. 3. 13～ 7. 3. 12 7. 3. 13～ 11. 3. 12 11. 3. 13～ 15. 3. 12
蓮 澤 浩 明	3. 12. 24～ 7. 12. 23 7. 12. 24～ 11. 12. 23 11. 12. 24～ 15. 12. 23
山 本 進 一	5. 5. 27～ 9. 5. 26 9. 5. 27～ 13. 5. 26 13. 5. 27～ 15. 9. 30

氏 名	期 間
木 村 和 子	5. 5. 27～ 9. 5. 26 9. 5. 27～ 13. 5. 26 13. 5. 27～ 17. 5. 26
山 本 和 夫	15. 3. 13～ 19. 3. 12 19. 3. 13～ 23. 3. 12 23. 3. 13～ 27. 3. 12 27. 3. 13～ 31. 3. 12 31. 3. 13～R 5. 3. 12 5. 3. 13～
後 藤 和 子	15. 10. 1～ 17. 5. 26 17. 6. 1～ 21. 5. 31
大 平 修	16. 3. 1～ 20. 2. 29 20. 3. 3～ 24. 3. 2 24. 3. 3～ 28. 3. 2
古 後 八 重 子	17. 6. 1～ 21. 5. 31
池 田 美 子	21. 6. 1～ 25. 5. 31
嶋 田 桂 子	21. 6. 1～ 25. 5. 31 25. 6. 1～ 29. 5. 31 29. 6. 1～R 3. 5. 31 3. 6. 1～
本 山 清 美	25. 6. 1～ 29. 5. 31 29. 6. 1～ 30. 5. 31
東 秀 樹	28. 3. 22～R 2. 3. 21 2. 3. 22～ 6. 3. 21 6. 3. 22～
笹 井 葉 子	30. 6. 1～R 4. 5. 31
木 場 真 帆	4. 6. 1～

2 歴代教育長

氏 名	期 間
堀 次 助	S27. 11. 1～ 31. 9. 30
稲 員 鎌 造	31. 10. 1～ 34. 9. 30
樋 口 種 樹	34. 10. 5～ 38. 10. 4
安 元 薫	38. 11. 8～ 41. 8. 24
池 上 尚 司	41. 9. 5～ 44. 11. 12 44. 11. 13～ 46. 6. 7
枋 原 秋 雄	46. 7. 23～ 48. 11. 12
池 田 喜 市	49. 3. 9～ 53. 2. 26
黒 田 弘	53. 2. 27～ 57. 2. 26 57. 2. 27～ 61. 2. 26 61. 2. 27～H 2. 2. 26
西 田 茂	2. 3. 10～ 6. 2. 26
荒 木 和 久	6. 3. 4～ 10. 3. 1 10. 3. 2～ 14. 3. 1 14. 3. 2～ 18. 3. 1
宮 田 忠 雄	18. 3. 2～ 22. 3. 1 22. 3. 2～ 26. 3. 1
安 田 昌 則	26. 3. 3～ 27. 3. 31 27. 4. 1～ 30. 3. 31 30. 4. 1～R 3. 3. 31
谷 本 理 佐	3. 4. 1～

3 歴代教育長職務代理者

氏 名	期 間
山 本 和 夫	H27. 4. 1～ 30. 3. 31 30. 4. 1～R 3. 3. 31 3. 4. 1～ 5. 3. 12

氏 名	期 間
嶋 田 桂 子	5. 3. 13～

4 歴代教育委員長

氏 名	期 間
藤 田 光 雄	S44. 5. 1～ 45. 4. 30 45. 5. 1～ 46. 4. 30
坂 口 長一郎	46. 5. 1～ 47. 4. 30 47. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 21～ 49. 5. 20
小田原 武 則	49. 5. 21～ 49. 10. 13
清 水 龍 哉	49. 10. 16～ 50. 10. 15 50. 10. 16～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 51. 12. 23
相 島 壽	51. 12. 24～ 52. 5. 14
永 田 恒 久	52. 5. 20～ 53. 5. 19 53. 5. 20～ 53. 10. 13
相 島 壽	53. 10. 14～ 54. 10. 13 54. 10. 14～ 55. 10. 13 55. 10. 14～ 56. 5. 20
永 田 恒 久	56. 5. 21～ 57. 5. 20 57. 5. 21～ 57. 10. 13
相 島 壽	57. 11. 22～ 58. 11. 21 58. 11. 22～ 59. 11. 21 59. 11. 22～ 60. 5. 19
大久保 修 吉	60. 5. 28～ 61. 5. 27 61. 5. 28～ 61. 11. 19
河 口 政 俊	62. 3. 12～ 63. 3. 11
長 島 政 勝	63. 3. 12～H元 3. 11
圓 佛 洋 右	元 3. 12～ 2. 3. 11
辻 政 義	2. 3. 12～ 3. 3. 11
河 口 政 俊	3. 3. 12～ 4. 3. 11
長 島 政 勝	4. 3. 12～ 4. 9. 11
圓 佛 洋 右	4. 9. 12～ 5. 9. 11
蓮 澤 浩 明	5. 9. 12～ 6. 9. 11
山 本 進 一	6. 9. 12～ 7. 9. 11
木 村 和 子	7. 9. 12～ 8. 9. 11
圓 佛 洋 右	8. 9. 12～ 9. 9. 11
蓮 澤 浩 明	9. 9. 12～ 10. 9. 11
山 本 進 一	10. 9. 12～ 11. 9. 11
木 村 和 子	11. 9. 12～ 12. 9. 11
圓 佛 洋 右	12. 9. 12～ 13. 9. 11
蓮 澤 浩 明	13. 9. 12～ 14. 9. 11
山 本 進 一	14. 9. 12～ 15. 9. 11
木 村 和 子	15. 9. 12～ 16. 9. 11
山 本 和 夫	16. 9. 12～ 17. 9. 11
後 藤 和 子	17. 9. 12～ 18. 9. 11
大 平 修	18. 9. 12～ 19. 9. 11
古 後 八 重 子	19. 9. 12～ 20. 9. 11
山 本 和 夫	20. 9. 12～ 21. 9. 11 21. 9. 12～ 22. 9. 11 22. 9. 12～ 23. 3. 12 23. 3. 13～ 24. 3. 12 24. 3. 13～ 25. 3. 12 25. 3. 13～ 26. 3. 12 26. 3. 13～ 27. 3. 12 27. 3. 13～ 27. 3. 31

5 歴代教育委員長職務代行者

氏 名	期 間
坂 口 長一郎	S44. 5. 1～ 45. 4. 30 45. 5. 1～ 46. 4. 30
小田原 武 則	46. 5. 1～ 47. 4. 30 47. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 21～ 49. 5. 20
清 水 龍 哉	49. 5. 21～ 49. 10. 15
相 島 壽	49. 10. 16～ 50. 10. 15 50. 10. 16～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 51. 12. 23
永 田 恒 久	51. 12. 24～ 52. 5. 19
相 島 壽	52. 5. 20～ 53. 5. 19 53. 5. 20～ 53. 10. 13
永 田 恒 久	53. 10. 14～ 54. 10. 13 54. 10. 14～ 55. 10. 13 55. 10. 14～ 56. 5. 20
相 島 壽	56. 5. 21～ 57. 5. 20 57. 5. 21～ 57. 10. 21
蒲 池 當	57. 11. 22～ 58. 11. 21 58. 11. 22～ 59. 11. 21 59. 11. 22～ 60. 5. 19
大 隅 一 雄	60. 5. 28～ 61. 5. 27 61. 5. 28～ 62. 3. 11
長 島 政 勝	62. 3. 12～ 63. 3. 11
圓 佛 洋 右	63. 3. 12～H元 3. 11
辻 政 義	元 3. 12～ 2. 3. 11
河 口 政 俊	2. 3. 12～ 3. 3. 11
長 島 政 勝	3. 3. 12～ 4. 3. 11
圓 佛 洋 右	4. 3. 12～ 4. 9. 11
蓮 澤 浩 明	4. 9. 12～ 5. 9. 11
山 本 進 一	5. 9. 12～ 6. 9. 11
木 村 和 子	6. 9. 12～ 7. 9. 11
圓 佛 洋 右	7. 9. 12～ 8. 9. 11
蓮 澤 浩 明	8. 9. 12～ 9. 9. 11
山 本 進 一	9. 9. 12～ 10. 9. 11
木 村 和 子	10. 9. 12～ 11. 9. 11
圓 佛 洋 右	11. 9. 12～ 12. 9. 11
蓮 澤 浩 明	12. 9. 12～ 13. 9. 11
山 本 進 一	13. 9. 12～ 14. 9. 11
木 村 和 子	14. 9. 12～ 15. 9. 11
山 本 和 夫	15. 9. 12～ 16. 9. 11
後 藤 和 子	16. 9. 12～ 17. 9. 11
大 平 修	17. 9. 12～ 18. 9. 11
古 後 八 重 子	18. 9. 12～ 19. 9. 11
山 本 和 夫	19. 9. 12～ 20. 9. 11
後 藤 和 子	20. 9. 12～ 21. 5. 31
大 平 修	21. 6. 1～ 21. 9. 11 21. 9. 12～ 22. 9. 11 22. 9. 12～ 23. 3. 12 23. 3. 13～ 24. 3. 12 24. 3. 13～ 25. 3. 12 25. 3. 13～ 26. 3. 12 26. 3. 13～ 27. 3. 12 27. 3. 13～ 27. 3. 31

〔機構と職員数〕

1 機構及び事務分掌

(令和6年3月31日現在)

教育委員会

事務局

総務課

教育委員会会議、規則・規程の制定及び改廃、公印管理、文書の收受及び発送、職員（教職員を除く）の人事・給与及び旅費、職員の研修・福利厚生及び表彰、職員団体その他労務管理、労働安全衛生、教育行政の各種統計調査、事務局及び教育機関の事務の管理調整、公示、教育行政に関する相談に関すること

学校再編推進室

市立学校の再編の推進、市立学校適正規模・適正配置検討委員会に関すること

教育みらい創造室

事務局及び教育機関の事務の企画に関すること

学校教育課

市立学校の設置及び廃止、児童生徒等の入退学及び転校、児童生徒等の就学の免除及び猶予、長期欠席中児童・生徒の調査及び出席の督促、通学区域、学級編制、教職員の人事・給与・免許・職員団体・福利厚生・表彰・調査・統計、学校施設の開放（学校体育施設の開放事業に係るものを除く）、学校運営の管理、市立学校通学区域審議会、情報管理に関すること

指導室

学校教育の指導、学校の教科内容、教職員の研修、教科用図書の採択、学校の教材及び教具の指導、児童・生徒の文化体育行事、児童・生徒の学力等の調査、教育研究所の運営についての指導助言、就学支援委員会、いじめ防止対策委員会に関すること

教育研究所

地域、児童生徒の教育内容及び学習指導並びに教育評価等に関する調査研究、各種調査研究事項の刊行、教育相談事業と研究、資料収集と供覧、研修講座

ユネスコスクール 支援センター

市立学校におけるユネスコスクールの取組への支援、ユネスコスクール及びESDに関する資料及び情報の収集及び提供、知識の普及及び啓発、ユネスコスクール間の交流に関すること

学務課

学校基本調査、就学奨励補助金交付の認定、学校給食及び学校保健、児童・生徒及び教職員の健康診断・就学時健康診断、学校環境の衛生管理、児童・生徒の安全及び学校災害共済給付金・給食費及び医療費に係る補助金の交付、学校給食会、学校保健会、学校医・学校歯科医及び学校薬剤師、市立学校結核対策委員会、市立小学校給食調理業務委託者選定委員会、施設の建設計画及び教育財産の管理に関すること

中学校給食センター

市立中学校において実施する給食の調理及び配送に関すること、中学校給食の調理機器、食器、食缶等の洗浄、消毒及び保管に関すること

人権・同和教育課

社会教育における人権・同和教育の推進に関すること

市立学校 ——— 小学校19校、中学校8校、特別支援学校1校

市長部局

企画総務部

世界遺産・文化財室

世界遺産、近代化遺産保存活用基金事業補助金審査会に関すること
〔教育委員会補助執行事務〕
文化財の保護及び活用、大牟田市文化財保護審議会に関すること

市民協働部

生涯学習課

中央地区公民館
三川地区公民館
勝立地区公民館
吉野地区公民館
三池地区公民館
手鎌地区公民館
駿馬地区公民館
文化会館
多目的活動施設
リフレスおおむた
図書館
三池カルタ・歴史
資料館

生涯学習推進の啓発及び総合調整、延命庁舎の管理、芸術文化の振興、文化団体活動の奨励及び援助、文化芸術振興審議会、大牟田文化会館、わくわくシティ基金事業審査会に関すること。
〔教育委員会補助執行事務〕
社会教育の振興、社会教育委員の会議、社会教育計画及び社会教育についての調査等、社会教育施設の管理運営に対する指導助言及び連絡調整、社会教育関係団体の指導育成、地区公民館、大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた、大牟田市立三池カルタ・歴史資料館等複合施設に関すること。

スポーツ推進室

スポーツ施設
延命プール

社会体育団体の指導育成、市民スポーツの推進及び体力づくり、体育施設及び運動場、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員、スポーツ功労表彰、スポーツ功労表彰審査会、児童及び生徒の体育行事の助成、（仮称）総合体育館等整備に係る設計・施工事業者審査委員会に関すること。
〔教育委員会補助執行事務〕
学校体育施設の開放事業に関すること

[職 員 数]

令和6年3月31日現在

区分		教育長	事務局長	教育監	事務局次長	課長（室長）	副課長	主査（館長）	指導主事	社会教育主事	事務職員	技術職員	計	再任用職員	会計年度任用職員	合計
教育長		1											1			1
事務局	事務局長		1										1			1
	教育監			1									1			1
	事務局次長				1								1			1
	総務課					(1) 2		(1) 5	1	(1)	3		(3) 11		5	(3) 16
	学校再編推進室					1		2					3			3
	教育みらい創造室					1		(1) 1	1	(1)			(2) 3			(2) 3
	学校教育課					2		3	4		1		10		5	15
	指導室					1			4				5		5	10
	学務課					2		(1) 2			2	6	(1) 12	(1) 1	7	(2) 20
	人権・同和教育課					1	1	(1) 2			1		(1) 5			(1) 5
	公民館							7					7		16	23
教育機関	教育研究所					(1)							(1)		7	(1) 7
	中学校給食センター					(1)		(1)				(4) 2	(6) 2	(1)		(7) 2
	小学校											9	9	2	19	30
	中学校														8	8
	特別支援学校											2	2	1		3
合 計		1	1	1	1	(3) 7	1	(4) 19	5	(1)	7	(4) 19	(12) 62	(2) 4	72	(14) 133

※1 学校再編推進室及び教育みらい創造室は総務課の内数

※2 指導室は学校教育課の内数

※3 教育みらい創造室長、学校再編推進室主査、学務課主査、人権・同和教育課主査の（ ）は事務取扱

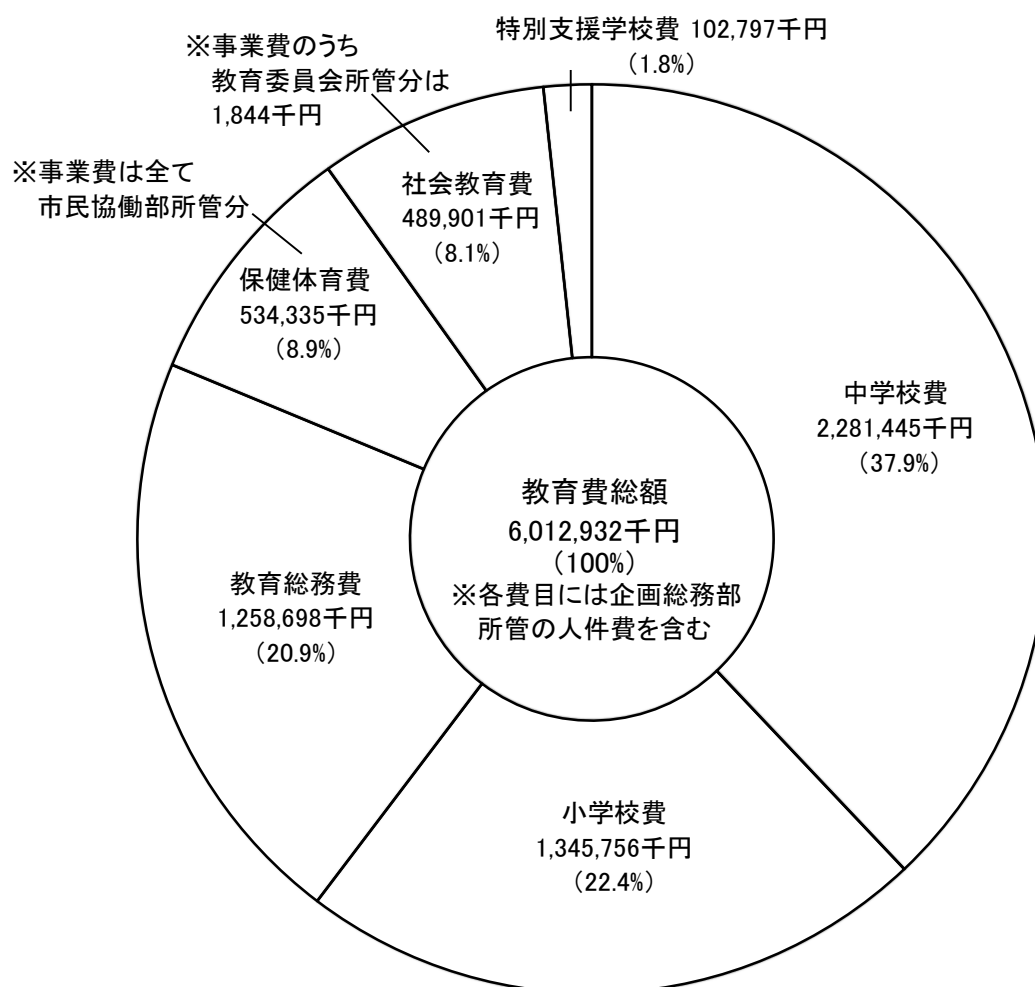
※4 総務課、学務課、人権・同和教育課の（ ）は事務取扱

※5 教育研究所及び中学校給食センターの（ ）は兼務

※6 給食センター給食調理員は学務課技術職員に含む

教 育 財 政

[令和6年度当初予算]

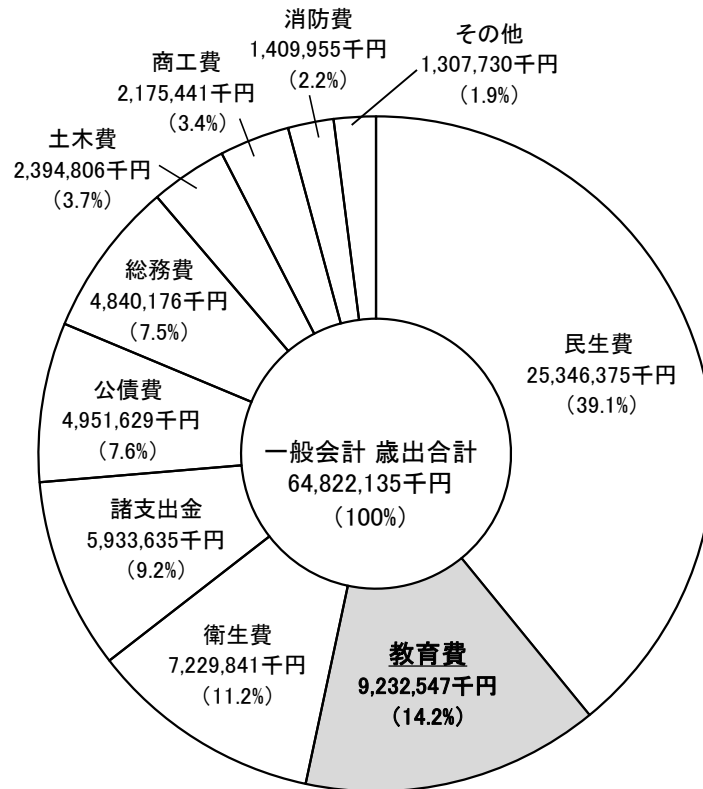


令和6年度大牟田市学校教育振興事業計画重点事業

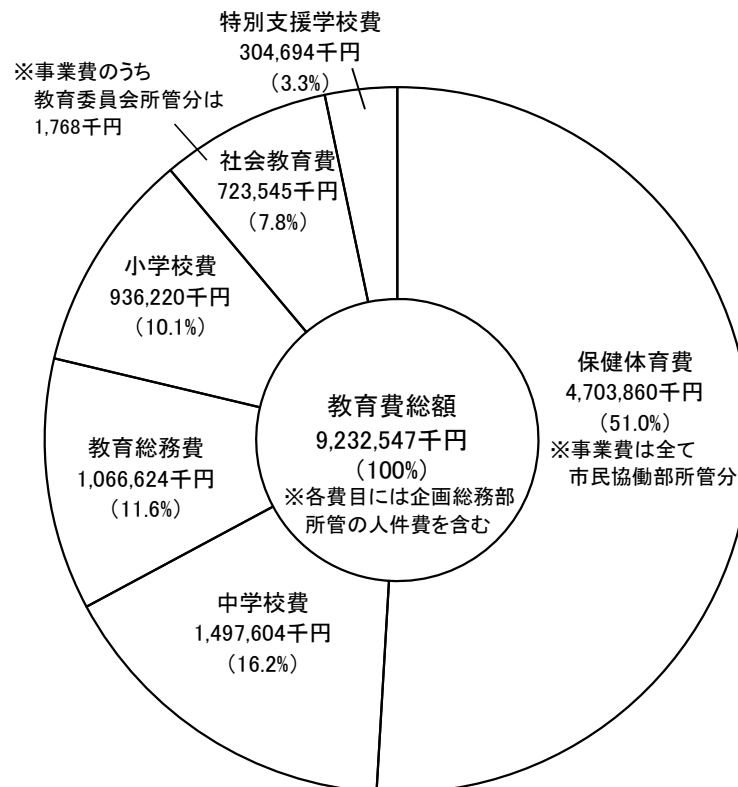
○学力ブラッシュアップ推進事業	14,754 千円
○小中一貫教育推進事業	27,450 千円
○E S D推進事業	3,100 千円
○ハートフルスクールプロジェクト推進事業	22,281 千円
○学校再編整備推進事業	1,818,321 千円
○人権・同和教育・啓発推進事業	399 千円

[令和5年度決算]

1 一般会計歳出決算（款別）



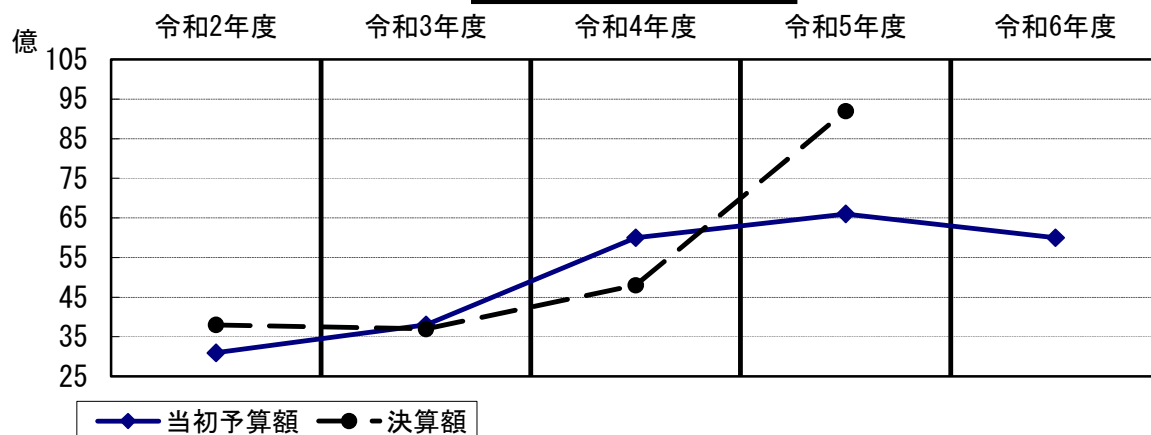
2 教育費歳出決算



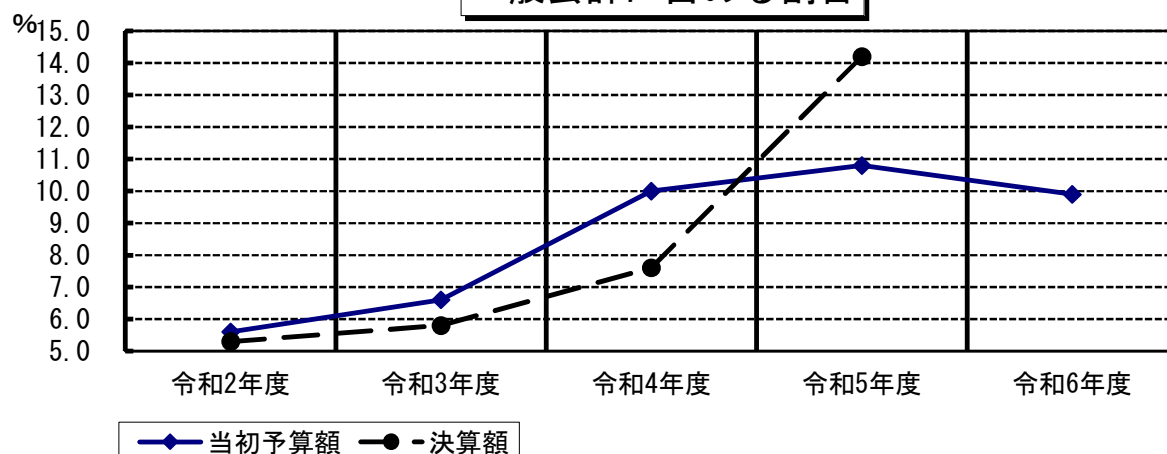
[教育費の当初予算・決算推移]

※当初予算・決算額には、市民協働部等他部所管分を含む。
※決算額には、前年度繰越予算による事業実施分を含む。

当初予算・決算額



一般会計に占める割合



項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育費 決算額	3,806,786	3,720,818	4,852,356	9,232,547	
当初予算 (千円)	3,086,190	3,761,682	5,978,728	6,623,420	6,012,932
一般会計 決算額	68,799,853	64,064,385	62,315,005	64,822,135	
当初予算 (千円)	55,450,000	57,300,000	59,900,000	61,120,000	60,600,000
一般会計に 占める割合 決算額	5.3%	5.8%	7.8%	14.2%	
当初予算 (%)	5.6	6.6	10.0	10.8	9.9

〔 各種委員会等 〕

令和6年3月31日現在

大牟田市議会市民教育厚生委員会

委員長	三宅智加子
副委員長	桑原誠
委員	光田茂
〃	豊福達也
〃	奥村橋倫
〃	船原基近
〃	大野哲也
〃	山田貴正

白谷公一	小・中・特別支援 学校PTA連合会
萬矢勝保	校区コミュニティ 連絡協議会
西山明	民生委員・児童 委員協議会
杉本正英	私立幼稚園振興 協会
林田恭子	保育所連絡協議会

大牟田市社会教育委員

松尾直子	小学校長会
篠原信久	中・特別支援学 校長会
長尾一也	小・中・特別支援 学校PTA連合会
堺 婦小与	子育てネットワーク
野田美智子	市民公募
松尾龍美	体育団体
田中吉典	校区コミュニティ 連絡協議会
江崎美津子	女性団体
木下恵介	文化団体
栗崎敏明	公民館利用者
安元洋子	〃
柿川和機	市民公募
堺 裕	学識経験者

大牟田市立学校通学区域審議会

後藤和子	学識経験者
西田智	〃
添田祥史	〃
城之内庸仁	〃
高口恵美	〃
蒲原光洋	小・中・特別支援 学校PTA連合会
溝上尚子	小学校の校長
福永嘉治	中学校の校長
川崎由美子	小学校の教頭
川口純	中学校の教頭
河島宏子	市民公募
笹井葉子	〃
柴田徹	その他教育委員会 が適当と認める者

大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会 (任期はR5年8月10日まで)

後藤和子	通学区域審議会
西田智	〃
添田祥史	〃
城之内庸仁	〃
高口恵美	〃
蒲原光洋	〃
溝上尚子	〃
福永嘉治	〃
川崎由美子	〃
川口純	〃
河島宏子	〃
笹井葉子	〃
柴田徹	〃
林康司	学識経験者

大牟田市就学支援委員会

堺 裕	学識経験者
田島重吉	専門医
辻克郎	〃
富松健太郎	〃
諸岡居織	〃
上村正行	〃
石橋庸司	〃
坂口明夫	心理判定員
篠崎友加里	〃
梶原麻奈	〃
田中啓吾	小学校長
福永嘉治	中学校長
吉田雅史	特別支援学校長
山本恵美子	教職員
西水秀佳	〃
塚本七帆子	〃

金子美紀	教職員
石田そよか	〃
海谷章子	〃
宮本美樹	〃
関戸美恵	〃
森昭子	〃
江崎真由見	〃

大牟田市いじめ防止対策委員会

堺裕	帝京大学
中尾哲郎	弁護士
辻克郎	専門医
池田美子	人権擁護委員
吉光哲也	教育相談員
北村誠一郎	スクールカウンセラー
井ノ本美紀	児童相談所
高口恵美	スクールソーシャルワーカー
牛島正鏡	大牟田警察署

大牟田市立学校結核対策委員会

川崎雅之	専門医
菅原謙三	医師会
松尾知幸	〃
唐木敦子	保健所長
馬籠秀典	小学校長
北島三津子	中学校長
野口侑未	養護教諭
松葉佳子	〃

大牟田市スポーツ推進委員

山田征士	みなと校区
三宅俊之	〃
福山良夫	〃
古賀達也	天領校区
荒木泰	〃
池田康則	〃
内田勉	駛馬校区
余宮信吾	〃
大石利男	〃
堺美穂	〃
塚本多一	天の原校区
上津原昭一	〃
坂本道治	〃
山田貴正	玉川校区
古田將詞	〃
前山剛	大牟田中央校区

古賀祥道	大牟田中央校区
田中涼子	〃
高津康人	大正校区
古賀正規	〃
杉野知広	〃
高口武士	明治校区
大曲房代	〃
石原良一	〃
古賀義勝	中友校区
田崎靖雄	〃
池田正	白川校区
久富優生	〃
江上しほり	〃
中山智志	平原校区
宮地日出丸	〃
堤正則	〃
本田豊秋	高取校区
坂寺昭	〃
吉田達也	〃
深浦千代子	三池校区
笹尾泰教	〃
河野博信	〃
中川清博	羽山台校区
佐藤誠	〃
松尾礼子	銀水校区
藤枝正治	〃
藤間千代志	〃
野田卓朗	上内校区
松尾英樹	〃
豊嶋邦雄	吉野校区
塚本幸子	〃
野田広行	〃
今村圭児	倉永校区
野田哲寛	〃
辻井秀治	〃
平川令子	手鎌校区
島野知洋	〃
広田桂介	〃
大津義文	〃

大牟田市スポーツ推進審議会

(任期はR5年11月28日まで)

道下竜馬	学識経験者
白石政嗣	体育協会
江頭信次	〃
杉野健次郎	〃

松 尾 礼 子	スポーツ推進委員協議会
黒 田 洋	スポーツ少年団
金 崎 克 也	医 師 会
永 松 均	商 工 会 議 所
松 尾 聡 明	校区コミュニティ連合協議会
福 山 穂 積	障害者協議会
谷 口 靖 宏	右京ふれあい健康クラブ
溝 上 尚 子	小 学 校 長 会
辛 川 和 秀	中学校・特別支援学校長会
高 倉 智 晶	高等学校校長会
中 島 由美子	福 岡 県 職 員
平 野 瑞 恵	市 民 公 募
白 木 千 吉	〃

大牟田市文化芸術振興審議会

日下部 信	九州大谷短期大学
野 中 邦 敏	大牟田文化連合会
深 浦 洋 子	〃
木 村 法 子	大牟田音楽家協会
甲斐田 みゆき	大牟田文化会館
梶 原 伸 介	三池カルタ・歴史資料館
猿 渡 邦 浩	高等学校校長会
北 島 三津子	中学校・特別支援学校長会
右 田 忠 義	大牟田クラシックギター 愛好会
香 山 眞理子	市 民 公 募

大牟田市文化財保護審議会

梶 原 伸 介	古 文 書
片 野 博	建 造 物
井 形 進	仏 教 美 術
江 島 香	近 代 史
木 戸 道 男	地 質

〔 市立学校一覧 〕

1 市立小学校

令和6年3月31日

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	み な と 小 学 校	53-6004	56-0914	上屋敷町2丁目3番地1	野間口 美奈子
2	天 領 小 学 校	53-6006	56-0912	天領町1丁目145番地1	溝 上 尚 子
3	駛 馬 小 学 校	53-6008	56-0901	馬場町17番地	田 中 啓 吾
4	天 の 原 小 学 校	53-6009	56-0895	笹原町3丁目116番地	福 山 恵里佳
5	玉 川 小 学 校	53-6011	56-0885	大字榎野2710番地1	堤 さ ゆ り
6	大 牟 田 中 央 小 学 校	53-6014	59-0864	笹林町1丁目1番地3	田 上 修
7	大 正 小 学 校	53-6015	59-0863	大正町5丁目5番地9	徳 永 秀 志
8	中 友 小 学 校	53-6016	56-0497	中友町1番地20	藤 吉 和 美
9	明 治 小 学 校	53-6017	59-0859	明治町2丁目21番地1	松 尾 直 子
10	白 川 小 学 校	53-6018	59-0856	中白川町1丁目183番地	平 田 真紀子
11	平 原 小 学 校	53-6019	56-9044	平原町333番地	野 田 真 功
12	高 取 小 学 校	53-6020	59-0854	大字歴木1807番地58	高 口 直 喜
13	三 池 小 学 校	53-6021	59-0853	大字新町289番地1	原 野 公 輔
14	羽 山 台 小 学 校	53-6013	59-0857	大字草木587番地3	藤 木 春 美
15	銀 水 小 学 校	53-6022	59-0849	大字田隈239番地	中 村 敏 明
16	上 内 小 学 校	58-0103	50-0497	大字上内1575番地1	馬 籠 秀 典
17	吉 野 小 学 校	58-1037	58-7990	大字白銀967番地17	平 野 正 明
18	倉 永 小 学 校	58-1038	58-7987	大字倉永1307番地	池 田 茂 春
19	手 鎌 小 学 校	53-6025	59-0848	大字唐船395番地	石 橋 実

2 市立中学校

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	宅 峰 中 学 校	53-6034	57-7098	右京町1番地	辛 川 和 秀
2	宮 原 中 学 校	53-6032	57-7094	米生町2丁目26番地	福 永 嘉 治
3	松 原 中 学 校	53-6035	57-7143	大正町5丁目4番地16	末 永 徳 仁
4	白 光 中 学 校	53-6036	57-7147	椿黒町32番地	竹 谷 浩 明
5	歴 木 中 学 校	53-6037	57-7164	大字歴木1150番地	北 島 三津子
6	田 隈 中 学 校	53-6040	57-7169	大字田隈338番地	藤 井 清 午
7	橘 中 学 校	58-0022	50-1359	大字橘664番地1	大 向 智 樹
8	甘 木 中 学 校	58-0033	50-1373	大字甘木613番地1	篠 原 信 久

3 市立特別支援学校

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	大牟田特別支援学校	56-9671	52-0111	天道町24番地	吉 田 雅 史

〔市立学校の通学区域〕

令和5年4月1日現在

1 小学校通学区域

学校名	通学区域
みなと小学校	三里町1丁目、三里町2丁目、三里町3丁目、四山町、浪花町、早米来町1丁目、早米来町2丁目、新港町（1、4）、南船津町1丁目、南船津町2丁目、南船津町3丁目、南船津町4丁目、天領町3丁目、樋口町、姫島町、加納町1丁目、加納町2丁目、西港町2丁目（9、23、42～55）、高砂町、三川町2丁目、三川町3丁目、三川町4丁目、三川町5丁目、船津町、船津町1丁目、船津町2丁目、上屋敷町1丁目、上屋敷町2丁目、汐屋町、入船町、藤田町（55の2、56の1、56の3、57、58の1、58の4、59の2）
天領小学校	白金町、長田町、若宮町（駛馬北小学校通学区域以外の区域）、八江町、右京町、田端町、山下町、延命寺町、片平町、三川町1丁目、諏訪町1丁目、諏訪町2丁目、諏訪町3丁目、天領町1丁目、天領町2丁目、西港町1丁目、西港町2丁目（みなと小学校通学区域以外の区域）、新港町（みなと小学校通学区域以外の区域）、千代町、小川町、岬町
駛馬小学校	若宮町（35の1、35の2、36の1～36の3、37の1、37の2、38、39、40の1～40の3、41の1～41の5、42の1～42の4、43、44の1～44の5、45の1～45の3、48、49）、青葉町（天の原小学校通学区域以外の区域）、一部町、黄金町1丁目（上官小学校通学区域以外の区域）、黄金町2丁目、末広町、駛馬町、馬場町、馬込町1丁目、馬込町2丁目、宮原町1丁目、宮原町2丁目、合成町、飯田町、臼井町、臼井新町1丁目、臼井新町2丁目（天の原小学校通学区域以外の区域）、沖田町、神田町、桜町、野添町、藤田町（みなと小学校通学区域以外の区域）、米生町1丁目
天の原小学校	新勝立町1丁目、新勝立町2丁目、新勝立町3丁目、新勝立町4丁目（玉川小学校通学区域以外の区域）、新勝立町5丁目、新勝立町6丁目、笹原町1丁目、笹原町2丁目、笹原町3丁目、下池町、萩尾町1丁目、萩尾町2丁目、東萩尾町、大字勝立（71の6、71の8～71の12、71の15、71の18、71の20、102の2、109の1～109の4、109の9、109の11、109の13～109の25、122の20～122の24、227の2、227の4、227の5）、米生町2丁目、馬渡町、早鐘町、天道町、臼井新町2丁目（81、82、99の1～99の8、102、103の1、103の2、104の1、104の2、105の1～105の4、106の1、107、108の1～108の3、109の1、110、111、112の1～112の3、122～127、128の1～128の7）、青葉町（125の2～125の12、127の4）
玉川小学校	大字勝立（天の原小学校通学区域以外の区域）、大字教楽来、大字櫟野、新勝立町4丁目（3の8～3の25、3の69～3の104、17の1、17の2、20）
大牟田中央小学校	西宮浦町、東宮浦町、上官町1丁目、上官町2丁目、上官町3丁目、上官町4丁目、宮坂町、七浦町、三坑町、花園町、宮山町、真道寺町、黄金町1丁目（219の1、219の4～219の6、236の1～236の6、237の1～237の19、237の26、238の1、238の3、238の4、238の7～238の24）、不知火町1丁目、不知火町2丁目、不知火町3丁目、浄真町、宝坂町1丁目、宝坂町2丁目、一浦町、正山町、昭和町、原山町、築町、上町1丁目、上町2丁目、有明町1丁目、有明町2丁目、常盤町、松浦町、笹林町1丁目、笹林町2丁目、左古町、山上町、一本町、東泉町、曙町、出雲町、谷町、泉町、旭町1丁目、旭町2丁目、旭町3丁目、栄町1丁目、栄町2丁目
大正小学校	小浜町、小浜町1丁目、小浜町2丁目、小浜町3丁目、久保田町1丁目（3、4）、久保田町2丁目、本町3丁目（3、4、5）、本町4丁目、本町5丁目、本町6丁目、大正町4丁目、大正町5丁目、大正町6丁目、松原町（中友小学校通学区域以外の区域）、松原町2丁目（36の16、36の17）
中友小学校	本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目（大正小学校通学区域以外の区域）、西浜田町、浜田町、中友町、住吉町、中島町、港町、古町、橋口町、松原町（1、2）、西新町、大正町1丁目、大正町2丁目、大正町3丁目、新地町、久保田町1丁目（大正小学校通学区域以外の区域）

学校名	通学区域
明治小学校	新栄町、明治町1丁目、明治町2丁目、明治町3丁目、北磯町、中町1丁目、中町2丁目、健老町、天神町、浜町、新開町、恵比須町、城町1丁目、城町2丁目、大黒町1丁目、大黒町2丁目、大黒町3丁目、大黒町4丁目、椿黒町（白川小学校通学区域以外の区域）
白川小学校	柿園町1丁目、柿園町2丁目、柿園町3丁目、東新町1丁目、東新町2丁目、通町1丁目（1、2、3）、長溝町、八尻町1丁目、八尻町2丁目、八尻町3丁目、日出町1丁目、日出町2丁目、日出町3丁目、椿黒町（1～7）、浅牟田町、鳥塚町、上白川町1丁目、上白川町2丁目、中白川町1丁目、中白川町2丁目、中白川町3丁目、下白川町1丁目、下白川町2丁目
平原小学校	通町1丁目（白川小学校通学区域以外の区域）、通町2丁目、亀甲町、八本町、大浦町、焼石町、瓦町、龍湖瀬町、亀谷町、稻荷町、平原町、大字歴木（972の1～1024、1807の45、1807の47～1807の49、1807の73～1807の83、1807の86、1807の88、1807の89、1807の112～1807の116、1807の118～1807の120、1807の213～1807の219、1807の296、1807の297、1807の309～1807の311、1807の359、1807の699、1807の863、1807の875～1807の880、1807の921～1807の923、1809、1810の1～1810の6）
高取小学校	大字今山（三池小学校通学区域以外の区域）、大字歴木（平原小学校通学区域、三池小学校通学区域及び羽山台小学校通学区域以外の区域）
三池小学校	大字三池（羽山台小学校通学区域及び銀水小学校通学区域以外の区域）、大字新町、大字今山（1～2278、2359～2851、3271～3387、3424～3484）、大字歴木（44、71～83、126、127、130～139、141の1、142の1、143～143の3、144の1、151～460の21、461～474、484～534、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821）
羽山台小学校	大字三池（1～113、114の2、115～139の3、139の5～140の1、140の3、140の4、141の1、141の3～143、178～202、212、215～555、557の3、562～585、589～603）、大字歴木（460の22～460の24、475～483、916～971）、大字白川、大字草木（銀水小学校通学区域以外の区域）、大字田隈（400～445、746～757、774の2、774の3）
銀水小学校	大字宮部、大字久福木、大字田隈（羽山台小学校通学区域以外の区域）、大字橘（吉野小学校通学区域及び手鎌小学校通学区域以外の区域）、大字草木（110の3、110の6、110の10、110の11、111～114、117、120、128の2、128の8～128の10、129の2、129の6、131の6、131の9、131の13、132の1、132の3、132の8、132の9、132の12、132の13、133～135、137の3～137の5、139の3、139の5、140～303、359の2、360の1、360の4～360の7、361の1～361の3、361の6、361の7、361の9、362の2、362の7、362の8、363の4、363の6～363の8、364の3、364の5、364の8～364の14、1058～1302）、大字吉野（1615～1619、1622～1629、1632、1633、1643～1647、1650、1651、1653）、大字甘木（1～7、12の2、15、17の2、504の2、504の6、533、534、540～543、546、547の2、548、554、558）、大字三池（114の1、114の3～114の9、139の4、140の2、140の5～140の8、141の2、144～148の2、148の4、149～155の2、155の5、155の9～155の16、155の18、155の20、159の2）
上内小学校	大字上内（吉野小学校通学区域以外の区域）、大字四ヶ、四箇新町1丁目、四箇新町2丁目、四箇新町3丁目、大字岩本（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町1丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町2丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）
吉野小学校 （次ページにつづく）	大字白銀、大字上内（3430～3668）、大字岩本（2417～2496、2499、2523～2525、2549、2551～2937）、岩本新町1丁目（1、2、7の1～7の7）、岩本新町2丁目（1～3）、大字宮崎（1736～3151）、大字吉野（94～182、548～1093、1094の2、1094の3、1136、1137の1～1137の5、1137の7、1140、1141の1、1145の5、1220の1～1256の1）、大字橘（599の2、600の2～600の6、770～783、

学校名	通学区域
吉野小学校 (つづき)	785の1、785の5、785の8～787、788の1、788の4、788の5、789の3、790の3～790の6、798～834、838～840、845の2～917、918の3～918の6、922の1、923の2、924の1～927、932の1、932の3～934、935の2、935の3、935の6、935の7、936の1、936の3～1574)
倉永小学校	大字倉永、大字宮崎(吉野小学校通学区域以外の区域)、大字吉野(銀水小学校通学区域及び吉野小学校通学区域以外の区域)、大字甘木(614の1～620、622～648、1203の1～1203の45、1203の188、1203の190～1203の200)
手鎌小学校	大字手鎌、大字岬、大字甘木(銀水小学校通学区域及び倉永小学校通学区域以外の区域)、大字唐船、昭和開、大字橘(108、109の1、109の5、109の6)

2 中学校通学区域

学校名	通学区域
宅峰中学校	みなと小学校通学区域、天領小学校通学区域、大牟田中央小学校通学区域
宮原中学校	駛馬南小学校通学区域、駛馬北小学校通学区域、天の原小学校通学区域、玉川小学校通学区域
松原中学校	大正小学校通学区域、中友小学校通学区域
白光中学校	明治小学校通学区域、白川小学校通学区域
歴木中学校	平原小学校通学区域、高取小学校通学区域、三池小学校通学区域のうち大字今山(297～351、583～789、915～1228、1255～2137、2359～2851、3271～3387、3424～3484)及び大字歴木(484～499、523～525、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821)
田隈中学校	三池小学校通学区域のうち歴木中学校通学区域以外の区域、羽山台小学校通学区域、銀水小学校通学区域のうち橘中学校通学区域以外の区域
橘中学校	銀水小学校通学区域のうち大字宮部、大字橘、大字甘木及び大字吉野、上内小学校通学区域、吉野小学校通学区域
甘木中学校	倉永小学校通学区域、手鎌小学校通学区域

3 特別支援学校通学区域

学校名	通学区域
大牟田特別支援学校	市内全域

〔 学校別児童生徒・教職員数 〕

※ 特別支援学級の児童生徒数は再掲

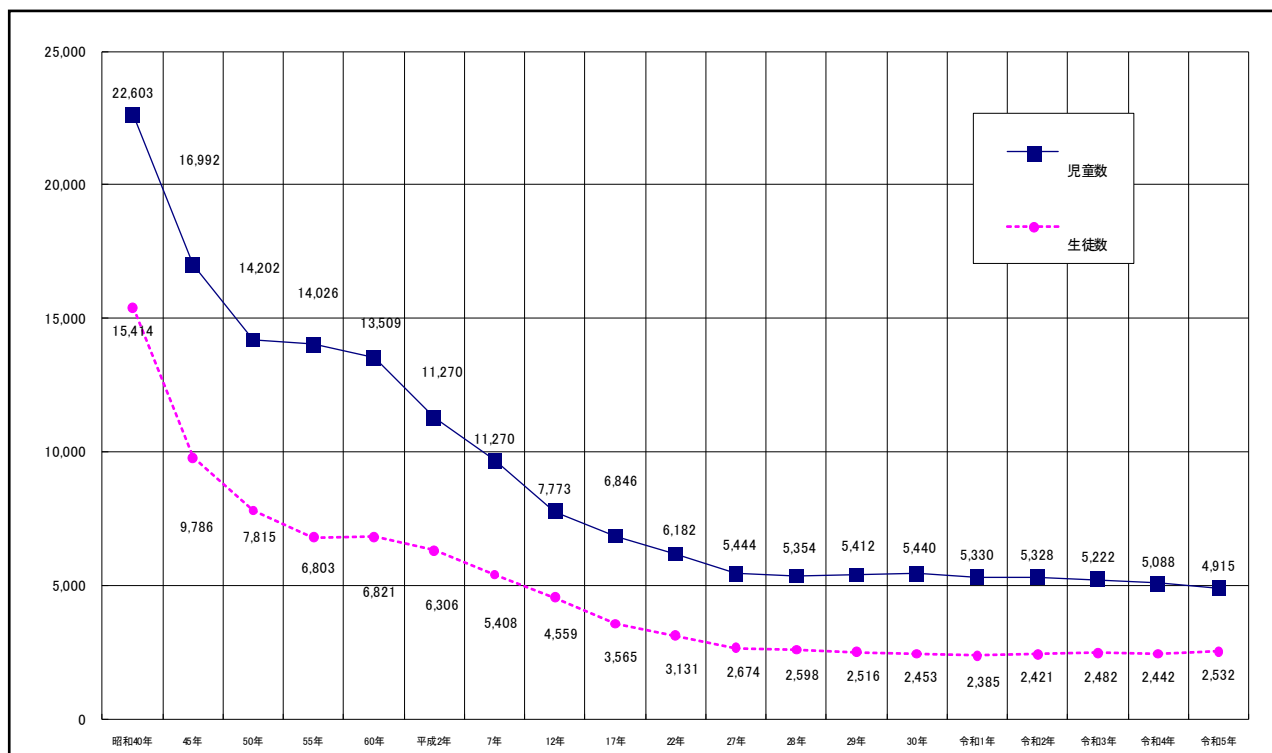
学 校 名		合 計		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		特別支援学級	
		学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数
小 学 校	み な と	12	265	2	59	2	38	1	34	2	43	2	47	2	44	1	4
	天 領	18	430	2	69	2	51	3	82	3	75	3	71	3	82	2	9
	駛 馬	13	263	2	46	1	33	2	39	2	57	2	41	2	47	2	6
	天 の 原	10	226	1	34	1	32	1	36	1	34	2	42	2	48	2	6
	玉 川	7	56	1	8	1	10	1	10	1	8	1	10	1	10	1	1
	大牟田中央	16	402	2	66	2	60	2	70	2	57	2	71	3	78	3	7
	大 正	14	278	2	37	2	44	2	50	2	42	2	49	2	56	2	7
	中 友	8	145	1	19	1	21	2	36	1	23	1	31	1	15	1	3
	明 治	8	199	1	34	1	32	2	38	2	37	1	33	1	25	0	0
	白 川	14	325	1	33	2	60	2	61	2	60	2	52	2	59	3	14
	平 原	9	142	1	19	1	30	1	16	1	23	2	37	1	17	2	9
	高 取	7	155	1	29	1	18	1	27	1	23	1	26	1	32	1	4
	三 池	14	318	2	64	2	49	2	49	2	51	2	55	2	50	2	7
	羽 山 台	13	285	2	44	2	52	2	37	2	57	2	45	2	50	1	3
	銀 水	19	438	2	58	3	85	2	64	3	79	3	75	3	77	3	14
	上 内	5	59	1	12	1	11	1	10	1	7	0	5	1	14	0	0
	吉 野	14	314	2	47	2	52	2	45	2	61	2	53	2	56	2	9
	倉 永	8	174	1	29	1	24	1	32	1	22	2	39	1	28	1	3
	手 鎌	18	391	2	54	2	66	2	66	3	74	2	70	2	61	5	19
小 学 校 計		227	4,865	29	761	30	768	32	802	34	833	34	852	34	849	34	125
中 学 校	宅 峰	18	526	5	183	5	173	5	170			-	-	-	-	3	15
	宮 原	10	283	3	99	3	82	3	102			-	-	-	-	1	6
	松 原	8	219	3	84	2	75	2	60			-	-	-	-	1	7
	白 光	11	267	3	90	3	89	3	88			-	-	-	-	2	5
	歴 木	10	252	3	90	2	76	3	86			-	-	-	-	2	7
	田 隈	15	419	4	144	4	134	4	141			-	-	-	-	3	11
	橘	10	252	2	80	3	82	3	90			-	-	-	-	2	5
	甘 木	10	281	3	103	3	101	2	77			-	-	-	-	2	6
中 学 校 計		92	2,499	26	873	25	812	25	814							16	62
大牟田 特別支援	小学部	11	50	3	13	2	12	2	8	2	6	1	7	1	4	-	-
	中学部	8	33	3	12	2	8	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-
	高等部	12	54	5	23	3	15	4	16	-	-	-	-	-	-	-	-

令和5年5月1日現在

県 費 負 担 職 員													市 費 負 担 職 員					学 校 名	
計	校 長	教 頭	主 教 幹 論	指 教 導 論	教 諭	助 教 諭	養 教 護 諭	養 助 教 護 諭	栄 教 養 諭	栄 代 理 職 員	講 師	事 務 員	計	図 書 員	給 調 理 食 員	学 管 理 校 員	学 校 管 理 員		
19	1	1	1		11		1	1			2	1	2				2	み な と	小 学 校
25	1	1	1		17		1		1		2	1	2				2	天 領	
21	1	1	1		15		1				1	1	2				2	駛 馬	
16	1	1	1		11		1					1	2				2	天の原	
13	1	1			7		1				2	1	1				1	玉 川	
26	1	1	1		17		1				4	1	7		5		2	大牟田中央	
21	1	1	1		14		1				2	1	6		4		2	大 正	
14	1	1			8		1				2	1	1				1	中 友	
13	1	1	1		8		1					1	2				2	明 治	
21	1	1	1		15		1				1	1	2				2	白 川	
15	1	1			10		1				1	1	1				1	平 原	
14	1	1	1		8		1				1	1	2				2	高 取	
22	1	1	1		15		1		1		1	1	2				2	三 池	
20	1	1			15		1		1			1	2				2	羽山台	
26	1	1	1		19		1			1	1	1	2				2	銀 水	
9	1	1	1		4		1					1	1				1	上 内	
22	1	1	1		16		1				1	1	2				2	吉 野	
16	1	1			8			1			3	2	4		2		2	倉 永	
27	1	1			18		1		1		4	1	2				2	手 鎌	
360	19	19	13	0	236	0	18	2	4	1	28	20	45	0	11	0	34	小 学 校 計	
37	1	1	1		32		1					1	2				2	宅 峰	中 学 校
23	1	1	1		15		1				3	1	2				2	宮 原	
23	1	1	1		12		1		1		4	2	2				2	松 原	
26	1	1			19		1		1		2	1	2				2	白 光	
23	1	1	1		17		1				1	1	2				2	歴 木	
29	1	1	1		23			1			1	1	2				2	田 隈	
21	1	1	1		14		1				2	1	2				2	橘	
25	1	1			20		1				1	1	2				2	甘 木	
207	8	8	6	0	152	0	7	1	2	0	14	9	16	0	0	0	16	中 学 校 計	
70	1	2	1		35		2		1		24	4	3		3			小学部	特別 支援 大牟田
																		中学部	
																		高等部	

〔 児童生徒数の推移 〕

大牟田市立小・中・特別支援学校の児童生徒数の推移 （特別支援学校高等部の生徒は除く）



各年5月1日現在（学校基本調査より）

〔 卒業後の状況 〕

1 大牟田市立中学校の卒業後の状況

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等 進学者(B)	専修学校等 入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以 外の者(E)	就職進学者・ 就職入学者(F)	高等学校等 進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
R3	850	834	5	1	10	—	98.1	0.1
R4	798	782	1	3	12	—	98.0	0.4
R5	815	796	2	0	17	—	98.2	0.3

※ $A=B+C+D+E-F$

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

2 県下中学校の卒業後の状況（国立・公立・私立）

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等 進学者(B)	専修学校等 入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以 外の者(E)	就職進学者・ 就職入学者(F)	高等学校等 進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
R3	44,061	43,357	244	111	357	8	98.4	0.3
R4	45,778	44,909	340	107	426	4	98.1	0.2
R5	47,066	46,174	266	127	504	5	98.1	0.3

※ $A=B+C+D+E-F$

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

〔学校施設一覧〕

校地・建物面積等の状況

令和5年5月1日現在（単位：㎡）

区 分		校地面積		建 物 面 積（文 部 科 学 省 基 準）										プール (M×コース)
		建 物 敷 地	運 動 場	校 舎			ランチ ルーム ※1	校舎内 の学童 保育所 ※1	食 堂	給 食 室	屋 内 運 動 場	地域連 携施設	武道場	
				鉄筋	鉄骨	木造								
小 学 校	みなと	6,587	10,600	3,922	680		130			155	919	77		25 × 7
	天領	5,024	8,639	3,927	53					134	919	180		25 × 7
	駛馬	8,460	9,440	3,850	59					151	919	180		25 × 7
	天の原	11,319	13,068	2,788	63	128			270	134	894	180		25 × 7
	玉川	5,724	6,051	2,849	24	41				142	※3 429			25 × 6
	大牟田中央	5,859	7,874	4,282	63				510	168	919	135		25 × 7
	大正	9,853	9,697	4,121	23			86		※3 140	919	270		25 × 7
	中友	9,030	11,680	4,130				127		150	730			25 × 7
	明治	7,777	7,085	4,023	53			65		150	919	250		25 × 7
	白川	11,705	14,692	4,532	53		130	130		170	919	270		25 × 7
	平原	7,713	8,922	3,522	65	20	130			153	894	250		25 × 7
	高取	7,011	10,853	4,595	51	62		72		170	※3 626			25 × 7
	三池	9,334	9,944	4,736	51					168	974			25 × 7
	羽山台	9,512	10,335	4,111						168	※3 725			25 × 7
	銀水	10,379	9,514	5,222	51					231	※3 1,055			25 × 7
	上内	5,486	5,290	1,892					270	112	※3 797			25 × 7
	吉野	10,206	8,311	3,659	110					168	919	200		25 × 7
	倉永	7,867	8,176	3,209	17				390	198	919	250		25 × 6
	手鎌	5,295	9,634	5,059	83					168	1,215	200		25 × 7
小学校計(19)		154,141	179,805	74,429	1,499	251	390	480	1,440	3,030	16,610	2,442		
中 学 校	宅峰	11,656	21,592	4,724	153						1,142		※4 607	25 × 7
	宮原	12,598	14,886	4,337	103						981	200	350	25 × 8
	松原	9,993	9,228	4,821	92						※3 650			25 × 6
	白光	11,636	15,646	4,609	176	7					981	200	450	25 × 8
	歴木	13,822	16,370	6,123							※3 1,222	200	350	25 × 8
	田隈	14,061	12,584	5,695	52						1,519	250	450	25 × 6
	橘	9,107	10,565	4,372	92	5					※3 650			25 × 6
	甘木	22,401	※5 13,266	4,797	91						1,222	200	350	25 × 6
中学校計(8校)		105,274	114,137	39,478	759	12					8,367	1,050	2,557	
特別支援学校		17,351	8,400	5,962	358				150	125	※3 747	※2(61)		25 × 7
合計(28校)		276,766	302,342	119,869	2,616	263	390	480	1,590	3,155	25,724	3,492	2,557	

※1:ランチルームと学童保育所は校舎内にあるが、面積は外数

※4:宅峰中は弓道場を含む。(延命庁舎に隣接)

※2:屋内運動場面積の内数に含む。

※5:甘木中は校庭夜間照明施設(学校開放)あり。

※3:鉄骨造(地域連携施設及び武道場は屋内運動場と同一構造)

(食堂・給食室・屋内運動場で※3以外は主面積が鉄筋コンクリート造)

〔 教育施設一覧 〕

令和6年3月31日現在

施設名 (開館年月)	所在地 電話番号 (FAX)	建物面積 [敷地面積]	施設の主な内容	開館時間	休館日
カルタックスおおむた (平成3年4月)	宝坂町2丁目2番地3	3,764㎡ [4,400㎡]			
三池カルタ・歴史 資料館	53-8780 (53-8781)	共有部分 742㎡ 資料館 819㎡ 図書館 2,203㎡	展示室	10:00～ 17:00	月曜、毎月最 終の木曜(祝 日の場合は翌 日)、年末年 始
図 書 館	55-4504 (43-1167)		開架室、書庫 視覚障害者サービス室	9:30～20:00 土日祝 18:00	
中央地区公民館 (平成4年4月)	原山町13番地3 53-1502 (59-0614)	1,567㎡ [1,702㎡]	創作室、視聴覚室、研修 室、幼児室 他		
三川地区公民館 (平成14年4月)	上屋敷町1丁目12番地3 52-5957 (52-5998)	1,343㎡ [1,386㎡]	研修室、和室、図書コー ナー、多目的ホール 他		
勝立地区公民館 (昭和55年6月)	新勝立町4丁目1番地1 51-0393 (43-4053)	972㎡ [2,826㎡]	研修室、和室、料理室、 図書コーナー、会議室 他		
吉野地区公民館 (昭和63年7月)	大字白銀781番地3 58-3479 (50-0494)	1,122㎡ [2,452㎡]	研修室、和室、図書コー ナー、視聴覚室、会議室 他	9:00～21:30 日曜 17:00	第1月曜、年末 年始
三池地区公民館 (平成4年10月)	大字三池629番地2 53-8343 (43-6814)	1,256㎡ [1,373㎡]	展示ギャラリー、料理室、幼児 室、図書コーナー 他		
手鎌地区公民館 (平成5年12月)	大字手鎌1300番地42 56-6008 (56-6824)	1,471㎡ [2,480㎡]	創作室、視聴覚室、図書 コーナー、陶芸小屋 他		
駛馬地区公民館 (平成6年12月)	馬込町1丁目20番地1 57-5443 (57-5444)	1,527㎡ [1,910㎡]	創作室、音響室、プレイホ ール、図書コーナー 他		
多目的活動施設 リフレスおおむた (平成11年7月)	大字四ヶ1221番地 58-7777 (41-7300)	2,375㎡ [20,620㎡]	キャンプ場、体育館、和 室、創作室、研修室、料 理室、音楽室、陶芸用窯	9:00～22:00	第1・第3月曜 (祝日の場合 は翌日)、年 末年始
市民体育館 (昭和49年9月)	宝坂町2丁目86番地 53-6003 (59-0186)	6,337㎡ [3,217㎡]	アリーナ、柔道室、剣道 室、卓球室(2)、研修室(2)	9:00～21:00	第1・第3火曜、 第3水曜、年末 年始
御大典記念グラウンド (昭和4年4月)	黄金町1丁目123番地 (問合せ 市民体育館)	[25,971㎡]	400mセパレート(8)、 フィールド、スタンド 他	8:30～19:00	年末年始
延 命 プ ール (平成19年8月)	黄金町1丁目68番地 53-7337	[16,208㎡]	25m、幼児用(2)、 ウォータースライダー 他	10:00～ 18:30	[R5年度開場 期間]7月15日 ～8月27日
延 命 球 場 (昭和32年12月)	原山町200番地 (問合せ 市民体育館)	[19,450㎡]	グラウンド、スタンド、 本部諸室	8:30～17:00	年末年始
武 道 場 (昭和26年5月)	浄真町19番地 (問合せ 市民体育館)	198㎡	柔剣道場	8:30～21:00	年末年始
笹林庭球コート (昭和27年1月)	笹林町1丁目1番地2 (問合せ 市民体育館)	[1,400㎡]	クレーコート(2面)	(4月～8月) 9:00～19:00 (9月～3月) 9:00～17:00	年末年始
諏訪公園 テニスコート (平成11年4月)	岬町5番地3 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[8,400㎡]	砂入り人工芝コート (6面)	8:30～21:00	年末年始
手鎌北町公園 テニスコート (平成13年4月)	大字手鎌1520 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[2,800㎡]	全天候型コート(4面)	(4月～8月) 8:30～18:30 (9月～3月) 8:30～17:00	年末年始
第二市民体育館 (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	2,194㎡	アリーナ、柔道室、剣道室	9:00～21:00	第1・第3火曜、 第3水曜、年末 年始
第二グラウンド (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	[5,100㎡]	グラウンド	9:00～19:00	年末年始
教育研究所 (昭和30年10月)	黄金町1丁目34番地 52-5845	269㎡	研究室、図書室、資料室、 会議室	8:30～17:00	

1 「社会教育施設等の状況」

《地区公民館》〔生涯学習課〕

公民館は、未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまちを目指し、次の3つの視点による事業を実施しています。

視点① 次世代を担う子どもをはぐくむ

取組み① 子どもの体験活動の強化・充実

取組み② 高校生等のまちづくりへの参画の推進

取組み③ 各世代に応じた学習活動の提供・支援

視点② ESDを通じた、人づくり、つながりづくり、地域づくり

取組み① SDGsを念頭に置いた持続可能な社会を形成するESD事業の展開

取組み② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成

取組み③ 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出

視点③ 学習環境の整備・充実

取組み① 生涯学習、ボランティア活動、地域活動に関する情報提供の強化

取組み② 身近な地域における学習の場の提供

取組み③ 社会教育施設の機能向上

1 全館合同事業

事業名	事業の概要	回数	参加者 (人)
視点① 「高齢者生きがいづくり社会参加促進事業」 アクティブシニアデビュー塾	高齢者の学習機会及び学習成果を生かした活動の機会や、心と身体の健康づくりの機会を提供することで、生きがいづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを実施しました。 講座終了後は、新規に自主学習グループ14団体が結成され104人が入会し、講座の指導をした既存サークル等8団体へ37人が入会し活動しています。R5年度は、2月に、大牟田文化会館で開催された「絆と夢の青春祭」において、パネル展示で受講生の学びの成果を発表しました。	ボランティアデビュー編 7 講座	78
		地域デビュー編 7 講座	85
		健康実践デビュー編 7 講座	88
		合同展示発表 1 回	来場者 1,000

2 中央地区公民館

(中央地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	大正校区の地域の輪！子ども食堂で広げよう！	地域の子ども食堂において、中学生が準備から調理、配膳まで全ての行程に参画することで、郷土愛の醸成やまちづくりに参画する姿勢を育むきっかけとします。 【学校・まちづくり協議会との調整ができなかったため中止】	—	—
	公民館でウォールアートをしよう	子どもたちに公民館への愛着を持ってもらうため、公民館入口の壁面に「ウォールアート」を実施しました。	1 回	14

(中央地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	子ども づくりの 支援事業 居場所	なかよし広 場文化サー クル	公民館を子どもの居場所として開放し、事業実施団体である「なかよし広場」文化サークル実行委員会への支援を行いました。	13 回	子ども 96 ボランティア 82
視点① 各世代に応 じた学習活 動支援事業	(家庭教育支援 事業) 絵本のある子育 て講座		乳幼児を子育て中の方を対象に、絵本を通して子どもとのふれあいを深める講座を実施しました。	2 回	16
	(家庭教育支援 事業) 就学前子育て講 座 (5 校区)		小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1 回	190
	アク ティ ブシ ニア デビ ュー 塾	(地域デビ ュー編) はじめての パソコン講 座～ワー ド・エクセ ル入門編～	パソコンの操作方法がわからないという悩みをもつ高齢者の方が多く、また公民館においても、パソコンサークルについての問い合わせが度々あったことから、ニーズを捉え、初心者向けのパソコン講座を実施しました。 講座修了後は、新規サークル「中央パソコンサークル」が立ち上がりました。	6 回	84
		(健康実践 デビュー 編) 自分と向き 合うヨガ入 門講座	ヨガを通して心身の緊張をほぐし、心をリラックスさせることができました。また、ヨガのほかにオーラルフレイル予防講話やアロマセラピー、体力測定なども行い、さまざまな角度から自分の健康と向き合いました。 講座修了後は、新規サークル「ピュア・ヨガ」が立ち上がりました。	5 回	64
		(ボランテ ィアデビ ュー編) はじめて学 ぶ手話講座	「大牟田聴覚障害者福祉協会」と「手話の会ありあけ」の協力を得て、初心者向けの手話講座を実施しました。講座終了後は、6 人が「手話の会ありあけ」に入会され、引き続き手話を学んでいます。	6 回	80
	(e スポーツ交流 事業) 公民館で e スポ ーツに挑戦しよう		年齢や性別、場所を問わず気軽に楽しめる e スポーツを活用し、高齢者同士や若年層との交流の機会を設け、フレイル予防につなげることを目的に講座を実施しました。	3 回	60 歳以上 82 小学生 11
	(スマホ活用 世代間交流事業) 楽しく学ぶスマ ホ講座		高齢者等を中心とした「情報通信機器の利用が苦手な人」に対して、「スマホ講座」を開催しました。また、若者世代が支援者となり世代間交流を図りながら地域活動をするきっかけとなりました。	6 回	123

(中央地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 学校 ESD 支 援事業	学校 ESD 支援事業		学校が進めている ESD の取組みのうち、地域の支援が必要な取組みについて、地区公民館が地域とのコーディネートを行い、今年度は学校での取組み内容を公民館に掲示します。【学校との調整ができなかったため中止】	—	—
視点② 地域 ESD 支 援事業	(平原校区) 地域猫について 考える		平原校区では野良猫が多く、近隣住民から苦情の声が上がっていることが課題でした。このため、地域の合意のもと見守っていく「地域猫」活動を学ぶ講座を実施し、数年かけて野良猫を地域から減らしていくための取組みについて学びました。	1 回	29
	(大牟田中央校 区) 地域の魅力を発 信しよう！スマ ホスキルアップ 講座		大牟田中央校区の LINE オープンチャットを継続的に運用できるよう発信者の育成を目的とし講座を実施。LINE の基本的な操作・投稿方法を学ぶほか、発信のルールの確認を行いました。	2 回	30
視点② 人材育成・ 地域活動促 進事業	視聴覚ボラン ティア支援事 業	土曜ふれあ い映画会 (中央)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象とした子どもの居場所において、16 ミリフィルムや VHS などを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	11 回	子ども 83 大人 31 ボランティア 30
		日曜ふれあ い映画会 (他館)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象に各地区公民館を巡回し、16 ミリフィルムや VHS などを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	10 回	子ども 17 大人 7 ボランティア 24
		健康映画 会 (デイサ ービス)	視聴覚ボランティアが、高齢者施設や地域のサロンなどで健康に関する映画の映写会を開催します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
		地域ふれあ い映画会 (学童等)	学童保育所・学童クラブ・子ども会等の要望に応じて映写会を開催しました。	7 回	子ども 353 大人 43 ボランティア 18
	サークル社会参加 促進事業		研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ①第 1 回足は健康の第一歩！転倒予防講座 ②第 2 回 e スポーツ de！新春ボーリング大会	①1 回 ②1 回	①27 ②25
	サークル体験事 業		定期利用登録サークルの社会参加の促進及び会員数を増やすことを目的として一般成人を対象にサークル体験事業を実施しました。 参加者の内、12 人がはじめて公民館を利用され、8 人がサークルに入会されました。	1 回	23

(中央地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	づくり 子どもの 支援 事業 場所	なかよし広 場文化サー クル【再掲】	公民館を子どもの居場所として開放し、事業実施団体である「なかよし広場」文化サークル実行委員会への支援を行いました。	13 回	子ども 96 ボランティア 82
視点② 学習成果活 動促進事業	第 31 回中央地区 公民館ふれあい 文化祭		公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に、e スポーツ体験会と大牟田 VR 旅行などの体験コーナーも新たに設けて文化祭を開催しました。	1 回	366
視点③ 学習情報提 供事業	(公民館情報発 信事業) 公民館だよりの 発行		各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	3 回	3,800 部

3 三川地区公民館

(三川地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を 担う人づく り事業)	づくり 子どもの 支援 事業 場所	友・遊広場	公民館施設を子どもの居場所として毎月 1 ～ 2 回程度土曜日に開放し、友・遊広場見守り隊への支援を行いました。	29回	子ども 451 ボランティア 116
	子ども体 験活動事 業	(子ども体 験活動事 業) 2023 子 どもバー ジョンア ップ体 験講座	健全な青少年の育成を図る目的から、夏休みと冬休みを利用して、異学年の子どもたちや地域の大人たちとふれあいながら、多様な価値観に触れ、感じ、考え、行動する様々な体験学習として実施しました。作品を作りあげる喜びを感じ、学び、体験することを通して、子どもたちの成長に繋げることができました。 【大雨による避難所開設のため夏休みの 2 コマは中止】	夏休み 25 回 冬休み 3 回	【夏休み】 子ども 303 ボランティア 127 【冬休み】 子ども 25 ボランティア 13
視点① 各世代に応 じた学習活 動支援事業	アク ティビ ティ シ ニ ア 塾	(ボランティア デビュー 編) 伝える！つな がる！「やさ しい朗読講 座」	声を出すことで喉の筋力増加に繋がり嚥下機能や口くう機能を鍛える事ができ、人に聞いてもらう楽しみを味わうことができる「朗読」をテーマに、講座を実施しました。 講座修了後は、一般サークル「朗読サークルひまわり」として、月 2 回 5 人で活動を行っています。	6 回	61
		(地域デビ ュー編) ココロとカラ ダがととの う太極拳講 座	筋力やバランスの向上、転倒・フレイル予防のため、安全性が高く継続しやすい「太極拳」をテーマに講座を実施しました。 健康づくりや運動習慣の大切さを学び、周囲にも伝える意識を育む機会となりました。 講座修了後は、一般サークル「みかわ太極拳」として、毎週金曜日 6 人で活動を行っています。	5 回	70

(三川地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
		(健康実践 デビュー編) ウチ飲みが 楽しくなる ♪おつまみ 講座	普段あまり料理をしない方も参加しやすいよう 簡単で魅力的な献立づくりに取り組み、栄養や料理 への関心を深めることを目的に「おつまみ講座」 を実施した。家族や友人との会話のきっかけづく りとなりました。 講座修了後は、一般サークル「一つ星キッチン」 として、月2回9人で活動が続けています。	5回	58
		(一般成人事業) 花のある暮らし ♪ミニブーケ講 座	ゆったりした雰囲気の中でミニブーケを作 ることで、リラックス効果やリフレッシュ効果 を得られること、講座中の交流が増えることを目 的とし、講座で花の種類や組み合わせ方などを 学びミニブーケ作成を行いました。講座終了後 は、新規サークルが立ち上がり月1回11人で 活動が続けています。	3回	51
		さわって、さわっ て！スマホ講座	まなびの継続として、スマートフォンの活用 に不安のある方を対象に、スマートフォンに触 れて楽しみ操作の不安を解消するとともに便 利な機能を少しでも多く活用できる事を目的 に行いました。受講希望者が多かったため当初 予定の午前の部(全5回)に加え、午後の部(全 5回)も追加して実施しました。 スマートフォンの基本操作をはじめ、Wi-Fi の設定、ラインの基本操作や写真、音楽などア プリを使用した操作方法の学習を行い、講座か ら新規サークルが立ち上がりました。	10回	100
		(家庭教育支援 事業) 親子リズム遊び	親子の直接的なスキンシップやコミュニケ ーションを取ることで、子育てへの効果が期待 できることから、天領保育所と共催で、親子で 楽しめるリズム遊びを行い、親子の絆を深めま した。	2回	22組 45人
		(家庭教育支援 事業) 出逢いあふれる 子育て講座	「子育て」が「孤育て」になることを防ぎ、 母親の孤独感や焦燥感をやわらげ、自分の子育 てに肯定感を持つことを目的に講座を実施し ました。 講師は、子育て経験のある主任児童委員に依 頼し、参加者同士の交流の場を作りました。	3回	乳幼児と 保護者 8組
		(家庭教育支援 事業) 就学前子育て講 座 (2校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉え て、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見 つめ直し、家庭での教育力の向上力を図るため の講義や意見交換を行いました。併せて、公民 館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組 みを紹介しました。	各小学校 1回	90

(三川地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(e スポーツ交流事業) 公民館でeスポーツに挑戦しよう		「e スポーツ」は、仲間づくり、生きがいくくりやフレイル予防等の社会的意義が見込まれるとともに、若い世代でも利用があるため、高齢者と若者の世代間交流も含め、様々な活用ができるツールとして期待しています。高齢者および小学生を対象とした「e スポーツ体験事業」で、高齢者の交流の場を設ける機会を増やし、社会参加を促進させる目的として行いました。	3回	29
視点② 人材育成・ 地域活動促進事業	サークル社会参加促進事業		サークルの自主運営の向上、社会参加、社会貢献等の促進を目指すために研修等を行い、活動の場を広げ、より質の高いサークルとなるよう支援しました。 ①「研修会」免疫力を維持して元気度アップ～感染症やガンから体を守りましょう～ ②春待ちコンサート	①1回 ②1回	① 33 ② 124
	づくりの居場所支援事業	友・遊広場【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として毎月1～2回程度土曜日に開放し、友・遊広場見守り隊への支援を行いました。	29回	子ども 451 ボランティア 116
視点② 学校ESD推進事業	みなと小学校「防災・減災を考える日」支援事業		みなと小学校の「防災・減災を考える日」授業で小学校と地域をつなぎ、共に「令和2年7月豪雨」をふりかえり「防災」「減災」について考える支援を行いました。授業では防災物資（簡易トイレなど）の組み立てや防災グッズについて考えるワークを児童とまちづくり協議会の参加者が一緒に行い、世代間交流を行いました。	1回	児童 265 大人 6
視点② 地域ESD推進事業	みなと小学校「防災・減災を考える日」支援事業【再掲】		みなと小学校の「防災・減災を考える日」授業で小学校と地域をつなぎ、共に「令和2年7月豪雨」をふりかえり「防災」「減災」について考える支援を行いました。授業では防災物資（簡易トイレなど）の組み立てや防災グッズについて考えるワークを児童とまちづくり協議会の参加者が一緒に行い、世代間交流を行いました。	1回	児童 265 大人 6
	天領校区盆おどり大会支援事業 ニュースポーツコーナー実施		世代を問わず楽しめるニュースポーツを紹介しました。 「ニュースポーツ」の体験を実施した事で普段接する事の少ない地域の方と交流を図りました。	1回	400
	かおみしり祭り2023 ニュースポーツコーナー実施		世代を問わず楽しめるニュースポーツを紹介しました。 「ニュースポーツ」の体験を実施した事で普段接する事の少ない地域の方と交流を図りました。	1回	420

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	～体験！天領校区まち歩き～ おおむたアリーナ 見学～	まちめぐりを機会に地域への親しみを高めてもらうことや、健康や交流を促進することを目的として、絵本美術館から動物園内を散策し、R 6 年 4 月にオープンする「おおむたアリーナ」内を事前見学し、探訪しながら学びました。	1 回	12
視点② 学習成果活動 促進事業	三川地区公民館 であいの文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に文化祭を開催しました。保育所・小・中学校及び地域住民による作品展示、演芸発表も実施しました。	1 回	2,004
視点③ 学習情報提 供事業	(公民館情報発 信事業) 公民館だよりの 発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4 回	5,200 部

4 勝立地区公民館

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子ども支援居場所 勝立地区アンビシャス広場	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として原則第 3 土曜日に開放し、アンビシャス広場委員会への支援を行いました。	12 回	子ども 85 ボランティア 75
	勝立キッズ・ランド	「自然とつながる」をテーマに、勝立地区の身近な自然と接し、体験活動や自然素材を使ったものづくりから、自然の恵みを知り、自然を大切にすることを育むことを目的とする講座を実施しました。また、地域の大人や異学年との交流活動を行うことで社会性を高めることを目指しました。	4 回	76
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	(家庭教育支援事業) はあとふる子育て講座～どうする！イヤイヤ期の子育て～	子どもの発達段階であるイヤイヤ期の心理的特徴や行動を理解し、適切に対応できる知識や保護者自身のストレスや不安の解消法について学ぶことを目的とする講座を実施しました。	2 回	19
	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座 (2 校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や「勝立地区アンビシャス広場」「絵手紙ボランティア」「勝立大蛇山まつり」の支援、並びに地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1 回	30

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	笑いで大牟田を盛り上げよう！ ～漫才ワークショップ in 宮原中学校	まなびの継続事業として、宮原中学校の1年生を対象に漫才を通じて生徒たちが自分たちの考えを表現する力を養い、コミュニケーション力を高めることを目的とするワークショップを開催しました。	1回	90
アクティブシニアデビュー塾	(ボランティアデビュー編) ～いきいきミシン応援隊～ミシンボランティア養成講座	小学校家庭科のミシンの授業で、子どもたちが安全でスムーズに作業ができるようにサポートするボランティアを養成する講座を実施しました。ミシンボランティアグループ「どんぐり」への加入促進に繋がりました。	5回	30
	(健康実践デビュー編) シニアのための楽しいパン作り講座	興味、関心のある学習活動を通して楽しい時間を共有できる仲間作りとやりがいの実感から健康の維持に繋げることを目的としたパン作りの講座を実施しました。講座終了後は、新規サークル「メロンパン」が立ち上がりました。	5回	54
	(地域デビュー編) 暮らしを彩る折り紙講座	折り紙の基本を学び、脳の活性化や、コミュニケーションを図り、楽しく充実した時間を過ごす事で地域活動に一步踏み出すきっかけづくりを目的とする講座を実施しました。講座終了後は、新規サークル「折り紙マリーゴールド」が立ち上がり、文化祭での展示も行いました。	5回	43
	(一般成人事業) 楽しい！簡単！レジンでアクセサリ作り講座	初心者でも簡単に始められるレジンの基礎知識を学び、ものづくりの楽しさや技術を身につけることを目的とした講座を実施しました。講座修了後は、新規サークル「レジンクラフト勝立」が立ち上がり、文化祭での展示も行いました。	2回	22
	(一般成人事業) 美容と健康！ 韓国おうちごはん講座	K-POPや韓流ドラマ、グルメなど韓国文化は幅広い世代に支持されており、中でも健康食として注目を集めている韓国料理の講座を実施しました。「薬食同源」を重んじる韓国の家庭料理の特徴について知る学習の機会を提供しました。	2回	24
	(eスポーツ活用事業) 地区公民館でeスポーツに挑戦しよう！	地域の高齢者を対象に、社会参加のきっかけをつくり、フレイル予防を推進するため、「eスポーツ交流事業」を実施しました。	3回	大人 39 子ども 10

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 地域 ESD 推進事業	玉川校区 ～LINE でつなぐ 地域ネットワーク～	玉川校区まちづくり協議会役員等を対象に、玉川校区の情報伝達をスムーズに行い、地域活動に活かすため、連絡や情報の共有に役立つ「LINE」の基礎知識と基本操作などを学ぶ研修会を実施しました。	1 回	8
	～防災から考える 地域ネットワーク 作り～ 「天の原校区防 災研修会」	地域の防災の中心となる町内公民館長や自治会長等を対象に、校区の課題となっている土砂災害に対する備えについての研修会を実施しました。適切な避難行動を学ぶことでさらなる地域防災意識の向上を図りました。	1 回	40
	天の原校区 特殊詐欺対策講 座 「ニセ電話詐欺 に気をつけて」	近年被害が増加している高齢者の詐欺被害に対し危機感を募らせていることから、架空請求やオレオレ詐欺などの「ニセ電話詐欺」に対する備えについての講座を実施しました。	1 回	22
	～地域の魅力を 次世代につなぐ ～ 「勝立よかもん 物語」ふるさとウ ォーキング	郷土への愛着と誇りを持つ心の醸成と次世代へ地域の宝物を継承する人材の育成を目的に、勝立地区の歴史と自然について歩いて学ぶ学習会を実施しました。玉川校区教楽来地区を巡るウォーキングや、校区の小中学校の児童生徒をはじめ一般市民にも郷土の魅力を発信するロビー展を行いました。	1 回	18
視点② 学校 ESD 支援事業	天の原校区・玉 川校区 ～心を届ける～ 絵手紙ボラン ティア	絵手紙ボランティア体験が、子どもたちにとって「誰かを思い、行動する意識」につながることを目的に、天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校の児童・生徒に、地域の大人が、「心の贈り物」と言われる絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア活動を支援しました。	3 回	天の原小 33 児童 宮原中 99 生徒 玉川小 10 児童 ボランティア 14
視点② 人材育成・ 地域活動促 進事業	サークル社会参 加促進事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図ります。 ○研修会 「元気の秘訣を知ろう～自宅でできる健康体操のすすめ～」	1 回	41
	春のサークル体 験	サークルの社会参加の促進を目的として、一般成人を対象としたサークル体験事業を実施し、18 人の入会が決められました。 期間：4 月 17 日～5 月 15 日	1 回	36
	(地域行事支援) 勝立大蛇山まつり	天の原校区と玉川校区の二校区住民のふれあい、連帯意識の醸成、青少年の健全育成及び地域の活性化を図るため勝立大蛇山まつり実行委員会の取り組みを支援しました。	1 回	—

(勝立地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	づくり 子どもの 支援居場所 事業	勝立地区アンビシャス広場【再掲】	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として原則第3土曜日に開放し、アンビシャス広場委員会への支援を行いました。	12回	子ども 85 ボランティア 75
視点② 学習成果活動促進事業	第40回勝立地区公民館文化祭		4年ぶりに通常開催で公民館利用サークル会員の学習成果発表を中心に、地域展示や演芸、バザーを実施しました。	1回	1,746
視点③ 学習情報提供事業	公民館だよりの発行		各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4回	4,150部

5 吉野地区公民館

(吉野地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	づくり 子どもの 支援居場所 事業	吉野ふれあい広場	公民館施設を子どもの居場所として、毎月1回、土曜日に開放するとともに、吉野校区子どもの居場所委員会の事業の支援を行いました。	11回	子ども138 ボランティア 115
	おもしろチャレンジ友・遊・塾～宿題・体験・ものづくり！夏休みは公民館へGO！～		夏休み期間中の小学生を対象とし、高校生による宿題対策、サークル会員によるサークル体験を実施しました。実体験を通して成長し、ボランティアに参加することでの喜びや達成感を得る機会になり、小学生は家庭や学校とは違う雰囲気での学習を楽しむ機会となりました。	28回	小学生 121 高校生 30
視点① 高校生まちづくり体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	未来の匠の技講座 花壇づくりに挑戦		高校生が部活動等で学んだ知識を地域住民に教えながら一緒に作業をすることで、教える喜びや達成感を感じ、ボランティア活動や地域活動へのさらなる参画の意欲を高める事を目的として実施しました。 (連携組織：福岡県立ありあけ新世高等学校)	1回	地域住民 21 高校生 8
	つながる+ひろがる e-sports		eスポーツ活用事業として、高齢者等との世代間交流を行いながら、eスポーツによる地域づくりに参画し、普及・発展する際の核となり得る人材を育成する講座を実施しました。	4回	31
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座 (3校区)		小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上力を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や特色ある地域行事等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	上内小 7 吉野小 51 倉永小 27

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(家庭教育支援事業) ～愛情を伝えよう ～子育て講座	家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、概ね0歳～3歳とその保護者を対象に愛情を伝えることやふれあいの大切さを学ぶ講座を実施しました。 (連携：天領保育所)	1回	9
	アクティブ シニア デビュー 塾	(ボランティアデビュー編) あら不思議?! ワクワク★ドキドキ 初級マジック講座	5回	47
		(健康実践デビュー編) 笑顔になれる健康料理講座	5回	49
		(地域デビュー編) ～気軽にスポーツに親しめる～ニュースポーツ講座	5回	42
	(一般成人事業) 初めてでも焼ける パンづくり講座	18歳以上の成人を対象に夜の時間帯に行なうことで日頃来館する機会が少ない市民が公民館利用のきっかけづくりとして、初心者でも気軽に参加できる、パンづくり講座を実施しました。	3回	29
	(eスポーツ活用事業) eスポーツを体験 しよう!～eスポーツ でワクワク健康 づくり～	eスポーツ活用事業として、年齢や性別、場所を問わず気軽に楽しめるeスポーツを活用し、高齢者同士や若年層との交流の機会を設けフレイル予防につなげることを目的とした講座を実施しました。	3回	子ども 3 大人 37
	(スマホ活用世代 間交流事業) 楽し く学ぶスマホ講座	スマホを使いこなせず苦手意識や不安を感じているシニア層を中心に、スマホを活用する方法を学んでもらい生活の質の向上を目指してもらうために、まなびの継続事業として実施しました。また、高校生にボランティアとして参加してもらい、世代間交流を促進しました。	6回	131

(吉野地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 地域 E S D 推進事業	自分でできる！今日からできる！防犯対策講座		犯罪が増加しがちな年末年始の時期を前に、地域の安全、市民の安全を守る一助とするため「防犯対策講座」を実施しました。ひとりひとりがいかに身を守る手段を講じるのか、“心がけ”について学びました。 (連携組織：大牟田警察署 生活安全課)	1 回	20
	令和 5 年度 みんなの健康教室 ～吉野・倉永・上内校区を元気にするバイ！～		吉野校区にある医療法人くさかべ病院より、専門知識を活かした地域貢献事業として健康教室開催の提案を受け実施しました。地域住民一人一人の心身の健康維持の取組みのきっかけづくりを目指しました。 好評につき、R 3 年度から毎年開催し、受講生の健康に対する意識の向上につながっています。 (連携組織：健康づくり課、医療法人くさかべ病院)	6 回	46
	上内校区スマホ講座		まちづくり協議会の中で、災害等があったときの情報共有のために、全員が QR コードの読み取りと LINE での写真の送信が出来るようになって欲しいとの要望があり、スマホ講座を実施しました。	2 回	34
視点② 人財育成・ 地域活動促進事業	サークル社会参加促進事業		サークル会員を対象に、相続といざという時に命を守る救命救急法を学ぶ研修を実施しました。 ①研修会 わたしと家族の「そうぞく」講座～「相続」が「争族」にならないように～（7 月 3 1 日） ②救命救急法講習・消防避難訓練（1 0 月 1 9 日）	2 回	73
	「吉野さくら絆プロジェクト」支援		吉野小学校の 5 年生が取り組む「吉野小桜プロジェクト」を応援するために、H29 年度、吉野校区に設立された「吉野さくら絆プロジェクト」の活動を支援しました。	1 回	-
	倉永校区五者連携教育講演会		倉永校区まち協、倉永校区社協、倉永小 P T A、倉永小との共催で、映画上映会を小学校で行いました。学校での児童の様子を知るとともに、地域で子どもを育てる意識の醸成を図る機会となりました。	1 回	220
	子どもの居場所づくり支援事業	吉野ふれあい広場【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として、毎月 1 回、土曜日に開放するとともに、吉野校区子どもの居場所委員会の事業の支援を行いました。	11 回	子ども 138 ボランティア 115

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	サークル体験事業	サークルの社会参加の促進を目的として、一般成人を対象としたサークル体験事業を実施しました。 ・春のサークル体験 (4月1日～4月28日) ・秋のサークル体験 (11月2日～11月24日)	2回	27
視点② 学習成果活用促進事業	第35回花と緑の文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に実施しました。	1回	1,000
視点③ 学習情報提供事業	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	3回	3,480部

6 三池地区公民館

(三池地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子ども支援居場所	三池みんなの広場	公民館施設を子どもの居場所として毎月第2土曜日に開放し、実行委員会への支援を行いました。	11回	子ども192 ボランティア 76
		高取みんなの広場	子どもたちにとって最も身近な場所である通いなれた小学校で、月1回開設されている子どもの居場所を支援しました。	8回	子ども224 ボランティア 75
	夏休み!子どもサークル体験事業		様々な体験活動を通して、学ぶ意欲やより豊かな知識を深めるきっかけとするとともに、異世代の人との交流により子ども達の豊かな人間形成を図る目的により実施しました。	14回	参加サークル 14 体験者33
	夏休みの宿題は公民館でクリア!		子どもたちが高校生との交流を通じて、学習意欲やより豊かな知識を深めることを目的として、公民館を開放し、子どもたちの宿題を高校生がサポートする事業を実施しました。	3回	子ども37 ボランティア 18
視点① 高校生等のまちづくりへの参画の推進	(公民館 U18 プロジェクト) 「おばけ屋敷」 in 三池地区公民館		主に、三池、羽山台、高取、銀水校区に居住または通学する高校生が企画・実施するおばけ屋敷を開催しました。地域でおばけ屋敷を行っている人の支援を受けながら実施しました。 (おばけ屋敷8月7日)	4回	高校生23 参加者82 (8月7日のみ)
	(公民館 U18 プロジェクト) 子どもたちに夢を贈るサンタクロースプロジェクト in 「みいけ」 2023		主に、三池、羽山台、高取、銀水校区居住又は通学する高校生を対象に、児童発達支援センターりんどう学園のクリスマス会の企画を自ら考え実施する事業を実施しました。	3回	21

(三池地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	(地域デビュー編) はじめてのつまみ細工講座	伝統工芸を気軽に楽しみながら習得し、また指先を使うことで脳の活性化が図れるつまみ細工講座を実施しました。 講座修了後は、新規サークル「かわいいつまみ細工の会」が立ち上がり活動しています。	5 回	57
		(健康実践デビュー編) 続けることが楽しい！体幹トレーニング講座	体幹トレーニングにより、筋力強化だけでなく、座っている時の姿勢や歩く時の安定性を高め、高齢者の健康づくりと仲間づくりのきっかけとなることを目的として実施しました。 講座修了後は、新規サークル「ヤングヤング」が立ち上がり活動しています。	5 回	56
		(ボランティアデビュー編) 癒やしを届けるアロマボランティア養成講座	精油の効果的な使用方法を学ぶことで、一人ひとりの健康維持のほか、マッサージやアロマクラフト作りなどを活用し、子育てふれあい広場やサロンでの活動を目指すことを目的に実施しました。	6 回	48
	パソコン初級講座		デジタル化に対応できるためのパソコンやスマートフォンの基本的スキルを身につけることを目的に、まなびの継続事業として実施しました。講座修了後は、パソコンのサークルとして活動継続しています。	4 回	48
	(e スポーツ交流事業) e スポーツを体験しよう！		e スポーツ活用事業として、年齢や性別、場所を問わず気軽に楽しめるe スポーツを活用し、高齢者同士や若年層との交流の機会を設け、高齢者のフレイル予防につなげることを目的とした講座を実施しました。	3 回	大人 28 子ども 7
	(家庭教育支援事業) ひまわり先生の心の子育て実践法～こどもたち生まれてきてくれてありがとう～		子育て中の保護者が子どものタイプに合わせた接し方や言葉かけの方法を学び、子どもとよりよい関係性を作り子育てに自信を持てるようになることを目的に実施しました。	1 回	20
	子育てふれあい広場 「じゃじゃり子み～け」		親子が自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第2～4月曜日(月3回)に地区公民館の一室を開放し、ボランティアスタッフとともに、ふれあい広場「じゃじゃり子み～け」を開催しました。	29 回	保護者 299 子ども 339 ボランティア 115
	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座 (4 校区)		小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1 回	156

(三池地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 地域 ESD 推 進事業	みいけ御刀めぐり 講座		まなびの継続事業として、三池典太光世や 四郎國光などを通して刀の魅力を知ってもら う講座を実施しました。連続3回のうち座学 の2回はオンラインでの参加も呼びかけ気軽 に三池の刀の歴史に触れてもらい、最終回は バス見学をして学びを深めました。	3 回	67
	地域団体連携事業		地域住民とのふれあいと連携を深め、生涯 学習の推進と校区まちづくり協議会・地域の 実行委員会等の活動の活性化を図りました。 ・羽山台校区春まつり 4 月 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中 止】 ・三池本町夏祭り（7 月 1 7 日、2 4 日） ・三池光竹【スタッフ不足により中止】 ・三池初市（R 6 年 3 月 1 日、2 日）	1 回 — 1 回	—
視点② 学校 ESD 支 援事業	「銀水校区花いっ ぱい“絆”プロジェ クト」		R4年度に引き続き、ESD、地域の絆づくりの 視点を踏まえた事業を実施しました。地域・地 区公民館は、花壇づくりなどの作業のほか、子 どもたちからインタビューを受けることなど により、子どもたちの学びを支援しました。	3 回	221
	「発見！羽山台の 宝」		R 3 年度から学校 ESD モデル事業として、子 どもたちが、羽山台校区の史跡や文化財等を 知り郷土愛を育むとともにゲストティーチャ ーの子どもを育む気持ちを高める事業を実施 しました。 ①校区フィールドワーク（1 1 月 8 日） ②学習発表会 ③成果物の地域への発信	2 回	101
視点② 人材育成・ 地域活動促 進事業	子育てふれあい広 場ボランティア養 成講座		三池地区公民館の「子育てふれあい広場じゃ じゃり子み〜け」のボランティアスタッフの新 規養成を図るための講座を実施しました。講座 修了後は5人の新スタッフが誕生し、広場を 支える活動を継続しています。	3 回	37
	子 ど も の 居 場 所 支 援 事 業	三池みんな の広場【再 掲】	公民館施設を子どもの居場所として毎月第2 土曜日に開放し、実行委員会への支援を行いま した。	11 回	子ども 192 ボランティア 76
		高取みんな の広場【再 掲】	子どもたちにとって最も身近な場所である通 いなれた小学校で、月1回開設されている子ど もの居場所を支援しました。	8 回	子ども 224 ボランティア 75
	（サークル社会参 加促進事業） サークル育成・研 修事業		サークルの自主的活動を支援し、サークル 活動の発展と社会参加の促進を図るため、研 修会を開催しました。 「早めの対策が未来を変える！自宅や実家の 将来のことを考えよう」（企業出前講座）	1 回	23

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	春のサークル体験 2023	定期登録サークルの社会参加の促進及び会員数を増やすことを目的として、成人を対象にサークル体験事業を実施しました。 期間：4月11日～5月13日	1回	22
	(地域・若者による公民館アート事業) 三池まちかどギャラリー	サークル利用者や個人で制作した作品を発表する作品展を開催することで成果発表の場とし、制作者の制作意欲の向上を図りました。	12回	—
視点② 学習成果活動促進事業	第29回ふれあい文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を行い、交流を深めることを目的に実施しました。【ふれあい文化祭実行委員会事業】	1回	1,000
視点③ 学習情報提供事業	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4回	5,400部

7 手鎌地区公民館

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子どもの居場所づくり支援事業	わくわく広場	13回	子ども 389 ボランティア 32
	きらめき広場	明治校区の子どもたちを対象に、季節のイベント(クリスマスのケーキづくり)の支援を行いました。 (明治会館) ※夏休みそうめん流しは中止。	1回	子ども 12 ボランティア 11
	「キッズ☆サマーチャレンジ」	子どもたちに手鎌地区公民館で行われている様々なサークルを体験してもらい、ものづくりや学習の楽しさを知り、異世代交流を深めました。サークル会員は子どもたちへの指導を通じて、学んだことを生かす喜び、伝える喜びを味わい、サークル活動の活性化につなげました。	8回	子ども 28
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	(家庭教育支援事業) 楽しく子育て！ まーるまる♪	乳幼児を持つ保護者が、自分たちの子育てについて自信を持ってもらうため、手鎌地区公民館の子育てふれあい広場「れもんぐらす」の参加者で結成した「子育て応援隊まーるまる」と共同で行いました。	1回	親子 11組

(手鎌地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座 (2校区)		小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上力を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	手鎌小 63 明治小 41
	子育てふれあい広場 「れもんぐらす」		子育て中の保護者とその子どもが自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第1～3金曜日(月3回)に、ボランティアスタッフを中心として、子育てふれあい広場「れもんぐらす」を開催しました。	31回	子ども 336 保護者 297 ボランティア 171
	アクティ ブシ ニア デビ ュー 塾	(地域デビュー編) 今すぐ役立つ筆ペン講座	「書く」ことは脳の活性化、リラックス効果があります。当講座は筆ペンを使うため道具を揃える必要がなく、気軽に始めることができました。 講座終了後はサークルとして活動を続けられています。	5回	66
		(ボランティアデビュー編) 素敵なペーパークラフト講座	画用紙や折り紙などを使い、つまみ細工やオーナメントなどを製作しました。また子育てふれあい広場「れもんぐらす」で、親子にペーパーバッグの作り方を教えるボランティアも体験しました。講座終了後はサークルとして活動を続けられています。	5回	54
		(健康実践デビュー編) 健康フラダンス講座	フラダンスは、ハワイの大自然から生まれた音楽に合わせて身体を動かすことで、筋力アップや心身のリラックスにつながります。講座終了後は指導サークルに加入し、活動を続けられています。	5回	74
	(eスポーツ交流事業) 地区公民館でeスポーツに挑戦しよう！		eスポーツ活用事業として、年齢や性別、場所を問わず気軽に楽しめるeスポーツを活用し、高齢者同士や若年層との交流の機会を設け、高齢者のフレイル予防につなげることを目的とした体験講座を実施しました。	2回	36
視点② 地域 ESD 推進事業	〔手鎌校区・明治校区〕 2校区で考える地域づくり「防災士から学ぶ災害の備えと対応」		手鎌・明治校区の地域課題を解決するために、2校区で話し合う合同事業です。今年度は「防災」をテーマに災害への備えと対応を学び、地域活動に生かしてもらえよう、両校区の情報交換、意見交換の場とします。 【日程調整ができず、未実施】	—	—
	〔手鎌校区〕 シニアのための「かんたんスマホ講座」		シニア世代の手鎌校区住民がスマホの基本操作から簡単なアプリの使い方を学び、デジタルデバイトの解消につなげました。講師は地元の介護事業所職員が務めました。	4回	37

(手鎌地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	伝えたい、残したい「黒崎潟いね踊り」		「黒崎潟いね踊り」は明治時代から黒崎地区に伝わる伝統芸能。その踊りを伝え、残していくためにまなびの継続事業として、「黒崎潟いね踊り」をはじめ、黒崎の歴史を綴った紙芝居、帝京大学の学生が制作した「がたいね体操」を披露、体験する機会を設けました。	1 回	60
視点② 人材・地域 活動促進事業	子育てふれあい広場ボランティアスキルアップ講座		「れもんぐらす」のボランティアスタッフがスキルアップを図るとともに、三池地区公民館「じゃじゃり子み〜け」のスタッフと意見交換、交流し、広場の活性化を図りました。	2 回	16
	サークル社会参加促進事業		サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 ①『ニセ電話詐欺に気をつけて！』 ②『認知症予防講座』	①1 回 ②1 回	①24 ②24
	春のサークル体験会		新年度の始めにサークル活動を体験し、新たに自分の趣味や好きなことを見出し、生きがいづくり、社会参加を目的に実施しました。また、新たな会員増加をめざしてサークル会員の学習意欲向上、サークル活動の活性化を図りました。	1 回	49
	子どもの居場所づくり支援事業	わくわく広場【再掲】	手鎌校区、明治校区の子どもたちを対象に月1回実行委員会が実施する子どもの居場所づくり事業への支援を行いました。 (手鎌地区公民館、手鎌小学校) ・7月は避難所開設のため中止。 ・12月は、地区公民館工事のため中止。 ・3月は「わくわく子どもまつり」	13 回	子ども 389 ボランティア 32
		きらめき広場【再掲】	明治校区の子どもたちを対象に、季節のイベント(クリスマスのケーキづくり)の支援を行いました。 (明治会館) ※夏休みそうめん流しは中止。	1 回	子ども 12 ボランティア 11
視点② 学習成果活動促進事業	第28回手鎌地区公民館ふれあい文化祭		サークル会員や地域住民の活動の成果を発表する文化祭を開催し、地域団体との交流を図りました。4年ぶりの大々的な文化祭となり、多くの来場者で賑わいました。	1 回	1,840
視点③ 学習情報提供事業	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行		各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	5 回	3,000 部

8 駿馬地区公民館

(駿馬地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を 担う人づく り事業)	駿馬小学校 PTA 夏 休みおたのしみ会		日ごろ体験できない活動を通して、親子の絆 や PTA 会員相互の親睦を深め、PTA 活動の活性 化を図ることを目的に実施しました。 (駿馬小学校PTA、駿馬地区アンビシャス広場と 共催)	1 回	110
	諏訪川であそぼ う!ふれあいカヌ ーデー 2023		諏訪川でのカヌー乗船体験をすることで 自然を愛する心を育むとともに、家族や友人 等とのふれあいを深める場・機会を提供する ために開催しました。	1 回	参加者 97 カヌーサポ ーター会 12 PTA役員 2 アンビシャ ス委員 2 ボランティ アスタッフ 8
	づくり 支援事業	子どもの居場所 駿馬地区アン ビシャス広場	子どもたちが自主的・主体的な活動の中で 生きる力を育むことができるよう、地域の大人 が見守るアンビシャス広場委員会への支援 を行いました。	38 回	子ども 862 アンビシャ ス委員 144 PTA 77
視点① 各世代に応 じた学習活 動支援事業	アク ティ ブシ ニア デビ ュー 塾	(健康実践 デビュー編) 簡単づくりお き料理～我が 家流にアレン ジを楽しもう! ～	簡単にできるづくりおき料理を学ぶことで 食事の準備が楽になり、アレンジする楽しみを とおして美味しく食事ができるようになること 、また、料理実習を通して仲間づくりができ 、高齢者が要介護状態にならずに、健康で自立 した生活を送るための一助とすることを目的に 実施しました。	5 回	48
		(地域デビ ュー編) 竹で作ってみ ませんか～未 来に伝えたい !日本の宝～	既存サークル「竹馬の会」を講師に迎え、竹 とんぼや凧など竹を使った玩具の作り方の継 承のため、作品作りの楽しさ知ってもらうこと を目的に実施しました。また、作品をロビーに 展示することで、作品を作る喜びと継続して活 動するきっかけづくりとしました。講座終了後 は、受講生5人が「竹馬の会」に加入しました。	5 回	28
		(ボランテ ィアデビ ュー編) ～今年、着物 デビューしま せんか～着付 けボランティ ア養成講座	自分や他の人への着付けの仕方を学ぶこと で、自分の好きなことをきっかけに学んだ ことを活かすことの喜びを学びボランティ ア活動に続けていくことを目的に実施しま した。講座終了後は、新規サークル「駿馬結 びの会」が立ち上がり、ボランティア活動に 向けての学習・活動が開始されました。	6 回	34

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	はじめてさんの陶芸講座 in 駿馬	公民館を利用してもらうきっかけとなるよう、まなびの継続事業として、生涯学習に関心の薄い若い世代の人たちに向けて、地区公民館の良さを周知することを目的に講座を実施しました。	3 回	45
	(一般成人事業) 駿馬をもっと知ろう！～駿馬歴史探検隊～	駿馬地域の宝を学ぶ機会を提供することで郷土愛の醸成や歴史についての知見の承継につなげ、活動を休止していた駿馬地区公民館のボランティアガイドサークル「はやめ郷土の会」の会員増を目指し実施しました。講座終了後は、3人がサークルに加入し、活動を再開しました。	2 回	26
	(eスポーツ交流事業) eスポーツに挑戦しよう！	eスポーツ活用事業として、年齢や性別、場所を問わずに気軽に楽しめるeスポーツを活用し、高齢者同士や若年層との交流の機会を設けフレイル予防につなげる体験講座を実施しました。	3 回	38
	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座 (1校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	1 回	26
	(家庭教育支援事業) 命をつなぐ～牛から学ぶ「いのち」と「たべもの」～	子育て世代の保護者に、「生き物としての牛」「食べ物としての牛」の2つの側面について学び、命の大切さと食について考えるきっかけとなる講座を実施しました。	2 回	13
視点② 地域 ESD 推進事業	駿馬校区防災講座 (図上訓練)	校区内の危険箇所や要支援者の所在地を把握し、万一の災害発生時に、地域内の人々が連携協力して速やかに避難できるようにすることで、安心安全に暮らすことができる地域づくりを目的に実施しました。 ＜駿馬校区まちづくり協議会との共催＞	1 回	50
	ニセ電話詐欺に気をつけて	安心安全に暮らしていける地域づくり・地域コミュニティ構築のために、特殊詐欺の被害に遭わないための必要な知識を身につけるための講座を実施しました。 ＜駿馬校区まちづくり協議会との共催＞	1 回	16

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	諏訪川清掃活動支援	地域団体主催の諏訪川清掃活動に対し、「はやめカヌーサポーター会」と支援を行いました。 ・駿馬校区社会福祉協議会主催 「諏訪川浄化活動」 8月、2月開催。 ・駿馬校区まちづくり協議会主催 「精霊流し片付け」	3回	120
視点② 学校ESD推進事業	駿馬のまち発見隊	駿馬地区公民館の定期利用サークルである「はやめ郷土の会」がボランティアガイドを務め、駿馬小学校3年生の総合学習「駿馬の歴史学習」の事前学習として「地域を知る」の一環で実施した古道歩きの支援を行いました。歴史学習を通して、学校と地域のつながりを強化することを目的としました。	1回	児童 39 教諭・PTA 2 ゲストティーチャー 3
	カヌー体験活動支援	児童の健やかな成長に寄与するため、近隣小学校が実施する体験学習（海洋教育としてのカヌー乗船体験）に対し、支援を行いました。	3回	児童 171 教諭・PTA 49 カヌーサポーター 38
	宮原中学校連携支援	宮原中学校と地域をつなぐ支援として、今年度は宮原中学校の生徒が行っている「みんなに届けよう！服のカプロジェクト」に協力しました。	1回	—
視点② 人材育成・地域活動促進事業	第25回はやめカップ祭り	河川浄化と意識の向上、世代間交流の促進及び地域の連帯意識の醸成を図ることを目的として開催される当該イベントの支援を行いました。 ＜はやめカップ祭り実行委員会主催＞	1回	1,800
	2024 なの花フェスタ	環境美化及び青少年の健全育成を目的に、諏訪川及び駿馬地区公民館を会場に開催されるイベントの支援を行いました。 ＜2024 なの花フェスタ実行委員会主催＞	1回	スタッフ 51 参加者 372
	炭鉱の祭典（宮原坑フェスタ）	世界遺産構成資産である宮原坑で開催される「宮原坑フェスタ2023」のイベントの支援を行いました。 ＜大牟田市世界遺産・文化財室主催＞	1回	2,500
	カヌーボランティア活動支援	新たなボランティアの育成によりカヌー事業の継続発展を図ることを目的に、カヌーサポーター養成講座を開催しました。	1回	受講者 7 カヌーサポーター 6
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ①研修会 講話「エンディングノートの書き方」 ②交流会「ペタンク大会」の開催	各1回	128

(駿馬地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	子どもの居場所づくり支援事業	駿馬地区アンビシャス広場【再掲】	子どもたちが自主的・主体的な活動の中で生きる力を育むことができるよう、地域の大人が見守るアンビシャス広場委員会への支援を行いました。	38 回	子ども 862 アンビシャス委員 144 PTA 77
視点② 学習成果活動促進事業	第 27 回駿馬地区公民館文化祭（翔馬祭）		公民館利用サークル会員・地域住民の学習成果の発表を中心に開催しました。	1 回	953
	展示コーナー・ロビーの活用促進		館内の展示コーナーを活用し、小・中学校の作品展などを開催することにより学習活動の成果発表の機会を提供しました。	15 回	—
視点② 学習情報提供事業	（公民館情報発信事業） 公民館だよりの発行		各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	5 回	5,000 部

9 登録サークル活動

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駿馬	合計
R 3	サークル数	22	29	20	27	36	29	27	190
	会員数（人）	238	441	261	315	418	327	274	2,274
R 4	サークル数	16	33	21	27	32	28	26	183
	会員数（人）	186	438	271	302	338	309	235	2,079
R 5	サークル数	16	34	21	22	26	25	24	168
	会員数（人）	171	438	258	243	280	271	244	1,905

10 図書関連事業

（1）各地区公民館別図書貸出冊数

（単位：冊）

区 分		三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駿 馬	合 計
R 3	一 般	3,778	1,495	3,145	7,643	3,409	1,254	20,724
	児 童	1,974	279	1,344	2,991	1,481	755	8,824
	計	5,752	1,774	4,489	10,634	4,890	2,009	29,548
R 4	一 般	4,060	1,613	3,506	8,456	4,055	1,437	23,127
	児 童	3,029	500	1,963	3,004	1,474	766	10,736
	計	7,089	2,113	5,469	11,460	5,529	2,203	33,863
R 5	一 般	3,979	1,792	3,610	7,864	3,454	1,152	21,851
	児 童	2,224	342	2,334	3,162	1,818	663	10,543
	計	6,203	2,134	5,944	11,026	5,272	1,815	32,394

(2) 図書関連事業

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行いました。また、地区公民館において絵本の読み聞かせなど行いました。

1 1 施設利用状況

R 5 年度は、自然災害等による避難所開設のため休館及び開館時間の短縮を行いました。
また、受変電設備嵩上工事に伴い臨時休館を行いました。(単位：人)

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	合計
R 3	件数	2,254	2,147	1,356	1,661	2,032	1,871	1,300	12,621
	延人員	19,654	18,661	11,681	15,929	16,749	16,888	11,960	111,522
R 4	件数	3,024	3,408	2,130	2,408	2,814	2,915	2,328	19,027
	延人員	28,842	28,186	17,942	22,318	24,118	27,653	23,157	172,216
R 5	件数	3,285	3,677	2,419	2,470	3,067	3,085	2,660	20,663
	延人員	31,842	34,361	20,617	22,269	28,262	32,847	25,069	195,267

○自主及び指定避難所開設のため休館

6月30日(金) 15時～7月1日(土) 13時

7月8日(土) 8時～10日(月) 17時

8月9日(水) 8時～10日(木) 正午

○受変電設備嵩上工事による臨時休館(手鎌地区公民館)

12月5日(火)～6日(水)

R 6 年 2 月 6 日(火)～7日(水)

1 2 施設改修・施設整備

(1) 社会教育施設・設備充実事業

地区公民館の利用者が、安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じて施設修繕を実施しました。

R 5 年度は三川地区公民館の空調・換気等設備工事、屋根・外壁等防水工事及び電灯設備改修工事、手鎌地区公民館の玄関車寄せ改修工事及び受変電設備嵩上工事、全館のトイレ照明設備自動点灯化工事及びブラインド改修を実施しました。

1 3 研修・研究

毎月第1月曜日(休館日)に開催する地区公民館職員研修会において、各種研修及び各種計画の紹介等を行ったほか、社会教育センター等で開催される研修に参加しました。

《多目的活動施設リフレスおおむた》〔生涯学習課〕

リフレスおおむたは、市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資するため、H11年に設置しました。青少年の多様な体験活動の場、生涯学習・生涯スポーツの場、広域的な住民交流の場の提供に努めています。

また、野外・自然体験活動等の事業をはじめ、施設設備の有効的な利活用を図るための指導者養成事業、施設ボランティア養成事業等の実施により、青少年の健やかな成長と豊かな心を育むことを目指しています。

H19年度から指定管理者制度を導入し、R4年度からR8年度までの5年間は公益財団法人熊本YMCAを指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。なお、一部の事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を中止・縮小しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
野外活動体験 「がまだす隊」	小学校1年生と2年生を対象に、年間の活動を通して仲間との協調性や自然の大切さを学ぶ事業を行いました。	5月～ 12月	6	118
リフレスなんでもやる隊	小学校3年生から6年生までを対象に、主として「自然体験」を中心に、命の尊さ、食の大切さを自然から学ぶ実践体験事業を行いました。	6月～ 12月	6	131
春の野草を食べよう	施設周辺で春の野草の観察を行いながら地域の自然にふれあう機会とし、専門ボランティアの解説、試食等を通して、参加者同士の交流を深める事業を行いました。	4月	1	4
リフレスキャンプ2023 (長期宿泊体験事業)	キャンプ体験初心者の家族を対象としたファミリーキャンプを実施し野外活動の楽しさや大切さを感じてもらう機会を提供しました。 また、小学校の異学校、異学年での日常生活活動や特別活動（キャンプファイヤー、野外炊飯）を通して、自主性・社会性を養うと共にコミュニケーション能力を高める集団宿泊体験事業を行いました。(年3回：ファミリーキャンプ・サマーキャンプ・ウィンターキャンプ)	8月 R6.1月 R6.3月	3	23
キャンパーズコネクション (野外活動指導者養成事業)	高校生・大学生を対象に、野外活動の楽しさを知り、体験したことを指導者として発揮できるための講座です。	6月 R6.3月	2	19
レクリエーション指導 (青少年団体支援事業)	学校や子ども会などを対象に、要請に応じて指導者を派遣して、レクリエーションや野外活動の指導を行う事業です。出前講座にも登録しています。	7月 11月	2	120

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
楽しいキャンプファイヤー指導 （青少年団体支援事業）	要請に応じて学校や子ども会、地域行事などに職員を派遣し、キャンプファイヤーやレクリエーション指導を行いました。	随時	1	雨天のため中止
青少年ボランティア活動支援	野外活動や自然活動を支援するリーダー育成を目指す事業です。	5月～7月 9月～12月	12	86
星空観察会	夏・冬の星座観察を通して、星座の成り立ちや神話、星に関わる疑問等を学び、自然の大切さを理解し環境保護について考える機会とすることを目的に、大牟田市環境保全課と星空観察ボランティアとの共催で実施する事業です。	〈夏〉 8月 〈冬〉 R6.2月	1	8月は台風接近により中止 5
ほたる観察会	ほたるについての学習会などを行い、観察だけでなく、自然環境のほたるへの影響などを学び、自然保護の意識を醸成させることを目的に、市環境保全課と四ヶ友和会との共催で実施する事業です。	5月	1	32
学習の相談及び支援（アドバイス）	学校やスポーツ団体等、リフレスを利用される野外活動などの相談支援を行う事業です。	7月	1	20

（２）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した特性を生かした事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
陶芸教室（大人対象）	9月～10月	40
陶芸教室（親子対象）	6月～7月	56
クライミング講習会	R6年1月～3月	51
高齢者向け健康体操	11月	4
リフレスクッキング教室	5月、10月	29
物づくり教室	6月	54
ヨガ&健康体操教室	毎週水曜日	421
ペン字講座「夏休み書道教室」	7月	8
HIPHOP ダンス教室 「Swich Club」	毎週火曜日	140

（３）自主事業（指定管理者が独自に実施する事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
雪遊び&スキーキャンプ	R6年2月	募集定員に満たず中止

2 利用状況

(1) 開所日数 336日

(2) 利用者数等

年度	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
R3	1,704	12,408	238	8	12,162	6,590	281	5,537
R4	2,315	18,193	577	224	17,392	10,446	501	7,246
R5	2,189	18,689	1,344	119	17,226	9,616	968	8,105

(R5年度内訳)

区分別	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
個人	1,314	4,881	53	10	4,818	2,987	127	1,767
少年	249	5,599	328	28	5,243	983	23	4,593
学校	28	740	208	0	532	203	278	259
他団体	455	5,598	672	81	4,845	4,201	456	941
主催事業	143	1,871	83	0	1,788	1,242	84	545
計	2,189	18,689	1,344	119	17,226	9,616	968	8,105

※「利用者数」には利用した実人数を計上しています。

※「個人」とは、団体名を持たない利用者（複数人を含む）をいいます。

※「少年」とは、青少年を主とした団体で、「学校」及び「他団体」以外の団体をいいます。

※「学校」とは、小学校以上の学校の団体をいいます。

※「他団体」とは、一般団体やサークル、幼児の団体をいいます。

※「主催事業」とは、リフレスおおむたが主催する事業に参加した利用者をいいます。

3 施設整備等

R5年度は、施設通用口側に新たな駐車場を整備しました。また、公共施設維持管理計画に基づく予防保全のための工事として、外壁改修工事等をR4年度からR5年度にかけて行い、施設の長寿命化を図っています。

《大牟田文化会館》〔生涯学習課〕

大牟田文化会館は、事業の企画・実施や、市民の文化活動に係る施設や付属設備等の提供、文化活動に関する相談・支援・情報収集、プラネタリウム投影などを通して大牟田市、柳川市及びみやま市の区域における文化の向上と住民の福祉の増進に資するためにＳ６１年に設置しました。文化事業については音楽や美術、講演など幅広いジャンルの催しを開催することを目的としています。

H１８年度から指定管理者制度を導入し、R４年度からR８年度までの５年間は公益財団法人大牟田市文化振興財団（H２５年９月に公益法人へ移行）を指定管理者として、施設の管理運営を行っています。

１ 事業の実施状況（プラネタリウム関連事業を除く）

施設の特性を生かし、文化の向上と住民の福祉の増進に資する文化芸術事業を指定管理者が実施しました。（多様な文化にふれ親しむ鑑賞型、市民が主体的に参加する参加型、将来の文化を担う人材を育成する育成型の文化芸術事業を地域の音楽・文化関係団体等と連携して実施。）

①鑑賞型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
第78回福岡県美術展覧会（県展）筑後ブロック展	10月8日（日） ～14日（土）	文化会館	出品数 175点 入場者 497人
学校鑑賞事業「父と暮せば」 ※宅峰中1・2年生、歴木中全学年	11月29日（水） ～30日（木）	文化会館	683人
アクロスミュージックキャラバン in 大牟田 音楽の贈り物事業「春色カルテット」	R6年2月18日（日）	aurea アウレア	120人
ほいけんた×ジョニー志村 ものまね LIVE in 大牟田	R6年3月20日（水・祝）	文化会館	722人

②参加型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
大ホールピアノ体験 「スタインウェイを弾いてみよう」	4月28日（金） ～30日（日）	文化会館	水損事故のため中止
第41回有明美術展	5月30日（火）～6月 4日（日）	文化会館	出品数 150点 入場者 788人
第16回びあの1日マラソン	6月25日（日）	文化会館	水損事故のため中止
クリスマスファミリーコンサート	12月24日（日）	文化会館	299人
大牟田市わくわくシティ基金事業 ダンスチャレンジおおむた	[ワークショップ] 12月2日（土） 12月10日（日） 12月16日（土） 12月23日（土）	文化会館	551人

		R6 年 1 月 14 日 (日) [ダンスチャレンジお おむた] R6 年 1 月 21 日 (日)		
文化芸術 が生み出 すまちの 魅力アッ プ事業	中友小学校演劇ワークショップ (講師：平田オリザ氏)	10 月 10 日 (火) R6 年 2 月 22 日 (木)	中友小学校	63 人
	倉永小学校演劇ワークショップ (講師：中嶋さと氏)	11 月 28 日 (火) 12 月 5 日 (火)	倉永小学校	
七夕飾り～星に願いを～		6 月 25 日 (日) ～7 月 18 日 (火)	文化会館	630 人
ツリーにお願い！		11 月 26 日 (日) ～12 月 24 日 (日)	文化会館	100 人
おむタンおみくじ		R6 年 1 月 10 日 (水) ～1 月 31 日 (水)	文化会館	950 人
文化体験講座「チェロを弾いてみよう！」 「バイオリンを弾いてみよう！」		9 月 2 日 (土) 9 月 16 日 (土) 9 月 30 日 (土)	文化会館	37 人
憩いの mori 午後のミニコンサート ～音楽のさんぽみち～		ミニコンサート 4 月 22 日 (土) 5 月 20 日 (土) 6 月 17 日 (土) 7 月 8 日 (土) 10 月 7 日 (土) R6 年 1 月 13 日 (土) R6 年 2 月 24 日 (土) R6 年 3 月 9 日 (土) スペシャルコンサート 9 月 2 日 (土)	文化会館	427 人
ふるさと支援事業 「大牟田文化会館市民企画応援プロジェクト」		2 団体応募。不採択及 びキャンセルにより実 施なし	—	—

③育成型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
第 21 回ありあけジュニアピアノコンクール ①チャレンジ B コース ②A コース ③プレミアムアンサンブルコンサート	①8 月 5 日 (土) ②10 月 29 日 (日) ③R6 年 3 月 17 日 (日)	文化会館	参加者 106 人 入場者 485 人
マロプロジェクト in 大牟田 ～子どもたちの未来へ 音のメッセージ～	8 月 25 日 (金) ～ 27 日 (日)	文化会館	参加者 35 人 入場者 277 人
第 47 回九州青年美術公募展	11 月 19 日 (日) ～ 25 日 (土)	文化会館	応募数 126 点 入場者 289 人
大牟田文化会館・有明高専合同 星空観望会 ほしぞら☆探検隊	10 月 27 日 (金)	有明工業高 等専門学校	35 人

大牟田文化会館・有明高専合同 「アクリル星座板工作教室」・「はじめての プログラミング教室」	8月20日（日）	文化会館	60人
大牟田文化会館・有明高専合同 「電子工作マイクロビット体験教室」	12月23日（土）	文化会館	20人

2 プラネタリウム関連事業の実施状況

プラネタリウムでは、土・日・祝日及び小中学校の春・夏・冬休み期間に1日3回、投影時間ごとに番組を入れ替え、四季に応じた星座の解説を入れた一般投影を行いました。平日は、予約による投影を行い、グループや学校、幼稚園、病院施設など幅広い団体の依頼に対応しました。また、「走れ！大蛇山」など地域独自の文化をテーマにしたオリジナル番組や、天文の解説と音楽を融合した大人向けの特別投影、小中学校向けの学習投影など、幅広い年齢層に応じた内容の投影を行いました。

投影機の入れ替え※に伴い、光学式の投影機によるフィナーレイベントを6回実施しました。

事業名	とき	ところ	入場者等
プラネタリウム特別投影「走れ大蛇山！」	7月21日（金）～ 22日（土）	文化会館	45人
音とアロマのプラネタリウム 「星空ヒーリング」Starry Sky Healing	7月29日（土）	文化会館	37人
～降りそそぐ星と音楽～ 星空サウンドピクニック final	9月23日（土・祝）	文化会館	81人
プラネタリウム フィナーレイベント おやすみプラネ 星空ねむりウム	①10月13日（金） ②10月22日（日）	文化会館	78人
プラネタリウム フィナーレイベント 『星うさぎと月のふね』上映会	11月5日（日）	文化会館	79人
アクロス・ミュージアムコンサートプラネタリウム フィナーレイベント 「星空 JAZZ ライブ」	12月9日（土）	文化会館	180人
プラネタリウム フィナーレイベント 『大牟田の宝もんシリーズ』上映会	R6年1月13日（土） ～1月14日（日）	文化会館	83人
プラネタリウム フィナーレイベント 「プラネタリウム操作体験ワークショップ」	R6年1月27日（土）	文化会館	37人
プラネタリウム フィナーレイベント 「メモリーズ・オブ・プラネタリウム」	12月～R6年1月27日 （土）まで	文化会館	—

プラネタリウム来場者数の推移

年 度	R3	R4	R5
来場者数	2,809人	3,077人	4,952人

※投影機の入れ替えに伴う投影中止期間：R6年1月28日（日）～6月14日（金）

3 利用状況及び収入状況

(1) 利用状況

	稼働率 (%)			利用人数 (人)		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5
大ホール	32.8	43.1	48.7	26,443	48,172	17,506
小ホール	34.6	51.6	59.0	14,199	22,609	35,005
その他				52,736	69,946	78,964
計				93,378	140,727	131,475

(2) 収入状況

(単位：千円)

会場使用料・観覧料	付属設備使用料・冷暖房料	その他	合計
19,508	12,188	2,922	34,618

《三池カルタ・歴史資料館》〔生涯学習課〕

三池カルタ記念館は、H 3 年に開設しました。その後、H 1 8 年に歴史資料館と統合し、三池カルタ・歴史資料館として現在に至っています。カルタや歴史に関する展示を中心とした企画展の開催をはじめ、資料の収集・保存、調査研究、文化・歴史講座等の実施により、市民の文化的教養の向上に努め、市民の豊かな心と郷土を愛する心を育み、地域社会の文化の向上に資することを目的としています。

H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、R 4 年度から R 8 年度までの 5 年間は T R C ・ アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①企画展

事業名	期間	内容	入館者
春の企画展 「戦国武将歌留多展」	4 月 4 日 (火) ~ 6 月 25 日 (日)	全国でも当館でしか見ることができない逸品からアニメ、キャラクターものなどお馴染みのカルタまで戦国武将をテーマとしたカルタを一堂に展示を行いました。	大人 1,395 人 子ども 280 人 計 1,675 人
平和展 2023 「戦時下の子どもたち-松山強コレクション-」	7 月 4 日 (火) ~ 9 月 18 日 (月・祝)	戦時中の資料や写真などを公開し、戦時資料収集家の松本強氏に提供いただいた関連資料も合わせて紹介する展示を行いました。	大人 1,620 人 子ども 684 人 計 2,304 人
秋の企画展 「新収蔵カルタ展 2023」	9 月 26 日 (火) ~ 12 月 10 日 (日)	R 4 年度に収集したカルタやトランプ・花札の中から厳選した約 30 点を紹介する展示を行いました。	大人 1,375 人 子ども 492 人 計 1,867 人
冬の企画展 「古典歌留多展～いにしえの日本文学の世界～」	12 月 19 日 (火) ~ R 6 年 3 月 24 日 (日)	江戸時代に制作された源氏物語や伊勢物語などの古典、さらには古今和歌集、新古今和歌集など和歌集を題材とした貴重な歌カルタ約 30 点の展示を行いました。	大人 1,417 人 子ども 360 人 計 1,777 人

②市民カルタフェア 2023

本市が「日本のカルタ発祥の地」であることを広く周知するため、カルタ体験や抽選会を実施しました。また、R 5 年度は 4 年ぶりに通常開催し、「五色百人一首」や「復元天正トランプ」に加え、当館開館 30 周年とイオンモール大牟田 10 周年を記念して制作した「みんなで作ったオリジナルかるた」のジャンボカルタを実施しました。

とき 8 月 19 日 (土)

ところ イオンモール大牟田

参加者 57 人 (大人 22 人、子ども 35 人)

③第 31 回三池カルタ・歴史資料館杯《小倉百人一首》九州新人かるた競技大会

R 5 年度は 4 年ぶりに 3 人 1 組の源平戦と個人戦とあわせて通常開催し、福岡・佐賀・

熊本の各県から 68 人の参加がありました。

と き 11月12日(日)

ところ 大牟田中央小学校体育館

参加者 118人 団体戦(3人1チーム 18チーム【有段者の部 12チーム・無段者の部 6チーム】)、個人戦(大人14人・子ども8人)、

観覧者等 42人

④普及・啓発事業

ア カルタの貸出(小倉百人一首かるた等)

60件

延べ 127組

イ 講座等の開催

内 容	と き	受講者数
「世界遺産『神宿る島』沖ノ島と関連遺産群の価値と魅力」	7月23日(日)	15人
歴史講座「岩戸山古墳と磐井の乱」	11月5日(日)	27人
文化講座 「紙芝居とマンガ～〈絵〉と〈声〉と〈文字〉のかかわりあい」	10月15日(日)	18人
文化講座 「芭蕉名句『古池や』誕生の日ー芭蕉生誕380年を記念してー」	R6年3月17日(日)	16人

(2) 提案事業(施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業)

①企画展関連イベント等

事業名	期 間	内 容	参加者等
春の企画展関連事業 「家紋根付を作ろう！」	5月3日(水・祝) 4日(木・祝) 5日(金・祝)	戦国武将歌留多展の展示に合わせたオリジナルの根付を作るワークショップを開催しました。	41人 (大人35人、 子ども6人)
春の企画展関連事業 「ミュージアム・コンサート」	5月27日(土)	展示室内でのコンサートを実施することにより、企画展の周知と集客を図りました。	21人 (大人21人)
平和展2023関連事業 「命の紙芝居」	7月9日(日)	市内の戦争体験者から聞き取りを行い、製作された自作の3本の紙芝居を上演しました。	25人 (大人19人、 子ども6人)
平和展2023関連事業 夏休みアニメーション上映会	8月8日(火)～ 8月17日(木) 全10回	夏休み期間にアニメーション上映を通じて、平和展の来館を促し、平和学習の一助となるよう実施しました。	56人 (大人26人、 子ども30人)
平和展2023関連事業 平和の朗読会「中村哲」	8月20日(日)	中村哲さんの生涯や信条を通じて、戦争と平和について考える機会となる朗読劇を開催しました。	25人 (大人25人)
冬の企画展関連事業 「ミュージアム・コンサート」	3月20日(水・祝)	展示室内でのコンサートを実施することにより、企画展の周知と集客を図りました。	46人 (大人45人、 子ども1人)

②普及・啓発事業

ア 博物館学芸員実習・インターンシップ（就業体験）受け入れ

博物館学芸員実習【8月8日（火）～8月13日（日）】に1人、インターンシップ（就業体験）【8月17日（木）～8月19日（土）】に2人を受け入れました。

イ 出張カルタ

三池カルタ・歴史資料館の職員が学校へ出向き、親子学習会などの参加者を対象に、ジャンボカルタを使ったカルタ取りやカルタにまつわるお話をする事業です。

場 所	と き	参加者数
天の原小学校	6月22日(木)	71人
銀水小学校	7月6日(木)	160人
倉永小学校	9月8日(金)	45人

ウ 講座等の開催

講 座 名	と き	受講者数
古文書入門講座（第9期）	全24回 4月7日（金）～R6年3月15日（金）	延べ341人
『源氏物語』の光と影を読む（第10期）	全24回 4月9日（日）～R6年3月17日（日）	延べ334人

エ イベント等の開催

事 業 名	期 間	内 容	参加者等
古代体験 「勾玉づくり」	8月23日(水)	世界遺産・文化財室と連携して市内出土の勾玉の歴史の解説と勾玉制作を行いました。	11人 (子ども)
大牟田史跡めぐりウォークー三池地区編ー	R6年 3月2日（土）	世界遺産・文化財室と連携して三池地域に点在する史跡や自然をめぐりました。	20人 (大人)

2 報道関係等への資料提供とPRの状況

新聞 32件 テレビ・ラジオ 11件 機関紙・雑誌等 17件

3 観覧者数等の状況

年 度	開館日数	入 館 者 数 （人）			図録関係頒布 収入（千円）
		一 般	児童生徒	合 計	
R3	211	3,673	1,120	4,793	83
R4	274	4,716	1,404	6,120	128
R5	270	5,878	1,892	7,770	113

※観覧料については、H19年度に指定管理者制度導入後、無料となっています。

※ H18年度の入館者数は、5,479人です。

《図 書 館》〔生涯学習課〕

市民の図書資料に対する要求に応え、自由で公平な図書館資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とした事業を実施します。また、施設設備を有効に活用し、読書ボランティア養成講座事業、おはなし会等を実施します。

三池カルタ・歴史資料館との複合施設であり、H19年度から指定管理者制度を導入し、R4年度からR8年度までの5年間はTRC・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 利用状況

(1) 図書貸出の登録者及び利用者

(単位：人、団体)

区 分				計	本 館	地 区 公 民 館						
						三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	
登録者数	個人	新規登録者	小学生以下	271	246	8	1	5	9	1	1	
			中学生	34	31	0	0	1	0	0	2	
			高校生	48	47	0	1	0	0	0	0	
			成人	970	884	22	4	19	21	8	12	
			小 計	1,323	1,208	30	6	25	30	9	15	
	登録者数			20,731	19,073	301	125	314	459	327	132	
	団体	新規登録団体数			9	9						
		登録団体数			592	592						
利用者数	個人	実利用者数			6,837	6,343	105	37	89	134	91	38
		のべ利用者数			84,028	73,042	2,070	781	1,910	3,761	1,744	720
	団体	実利用団体数			51	51						
		のべ利用団体数			310	287	1	0	0	2	20	0

(2) 図書貸出冊数及びその他資料貸出数

(単位：冊、点、日)

区 分		計	本 館	地 区 公 民 館					
				三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬
図 書 資 料	一般書	235,416	213,557	3,979	1,792	3,610	7,872	3,454	1,152
	児童書	116,761	106,218	2,224	342	2,334	3,162	1,818	663
	小 計	352,177	319,775	6,203	2,134	5,944	11,034	5,272	1,815
	開 館 日		287	332	340	338	340	336	340
	1 日 平 均		1,114.2	18.7	6.3	17.6	32.5	15.7	5.3
その他資料	AV 資料 (CD・DVD 等)	14,771	14,598	64	0	46	8	51	4
	雑 誌	14,463	14,013	5	16	102	142	184	1
	小 計	29,234	28,611	69	16	148	150	235	5
総 計		381,411	348,386	6,272	2,150	6,092	11,184	5,507	1,820

※本館館内閲覧受付 533冊

○本館の蔵書点検に係る臨時休館

R6年2月13日(火)～2月24日(土)

(3) 図書貸出冊数（一般書・児童書）と予約・リクエストの推移

区分 年度	貸 出 (冊)		予約・リクエスト	
	個 人	団 体	件 数	左のうち、購入した冊数
R3	324,727	6,098	35,914	767
R4	361,124	7,152	33,020	1,107
R5	347,329	4,848	33,715	1,199

(4) 障害者サービス

	登録者	貸出数	市内送付サービス	市外送付サービス
点字サービス	29 人	87 タイトル 321 点	87 タイトル 321 点	0 タイトル 0 点
録音サービス※	106 人	191 タイトル 301 点	190 タイトル 300 点	1 タイトル 1 点
計		278 タイトル 622 点		

※録音サービスでは、現在主流の視覚障害者向けデジタル録音図書（デイジー）と一般的な再生機（カセットプレイヤー）で聴けるカセットテープによるサービスを行っています。

※本表では広報・新聞コラム等を除いています。

(5) 予約処理状況

一般書・児童書 31,053 冊
 雑誌 2,296 冊
 AV資料（CD・DVD等） 366 冊 合 計 33,715 件

※R3年4月から在架予約を開始しました。

（市立図書館や地区公民館図書コーナーの棚にある資料を予約することができます。）

(6) 文献複写サービス（有料）

複写枚数 5,697 枚

(7) 人口類似都市図書館との比較

区 分	大 牟 田 市		人口類似都市平均 (R4 年度実績)
	R4 年度	R5 年度	
市民 1 人当たりの図書等貸出冊数	3.68 冊	3.61 冊	3.88 冊
全市民中に占める貸出登録者の割合	22.38%	19.60%	43.04%
蔵 書 回 転 率	1.32 回	1.28 回	1.18 回
市民 1 人当たりの蔵書冊数	2.78 冊	2.81 冊	3.30 冊
市民 1 人当たりの図書等購入費	223.98 円	201.20 円	196.06 円
職員 1 人当たりの図書等貸出数	23,315 冊	22,435 冊	15,674 冊

※「人口類似都市平均」は、『日本の図書館（2023）』日本図書館協会2024年刊から、人口11万人以上12.1万人未満の10市の平均

※大牟田市以外の数値は、2023年の公共図書館調査票の数値をもとに平均値を算出

2 図書館資料

拠点別蔵書冊数

(R 6 年 3 月 3 1 日現在)

区 分	一般書		児童書		計	
	冊数 (冊)	比率 (%)	冊数 (冊)	比率 (%)	冊数 (冊)	比率 (%)
本館	191,372	80.4%	46,716	19.6%	238,088	100.0%
三川地区公民館	6,809	58.6%	4,818	41.4%	11,627	100.0%
勝立地区公民館	6,320	65.8%	3,281	34.2%	9,601	100.0%
吉野地区公民館	6,217	60.4%	4,072	39.6%	10,289	100.0%
三池地区公民館	6,005	54.7%	4,966	45.3%	10,971	100.0%
手鎌地区公民館	5,003	54.2%	4,226	45.8%	9,229	100.0%
駿馬地区公民館	4,282	55.5%	3,440	44.5%	7,722	100.0%
計	226,008	76.0%	71,519	24.0%	297,527	100.0%

3 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業 (指定管理者が必ず実施しなければならない事業)

① 定例事業

ア おはなし会 (おおむた読書推進ボランティアネットワークの協力を得て開催)

おはなし会名	開 催 日	開催回数	参加者 (のべ人数)	協力ボランティア (のべ人数)
幼児及び小学生低学年を対象としたおはなし会	毎週土曜日	45 回	654 人	144 人
乳幼児のためのおはなし会	第 1 週～第 3 週の木曜日	32 回	248 人	62 人
赤ちゃんのためのおはなし会	毎週火曜日	42 回	510 人	94 人

イ ブックデビュー事業

保護者と赤ちゃんが「初めての絵本」の楽しさを実感できる方法を提案するとともに、図書館の利用案内を行いました。

上記の「赤ちゃんのためのおはなし会」内で隔月 1 回、ブックデビュー事業を行いました。また、図書館の事業外では、先述のブックスタート事業「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」、子ども家庭課の「赤ちゃん広場」内で実施しました。

実施回数 18 回 参加者 (のべ人数) 229 人

ウ ブックリサイクルの実施

図書館で不用になった図書・雑誌を市民、学校及び施設に無料提供しました。

(ア) 子どもの本限定！ブックリサイクル

と き 4 月 3 0 日 (日) 参加者 108 人

(イ) 一般書限定！ブックリサイクル (一般書・雑誌)

と き 9 月 2 3 日 (土・祝)・2 4 日 (日) 参加者 48 人

(ウ) 学校向けブックリサイクル

と き R 6 年 1 月 3 0 日 (火)・3 1 日 (水) 参加者 16 人

ブックリサイクル提供図書総数 4,325 冊

②行 事

ア イベント的事業

事業名	内 容	と き	参加者
「子ども読書の日 記念イベント 2023」	子ども読書の日記念イベント 「子ども読書の日記念 どうぶつおはなし 会」	4月29日(土・祝)	26人
	ぬいぐるみおとまり会	5月3日(水・祝) 5月4日(木・祝)	子ども 延べ12人 大人 延べ9人
	子どもの本限定！ブックリサイクル〔再掲〕	4月30日(日)	108人
特別おはなし会	子ども読書の日記念おはなし会〔再掲〕	4月29日(土・祝)	26人
	七夕おはなし会	7月1日(土)	27人
	平和おはなし会	8月5日(土)	8人
	クリスマスおはなし会	12月16日(土)	69人
企画展示 「平和事業」	平和パネル展	7月28日(金)～ 8月23日(水)	—
	プチ特設 ①平和の本（一般） ②平和の映画上映会 原作本（児童） ③平和のほん（児童）	①7月28日(金) ～8月23日(水) ②7月26日(水) ～8月30日(水) ③7月28日(金) ～8月30日(水)	—
	平和おはなし会〔再掲〕	8月5日(土)	8人
	平和の映画上映会	8月6日(日)	10人

イ 講座及び研修会

読書ボランティア養成講座「読み聞かせのスキルアップ講座」

内 容	講 師	と き	受講者
「絵本セラピー～心が豊かになる時 間から～」	講師：梅野 智美 (九州大谷短期大学)	R6年2月28日(水)	5人
「読書ボランティア活動説明会」 第1回	講師：図書館スタッフ	R6年3月10日(日)	3人
「読書ボランティア活動説明会」 第2回	講師：図書館スタッフ		2人

③有明圏域定住自立圏に係る取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、H24年度から柳川市及びみやま市、H26年度から荒尾市、南関町及び長洲町との図書サービスの相互利用を実施しています。

【大牟田市立図書館における相互利用状況】

年度 \ 区分	登録者数	登録者数のうち 新規登録者数	のべ利用者数	図書等貸出数
R3	2,339 人	134 人	7,084 人	32,756 冊
R4	2,206 人	72 人	6,872 人	28,067 冊
R5	1,782 人	78 人	4,164 人	21,668 冊

④ありあけ圏域電子図書館

R 4 年 5 月 1 日から大牟田市、柳川市、みやま市、長洲町の 4 市町共同運営による電子図書館サービスを開始しました。

【電子図書館利用状況】

年度 \ 区分	貸出し総数（うち大牟田市）		
	一般図書	児童書	計
R4（5 月～）	19,959（14,219）	16,597（14,949）	36,556（29,168）
R5	17,360（13,733）	16,572（15,401）	33,932（29,134）

（２）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

①展示会（主に図書の展示と貸出し）ほか

ア 特設（一般）

展示テーマ	内 容	と き
コロナ禍に生まれた文学	新型コロナウイルス・コロナ禍の影響を受けて書かれた小説やエッセイ、緊急事態宣言期間中の手記や日記・ルポルタージュなど 88 冊の展示・貸出しを行いました。	R5 年 3 月 31 日（金）～4 月 26 日（水）
サブカルチャーに触れてみよう	アニメ・マンガ・ゲームなどサブカルチャーに関する本や今人気の YouTuber117 冊の展示・貸出しを行いました。	4 月 28 日（金）～5 月 26 日（金）
児童書と統計で学ぶ日本ってどんな国？	統計資料や白書などの数字で日本の状況が分かるようになっている本と、日本について学ぶことができる児童書 39 冊の展示・貸出しを行いました。	5 月 24 日（水）～6 月 28 日（水）
あのおシゴトの裏側、ちょっとのぞいてみませんか？	いろいろな仕事を紹介している本や仕事の裏側が書かれている本、お仕事の小説など 103 冊の展示・貸出しを行いました。	6 月 30 日（金）～7 月 26 日（水）
おもしろ写真集	さまざまな写真集 52 冊の展示・貸出しを行いました。	7 月 28 日（金）～8 月 30 日（水）
日常の身だしなみ	服装やビジネスマナー等、身だしなみに関係する 33 冊の展示・貸出しを行いました。	9 月 1 日（金）～9 月 27 日（水）
夜中に読むと危険！？はらぺこ本、あつめました	食欲の秋、読書の秋に合わせて、読んでいうちによだれがでてきそうな、美味しそうな描写が書かれている 67 冊の展示・貸出しを行いました。	9 月 29 日（金）～10 月 25 日（水）

展示テーマ	内 容	と き
あの人はこんな本を読んでいる、読んでいた ★読書ガイドブック特集★	作家や有名人、芸能人が何を読んでいるか、読んでいたかが書いてある 94 冊の展示・貸出しを行いました。	10 月 27 日(金)～ 11 月 29 日(水)
小説家の小説以外	小説家の書いた医学書、経済書、歴史書等、小説以外 94 冊の展示・貸出しを行いました。	12 月 1 日(金)～ 12 月 27 日(水)
笑う門には福来たる	年の初めに笑って過ごせるようにだじゃれや落語などの笑える本 72 冊の展示・貸出しを行いました。	R6 年 1 月 4 日 (木) ～ 1 月 24 日 (水)
花のある暮らし 始めてみませんか？	園芸についてよく聞かれることからガーデニングや庭木、剪定など 86 冊の展示・貸出しを行いました。	R6 年 1 月 26 日 (金) ～ 3 月 27 日 (水)

イ 特設（児童）

展 示 名	展示冊数	と き
スタンダードブック	232 冊	R5 年 3 月 31 日(金)～R6 年 3 月 27 日(水)
児童 BOX 特設「どうぶつのほん」	30 冊	R5 年 3 月 31 日(金)～4 月 26 日(水)
児童 BOX 特設「ぬいぐるみのほん」	37 冊	4 月 28 日(金)～5 月 26 日(金)
児童 BOX 特設「家族のほん」	33 冊	5 月 24 日(水)～6 月 28 日(水)
児童 BOX 特設「星のほん」	40 冊	6 月 30 日(金)～7 月 26 日(水)
児童 BOX 特設「平和のほん」	45 冊	7 月 28 日(金)～8 月 30 日(水)
児童 BOX 特設「命のほん」	27 冊	9 月 1 日(金)～9 月 27 日(水)
児童 BOX 特設「ハロウィンのほん」	30 冊	9 月 29 日(金)～10 月 25 日(水)
児童 BOX 特設「人権について考えるほん」	19 冊	10 月 27 日(金)～11 月 29 日(水)
児童 BOX 特設「クリスマスのほん」	45 冊	12 月 1 日(金)～12 月 27 日(水)
児童 BOX 特設「お正月のほん」	56 冊	R6 年 1 月 4 日(木)～1 月 24 日(水)
児童プチ特設「節分のほん」	17 冊	R6 年 1 月 26 日(金)～2 月 28 日(水)
児童 BOX 特設「ひなまつりのほん」	20 冊	R6 年 3 月 1 日(金)～3 月 27 日(水)

ウ 特設（YA：ヤングアダルト）

展 示 名	内 容	と き
FGO から学んでみよう ～歴史・伝説の人物～	ゲームのキャラクターが掲載された新聞とゲームに登場する歴史・伝説の人物に関する 68 冊の展示・貸出しを行いました。	R5 年 3 月 31 日(金)～ 5 月 24 日(水)
転校生がいっぱい	転校生が出てくる小説 36 冊の展示・貸出しを行いました。	5 月 26 日(金)～ 6 月 28 日(水)

読書感想文の本	課題図書を中心に読書感想文おすすめの本 58 冊の展示・貸出しを行いました。	6 月 30 日(金)～ 8 月 30 日(水)
あなただけ知ってる？ 昭和レトロ	子どもの生活、ファッションや芸能、家電製品など、昭和時代の文化をえがいた本 72 冊の展示・貸出しを行いました。	9 月 1 日(金)～ 10 月 25 日(水)
双子の物語	双子が登場人物として出てくる小説 51 冊の展示・貸出しを行いました。	10 月 27 日(金)～ 12 月 27 日(水)
若い人に送る読書のすすめ	成人式・卒業式など新たな人生の一步をふみだす若い人にぜひ読んでもらいたい 88 冊の展示・貸出しを行いました。	R6 年 1 月 4 日(木)～ 3 月 27 日(水)

エ 常設展示

展 示 名	内 容
S D G s コーナー	大牟田市で推進している ESD（持続可能な開発のための教育）と、SDGs（持続可能な開発目標）に関する本の展示・貸出しを行いました。
認知症って？	地域の情報を積極的に収集し、認知症に関する予防や介護、闘病記など様々なジャンルの展示・貸出しを行いました。
2023 年度 「科学 100 冊傑作選」 「科学道ジュニア」	理化学研究所と、本の可能性を追求する編集工学研究所の共同プロジェクト「科学道 100 冊プロジェクト」で紹介された本の展示・貸出しを行いました。
点字本・大活字本・LL ブック	誰もが読書を楽しむことができることを目的とし、点字本・大活字（文字が大きい本）・LL ブック（記号なども組み合わせ平易に表現し、知的障害の方・海外にルーツを持つ方なども読みやすいよう工夫がされている本）の展示・貸出しを行いました。
スタンダードブック	1974 年までに出版されて長く読み継がれてきたスタンダードな絵本の展示・貸出しを行いました。
大牟田関連コーナー	大牟田出身漫画家作品、大牟田ゆかりの人物に関する本や郷土資料、大牟田市動物園関連の本、ともだちや絵本美術館の展示に合わせた本の展示・貸出しを行いました。

②行 事

ア イベント的事業

事 業 名	内 容	と き	参加者
電子図書館開設 1 周年イベント	電子図書館開設 1 周年を迎えることから利用案内やポスターを図書館内と公民館に掲示しました。また、電子図書館体験会を開催しました。	電子図書館体験会 5 月 3 日（水・祝）～ 5 月 5 日（金・祝）	31 人
三池税関パネル展	三池税関支署（三池港）に関するパネル展示に合わせ、図書館所蔵の三池税関・三池港関連資料を紹介しました。	①5 月 9 日（火）～ 5 月 24 日（水） ②12 月 1 日（金）～ 12 月 27 日（水）	—

事業名	内 容	と き	参加者
「動物福祉の明日なら」上映会	大牟田市動物園 80 周年ドキュメンタリー映画「動物福祉の明日なら」を上映、動物スタッフの講話など動物福祉に対する理解を深めるための上映会を開催しました。	5 月 28 日（日）	7 人
図書館 de ボードゲーム	コミュニケーションツールとしてボードゲームが注目されていることから、YA 世代（小学生～高校生）を対象に来館のきっかけ作りとしてボードゲームの体験イベントを行いました。	6 月 25 日（日）	17 人
「住宅のくらしと紙芝居」関連展示	大牟田市石炭産業科学館にて開催中の「住宅のくらしと紙芝居」の関連展示として関連図書とパネルの展示を行いました。	5 月 26 日（金）～ 6 月 28 日（水）	—
平和パネル展 〔再掲〕	大牟田市「核兵器廃絶平和都市宣言」の認知度の向上及び平和意識の高揚に資するため、「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」のパネルと戦争と平和に関する資料に加えて、大牟田の空襲に関する資料を紹介しました。	7 月 28 日（金）～ 8 月 23 日（水）	—
平和の映画上映会 〔再掲〕	平和にちなんだ映画を上映し、平和について考えてもらう上映会を開催しました。	8 月 6 日（日）	10 人
どうぶつ愛護おはなし会	動物愛護週間のため動物愛護をテーマとした保健衛生課による動物愛護の話と関連する絵本の読み聞かせを合わせたおはなし会を実施しました。	9 月 10 日（日）	17 人
動物愛護パネル展	動物愛護のパネルの展示に合わせ、動物愛護に関する本 15 冊の展示・貸出しを行いました。	9 月 1 日（金）～ 9 月 27 日（水）	—
認知症にやさしい 図書館プロジェクト「回想法で認知症予防」	昭和 40 年代の全国ニュースや大牟田の写真を見て当時の思い出についてグループに分かれて語りあう「回想法」と国立病院の認知症専門医による「認知症予防」についての講演を行いました。また、認知症コーナーの取組みや回想法に関する DVD の紹介、カルタ館の紹介を行いました。	9 月 18 日（月・祝）	16 人
図書館 de サイエンス「理科読」	図書館スタッフによる科学絵本の読み聞かせと有明工業高等専門学校先生と生徒による理科実験・解説で科学のしくみについて学んでもらうイベントを開催しました。	①10 月 22 日（日） ②11 月 12 日（日）	①14 人 ②15 人
図書館 de サイエンス「ペットボトルでオリジナルビーズを作ろう！」	子どもたちが工作体験を通して科学の不思議に触れ、学びのきっかけづくりとなるようなイベントを開催しました。	11 月 26 日（日）	29 人

事業名	内 容	と き	参加者
図書館 de サイエンス 館内展示	科学イベントにご協力いただいた学校の研究発表や活動報告の展示を行い、同年代の科学や本の関心を高めました。	①9月29日(金)～10月25日(水) ②9月29日(金)～11月29日(水) ③10月27日(金)～11月29日(水)	—
第7回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール	図書館の使い方や物事の調べ方の方法を学ぶ講座を開催し、図書館を使った生涯学習の発展に努めるためにコンクールを行いました。応募された作品は、審査・表彰を行い、その後全国コンクールへ出品しました。	作品募集期間 7月1日(土)～10月1日(日) 表彰式 11月25日(土)	応募数 小学生の部 46点 中学生の部 0点
バリアフリー映画上映会	視覚や聴覚に障害があっても同じように映画を楽しめるよう、字幕と音声ガイドを使用した映像作品の上映を行いました。	12月17日(日)	15人
「税を考える週間」展	大牟田税務署の協力のもと、税に関する啓発チラシ・ポスターのほかコンクールで受賞した作文の展示と税金やお金に関する本15冊の展示・貸出しを行いました。	11月10日(金)～11月19日(日)	—
刀とめぐる大牟田かたなたび	おおむた御刀実行委員会が主催するプロジェクト「刀とめぐる大牟田かたなたび」に参画し、刀剣関連書籍の特設展示、刀剣講座、刀剣展示を開催しました。	①R6年1月13日(土) ②1月20日(土) ③1月21日(日) ④1月28日(日) ⑤12月1日(金)～R6年2月28日(水)	26人 (ネット配信) 88人

イ 講座及び研修会

(ア) 第7回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール応援教室

内 容	講 師	と き	受講者
「どんなことを調べよう？ テーマの決め方」 ①低学年向け ②高学年向け	講師：図書館スタッフ	①7月17日(月・祝) ②7月30日(日)	1人 3人

(イ) その他

内 容	講 師	と き	受講者
「大牟田の絵本づくりワークショップ2023」への協力	講師：図書館スタッフ	9月12日(火)～ R6年2月17日(土)	22人
学校連携・協力のための図書館職員派遣	講師：図書館スタッフ	①10月17日(火) ②12月12日(火) ③10月6日(金)～ 11月17日(金)	39人

(ウ) 電子図書館デモンストレーション

と き	対 象	参加者
4 月 19 日 (水)	学校管理図書事務員 (学校司書)	28 人
4 月 24 日 (月)	教務担当 (小学校)	19 人
4 月 24 日 (月)	教務担当 (中学校)	9 人
5 月 9 日 (火)	中学校図書教育担当者会	7 人
5 月 10 日 (水)	高取小学校	27 人
5 月 11 日 (木)	小学校図書教育担当者会	20 人
5 月 25 日 (木)	銀水小学校 6 年生 (体育館) 4 ～ 5 年生 (各教室・中継)	231 人
6 月 2 日 (金)	小学校国語教科担当者	25 人
6 月 9 日 (金)	中学校国語教科担当者	22 人
6 月 27 日 (火)	天の原小学校 (担任の先生向け)	12 人
6 月 29 日 (木)	羽山台小学校 4 年生	57 人
10 月 26 日 (木)	駿馬小学校 5 ～ 6 年生	94 人
11 月 30 日 (木)	中友小学校 3 ～ 6 年生	約 100 人
R6 年 2 月 20 日 (火)	天の原小学校 3 ・ 5 ・ 6 年生	125 人
R6 年 2 月 21 日 (水)	上内小学校 1 ～ 4 年生	42 人

《スポーツ施設》〔スポーツ推進室〕

人々の健康に対する関心の高まりとともにスポーツ参加への関心も高く、身近に利用できる安全で快適性が高いスポーツ施設が望まれています。市民や利用者の健康保持と体力増進のためにスポーツ施設の充実を行い、活用していきます。

1 体育施設の管理運営

体育施設 7 施設（市民体育館、延命球場、御大典記念グラウンド、武道場、笹林庭球コート、第二市民体育館、第二グラウンド）については、H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、R 2 年度から R 5 年度までの 4 年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定していました。

同法人は、競技の専門知識・大会運営のノウハウ・各団体との連絡や協力体制を活かした各種スポーツ事業の実施により社会体育の普及促進に寄与しており、本市では、事業の計画的な実施状況や必要な保守点検業務の実施状況などについて、指定管理者からの聞き取りや月例報告書などによるモニタリングを行い、随時協議・連携を行っています。

延命プールについては、H 2 0 年度から指定管理者制度を導入しており、R 4 年度から R 5 年度までの 2 年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定し、プール開場中は各種イベントの実施や施設の衛生面や利用者の安全管理に努めてきました。

R 6 年 3 月 3 1 日をもって、市民体育館、武道場及び第二市民体育館が閉館し、4 月 1 日から総合体育館（おおむたアリーナ）が開館しました。総合体育館、延命球場、御大典記念グラウンド、笹林庭球コート、第二グラウンド及び延命プールの、R 6 年度から R 1 0 年度までの 5 年間についても、特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定しています。

2 利用状況

（単位：人）

区 分		R3 年度	R4 年度	R5 年度
延命球場		11, 213	14, 044	19, 710
市民体育館		50, 051	82, 642	86, 217
御大典記念グラウンド		29, 025	47, 414	44, 476
延命プール		7, 576	10, 443	14, 811
武道場		2, 351	3, 668	4, 114
宅峰中学校弓道場（※1）		3, 920	4, 247	4, 495
第二市民体育館		24, 501	31, 157	32, 705
笹林庭球コート		2, 629	3, 408	3, 377
第二グラウンド		6, 114	9, 862	5, 542
諏訪公園テニスコート		9, 767	14, 956	15, 031
大牟田港 緑地運動 公 園 （※2）	ソフトボール場	4, 195	4, 836	4, 420
	野球場	4, 723	6, 123	4, 640
	運動広場	18, 377	21, 811	20, 834
	庭球場	10, 149	14, 558	15, 356
甘木中学校夜間照明		538	1, 013	954
手鎌北町公園テニスコート		187	549	755
合 計		185, 316	270, 731	277, 437

※1 宅峰中学校弓道場については、一般利用分のみの数値を計上しています。

※2 大牟田港緑地運動公園は県営施設ですが、市が管理委託を行っており、参考に記載しています。

3 施設の維持補修等

スポーツ施設を適切に管理運営するため、老朽化した箇所や設備について補修工事等を行い、利用者の利便性及び安全性の向上を図る工事を実施しました。

4 評価・課題

体育施設は、市民が健康で豊かなスポーツライフを送るため、気軽に利用できる施設として親しめるよう、利用者の拡大や事業の充実に努めています。

R 5年度の全体的な利用者数は、R 4年度を上回りましたが、施設によってはR 4年度を下回ったところもありました。

今後も、利用者が気軽に利用できるよう施設情報等の提供を行うことにより、利用者数の増加に努めていきます。また、総合体育館を活用し、トップレベルの大会・選手等の誘致に取り組み、交流人口の拡大や、市民のスポーツ活動の活発化に努めていきます。

〔指定・登録文化財一覧〕

(令和6年3月31日現在)

区 分		種 類	指定・登録年月日	文化財の名称	所 在 地
国指定	1	建 造 物 (重要文化財)	S 4 5 . 6 . 1 7	早鐘眼鏡橋 (附 旧水路10m)	早鐘町128番地
	2	〃	H 1 0 . 5 . 1	三井石炭鉱業株式会社 三池炭鉱宮原坑施設	宮原町1丁目86番地3
	3	史 跡	S 3 6 . 4 . 5	萩ノ尾古墳	東萩尾町289番地 ほか
	4	〃	S 5 2 . 2 . 1 7	潜塚古墳	黄金町1丁目469番地 ほか
	5	〃	H 1 2 . 1 . 1 9 (追加指定 H25.3.27) (追加指定 H26.10.6) (追加指定 H28.10.3)	三井三池炭鉱跡 宮原坑跡 万田坑跡 専用鉄道敷跡 旧長崎税関三池税関支署	宮原町1丁目86番地3 ほか 桜町201番地2 ほか 新港町1番地25
国登録	6	建 造 物	H 1 0 . 1 . 1 6	旧三池炭鉱宮浦坑煙突	西宮浦町132番地8
	7	〃	H 1 2 . 1 2 . 4	旧三池炭鉱三川電鉄変電所 (信号電材株式会社本社)	新港町1番地30
	8	〃	H 1 7 . 1 2 . 2 6	大牟田市役所本庁舎旧館	有明町2丁目3番地
	9	〃	R 3 . 2 . 4	古賀家住宅主屋	谷町1番地12 ほか
県指定	10	史 跡	H 1 5 . 2 . 5	黒崎観世音塚古墳・経塚	岬2608番地2 ほか
	11	建 造 物	H 8 . 5 . 3 1	旧三池集治監外塀及び石垣	上官町4丁目77番地 三池工業高等学校
	12	〃	H 2 6 . 3 . 1 4	旧長崎税関三池税関支署	新港町1番地25
	13	彫 刻	S 3 3 . 4 . 3	木造薬師如来坐像	大字今山2538番地 普光寺境内
	14	〃	S 3 8 . 1 . 1 6	木造慈覚大師坐像	〃
	15	考古資料	S 3 2 . 8 . 1 3	黒崎山舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	16	〃	S 3 3 . 4 . 3	宮原石層塔残欠	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内
	17	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	不動明王板碑 (附 梵字阿弥陀三尊板碑)	大字今山2538番地 普光寺境内
	18	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	石造六地藏	大字倉永872番地 法雲寺境内
	19	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	南無阿弥陀仏名号板碑 (附 四面仏石塔残欠)	藤田町743番地 藤田天満宮境内
	20	〃	S 3 4 . 3 . 3 1	石甲	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館 (九州国立博物館へ貸出・展示)
	21	〃	S 3 6 . 4 . 1 8	今山普光寺ならびに定林寺石塔群	大字今山字本村、字大塔
	22	〃	S 3 7 . 4 . 1 9	宮原天満宮石幢残欠	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内
	23	〃	S 3 8 . 1 . 1 6	蜜柑山舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	24	〃	S 4 5 . 5 . 2	乙宮神社の石殿	宮坂町20番地 乙宮神社境内
	25	〃	S 5 7 . 4 . 1	倉永古墳壁画残欠	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	26	〃	S 5 7 . 4 . 1	高塚舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	27	〃	S 5 7 . 4 . 1	古城山家形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	28	有形民俗文化財	S 3 8 . 1 . 1 6	湯谷柳川領境界石	大字四ヶ字湯谷
	29	天然記念物	S 3 3 . 4 . 3	臥龍梅	大字今山2538番地 普光寺境内
	30	〃	S 5 4 . 3 . 6	土穴のエノキ	大字櫛野字土穴928番地
	31	〃	H 1 8 . 3 . 3	米ノ山断層及び石炭層の露頭	大字櫛野字石坂2964 焼石山公園内
市指定	32	建 造 物	H 1 7 . 1 2 . 9	三井港倶楽部	西港町2丁目6番
	33	彫 刻	H 5 . 3 . 1 0	普光寺仁王像	大字今山2538番地 普光寺堂内
	34	〃	H 1 2 . 4 . 1 4	教楽来天満神社石造狛犬	大字教楽来字権現堂1114番地 教楽来天満神社
	35	考古資料	S 3 4 . 1 2 . 1 2	四方佛塔 (附 五輪塔地輪)	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	36	〃	S 4 2 . 1 0 . 1 1	大間劫月院跡の石造遺物	大字三池226番地
	37	〃	S 4 2 . 1 0 . 1 1	明正寺六地藏幢	大字三池779番地 明正寺境内
	38	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	定林寺中興開山塔	大字今山字大塔 定林寺境内
	39	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	本村の四仏塔婆	大字勝立字本村
	40	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	三池氏供養塔	大字今山字大塔 定林寺境内
	41	有形民俗文化財	S 3 7 . 7 . 1 6	焚石山鎮守社稻荷石祠	岬町6番地23 大牟田市石炭産業科学館
	42	無形民俗文化財	S 5 0 . 3 . 1 8	岡天満宮祭礼行事	大字上内 岡・坂井地区
	43	無形民俗文化財	H 2 2 . 4 . 1 4	三池地区祇園社祭礼行事 “三池の大蛇山”	大字三池・大字新町
	44	史 跡	S 3 7 . 7 . 1 6	歴代三池藩主墓地	大字今山2585番地 紹運寺境内ほか
	45	〃	S 3 8 . 7 . 1 1	上内立花内膳家墓地	大字上内字柵2248番地
	46	天然記念物	S 4 1 . 9 . 3 0	上内八幡宮のイチイガシ	大字上内1528番地 上内八幡宮境内
	47	〃	S 4 4 . 6 . 1 1	玉垂神社の大樟	大字岬2363番地 玉垂神社境内
	48	〃	S 6 1 . 4 . 1 6	下正原のシラカシ	大字勝立字下正原1685番地
	49	〃	S 6 1 . 4 . 1 6	一ノ尾のアラカシ	大字教楽来字一ノ尾841番地

令和6年度版（令和5年度実績）

大牟田の教育

令和6年10月

発行 大牟田市教育委員会
大牟田市
編集 大牟田市教育委員会事務局
総務課 教育みらい創造室

〒836 - 8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
電話 0944 - 41 - 2867 ファクシミリ 0944 - 41 - 2862
電子メール e-kyoikusoumu01@city.omuta.fukuoka.jp
大牟田市教育委員会ホームページ
<http://www.city.omuta.lg.jp/kyouiku/>